

平成 24 年度
「助産師の出向システムと助産実習の
受け入れ可能性等に関する調査」
「助産師の出向システムと
助産師就業継続意思に関する調査」

報告書

平成 26 年 3 月
公益社団法人 日本看護協会

はじめに

公益社団法人 日本看護協会では、平成 22 年度より「助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の推進」を掲げ、全ての妊産褥婦と新生児へ助産師のケアを提供すべく検討してきました。

日本看護協会助産師職能委員および、全国助産師職能委員会の活動調査を通じて、分娩件数の減少や産科医不足に伴う産科と他科診療科との混合病棟化や分娩の取り扱い中止に伴う助産師の病院内潜在化や助産師の助産実践能力の停滞、ハイリスク妊産婦の増加による周産期医療体制の機能分化しきれない現状などが報告されました。また、助産師の就業先の需要と供給のアンバランスによる偏在は以前より指摘されており、安全・安心な出産環境の整備という喫緊の課題が明確です。しかし、これらの現状に関する報告は少なく、助産師がおかれている実態が客観的に明らかになっているとは言い難い状況でした。

そこで、日本看護協会では平成 24 年 8 月に、全国の分娩取り扱い施設（病院および診療所）を対象に、助産師の偏在是正に寄与すると考えられる助産師出向システム、助産師の養成に寄与する助産実習の受け入れ、助産実践能力強化支援の方向性を探る助産師の現任教育、妊婦のリスク特性と産科混合病棟の実態把握を目的に、「助産師の出向システムと助産実習の受け入れ可能性等に関する調査」を実施しました。また、本会助産師会員を対象に、勤務施設の役割や機能、労働環境等によって助産師の就業継続意思が異なるのか、他職種との連携の在り方を探るために「助産師の出向システムと助産師就業継続意思に関する調査」を実施しました。

平成 24 年度は本調査結果の一部を本会公式ホームページに掲載いたしました。平成 25 年度は、調査結果を更に詳細に分析し、改めてそれらをまとめたものが本報告書になります。

この調査の結果をもとに、助産師の「質」と「量」の在り方を検討し、安全・安心な出産環境の整備に資する政策提言をしてまいります。

全ての妊産褥婦と新生児に助産師のケアを提供し、安全で安心な妊娠・出産・育児環境整備に助産師が活躍していけるよう、全力を尽くしてまいります。

平成 26 年 3 月
公益社団法人 日本看護協会
常任理事 福井 トシ子

平成 24 年
「助産師の出向システムと助産実習の受け入れ可能性等に関する調査」
「助産師の出向システムと助産師就業継続意思に関する調査」

目次

	ページ
はじめに	
第 1 章 調査の概要	1
第 2 章 調査結果	19
第 3 章 助産実習の受け入れの可能性	171
第 4 章 産科混合病棟の実態と課題	177
第 5 章 妊産婦のリスクスコアと医療機関	185
第 6 章 助産師の出向と受け入れの実態	191
第 7 章 助産師の就業継続意思	203
第 8 章 資料	209

第 1 章 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査の目的

日本看護協会では、安全・安心な出産環境の整備に向けて、助産師の必要人数や適性配置の提案と、助産実践能力強化を長期目標とし事業を展開している。しかし全国的な助産師の実態についての調査は少なく、明らかになっておらず、効果的な事業の立ち上げと推進に必要な現在の周産期医療体制における助産師とその就業環境の基盤データを得、本会の取組みや国への要望につなげていくことを目的に、本調査を実施した。

本報告書では、以下の目的に沿って報告する。

- 1) 分娩取扱い施設における、助産実習の受け入れの実態と、今後の助産実習受け入れの可能性について明らかにする（第3章）
- 2) 分娩取扱い施設における、産科混合病棟の実態を明らかにする（第4章）
- 3) 分娩取扱い施設における、妊産褥婦のリスク特性に関する実態を明らかにする（第5章）
- 4) 分娩取扱い施設と助産師の助産師出向への意向を明らかにする（第6章）
- 5) 助産師の就業継続意思の実態を明らかにし、ライフイベント、助産の実践経験、現任教育等の実態から助産師のライフサイクルと就業状況を明らかにする（第7章）

2. 実施概要

1) 調査対象

- (1) 公益社団法人日本産科婦人科学会医療改革委員会が運営しているウェブページ「周産期医療の広場」に2012年8月時点で掲載されている分娩取扱い医療機関情報より抽出した、全国の分娩取り扱い病院の産科病棟看護管理者：1,109施設
- (2) 公益社団法人日本産科婦人科学会医療改革委員会が運営しているウェブページ「周産期医療の広場」に2012年8月時点掲載されている分娩取扱い医療機関情報より抽出した全国の分娩取り扱い有床診療所の看護管理者：1,610施設
- (3) 日本看護協会助産師会員（勤務先が病院・診療所・教育機関）：21,437人

なお、対象の標記については以降、全国の分娩取り扱い病院を「病院」、全国の分娩取り扱い有床診療所を「診療所」、日本看護協会助産師会員を「助産師」とする。

2) 調査方法

郵送法による無記名自己記入式質問紙調査

（上記対象者に送付し、対象者の任意の返送により調査票を回収）

3) 調査期間

平成24年8月1日（木）— 平成24年9月30日（月）

3. 主な調査項目

1) 病院対象調査

- (1) 属性
- (2) 職員の状況
- (3) 産科病棟の概要
- (4) 分娩状況・ケア
- (5) 助産師の新卒・現任教育と学生実習
- (6) 産科混合病棟
- (7) 助産師の出自
- (8) 平成 24 年 8 月 1 日の日勤帯終了時点での妊産褥婦および新生児の入院状況
- (9) 妊婦のリスクスコア（平成 24 年 8 月 1 日の日勤帯終了時点）

2) 診療所対象調査

- (1) 属性
- (2) 助産師の出自
- (3) 助産実習の受け入れ
- (4) 分娩状況・ケア
- (5) 職員の状況

3) 助産師対象調査

- (1) 属性
- (2) 勤務先の施設・配属先概要
- (3) 病棟の概要
- (4) 分娩状況・ケア
- (5) 院内助産システム
- (6) 助産師の新卒・現任教育と学生実習
- (7) 混合病棟
- (8) 助産師の出自

4. 分析方法

集計には、Microsoft Excel 2007 を用いた。

5. 倫理的配慮

本調査は、日本看護協会研究倫理委員会の承認を得て実施した。

6. 用語の定義

- 1) 一般病院：分娩取り扱い医療機関のうち、高度医療機関である総合周産期母子医療センターと地域周産期母子医療センターを除いた病院

- 2) 助産師出向システム：助産師が、現在の勤務先の身分を保持しながら他施設で助産業務を行う仕組み

7. 報告書の見方

- 1) 本調査は、小数第二位を四捨五入しているため、率の合計が100%にならないこともある。
- 2) 調査結果は、有効回答者ベースで集計しているため、N数は設問により異なる。(有効回答者の条件は 9. 有効回答について 参照)
- 3) クロス集計や部分集計を行った際、母数が小さいものに関しては、比率を出さず実数のみである。
- 4) 本調査の詳細結果は、公益社団法人日本看護協会の公式ホームページ内に掲載している。

8. 有効回答について

本調査では調査票を質問内容別にセクションを設けており、セクション毎に有効回答の条件を以下のように定めた。

1) 病院調査

セクション	有効回答条件
I	問1（所在地の県名記載があれば有効）、問2、問3、問4、問5、問6、問7が回答されている
II	問1、問2、問3、問4、問5、問6のセクション1～4まで回答されている
III	問1、問2、問3（兼務している助産師数は記載がなくても有効）、問4、問9、問12、問13、問14、問19が回答されている
IV	問1（件数、率のどちらかが記載されていれば有効）、問3、問4、問5、問6（母子同室の開始時期がなくても有効）が回答されている
V	問1、問2、問3、問4、問5（ローテーション期間の記載がなくても有効）、問6、問7（面接の回数がなくても有効）、問8、問10（配置状況のみ回答していても有効）、問13が回答されている
VI	すべての問が回答されている、ただし問2の受け持ち回数や問4の他科の患者との同日は回答されていなくても有効
VII	問1、問2、問3、問4、問5、問6、問7、問8、問9、問10（問10-1～問10-3は回答がなくても有効）が回答されている。
VIII	すべてに回答されている
IX	問1、問2、問3、混合病棟問1、問2、問3が回答されている

2) 診療所調査

セクション	有効回答条件
I	問1（所在地の県名記載があれば有効）、問2、問3が回答されている
II	問1、問2、問3、問4（のべ人数が入っていれば有効）、問5、問6（どれか1つが入っていれば有効）、問7、問8が回答されている
III	問1、問2、問3、問4が回答されている
IV	問1（件数、率のどちらかが記載されていれば有効）、問2、問3（母子同室の開始時期の記載がなくても有効）、問4（院内助産の有無、導入希望の記載がなくても有効）、問5（助産外来、助産外来の導入希望、時間割がなくても有効）が回答されている
V	問1、問2、問4、問5、問7が回答されている

3) 助産師調査

セクション	有効回答条件
I	すべての問が回答されている。ただし、最初の質問の答えが「9」のみ問1～3が回答されている（問4はコメントのため含まない）
II	問2、問5、問9、問10、問16、問17、問18、問20～25が回答されている（問5、問17は「そのうち以下の質問」と追加質問への回答は含まない）
III	問1（都道府県のみ）、問2、問3、問4、問5（MFICU病床数は記載していなくても有効）、問6が回答されている
IV	問1、問2、問4、問6、問7、問9、問10、問11が回答されている（問2、問11は「そのうち以下の質問」と追加質問している部分への回答は含まない）
V	問1（帝王切開術は件数、もしくは率どちらかが記載があれば有効）、問3（母子同室の開始時期は含まれない）、問7、問8が回答されている
VI	問1、問2であり、なしが回答されている
VII	問1、問3、問4、問5、問6（あり、なし）、問7（あり、なし）が回答されている
VIII	問1、問2、問4、問5、問6が回答されている（問2、問4の単数回答は含まれない）
IX	問1-1、問1-2、問2、問3（あり、なし）、問4-2、4、5、7、8、12、問5、問6が回答されている（問4-7引越しの有無は含まれない）
X	すべての問が回答されている
ご自身について	問1、問2、問3（配偶者の有無のみ）、問4（子供の有無のみ）が回答されている

9. 本調査の限界について

本調査のでは、以下の通り一定の限界がある。

- ・分娩取扱施設（病院・診療所）の対象は、公益社団法人日本産科婦人科学会医療改革委

員会が運営しているウェブページ「周産期医療の広場」に掲載されている施設に限定されており、全国の分娩取り扱い施設のカバレッジは明記されておらず、全分娩取り扱い施設の把握には至っていない。

- 助産師調査は、対象者を本会会員の助産師に限定していることから、全助産師の実態把握には至っていない。

II. 回収結果

1. 対象者別回収結果

対象	配付数	回収数	回収率
全体	24,156	8,730	36.1%
病院	1,109	595	53.7%
診療所	1,610	355	22.0%
助産師	21,437	7,780	36.3%

2. 調査票におけるセクション毎の有効回答数と有効回答率

1) 病院調査

セクション	病院 (N=595)		
	有効回答母数	有効回答数	有効回答率
I	595	500	84.0%
II	595	389	65.4%
III	595	385	64.7%
IV	595	536	90.1%
V	595	456	76.6%
VI	595	453	76.1%
VII	595	426	71.6%
VIII	595	212	35.6%
IX	61	56	91.8%
X	460	278	60.4%

2) 診療所調査

セクション	診療所 (N=355)		
	有効回答母数	有効回答数	有効回答率
I	355	180	50.7%
II	355	343	96.6%
III	355	308	86.8%
IV	355	204	57.5%
V	355	250	70.4%

3) 助産師調査

セクション	助産師 (N=7,780)		
	有効回答母数	有効回答数	有効回答率
I	635	155	24.4%
II	5,403	2,395	44.3%
III	5,403	4,868	90.0%
IV	5,403	3,949	73.1%
V	5,403	3,774	69.9%
VI	5,403	5,213	96.5%
VII	5,403	4,589	84.9%
VIII	3,464	3,085	89.1%
IX	5,403	3,898	72.1%
X-1	6,038	5,614	93.0%
X-2	6,038	5,543	91.8%
X-3	6,038	5,554	92.0%
ご自身について	7,780	7,412	95.3%

3. 回答施設・回答者の属性

1) 病院の属性

○都道府県別回答病院数と回収率

全国平均 595 施設 / 1109 施設 (回収率 : 53.7%)								
都道府県	回収数 / 配付数	回収率	都道府県	回収数 / 配付数	回収率	都道府県	回収数 / 配付数	回収率
山梨県	7 / 7	100.0%	新潟県	16 / 26	61.5%	大分県	5 / 10	50.0%
滋賀県	11 / 12	91.7%	福井県	6 / 10	60.0%	神奈川県	30 / 62	48.4%
鳥取県	5 / 6	83.3%	熊本県	10 / 17	58.8%	鹿児島県	10 / 21	47.6%
山口県	15 / 18	83.3%	北海道	37 / 63	58.7%	長崎県	8 / 17	47.1%
富山県	11 / 14	78.6%	岩手県	7 / 12	58.3%	広島県	14 / 30	46.7%
岡山県	14 / 19	73.7%	三重県	8 / 14	57.1%	東京都	46 / 99	46.5%
香川県	11 / 15	73.3%	宮城県	9 / 16	56.3%	宮崎県	6 / 13	46.2%
栃木県	8 / 11	72.7%	岐阜県	9 / 16	56.3%	埼玉県	17 / 39	43.6%
和歌山県	8 / 11	72.7%	千葉県	20 / 36	55.6%	愛媛県	6 / 14	42.9%
長野県	16 / 23	69.6%	沖縄県	10 / 18	55.6%	大阪府	30 / 74	40.5%
石川県	15 / 22	68.2%	兵庫県	25 / 47	53.2%	京都府	9 / 31	29.0%
福島県	12 / 18	66.7%	愛知県	30 / 58	51.7%	高知県	2 / 7	28.6%
静岡県	17 / 26	65.4%	秋田県	8 / 16	50.0%	佐賀県	2 / 7	28.6%
山形県	10 / 16	62.5%	群馬県	9 / 18	50.0%	茨城県	6 / 22	27.3%
徳島県	5 / 8	62.5%	島根県	7 / 14	50.0%	奈良県	3 / 11	27.3%
青森県	8 / 13	61.5%	福岡県	16 / 32	50.0%	不明	1	

○医療機能別施設数

病院機能	施設数	率
総合周産期母子医療センター	61	10.3%
地域周産期母子医療センター	159	26.7%
一般病院	361	60.7%
無回答	16	2.7%

○医療機能別施設の病院全体の許可病床数

病床数	20～99	100～199	200～299	300～399	400～499	500～599	600～699	700～799	800～899	900～999	1000以上	無回答	
総合周産期		1	3	3	8	2	9	10	8	4	13		61 10.3%
地域周産期	1	5	9	27	40	29	19	9	7	8	5		159 26.7%
一般	44	56	68	76	56	28	20	4	3		2		361 60.7%
無回答		3	1	5	2	2	1						16 2%
	45 7.6%	65 10.9%	81 13.6%	111 18.7%	106 17.8%	61 10.3%	49 8.2%	23 3.9%	18 3.0%	12 2.0%	20 3.4%	4 0.7%	597 100%

○医療機能別施設の年間分娩件数

件数	0	1～100	101～300	301～500	501～800	801～1000	1001～1500	1501～2000	2001以上	無回答	範囲 平均
総合周産期	0	0	4	12	22	8	10	4	1		112-2810 781.9
地域周産期	0	1	23	49	53	24	7	2			20-1975 570.2
一般	11	37	121	96	61	14	13	6	2		8-2533 396.5
無回答	1	1	6	2	4					2	28-755 282.4
	12 2.0%	39 6.5%	154 25.8%	159 26.6%	140 23.5%	46 7.7%	30 5.0%	12 2.0%	3 0.5%	2 0.3%	597 100%

○回答病院の総年間分娩件数

	総合周産期	地域周産期	一般	病院合計
年間分娩件数	47,697	90,662	143,127	286,004
2012年病院における出生数(546,793)に対する割合				52.3%

○産科関連病棟の常勤助産師数

人数	0人	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	31~40	41~50	51以上	無回答	範囲 平均
総合 周産期			1	8	6	10	5	21	3	7		9-95 31.6
地域 周産期		2	16	22	38	34	23	18	1	5		2-95 22.0
一般	3	46	108	85	56	29	14	10	4		6	0-50 13.0
無回答		1	6	4	1	1	1				2	2-28 10.6
	3 0.5%	49 8.2%	131 21.9%	119 19.9%	101 16.9%	74 12.4%	43 7.2%	49 8.2%	8 1.3%	12 2.0%	8 1.3%	597 100%

2) 診療所の属性

○都道府県別回答施設数と回収率

全国平均 355 施設 / 1610 施設 (回収率 : 22.0%)								
都道府県	回収数 / 配付数	回収率	都道府県	回収数 / 配付数	回収率	都道府県	回収数 / 配付数	回収率
山口県	10 / 18	55.6%	島根県	2 / 8	25.0%	東京都	17 / 105	16.2%
和歌山県	7 / 15	46.7%	大阪府	22 / 89	24.7%	群馬県	4 / 25	16.0%
栃木県	14 / 32	43.8%	広島県	8 / 33	24.2%	岩手県	4 / 26	15.4%
石川県	7 / 17	41.2%	大分県	6 / 25	24.0%	岡山県	4 / 26	15.4%
北海道	15 / 46	32.6%	福岡県	23 / 96	24.0%	徳島県	2 / 13	15.4%
鹿児島県	10 / 31	32.3%	長崎県	9 / 38	23.7%	熊本県	6 / 39	15.4%
長野県	7 / 23	30.4%	茨城県	8 / 36	22.2%	埼玉県	11 / 79	13.9%
三重県	7 / 25	28.0%	沖縄県	4 / 18	22.2%	宮崎県	4 / 29	13.8%
香川県	3 / 11	27.3%	滋賀県	6 / 29	20.7%	神奈川県	9 / 66	13.6%
高知県	3 / 11	27.3%	宮城県	6 / 30	20.0%	愛媛県	3 / 25	12.0%
兵庫県	19 / 71	26.8%	新潟県	5 / 25	20.0%	奈良県	2 / 21	9.5%
京都府	9 / 34	26.5%	鳥取県	2 / 10	20.0%	佐賀県	2 / 21	9.5%
青森県	5 / 19	26.3%	福島県	6 / 31	19.4%	山形県	1 / 14	7.1%
山梨県	2 / 8	25.0%	静岡県	9 / 48	18.8%	富山県	1 / 14	7.1%
岐阜県	8 / 32	25.0%	福井県	2 / 11	18.2%	秋田県	0 / 11	0.0%
愛知県	24 / 96	25.0%	千葉県	14 / 80	17.5%	不明	3	

○回答診療所の病床数

床数	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21以上	無回答	
診療所数 (率)	2 (0.6%)	15 (4.2%)	78 (22.0%)	107 (30.1%)	141 (39.75%)	3 (0.8%)	9 (2.5%)	355 (100%)

○回答診療所の年間分娩件数

件数	0	1～100	101～300	301～500	501～800	801～1000	1001～1500	1501～2000	無回答	
診療所数 (率)	2 (0.6%)	22 (6.2%)	98 (27.6%)	122 (34.4%)	66 (18.6%)	19 (5.4%)	7 (2.0%)	1 (0.3%)	18 (5.1%)	355 100%

(平均411.2件、範囲0件～1521件)

○回答診療所の総年間分娩件数

		診療所の総年間分娩件数
年間分娩件数		47,697
2012年診療所における出生数(480,262)に対する割合		9.9%

○回答診療所の常勤助産師人数

人数	0	1	2	3	4	5	6	7	8以上	無回答	
診療所数 (率)	25 (7.0%)	51 (14.3%)	48 (13.5%)	41 (11.5%)	35 (9.9%)	29 (8.2%)	37 (10.4%)	20 (5.6%)	61 (17.2%)	8 (2.3%)	355 100%

(平均4.7人、範囲0人～34人)

3) 助産師の属性

○都道府県別回答助産師数と回収率

全国平均 7780施設/21437施設 (回収率: 36.3%)								
都道府県	回収数/配付数	回収率	都道府県	回収数/配付数	回収率	都道府県	回収数/配付数	回収率
和歌山県	93/188	49.5%	鳥取県	51/183	27.9%	福岡県	174/781	22.3%
栃木県	112/275	40.7%	福井県	50/183	27.3%	東京都	363/1644	22.1%
山口県	123/309	39.8%	愛知県	309/1156	26.7%	秋田県	65/299	21.7%
島根県	83/215	38.6%	群馬県	87/331	26.3%	岩手県	61/283	21.6%
滋賀県	90/234	38.5%	北海道	286/1094	26.1%	三重県	60/287	20.9%
長野県	185/537	34.5%	大分県	39/151	25.8%	新潟県	119/570	20.9%
香川県	84/248	33.9%	静岡県	174/685	25.4%	埼玉県	138/698	19.8%
高知県	46/137	33.6%	富山県	90/360	25.0%	茨城県	71/363	19.6%
石川県	90/272	33.1%	熊本県	72/300	24.0%	京都府	101/526	19.2%
岡山県	112/355	32.5%	兵庫県	208/868	24.0%	徳島県	36/189	19.0%
大阪府	467/1506	31.0%	長崎県	49/206	23.8%	千葉県	131/691	19.0%
山梨県	52/172	30.2%	広島県	112/471	23.8%	神奈川県	229/1230	18.6%
奈良県	77/257	30.0%	山形県	85/361	23.5%	青森県	58/315	18.4%
宮崎県	62/210	29.5%	岐阜県	89/383	23.2%	愛媛県	33/196	16.8%
福島県	91/322	28.3%	宮城県	136/604	22.5%	沖縄県	58/351	16.5%
鹿児島県	85/303	28.1%	佐賀県	31/138	22.5%	不明	2363	

○回答助産師の年齢

年代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	総計
人数 (率)	1639 (21.1%)	2103 (27.0%)	2091 (26.9%)	1450 (18.6%)	243 (3.1%)	37 (0.5%)	216 (2.8%)	7780 (100%)

○回答助産師の経験年数

年数	1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	15～20年	21～25年	26～30年	31年以上	無回答	総計
人数 (率)	262 (3.4%)	1536 (19.7%)	1044 (13.4%)	807 (10.4%)	671 (8.6%)	484 (6.2%)	350 (4.5%)	168 (2.2%)	2458 (31.6%)	7780 (100%)

○回答助産師の役職

役職	看護部長	看護副部長	看護師長	副看護師長 主任	スタッフ	その他	無回答	総計
人数 (率)	19 (0.2%)	42 (0.5%)	374 (4.8%)	822 (10.6%)	4100 (52.7%)	33 (0.4%)	2389 (30.7%)	7780 (100%)

○回答助産師の所属先施設

施設	(産科関連病棟) 病院	病院(MFICU)	(産科関連病棟) 有床診療所	病院(産科外来)	病院(NICU)	(産科外来) 有床診療所	無床診療所	助産所	教育機関	その他	無回答	総計
人数 (率)	4699 (60.4%)	391 (5.0%)	313 (4.0%)	334 (4.3%)	317 (4.1%)	28 (0.4%)	30 (0.4%)	32 (0.4%)	635 (8.2%)	998 (12.8%)	3 (0.04%)	7780 (100%)

○病院(産科関連病棟)所属助産師の所属医療機能別施設

医療機能	総合周産期 母子医療センター	地域周産期 母子医療センター	周産期医療センター 以外の病院	無回答	総計
人数 (率)	1128 (14.5%)	1415 (18.2%)	2399 (30.8%)	2838 (36.5%)	7780 (100%)

○現在の病棟における、1年間の分娩介助件数(件)

件数	0	1～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60
人数 (率)	552 (7.1%)	1360 (17.5%)	1135 (14.6%)	759 (9.8%)	370 (4.8%)	315 (4.0%)	130 (1.7%)
件数	61～70	71～80	81～90	91～100	101以上	無回答	総計
人数 (率)	82 (1.1%)	56 (0.7%)	26 (0.3%)	62 (0.8%)	91 (1.2%)	2842 (36.5%)	7780 (100%)

○今までの累積分娩介助件数（件）

件数	0	1～50	51～100	101～ 200	201～ 300	301～ 400	401～ 500	501～	無回答	総計
人数 (率)	123 (1.6%)	798 (10.3%)	702 (9.0%)	871 (11.2%)	548 (7.0%)	352 (4.55)	350 (4.55)	968 (12.4%)	3068 (39.4%)	7780 (100%)

Ⅲ. 調査結果全体の概要と今後の方向性

調査の結果から、本調査で目的としていた5点について結果の概要を示す。

1. 助産実習の受け入れの可能性について（病院調査・診療所調査）

助産実習の受け入れは、456 病院中 318 病院 (69.7%) と、334 診療所中 47 診療所 (14.1%) で実施されていた。病院と診療所ともに助産実習の受け入れに必要な条件として、「勤務助産師の増員」(病院：71.5%、診療所：55.3%)、もしくは「実習指導のための人員確保」(病院：55.0%、診療所：48.9%) をあげていた。

2. 産科混合病棟の実態について（病院調査・助産師調査）

本調査に回答した 595 病院のうち 453 病院 (76.1%) が産科混合病棟であり、そのうち産婦人科病棟は 92 病院 (20.3%) で、他 361 病院 (79.7%) は婦人科だけではなくそれ以外の他診療科との産科混合病棟であった。産科混合病棟である 453 病院中 412 病院 (90.9%) では他科患者の入院時のルールや基準が設けられていたが、「男性は除外」は 409 病院中 355 病院 (86.8%) が、「感染疑い・感染患者は除外」は 351 病院 (85.8%) が設けていたが、母子が入院する病棟として、必ずしもこれらのルールが設けられていない実態が明らかになった。また、産科混合病棟 453 病院のうち、327 病院 (72.2%) の助産師が、「産科と他科の患者を同時に受け持つことがある」ことが明らかになった。

3. 妊産褥婦のリスク特性について（病院調査）

平成 24 年 8 月 1 日時点における、周産期医療機能別病院に入院している妊産婦を、中林の妊娠リスクスコアに基づいてスコアをつけてもらい、妊産婦のリスクの実態を明らかにした。総合周産期母子医療センターに入院していた 210 人の妊婦のうち、超高リスク群の妊婦は 55 人 (26.2%)、高リスク群の妊婦は 57 人 (27.1%) であり、地域総合周産期医療センターに入院していた 664 人の妊産婦のうち超高リスク群の妊婦は 87 人 (13.1%)、高リスク群の妊婦は 177 人 (26.7%)、一般病院に入院していた 746 人の妊婦のうち超高リスク群の妊婦は 41 人 (9.0%)、高リスク群の妊婦は 80 人 (10.7%) であった。これより、いずれの医療機能別施設においても高リスク群、超高リスク群がいることが明らかになった。また、総合周産期母子医療センターにおいても、低リスク群の妊婦 28 人 (13.3%) が入院していた。高度医療機能施設においても一定数の低リスク妊産婦がおり、医療計画に基づいた周産期医療体制における病院の機能分化が必ずしも守られていないことが明らかになった。

4. 分娩取扱い施設と助産師の、助産師出向への意向について（病院調査・診療所調査・助産師調査）

全国では77病院（3.4%）で助産師の出向経験があり、128人（3.3%）の助産師が出向した経験があった。また、56の病院（11.3%）と15の診療所（4.3%）で出向助産師を受け入れた経験があった。また、131の診療所（39.8%）が、助産師の出向を受け入れたいと希望していた。

病院が他施設へ助産師を出向する条件や前提として、「助産師の給与が減額にならない」（482病院、97.0%）ことや、「出向期間が在職期間に含まれる」（481病院、96.8%）ことであった。助産師の、他施設へ出向する条件や前提として「家族の理解や協力がある」（3343人、85.7%）こと、「給与が減額にならない」（3703人、95.0%）ことであった。診療所が助産師の出向を受け入れる条件や前提として、「診療所の規程内の給与であれば」（113診療所、88.3%）、「診療所の業務形態に合わせられれば」（97診療所、75.8%）、であった。

5. 助産師の就業継続意思について（助産師調査）

助産師2,395人のうち、703人（29.4%）が現在の職場から離職を考えていることが明らかになった。「現在の職場から離職を考えている」助産師33人（35.1%）が臨床経験1～5年目であった。また、現在の職場で働き続けたい助産師でも、1,106人（62.8%）が「期限を決めて働き続けたい」としており、その期限は平均3.2年であった。勤務先でみると、総合周産期母子医療センターのMFICUに勤務している助産師237人のうち、81人（34.2%）が離職を考えていることが明らかとなった。

また、「現在勤務している病院で看護師として働きたい」と考えている94人の助産師は、現在勤務している施設に就職した理由を「自宅からの通勤の便が良い」25人（26.6%）、「出身地と同じ都道府県である」11人（11.7%）としている人が全体平均より高かった。

また、助産師7,780人の回答をもとに、助産師のライフサイクルにおいて、助産師自身のライフイベントと助産実践経験を当てはめ、キャリアパスを作成した。

6. 今後の方向性

本調査結果から、日本看護協会は今後以下の領域に注力し、安全・安心な出産環境の整備に向けた施策を講じる。

- ◆ 妊産婦のリスクに応じた助産師の適正配置についての政策提言
- ◆ 助産師出向システムの制度化を目指した政策提言
- ◆ 産科混合病棟におけるユニットマネジメントについての政策提言
- ◆ 助産師のキャリアパスや助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）、教育プログラムを提示し、臨床で十分に応用できることを確認・評価しながら、より実効性・有効性を高めていく仕組み作りの展開
- ◆ 助産師業務のあるべき姿の提言

- ◆ 急激に変化している出産環境や助産師の養成および育成環境に応じた助産師業務のあり方についての検討

第 2 章 調査結果

平成 24 年度

助産師の出向システムと助産実習の
受け入れ可能性等に関する調査

病院対象

単純統計 結果

これより、病院を対象とした調査の単純集計結果を記す。単純集計は、本調査に回答いただいた全数を集計した結果となっている。しかし、本調査の結果分析にあたり、有効回答を以下の通りとしており、分析の結果と単純集計結果を解釈する際には留意いただきたい。

病院を対象としている本結果では、有効回答の条件を以下のように定めた。

セクション	有効回答条件
I	問 1 (所在地の県名記載があれば有効)、問 2、問 3、問 4、問 5、問 6、問 7 が回答されている
II	問 1、問 2、問 3、問 4、問 5、問 6 のセクション 1~4 まで回答されている
III	問 1、問 2、問 3 (兼務している助産師数は記載がなくても有効)、問 4、問 9、問 12、問 13、問 14、問 19 が回答されている
IV	問 1 (件数、率のどちらかが記載されていれば有効)、問 3、問 4、問 5、問 6 (母子同室の開始時期がなくても有効) が回答されている
V	問 1、問 2、問 3、問 4、問 5 (ローテーション期間の記載がなくても有効)、問 6、問 7 (面接の回数がなくても有効)、問 8、問 10 (配置状況のみ回答していても有効)、問 13 が回答されている
VI	すべての問が回答されている、ただし問 2 の受け持ち回数や問 4 の他科の患者との同日は回答されていなくても有効
VII	問 1、問 2、問 3、問 4、問 5、問 6、問 7、問 8、問 9、問 10 (問 10-1~問 10-3 は回答がなくても有効) が回答されている。
VIII	すべてに回答されている
IX	問 1、問 2、問 3、混合病棟問 1、問 2、問 3 が回答されている

セクション	病院 (N=595)		
	有効回答母数	有効回答数	有効回答率
I	595	500	84.0%
II	595	389	65.4%
III	595	385	64.7%
IV	595	536	90.1%
V	595	456	76.6%
VI	595	453	76.1%
VII	595	426	71.6%
VIII	595	212	35.6%
IX	61	56	91.8%
X	460	278	60.4%

I. 病院の概要

1) 所在地 (問 1)

(施設)

		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
n数	595	37	9	7	9	8	10	12	6
率(%)	100	6.2	1.5	1.2	1.5	1.3	1.7	2	1

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
8	9	17	20	46	30	16	11	15	6
1.3	1.5	2.9	3.4	7.7	5	2.7	1.8	2.5	1

山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
7	16	9	17	30	8	11	9	30	25
1.2	2.7	1.5	2.9	5	1.3	1.8	1.5	5	4.2

奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
3	8	5	7	14	14	15	5	11	6
0.5	1.3	0.8	1.2	2.4	2.4	2.5	0.8	1.8	1

高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
2	16	2	8	10	5	6	10	10	0
0.3	2.7	0.3	1.3	1.7	0.8	1	1.7	1.7	0

2) 設置主体 (問 2)

(施設)

		(厚生労働省)	独立行政法人 院機構 国立病	国立大学法人	労働者健康福祉機構 独立行政法人	国(その他の 独立行政法人)	地方独立行政法人	都道府県	市町村	日本赤十字社
n数	595	0	26	31	9	1	28	25	130	49
率(%)	100	0	4.4	5.2	1.5	0.2	4.7	4.2	21.8	8.2

	済生会	北海道社会事業協会	全国厚生農業 協同組合連合会	国民健康保険 団体連合会	全国社会保険 協会連合会	厚生年金事業振興団	船員保険会	健康保険組合及び その連合会	共済組合及び その連合会	国民健康保険組合
n数	21	2	38	1	11	4	0	3	7	1
率(%)	3.5	0.3	6.4	0.2	1.8	0.7	0	0.5	1.2	0.2

	医療法人	私立学校法人	その他の法人	会社	医師会	社会福祉法人	医療生協	個人	その他	無回答
n数	98	34	30	7	1	12	8	2	12	4
率(%)	16.5	5.7	5	1.2	0.2	2	1.3	0.3	2	0.7

3) 施設種類 (問 3) (複数回答)

(施設)

		単科病院	を複 有数 すの 診院 病療 院科 など	支地 援域 病医 院療	特 定 機 能 病 院	無 回 答
n数	595	39	464	146	72	4
率(%)	100	6.6	78	24.5	12.1	0.7

4) 病院機能 (問 4)

(施設)

		総 合 周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー	地 域 周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー	一 般 病 院	無 回 答
n数	595	62	159	361	13
率(%)	100	10.4	26.7	60.7	2.2

総合周産期母子医療センター内の、MFICU病床数

(施設)

		1~5床	6~10床	11~15床	16~20床	21床~	無回答
n数	62	6	52	3	0	0	1
率(%)	100	9.7	83.9	4.8	0	0	1.6

5) 病院全体の許可病床数 (問 5)

(施設)

		20~99床	100~199床	200~299床	300~399床	400~499床
n数	595	47	65	81	111	105
率(%)	100	7.9	10.9	13.6	18.7	17.6
500~599床	600~699床	700~799床	800~899床	900~999床	1000床以上	無回答
61	49	23	18	12	20	3
10.3	8.2	3.9	3	2	3.4	0.5

6) 一般病棟の入院基本料算定状況 (問 6)

(施設)

		7対1	10対1	13対1	15対1	無回答
n数	595	449	136	2	1	7
率(%)	100	75.5	22.9	0.3	0.2	1.2

7) 平成23年度に算定した加算について、該当するもの(問7)(複数回答)

(施設)

		ハイリスク妊娠 管理加算	ハイリスク分娩 管理加算	妊産婦緊急搬送 入院加算	ハイリスク妊産 婦共同管理料 I	ハイリスク妊産 婦共同管理料 II	急性期看護補助 体制加算1 (50対1)	急性期看護補助 体制加算2 (70対1)	無 回 答
n数	595	440	364	309	54	34	278	35	77
率(%)	100	73.9	61.2	51.9	9.1	5.7	46.7	5.9	12.9

II. 平成24年8月1日現在の職員状況

1) 助産師免許所持者について(問1)

病院全体で助産師免許を有している人数 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	2	45	93	112	95	61	48	135	4	22.1
率(%)	100	0.3	7.6	15.6	18.8	16	10.3	8.1	22.7	0.7	

周産期関連病棟に配属されてる人数 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	12	52	103	119	94	66	51	87	11	18.9
率(%)	100	2	8.7	17.3	20	15.8	11.1	8.6	14.6	1.8	

分娩の直接介助を行っている人数 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	4	54	149	136	102	62	31	41	16	15.3
率(%)	100	0.7	9.1	25	22.9	17.1	10.4	5.2	6.9	2.7	

周産期関連以外の部署に配属されている人数 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	202	301	41	22	7	2	2	0	18	2.5
率(%)	100	33.9	50.6	6.9	3.7	1.2	0.3	0.3	0	3	

2) 就業規則で定められた週休形態(問2)

(施設)

		完全週 休2日制	月3回週 休2日制	月2回週 休2日制	月1回週 休2日制	週休1日 半制	週休1日 制	その他	無回答
n数	595	470	25	44	4	3	0	39	10
率(%)	100	79	4.2	7.4	0.7	0.5	0	6.6	1.7

3) 研修責任者の配置有無(問3)

(施設)

		配置あり	配置なし	無回答
n数	595	39	464	92
率(%)	100	6.6	78	15.5

- 4) 平成23年4月～24年3月の病院全体の常勤看護職及び産科関連病棟の離職状況
病院全体の常勤看護職について（問4-1）

平成23年度常勤看護職退職者数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	14	65	58	50	59	93	66	48	32	22	45	43
率(%)	100	2.4	10.9	9.7	8.4	9.9	15.6	11.1	8.1	5.4	3.7	7.6	7.2

平成23年度当初の在籍看護職員数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	2	4	4	2	3	16	6	11	7	5	494	41
率(%)	100	0.3	0.7	0.7	0.3	0.5	2.7	1	1.8	1.2	0.8	83	6.9

平成23年度末の在籍看護職員数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	1	2	6	2	5	16	9	12	4	6	488	44
率(%)	100	0.2	0.3	1	0.3	0.8	2.7	1.5	2	0.7	1	82	7.4

- 5) 病院全体の常勤新卒看護職について（問4-2）

平成23年度の新卒看護職退職者数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	219	286	42	10	3	2	0	0	1	0	1	31
率(%)	100	36.8	48.1	7.1	1.7	0.5	0.3	0	0	0.2	0	0.2	5.2

平成23年度の新卒看護職採用者数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	43	92	57	58	41	76	62	42	22	21	46	35
率(%)	100	7.2	15.5	9.6	9.7	6.9	12.8	10.4	7.1	3.7	3.5	7.7	5.9

- 6) 産科関連病棟の常勤助産師について（問4-3）

平成23年度常勤助産師退職者数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答
n数	595	216	341	23	6	0	0	0	0	0	0	9
率(%)	100	36.3	57.3	3.9	1	0	0	0	0	0	0	1.5

平成23年度当初の在籍助産師職員数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	6	50	120	125	82	127	42	8	9	3	6	17
率(%)	100	1	8.4	20.2	21	13.8	21.3	7.1	1.3	1.5	0.5	1	2.9

平成23年度末の在籍助産師職員数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答	
n数	595	5	53	128	124	94	110	37	12	4	5	4	19
率(%)	100	0.8	8.9	21.5	20.8	15.8	18.5	6.2	2	0.7	0.8	0.7	3.2

- 7) 産科関連病棟の常勤新卒助産師について（問4-4）

平成23年度の新卒助産師退職者数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答
n数	595	518	69	0	0	0	0	0	0	0	0	8
率(%)	100	87.1	11.6	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3

平成23年度の新卒助産師採用者数 (施設)

	0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～30人	31～40人	41～50人	51～60人	61～70人	71人以上	無回答
n数	595	221	329	32	3	0	1	0	0	0	0	9
率(%)	100	37.1	55.3	5.4	0.5	0	0.2	0	0	0	0	1.5

8) 産科関連病棟の常勤看護師について (問 4-5)

平成23年度常勤看護師退職者数													(施設)
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	
n数	595	279	290	9	0	1	1	0	1	0	0	13	
率(%)	100	46.9	48.7	1.5	0	0.2	0.2	0	0.2	0	0	2.2	

平成23年度当初の在籍看護師数													(施設)
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	
n数	595	47	102	129	124	86	62	14	2	1	0	6	
率(%)	100	7.9	17.1	21.7	20.8	14.5	10.4	2.4	0.3	0.2	0	1	

平成23年度末の在籍看護師数													(施設)
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	
n数	595	50	116	135	119	78	56	9	3	0	0	7	
率(%)	100	8.4	19.5	22.7	20	13.1	9.4	1.5	0.5	0	0	1.2	

9) 産科関連病棟の常勤新卒看護師について (問 4-6)

平成23年度の常勤新卒看護師退職者数													(施設)
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	
n数	595	530	55	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
率(%)	100	89.1	9.2	0	0	0	0	0	0	0	0	1.7	

平成23年度の新卒看護師採用者数													(施設)
	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	
n数	595	298	270	5	4	1	4	1	0	0	1	0	
率(%)	100	50.1	45.4	0.8	0.7	0.2	0.7	0.2	0	0	0.2	0	

Ⅲ. 平成24年8月1日現在の産科関連病棟の概要

1) 産科関連病棟の診療科状況 (問1)

(施設)

		産科 単独 病棟	産科と婦人科 みの 混合 病棟	産婦人科 以外の診療科も 含む 混合 病棟	無 回 答
n数	595	111	125	335	24
率(%)	100	18.7	21	56.3	4

2) 産科関連病棟の病床数 (問2)

産科単独病棟全体の病床数

(施設)

		0床	1~5床	6~10床	11~15床	16~20床	21~25床
n数	111	0	1	0	6	13	22
率(%)	100	0	0.9	0	5.4	11.7	19.8
	26~30床	31~35床	36~40床	41~45床	46~50床	51床以上	無回答
n数	24	16	11	6	5	7	0
率(%)	21.6	14.4	9.9	5.4	4.5	6.3	0
							平均
							30.9

産科混合病棟の場合の全病床数

(施設)

		0床	1~5床	6~10床	11~15床	16~20床	21~25床
n数	460	91	0	0	0	0	0
率(%)	100	19.8	0	0	0	0	0
	26~30床	31~35床	36~40床	41~45床	46~50床	51床以上	無回答
n数	0	0	0	0	0	0	369
率(%)	0	0	0	0	0	0	80.2

産科混合病棟のうちの産科の病床数

(施設)

		0床	1~5床	6~10床	11~15床	16~20床	21~25床
n数	460	71	0	0	0	0	0
率(%)	100	15.4	0	0	0	0	0
	26~30床	31~35床	36~40床	41~45床	46~50床	51床以上	無回答
n数	0	0	0	0	0	0	389
率(%)	0	0	0	0	0	0	84.6

3) 産科外来と産科関連病棟の助産師配置 (問3)

(施設)

		一 元 管 理 で あ る	産科 はの 科別 助外 で産 来あ 師と る配 病	無 回 答
n数	595	341	245	9
率(%)	100	57.3	41.2	1.5

4) 産科関連病棟勤務の看護職員数 (問4)

常勤助産師 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	49	131	119	101	74	43	69	8	17.5
率(%)	100	0.2	8.2	22	20	17	12.4	7.2	11.6	1.3	

常勤看護師 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	38	119	151	134	77	24	13	11	28	10.6
率(%)	100	6.4	20	25.4	22.5	12.9	4	2.2	1.8	4.7	

常勤准看護師 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	311	153	11	2	0	1	0	1	116	0.9
率(%)	100	52.3	25.7	1.8	0.3	0	0.2	0	0.2	19.5	

常勤看護補助者 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	144	316	25	1	1	1	1	0	106	1.9
率(%)	100	24.2	53.1	4.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0	17.8	

非常勤助産師 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	174	273	23	4	0	0	0	0	121	1.5
率(%)	100	29.2	45.9	3.9	0.7	0	0	0	0	20.3	

非常勤看護師 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	255	172	6	1	0	0	0	0	161	0.8
率(%)	100	42.9	28.9	1	0.2	0	0	0	0	27.1	

非常勤准看護師 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	349	58	0	1	0	0	1	0	186	0.3
率(%)	100	58.7	9.7	0	0.2	0	0	0.2	0	31.3	

非常勤看護補助者 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	165	259	8	0	0	0	0	0	163	1.4
率(%)	100	27.7	43.5	1.3	0	0	0	0	0	27.4	

上記のうち、産休・育休・休職・長期研修中の常勤助産師数 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	194	245	6	1	0	1	0	0	148	1.2
率(%)	100	32.6	41.2	1	0.2	0	0.2	0	0	24.9	

5) 産科外来勤務の看護職員数 (問5)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	132	281	9	3	3	1	1	1	164	1.7
率(%)	100	22.2	47.2	1.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.2	27.6	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	132	251	11	1	2	0	0	0	198	1.4
率(%)	100	22.2	42.2	1.8	0.2	0.3	0	0	0	33.3	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	256	60	1	0	0	0	0	0	278	0.3
率(%)	100	43	10.1	0.2	0	0	0	0	0	46.7	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	250	74	0	0	0	0	0	0	271	0.3
率(%)	100	42	12.4	0	0	0	0	0	0	45.5	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	174	197	0	0	0	0	0	0	224	0.8
率(%)	100	29.2	33.1	0	0	0	0	0	0	37.6	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	151	187	6	2	0	0	0	0	249	1
率(%)	100	25.4	31.4	1	0.3	0	0	0	0	41.8	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	237	61	1	1	0	0	0	0	295	0.3
率(%)	100	39.8	10.3	0.2	0.2	0	0	0	0	49.6	

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	220	91	1	0	0	0	0	0	283	0.4
率(%)	100	37	15.3	0.2	0	0	0	0	0	47.6	

6) MFICU 勤務の看護職員数 (問 6)

(施設)

常勤助産師		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	12	6	12	20	18	4	2	1	520	11.5
率(%)	100	2	1	2	3.4	3	0.7	0.3	0.2	87.4	

(施設)

常勤看護師		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	38	22	4	3	0	0	0	0	528	1.8
率(%)	100	6.4	3.7	0.7	0.5	0	0	0	0	88.7	

(施設)

常勤准看護師		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	61	0	0	0	0	0	0	0	534	0
率(%)	100	10.3	0	0	0	0	0	0	0	89.7	

(施設)

常勤看護補助者		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	57	6	0	0	0	0	0	0	532	0.2
率(%)	100	9.6	1	0	0	0	0	0	0	89.4	

(施設)

非常勤助産師		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	51	7	0	0	0	0	0	0	537	0.1
率(%)	100	8.6	1.2	0	0	0	0	0	0	90.3	

(施設)

非常勤看護師		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	53	2	0	0	0	0	0	0	540	0
率(%)	100	8.9	0.3	0	0	0	0	0	0	90.8	

(施設)

非常勤准看護師		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	55	0	0	0	0	0	0	0	540	0
率(%)	100	9.2	0	0	0	0	0	0	0	90.8	

(施設)

非常勤看護補助者		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	49	6	0	0	0	0	0	0	540	0.1
率(%)	100	8.2	1	0	0	0	0	0	0	90.8	

8) 産科医師数 (問 8)

常勤産科医(男性)		(施設)									
		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	32	485	63	12	2	0	0	1	0	3.3
率(%)	100	5.4	81.5	10.6	2	0.3	0	0	0.2	0	

常勤産科医(女性)		(施設)									
		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	182	370	38	4	1	0	0	0	0	1.9
率(%)	100	30.6	62.2	6.4	0.7	0.2	0	0	0	0	

常勤小児科医		(施設)									
		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	126	317	81	35	15	10	6	5	0	4.7
率(%)	100	21.2	53.3	13.6	5.9	2.5	1.7	1	0.8	0	

非常勤産科医(男性)		(施設)									
		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	397	187	8	1	1	0	1	0	0	0.8
率(%)	100	66.7	31.4	1.3	0.2	0.2	0	0.2	0	0	

非常勤産科医(女性)		(施設)									
		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	426	168	1	0	0	0	0	0	0	0.5
率(%)	100	71.6	28.2	0.2	0	0	0	0	0	0	

非常勤小児科医		(施設)									
	該当者数	0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	425	140	21	5	4	0	0	0	0	0.9
率(%)	100	71.4	23.5	3.5	0.8	0.7	0	0	0	0	

9) 産科関連病棟勤務の常勤助産師：年齢階層別人数（問9）

25歳未満 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	58	284	67	17	2	2	0	0	165	3.5
率(%)	100	9.7	47.7	11.3	2.9	0.3	0.3	0	0	27.7	
25-29歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	33	284	115	35	13	2	4	1	108	5.1
率(%)	100	5.5	47.7	19.3	5.9	2.2	0.3	0.7	0.2	18.2	
30-34歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	16	380	81	17	2	2	1	0	96	3.7
率(%)	100	2.7	63.9	13.6	2.9	0.3	0.3	0.2	0	16.1	
35-39歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	21	418	54	0	0	0	0	1	101	2.8
率(%)	100	3.5	70.3	9.1	0	0	0	0	0.2	17	
40-44歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	34	428	24	0	0	0	0	0	109	2.4
率(%)	100	5.7	71.9	4	0	0	0	0	0	18.3	
45-49歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	47	392	5	1	0	1	0	0	149	1.9
率(%)	100	7.9	65.9	0.8	0.2	0	0.2	0	0	25	
50-54歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	68	360	0	1	0	0	0	0	166	1.5
率(%)	100	11.4	60.5	0	0.2	0	0	0	0	27.9	
55-59歳 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	115	215	0	0	0	0	0	0	265	0.9
率(%)	100	19.3	36.1	0	0	0	0	0	0	44.5	
60歳以上 (施設)											
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	183	45	0	0	0	0	0	0	367	0.2
率(%)	100	30.8	7.6	0	0	0	0	0	0	61.7	

10) 分娩・産褥における助産師の役割 (問 10)

分娩第1期は助産師が担当する (施設)

		はい	いいえ	無回答
n数	595	558	25	12
率(%)	100	93.8	4.2	2

分娩第1期に助産師が担当するために必要と考える人数 (施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	62	264	32	13	4	220	2.2
率(%)	100	10.4	44.4	5.4	2.2	0.7	37	

分娩の直接介助者は助産師である (施設)

		はい	いいえ	無回答
n数	595	577	8	10
率(%)	100	97	1.3	1.7

分娩の直接介助者が助産師であるために必要と考える人数 (施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	67	267	29	14	4	214	2.2
率(%)	100	11.3	44.9	4.9	2.4	0.7	36	

産褥0・1・2日は助産師が担当する (施設)

		はい	いいえ	無回答
n数	595	343	238	14
率(%)	100	57.6	40	2.4

産褥0・1・2日に助産師が担当するために必要と考える人数 (施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	52	261	58	27	5	192	2.7
率(%)	100	8.7	43.9	9.7	4.5	0.8	32.3	

11) 過去3年間の、産科関連病棟における助産師採用状況(問11)

採用予定数 助産師 平成22年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	70	270	34	4	1	2	0	1	213	3.1
率(%)	100	11.8	45.4	5.7	0.7	0.2	0.3	0	0.2	35.8	

採用予定数 助産師 平成23年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	58	286	41	2	1	2	0	1	204	3.1
率(%)	100	9.7	48.1	6.9	0.3	0.2	0.3	0	0.2	34.3	

採用予定数 助産師 平成24年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	68	277	43	3	3	2	0	1	198	3.2
率(%)	100	11.4	46.6	7.2	0.5	0.5	0.3	0	0.2	33.3	

実際の採用数 常勤の新卒助産師 平成22年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	195	285	17	3	1	0	0	0	94	1.5
率(%)	100	32.8	47.9	2.9	0.5	0.2	0	0	0	15.8	

実際の採用数 常勤の新卒助産師 平成23年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	166	327	30	4	1	0	0	0	67	1.9
率(%)	100	27.9	55	5	0.7	0.2	0	0	0	11.3	

実際の採用数 常勤の新卒助産師 平成24年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	166	329	34	4	0	0	0	0	62	1.9
率(%)	100	27.9	55.3	5.7	0.7	0	0	0	0	10.4	

実際の採用数 常勤助産師 平成22年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	226	185	5	1	0	1	0	0	177	0.9
率(%)	100	38	31.1	0.8	0.2	0	0.2	0	0	29.7	

実際の採用数 常勤助産師 平成23年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	213	216	5	2	0	0	0	1	158	1
率(%)	100	35.8	36.3	0.8	0.3	0	0	0	0.2	26.6	

実際の採用数 常勤助産師 平成24年度 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	232	201	5	2	0	0	1	0	154	0.9
率(%)	100	39	33.8	0.8	0.3	0	0	0.2	0	25.9	

実際の採用数 パートタイム・非常勤の助産師 平成22年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	288	79	2	0	0	0	0	0	226	0.3
率(%)	100	48.4	13.3	0.3	0	0	0	0	0	38	

実際の採用数 パートタイム・非常勤の助産師 平成23年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	289	104	4	0	0	0	0	0	198	0.4
率(%)	100	48.6	17.5	0.7	0	0	0	0	0	33.3	

実際の採用数 パートタイム・非常勤の助産師 平成24年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	313	83	1	0	0	0	0	0	198	0.3
率(%)	100	52.6	13.9	0.2	0	0	0	0	0	33.3	

新規採用以外で勤務している常勤・非常勤の助産師数 平成22年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	91	52	60	72	45	35	13	22	205	11.6
率(%)	100	15.3	8.7	10.1	12.1	7.6	5.9	2.2	3.7	34.5	

新規採用以外で勤務している常勤・非常勤の助産師数 平成23年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	88	60	63	76	45	31	22	25	185	11.8
率(%)	100	14.8	10.1	10.6	12.8	7.6	5.2	3.7	4.2	31.1	

新規採用以外で勤務している常勤・非常勤の助産師数 平成24年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	95	50	67	67	45	40	27	27	177	12.4
率(%)	100	16	8.4	11.3	11.3	7.6	6.7	4.5	4.5	29.7	

常勤・非常勤 助産師数の合計 平成22年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	27	106	64	84	59	44	36	39	136	14.4
率(%)	100	4.5	17.8	10.8	14.1	9.9	7.4	6.1	6.6	22.9	

常勤・非常勤 助産師数の合計 平成23年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	23	109	69	82	63	45	33	52	119	15.2
率(%)	100	3.9	18.3	11.6	13.8	10.6	7.6	5.5	8.7	20	

常勤・非常勤 助産師数の合計 平成24年度 (施設)

		0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	33	100	67	80	67	42	41	59	106	15.8
率(%)	100	5.5	16.8	11.3	13.4	11.3	7.1	6.9	9.9	17.8	

12) 平成24年7月における、産科関連病棟に勤務する常勤助産師の平均時間外労働時間(問12)

(施設)

		0時間	1時間未満	1～10時間	11～20時間	21～30時間	31～40時間		
n数	595	5	1	328	185	26	5		
率(%)	100	0.8	0.2	55.1	31.1	4.4	0.8		
	41～50時間	51～60時間	61～70時間	71～80時間	81～90時間	91～100時間	101時間以上	無回答	
n数	0	2	0	1	0	0	7	35	
率(%)	0	0.3	0	0.2	0	0	1.2	5.9	

13) 平成23年度における、産科関連病棟に勤務する常勤助産師の年次有給休暇の取得率(問13)

(施設)

		0%	1～10%	11～20%	21～30%	31～40%		
n数	595	5	46	67	98	80		
率(%)	100	0.8	7.7	11.3	16.5	13.4		
	41～50%	51～60%	61～70%	71～80%	81～90%	91～100%	無回答	
n数	75	53	33	25	28	21	64	
率(%)	12.6	8.9	5.5	4.2	4.7	3.5	10.8	

14) 産科関連病棟の主な勤務体制(問14)(複数回答)

(施設)

		三交代制	変則三交代制	二交代制	変則二交代制	上記1～4のミックス	夜勤専従制あり	当直制あり	日中・夜間の両方で交代あり	夜間のみ分時オンコール体制あり	その他	無回答
n数	595	326	17	187	97	42	68	26	40	110	14	2
率(%)	100	54.8	2.9	31.4	16.3	7.1	11.4	4.4	6.7	18.5	2.4	0.3

15) 産科関連病棟に勤務する常勤助産師の夜勤手当 (問 15)

三交代制 準夜勤手当 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	366	18	211
率(%)	100	61.5	3	35.5

三交代制 準夜勤手当 (施設)

		0円	1000円以下	2000円以下	3000円以下	4000円以下	5000円以下	6000円以下
n数	366	0	3	12	115	84	48	15
率(%)	100	0	0.8	3.3	31.4	23	13.1	4.1
		7000円以下	8000円以下	9000円以下	1万円以下	1万円超	無回答	平均
n数	11	8	1	0	3	66	3806.7	
率(%)	3	2.2	0.3	0	0.8	18		

三交代制 深夜勤手当 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	367	18	210
率(%)	100	61.7	3	35.3

三交代制 深夜勤手当 (施設)

		0円	1000円以下	2000円以下	3000円以下	4000円以下	5000円以下	6000円以下
n数	367	0	3	2	18	137	37	33
率(%)	100	0	0.8	0.5	4.9	37.3	10.1	9
		7000円以下	8000円以下	9000円以下	1万円以下	1万円超	無回答	平均
n数	30	21	5	4	10	67	5017.8	
率(%)	8.2	5.7	1.4	1.1	2.7	18.3		

二交代制 夜勤手当 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	314	34	247
率(%)	100	52.8	5.7	41.5

二交代制 夜勤手当 (施設)

		0円	1000円以下	2000円以下	3000円以下	4000円以下	5000円以下	6000円以下
n数	314	0	1	3	1	3	4	4
率(%)	100	0	0.3	1	0.3	1	1.3	1.3
		7000円以下	8000円以下	9000円以下	1万円以下	1万円超	無回答	平均
n数	46	27	20	36	105	64	10395	
率(%)	14.6	8.6	6.4	11.5	33.4	20.4		

当直制(非管理職) 夜勤手当 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	24	70	501
率(%)	100	4	11.8	84.2

当直制(非管理職) 夜勤手当 (施設)

		0円	1000円以下	2000円以下	3000円以下	4000円以下	5000円以下	6000円以下
n数	24	0	0	0	0	0	2	3
率(%)	100	0	0	0	0	0	8.3	12.5
		7000円以下	8000円以下	9000円以下	1万円以下	1万円超	無回答	平均
n数	2	1	0	1	6	9	11047	
率(%)	8.3	4.2	0	4.2	25	37.5		

オンコール制 待機手当 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	116	83	396
率(%)	100	19.5	13.9	66.6

オンコール制 待機手当 (施設)

		0円	1000円以下	2000円以下	3000円以下	4000円以下	5000円以下	6000円以下
n数	116	0	29	43	20	5	5	0
率(%)	100	0	25	37.1	17.2	4.3	4.3	0
		7000円以下	8000円以下	9000円以下	1万円以下	1万円超	無回答	平均
n数	1	1	1	1	1	9	2335.5	
率(%)	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	7.8		

オンコール制 夜勤手当 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	103	65	427
率(%)	100	17.3	10.9	71.8

オンコール制 夜勤手当 (施設)

		0円	1000円以下	2000円以下	3000円以下	4000円以下	5000円以下	6000円以下
n数	103	0	4	5	11	2	2	1
率(%)	100	0	3.9	4.9	10.7	1.9	1.9	1
		7000円以下	8000円以下	9000円以下	1万円以下	1万円超	無回答	平均
n数	1	3	0	4	3	67	5109.5	
率(%)	1	2.9	0	3.9	2.9	65		

16) 平成24年7月における、産科関連病棟の平均的な看護職者勤務者数 (問16)

日勤 助産師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	313	163	54	18	7	1	1	38	5.8
率(%)	100	0	52.6	27.4	9.1	3	1.2	0.2	0.2	6.4	

日勤 助産師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	3	450	88	11	5	1	1	0	36	3.4
率(%)	100	0.5	75.6	14.8	1.8	0.8	0.2	0.2	0	6.1	

日勤 非常勤助産師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	225	219	6	2	1	0	0	0	142	0.8
率(%)	100	37.8	36.8	1	0.3	0.2	0	0	0	23.9	

日勤 非常勤助産師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	362	66	3	0	0	0	0	0	164	0.2
率(%)	100	60.8	11.1	0.5	0	0	0	0	0	27.6	

日勤 看護師数 (平日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	42	325	134	19	4	1	0	0	70	4
率(%)	100	7.1	54.6	22.5	3.2	0.7	0.2	0	0	11.8	

日勤 看護師数 (土曜日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	54	428	33	5	0	0	0	0	75	2.5
率(%)	100	9.1	71.9	5.5	0.8	0	0	0	0	12.6	

日勤 准看護師数 (平日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
総数	595	311	148	2	0	0	0	0	0	134	0.4
率	100	52.3	24.9	0.3	0	0	0	0	0	22.5	

日勤 准看護師数 (土曜日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	329	116	2	0	0	0	0	0	148	0.3
率(%)	100	55.3	19.5	0.3	0	0	0	0	0	24.9	

日勤 看護補助者数 (平日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	44	459	5	0	0	0	0	0	87	1.7
率(%)	100	7.4	77.1	0.8	0	0	0	0	0	14.6	

日勤 看護補助者数 (土曜日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	186	306	0	0	0	0	0	0	103	0.8
率(%)	100	31.3	51.4	0	0	0	0	0	0	17.3	

交代制夜勤 助産師数 (平日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	10	496	23	2	0	0	0	0	64	2
率(%)	100	1.7	83.4	3.9	0.3	0	0	0	0	10.8	

交代制夜勤 助産師数 (土曜日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	12	489	20	2	0	0	0	0	72	1.9
率(%)	100	2	82.2	3.4	0.3	0	0	0	0	12.1	

交代制夜勤 非常勤助産師数 (平日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	359	45	0	0	0	0	0	0	191	0.1
率(%)	100	60.3	7.6	0	0	0	0	0	0	32.1	

交代制夜勤 非常勤助産師数 (土曜)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	347	40	0	0	0	0	0	0	208	0.1
率(%)	100	58.3	6.7	0	0	0	0	0	0	35	

日勤 看護師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	42	325	134	19	4	1	0	0	70	4
率(%)	100	7.1	54.6	22.5	3.2	0.7	0.2	0	0	11.8	

日勤 看護師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	54	428	33	5	0	0	0	0	75	2.5
率(%)	100	9.1	71.9	5.5	0.8	0	0	0	0	12.6	

日勤 准看護師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	311	148	2	0	0	0	0	0	134	0.4
率(%)	100	52.3	24.9	0.3	0	0	0	0	0	22.5	

日勤 准看護師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	329	116	2	0	0	0	0	0	148	0.3
率(%)	100	55.3	19.5	0.3	0	0	0	0	0	24.9	

交代制夜勤 看護補助者数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	380	62	0	0	0	0	0	0	153	0.2
率(%)	100	63.9	10.4	0	0	0	0	0	0	25.7	

交代制夜勤 看護補助者数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	394	39	0	0	0	0	0	0	162	0.1
率(%)	100	66.2	6.6	0	0	0	0	0	0	27.2	

当直制夜勤 助産師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	79	19	1	0	0	0	0	0	496	0.3
率(%)	100	13.3	3.2	0.2	0	0	0	0	0	83.4	

当直制夜勤 助産師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	77	18	1	0	0	0	0	0	499	0.3
率(%)	100	12.9	3	0.2	0	0	0	0	0	83.9	

当直制夜勤 非常勤助産師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	81	6	0	0	0	0	0	0	508	0.1
率(%)	100	13.6	1	0	0	0	0	0	0	85.4	

当直制夜勤 非常勤助産師数 (土曜) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	80	4	0	0	0	0	0	0	511	0
率(%)	100	13.4	0.7	0	0	0	0	0	0	85.9	

当直制夜勤 看護師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	78	16	0	0	0	0	0	0	501	0.2
率(%)	100	13.1	2.7	0	0	0	0	0	0	84.2	

当直制夜勤 看護師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	77	14	0	0	0	0	0	0	504	0.2
率(%)	100	12.9	2.4	0	0	0	0	0	0	84.7	

当直制夜勤 准看護師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	86	6	0	0	0	0	0	0	503	0.1
率(%)	100	14.5	1	0	0	0	0	0	0	84.5	

当直制夜勤 准看護師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	84	5	0	0	0	0	0	0	506	0.1
率(%)	100	14.1	0.8	0	0	0	0	0	0	85	

当直制夜勤 看護補助者数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	88	3	0	0	0	0	0	0	504	0
率(%)	100	14.8	0.5	0	0	0	0	0	0	84.7	

当直制夜勤 看護補助者数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	86	2	0	0	0	0	0	0	507	0
率(%)	100	14.5	0.3	0	0	0	0	0	0	85.2	

オンコール制夜勤 助産師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595		78	1	1	0	0	0	0	444	0.8
率(%)	100	11.9	13.1	0.2	0.2	0	0	0	0	74.6	

オンコール制夜勤 助産師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	72	76	2	0	0	0	0	0	445	0.7
率(%)	100	12.1	12.8	0.3	0	0	0	0	0	74.8	

オンコール制夜勤 非常勤助産師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	109	7	0	0	0	0	0	0	479	0.1
率(%)	100	18.3	1.2	0	0	0	0	0	0	80.5	

オンコール制夜勤 非常勤助産師数 (土曜) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	110	6	0	0	0	0	0	0	479	0.1
率(%)	100	18.5	1	0	0	0	0	0	0	80.5	

オンコール制夜勤 看護師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	83	45	2	1	0	0	0	0	464	0.7
率(%)	100	13.9	7.6	0.3	0.2	0	0	0	0	78	

オンコール制夜勤 看護師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	82	45	3	0	0	0	0	0	465	0.7
率(%)	100	13.8	7.6	0.5	0	0	0	0	0	78.2	

オンコール制夜勤 准看護師数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	105	14	0	0	0	0	0	0	476	0.1
率(%)	100	17.6	2.4	0	0	0	0	0	0	80	

オンコール制夜勤 准看護師数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	103	13	0	0	0	0	0	0	479	0.1
率(%)	100	17.3	2.2	0	0	0	0	0	0	80.5	

オンコール制夜勤 看護補助者数 (平日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	120	5	0	0	0	0	0	0	470	0
率(%)	100	20.2	0.8	0	0	0	0	0	0	79	

オンコール制夜勤 看護補助者数 (土曜日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	120	3	0	0	0	0	0	0	472	0
率(%)	100	20.2	0.5	0	0	0	0	0	0	79.3	

日勤 助産師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	2	5	1	0	0	0	0	587	6.4
率(%)	100	0	0.3	0.8	0.2	0	0	0	0	98.7	

日勤 非常勤助産師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	1	0	0	0	0	0	0	593	0.5
率(%)	100	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	99.7	

日勤 看護師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	4	0	0	0	0	0	0	590	2.7
率(%)	100	0.2	0.7	0	0	0	0	0	0	99.2	

日勤 准看護師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	1	0	0	0	0	0	0	593	0.5
率(%)	100	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	99.7	

日勤 看護補助者数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	2	4	0	0	0	0	0	0	589	1
率(%)	100	0.3	0.7	0	0	0	0	0	0	99	

交代制夜勤 助産師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	2	1	0	0	0	0	0	592	5.7
率(%)	100	0	0.3	0.2	0	0	0	0	0	99.5	

交代制夜勤 非常勤助産師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	0	0	0	0	0	0	0	594	0
率(%)	100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	99.8	

交代制夜勤 看護師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	1	0	1	0	0	0	0	592	5.3
率(%)	100	0.2	0.2	0	0.2	0	0	0	0	99.5	

交代制夜勤 准看護師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	1	0	0	0	0	0	0	593	1
率(%)	100	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	99.7	

交代制夜勤 看護補助者数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	1	0	0	0	0	0	0	593	1
率(%)	100	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	99.7	

当直制夜勤 助産師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	

当直制夜勤 非常勤助産師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	

当直制夜勤 看護師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	

当直制夜勤 准看護師数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	

当直制夜勤 看護補助者数 (日・祝日)											(施設)
		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	

オンコール制夜勤 助産師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	

オンコール制夜勤 非常勤助産師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	0	0	0	0	0	0	0	594	0
率(%)	100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	99.8	

オンコール制夜勤 看護師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	0	0	0	0	0	0	0	594	0
率(%)	100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	99.8	

オンコール制夜勤 准看護師数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	0	0	0	0	0	0	0	594	0
率(%)	100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	99.8	

オンコール制夜勤 看護補助者数 (日・祝日) (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	1	0	0	0	0	0	0	0	594	0
率(%)	100	0.2	0	0	0	0	0	0	0	99.8	

17) 常時、分娩室担当の助産師を配置しているか (問 17)

昼間		(施設)		
		あり	なし	無回答
n数	595	516	70	9
率(%)	100	86.7	11.8	1.5

分娩室担当助産師の配置あり		(施設)		
		常時	原則	無回答
n数	516	68	20	428
率(%)	100	13.2	3.9	82.9

分娩室担当助産師人数		(施設)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	516	399	78	19	4	5	2	0	0	0	1	8	1.3
率(%)	100	77.3	15.1	3.7	0.8	1	0.4	0	0	0	0.2	1.6	

夜間		(施設)		
		あり	なし	無回答
n数	595	434	149	12
率(%)	100	72.9	25	2

分娩室担当助産師の配置あり		(施設)		
		常時	原則	無回答
n数	434	47	25	362
率(%)	100	10.8	5.8	83.4

分娩室担当助産師人数		(施設)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	434	395	24	5	0	2	0	0	0	0	1	7	1.1
率(%)	100	91	5.5	1.2	0	0.5	0	0	0	0	0.2	1.6	

18) 正常分娩第2期に、産婦1人の介助につく看護職者人数 (問 18)

助産師		(施設)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	595	364	192	26	0	0	0	0	0	0	0	13	1.3
率(%)	100	61.2	32.3	4.4	0	0	0	0	0	0	0	2.2	

看護師		(施設)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	595	364	46	1	0	0	0	0	0	0	0	184	0.9
率(%)	100	61.2	7.7	0.2	0	0	0	0	0	0	0	30.9	

准看護師		(施設)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	595	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0	550	0.6
率(%)	100	7.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92.4	

看護補助者		(施設)											
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	595	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	586	1
率(%)	100	1.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98.5	

19) 平成24年7月における、助産師一人あたりの平均夜勤時間と回数(問19)

(施設)

		0時間	1~7時間	8時間	9~11時間	12時間	13~15時間	16時間	17時間以上	無回答	平均
n数	595	1	43	320	5	16	17	129	18	46	11.2
率(%)	100	0.2	7.2	53.8	0.8	2.7	2.9	21.7	3	7.7	

常勤助産師 三交替制

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	24	77	244	19	1	0	0	1	229	6.7
率(%)	100	4	12.9	41	3.2	0.2	0	0	0.2	38.5	

常勤助産師 二交替制

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	41	96	144	31	1	0	0	1	281	6.1
率(%)	100	6.9	16.1	24.2	5.2	0.2	0	0	0.2	47.2	

常勤助産師 当直制

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	80	14	3	0	0	0	0	0	498	0.6
率(%)	100	13.4	2.4	0.5	0	0	0	0	0	83.7	

常勤助産師 分娩時オンコール回数

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	64	82	19	3	1	0	1	0	425	2.3
率(%)	100	10.8	13.8	3.2	0.5	0.2	0	0.2	0	71.4	

夜勤専従助産師 三交替制

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	127	8	8	2	8	0	0	0	442	1.6
率(%)	100	21.3	1.3	1.3	0.3	1.3	0	0	0	74.3	

夜勤専従助産師 二交替制

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	94	11	14	7	33	1	0	0	435	5.3
率(%)	100	15.8	1.8	2.4	1.2	5.5	0.2	0	0	73.1	

夜勤専従助産師 当直制

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	77	2	0	0	1	1	0	0	514	0.5
率(%)	100	12.9	0.3	0	0	0.2	0.2	0	0	86.4	

夜勤専従助産師 分娩時オンコール回数

(施設)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	595	80	4	0	0	1	0	0	0	510	0.4
率(%)	100	13.4	0.7	0	0	0.2	0	0	0	85.7	0.4

IV. 分娩状況やケアについて

1) 平成23年度の年間分娩件数(問1)

年間分娩件数 (施設)

	0件	50件以下	100件以下	101-200件	201-300件	301-400件	401-500件	501-600件	
n数	595	0	17	22	79	75	88	71	64
率(%)	100	0	2.9	3.7	13.3	12.6	14.8	11.9	10.8
	601-700件	701-800件	801-900件	901-1000件	1001-1500件	1501-2000件	2001件以上	無回答	平均
n数	41	35	27	19	30	12	3	12	490.6
率(%)	6.9	5.9	4.5	3.2	5	2	0.5	2	490.6

帝王切開術件数 (施設)

	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	
n数	595	0	21	27	41	30	27	31	33	30
率(%)	100	0	3.5	4.5	6.9	5	4.5	5.2	5.5	5
	81~90件	91~100件	101~150件	151~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501件以上	無回答	平均
n数	27	27	84	70	71	17	6	7	46	121.7
率(%)	4.5	4.5	14.1	11.8	11.9	2.9	1	1.2	7.7	121.7

吸引分娩件数 (施設)

	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	
n数	595	28	150	94	58	49	18	21	19	6
率(%)	100	4.7	25.2	15.8	9.7	8.2	3	3.5	3.2	1
	81~90件	91~100件	101~150件	151~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501件以上	無回答	平均
n数	4	4	12	7	3	1	0	0	121	28.7
率(%)	0.7	0.7	2	1.2	0.5	0.2	0	0	20.3	28.7

鉗子分娩件数 (施設)

	0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	
n数	595	358	83	16	10	3	2	0	2	1
率(%)	100	60.2	13.9	2.7	1.7	0.5	0.3	0	0.3	0.2
	81~90件	91~100件	101~150件	151~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501件以上	無回答	平均
n数	1	1	0	0	0	0	0	0	118	2.9
率(%)	0.2	0.2	0	0	0	0	0	0	19.8	2.9

帝王切開率 (施設)

	0%	1~10%	11~15%	16~20%	21~25%	26~30%	31~35%	36~40%	41~45%	46~50%	51~55%	56~60%	61%以上	無回答	
n数	595	1	69	27	48	47	31	28	23	11	5	6	2	2	295
率(%)	100	0.2	11.6	4.5	8.1	7.9	5.2	4.7	3.9	1.8	0.8	1	0.3	0.3	49.6

吸引分娩率 (施設)

	0%	1~10%	11~15%	16~20%	21~25%	26~30%	31~35%	36~40%	41~45%	46~50%	51~55%	56~60%	61%以上	無回答	
n数	595	16	171	11	6	2	3	1	1	1	0	0	0	0	383
率(%)	100	2.7	28.7	1.8	1	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0	0	0	0	64.4

鉗子分娩率 (施設)

	0%	1~10%	11~15%	16~20%	21~25%	26~30%	31~35%	36~40%	41~45%	46~50%	51~55%	56~60%	61%以上	無回答	
n数	595	169	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390
率(%)	100	28.4	6.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65.5

2) 平成 23 年度の母体搬送件数 (問 2)

受け入れ件数

(施設)

	0 件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101 件以上	無回答	平均	
n数	595	233	97	35	30	25	23	7	16	19	10	11	41	48	27.1
率(%)	100	39.2	16.3	5.9	5	4.2	3.9	1.2	2.7	3.2	1.7	1.8	6.9	8.1	

送り件数

(施設)

	0 件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101 件以上	無回答	平均	
n数	595	65	362	51	15	3	1	1	0	0	0	0	0	97	5.7
率(%)	100	10.9	60.8	8.6	2.5	0.5	0.2	0.2	0	0	0	0	0	16.3	

3) 常勤助産師 1 人あたりの年間分娩介助件数 (問 3)

(施設)

	0 件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101 件以上	無回答	平均	
n数	595	1	93	163	129	88	29	25	10	4	2	2	11	38	27.8
率(%)	100	0.2	15.6	27.4	21.7	14.8	4.9	4.2	1.7	0.7	0.3	0.3	1.8	6.4	

4) 妊娠期からの継続受け持ち制度の有無 (問 4)

(施設)

	あり	なし	その他	無回答	
n数	595	92	461	32	10
率(%)	100	15.5	77.5	5.4	1.7

5) 調査時点(平成 24 年度)における院内助産の実施について

(施設)

	あり	なし	無回答	
n数	595	60	531	4
率(%)	100	10.1	89.2	0.7

院内助産の開始時期(平成24年から何年前か)

(施設)

	1~5年	6~10年	11~15年	16~20年	21年以上	無回答	平均	
n数	60	2	0	2	17	39	0	20.4
率(%)	100	3.3	0	3.3	28.3	65	0	

院内助産での通算分娩件数

(施設)

	0 件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101 件以上	無回答	平均	
n数	60	1	12	8	2	1	2	6	1	0	0	1	20	6	15.9
率(%)	100	1.7	20	13.3	3.3	1.7	3.3	10	1.7	0	0	1.7	33.3	10	

院内助産の導入希望

(施設)

	導入希望あり	導入希望なし	無回答	
n数	531	244	242	45
率(%)	100	46	45.6	8.5

院内助産の導入希望の現状

(施設)

	実施予定である	実施の準備中	実施の予定も準備も 導入希望はないが	無回答	
n数	244	9	49	182	4
率(%)	100	3.7	20.1	74.6	1.6

6) 調査時点（平成24年度）における、助産外来の実施について（問5）

現時点での助産外来の実施有無 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	298	292	5
率(%)	100	50.1	49.1	0.8

助産外来の開始時期 (施設)

		1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21年以上	無回答	平均
n数	298	3	10	15	102	155	13	20
率(%)	100	1	3.4	5	34.2	52	4.4	

助産師による超音波検査の実施有無 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	298	209	81	8
率(%)	100	70.1	27.2	2.7

新人助産師の就職後1年以内における妊婦健診への関与 (施設)

		妊婦先輩助産師の健診を見学	先輩の指導のもと、実施	見学も実施もしていない	その他	無回答
n数	298	59	26	168	19	26
率(%)	100	19.8	8.7	56.4	6.4	8.7

助産外来の導入希望 (施設)

		導入希望あり	導入希望なし	無回答
n数	292	189	84	19
率(%)	100	64.7	28.8	6.5

助産外来の導入希望の内容 (施設)

		実施予定である	実施の準備中	実施の予定も準備もしていないが導入希望はある	無回答
n数	189	17	58	110	4
率(%)	100	9	30.7	58.2	2.1

助産外来の時間 午前・開始時間 (施設)

		8時以前	9時台	10時台	11時以降	無回答	平均
n数	595	33	134	5	5	418	8.9
率(%)	100	5.5	22.5	0.8	0.8	70.3	

助産外来の時間 午前・終了時間 (施設)

		8時以前	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答	平均
n数	595	0	0	0	19	151	425	12
率(%)	100	0	0	0	3.2	25.4	71.4	

助産外来の時間 午後・開始時間 (施設)

		13時以前	14時台	15時台	16時以降	無回答	平均
n数	595	128	58	4	0	405	12.6
率(%)	100	21.5	9.7	0.7	0	68.1	

助産外来の時間 午後・終了時間 (施設)

		13時以前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時以降	無回答	平均
n数	595	12	4	29	100	45	0	405	15.3
率(%)	100	2	0.7	4.9	16.8	7.6	0	68.1	

助産外来の人数 午前 最多

(月) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	9	134	0	0	0	452	1.2
率(%)	100	1.5	22.5	0	0	0	76	

助産外来の人数 午後 最多

(月) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	12	126	0	0	0	457	1.1
率(%)	100	2	21.2	0	0	0	76.8	

助産外来の人数 午前 最多

(月) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	8	25	26	49	16	471	6.8
率(%)	100	1.3	4.2	4.4	8.2	2.7	79.2	

助産外来の人数 午後 最多

(月) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	13	46	32	21	8	475	4.4
率(%)	100	2.2	7.7	5.4	3.5	1.3	79.8	

助産外来の人数 午前 最多

(火) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	9	148	1	0	0	437	1.2
率(%)	100	1.5	24.9	0.2	0	0	73.4	

助産外来の人数 午後 最多

(火) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	11	148	1	0	0	435	1.2
率(%)	100	1.8	24.9	0.2	0	0	73.1	

助産外来の人数 午前 最多

(火) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	9	37	29	47	18	455	6.4
率(%)	100	1.5	6.2	4.9	7.9	3	76.5	

助産外来の人数 午後 最多

(火) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	13	57	42	22	7	454	4.3
率(%)	100	2.2	9.6	7.1	3.7	1.2	76.3	

助産外来の人数 午前 最多

(水) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	12	139	0	0	0	444	1.2
率(%)	100	2	23.4	0	0	0	74.6	

助産外来の人数 午後 最多

(水) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	16	132	0	0	0	447	1.1
率(%)	100	2.7	22.2	0	0	0	75.1	

助産外来の人数 午前 最多

(水) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	12	26	29	47	19	462	6.8
率(%)	100	2	4.4	4.9	7.9	3.2	77.6	

助産外来の人数 午後 最多

(水) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	18	49	32	26	6	464	4.3
率(%)	100	3	8.2	5.4	4.4	1	78	

助産外来の人数 午前 最多

(木) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	12	139	0	0	0	444	1.1
率(%)	100	2	23.4	0	0	0	74.6	

助産外来の人数 午後 最多

(木) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	18	135	0	0	0	442	1.1
率(%)	100	3	22.7	0	0	0	74.3	

助産外来の人数 午前 最多

(木) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	12	31	29	51	14	458	6
率(%)	100	2	5.2	4.9	8.6	2.4	77	

助産外来の人数 午後 最多

(木) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	21	44	40	25	8	457	4.3
率(%)	100	3.5	7.4	6.7	4.2	1.3	76.8	

助産外来の人数 午前 最多

(金) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	11	145	2	0	0	437	1.2
率(%)	100	1.8	24.4	0.3	0	0	73.4	

助産外来の人数 午後 最多

(金) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	11	141	2	0	0	441	1.2
率(%)	100	1.8	23.7	0.3	0	0	74.1	

助産外来の人数 午前 最多

(金) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	12	35	34	42	16	456	6.3
率(%)	100	2	5.9	5.7	7.1	2.7	76.6	

助産外来の人数 午後 最多

(金) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	11	52	35	30	6	461	4.5
率(%)	100	1.8	8.7	5.9	5	1	77.5	

助産外来の人数 午前 最多

(土) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	54	39	0	0	0	502	0.5
率(%)	100	9.1	6.6	0	0	0	84.4	

助産外来の人数 午後 最多

(土) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	66	22	0	0	0	507	0.3
率(%)	100	11.1	3.7	0	0	0	85.2	

助産外来の人数 午前 最多

(土) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	48	9	5	15	6	512	3
率(%)	100	8.1	1.5	0.8	2.5	1	86.1	

助産外来の人数 午後 最多

(土) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	59	8	6	6	1	515	1.3
率(%)	100	9.9	1.3	1	1	0.2	86.6	

助産外来の人数 午前 最多

(日) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	72	6	0	0	0	517	0.1
率(%)	100	12.1	1	0	0	0	86.9	

助産外来の人数 午後 最多

(日) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	72	7	0	0	0	516	0.1
率(%)	100	12.1	1.2	0	0	0	86.7	

助産外来の人数 午前 最多

(日) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	65	0	0	4	0	526	0.3
率(%)	100	10.9	0	0	0.7	0	88.4	

助産外来の人数 午後 最多

(日) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	64	2	1	2	0	526	0.3
率(%)	100	10.8	0.3	0.2	0.3	0	88.4	

助産外来の人数 午前 最少

(月) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	3	0	0	0	592	1
率(%)	100	0	0.5	0	0	0	99.5	

助産外来の人数 午後 最少

(月) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	2	0	0	0	593	1
率(%)	100	0	0.3	0	0	0	99.7	

助産外来の人数 午前 最少

(月) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	2	9	2	1	0	581	2.3
率(%)	100	0.3	1.5	0.3	0.2	0	97.6	

助産外来の人数 午後 最少

(月) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	1	2	0	0	0	592	0.7
率(%)	100	0.2	0.3	0	0	0	99.5	

助産外来の人数 午前 最少

(火) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	5	0	0	0	590	1
率(%)	100	0	0.8	0	0	0	99.2	

助産外来の人数 午後 最少

(火) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	5	0	0	0	590	1
率(%)	100	0	0.8	0	0	0	99.2	

助産外来の人数 午前 最少

(火) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	8	4	1	0	582	3
率(%)	100	0	1.3	0.7	0.2	0	97.8	

助産外来の人数 午後 最少

(火) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	5	11	0	0	0	579	1.3
率(%)	100	0.8	1.8	0	0	0	97.3	

助産外来の人数 午前 最少

(水) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	3	0	0	0	592	1
率(%)	100	0	0.5	0	0	0	99.5	

助産外来の人数 午後 最少

(水) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	4	0	0	0	591	1
率(%)	100	0	0.7	0	0	0	99.3	

助産外来の人数 午前 最少

(水) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	9	3	1	0	582	3
率(%)	100	0	1.5	0.5	0.2	0	97.8	

助産外来の人数 午後 最少

(水) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	2	4	0	0	0	589	1
率(%)	100	0.3	0.7	0	0	0	99	

助産外来の人数 午前 最少

(木) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	4	0	0	0	591	1
率(%)	100	0	0.7	0	0	0	99.3	

助産外来の人数 午後 最少

(木) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	4	0	0	0	591	1
率(%)	100	0	0.7	0	0	0	99.3	

助産外来の人数 午前 最少

(木) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	1	8	2	1	0	583	2.5
率(%)	100	0.2	1.3	0.3	0.2	0	98	

助産外来の人数 午後 最少

(木) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	4	6	1	0	0	584	1.2
率(%)	100	0.7	1	0.2	0	0	98.2	

助産外来の人数 午前 最少

(金) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	5	0	0	0	590	1
率(%)	100	0	0.8	0	0	0	99.2	

助産外来の人数 午後 最少

(金) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	2	0	0	0	593	1
率(%)	100	0	0.3	0	0	0	99.7	

助産外来の人数 午前 最少

(金) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	8	4	0	0	583	2.3
率(%)	100	0	1.3	0.7	0	0	98	

助産外来の人数 午後 最少

(金) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	3	8	0	0	0	584	1.5
率(%)	100	0.5	1.3	0	0	0	98.2	

助産外来の人数 午前 最少

(土) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	100	

助産外来の人数 午後 最少

(土) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	100	

助産外来の人数 午前 最少

(土) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	3	1	0	0	591	2.5
率(%)	100	0	0.5	0.2	0	0	99.3	

助産外来の人数 午後 最少

(土) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	1	0	0	0	594	1
率(%)	100	0	0.2	0	0	0	99.8	

助産外来の人数 午前 最少

(土) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	100	

助産外来の人数 午後 最少

(日) 助産師

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	100	

助産外来の人数 午前 最少

(日) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	100	

助産外来の人数 午後 最少

(日) 妊婦

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	0	0	0	0	0	595	0
率(%)	100	0	0	0	0	0	100	

7) 母子同室の実施状況 (問6)

(施設)

		母子同室 完全	母子同室 それ以外の	日中のみもしくは、 夜間のみ母子同室	母子異室	無回答
n数	595	98	391	57	43	6
率(%)	100	16.5	65.7	9.6	7.2	1

母子同室の開始時期

(施設)

		数時間 出生後 から	出生 1日 目 から	それ 以降	無 回 答
n数	448	152	237	50	9
率(%)	100	33.9	52.9	11.2	2

母子同室の開始日

(施設)

		2日目から	3日目から	4日目から	5日目から	6日目から	7日目以降から	無回答	平均
n数	50	27	8	2	0	0	0	13	1.8
率(%)	100	54	16	4	0	0	0	26	

8) 母乳外来実施の有無 (問 7)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	446	146	3
率(%)	100	75	24.5	0.5

母乳外来の担当部署

(施設)

		病棟	外来	病棟と 外来の 両方	その他	無回答
n数	446	248	78	116	3	1
率(%)	100	55.6	17.5	26	0.7	0.2

母乳外来の担当職種

(施設)

		助産師	看護師	助産師と 看護師の 両方	その他	無回答
n数	446	405	0	23	0	18
率(%)	100	90.8	0	5.2	0	4

9) 新生児訪問実施の有無 (問 8)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	43	546	6
率(%)	100	7.2	91.8	1

新生児訪問の担当部署

(施設)

		病棟	外来	病棟と 外来の 両方	その他	無回答
n数	43	35	3	4	0	1
率(%)	100	81.4	7	9.3	0	2.3

新生児訪問の担当職種

(施設)

		助産師	看護師	助産師と 看護師の 両方	その他	無回答
n数	43	34	1	6	0	2
率(%)	100	79.1	2.3	14	0	4.7

10) 外来での出産準備教育(集団)実施の有無(問9)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	557	32	6
率(%)	100	93.6	5.4	1

外来での出産準備教育(集団)の実施状況(複数回答) (施設)

		講義助産師等が担当	講義看護師等が担当	助産師と看護師の両方が担当	その他の職種が担当	DVDの視聴のみを実施	無回答
n数	557	517	1	41	160	4	1

11) 分娩の現状と今後の方向性(問10)(複数回答)

(施設)

		分娩件数が増加している	分娩件数が減少している	分娩件数に大きな変化はない	制限する予定数である	分娩対応の廃止を予定している	平成24年度になつて廃止した	無回答
n数	595	192	183	209	38	5	0	6
率(%)	100	32.3	30.8	35.1	6.4	0.8	0	1

分娩件数の増加理由 (施設)

		地域の妊産婦の増加	他の医療機関の産科廃止	その他	無回答
n数	192	25	134	68	7
率(%)	100	13	69.8	35.4	3.6

分娩件数の減少理由 (施設)

		妊産婦の減少	他の医療機関に妊婦が集中	その他	無回答
n数	183	86	90	56	8
率(%)	100	47	49.2	30.6	4.4

分娩件数を制限する分娩の種類 (施設)

		ハイリスク分娩	ローリスク分娩	両方	無回答
n数	38	16	11	10	1
率(%)	100	42.1	28.9	26.3	2.6

V. 助産師の新卒・現任教育と学生実習について

1) 助産師に特化したクリニカルラダーの有無 (問 1)

(施設)

		あり	現在作成中	なし	無回答
n数	595	97	120	366	12
率(%)	100	16.3	20.2	61.5	2

2) 助産師に特化した教育目標の有無 (問 2)

(施設)

		あり	現在作成中	なし	無回答
n数	595	223	126	236	10
率(%)	100	37.5	21.2	39.7	1.7

3) 産科関連病棟への教育担当者配置の有無 (問 3)

(施設)

		配置あり	配置なし	無回答
n数	595	333	243	19
率(%)	100	56	40.8	3.2

4) 助産師に対する新人研修の実施状況 (問 4) (複数回答)

(施設)

		院内で助産師に特化した新人研修を実施している	都道府県看護協会や他の病院などと合同で新人助産師研修を実施	今年度は助産師に特化した新人研修を実施してないが次年度以降予定	産師に特化した新人研修は実施し助ていない	看護職としても助産師としても院内での新人研修は実施していない	プリセプターシップ・メンターシップ・エルダー制などを実施している	無回答
n数	595	105	127	23	372	12	401	33
率(%)	100	17.6	21.3	3.9	62.5	2	67.4	5.5

5) 助産師のローテーション方針 (問 5)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	177	395	23
率(%)	100	29.7	66.4	3.9

助産師のローテーション部署(複数回答)

(施設)

		全部署	産科外来	MFICU	NICU	その他特定の部署	無回答
n数	177	83	42	19	36	27	14
率(%)	100	46.9	23.7	10.7	20.3	15.3	7.9

助産師のローテーション期間

(施設)

		1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7~9カ月	10~12カ月	13~15カ月	16~18カ月	19カ月以上	無回答	平均
n数	177	26	7	8	3	0	10	3	23	1	3	20	73	11.1
率(%)	100	14.7	4	4.5	1.7	0	5.6	1.7	13	0.6	1.7	11.3	41.2	

6) 産科関連病棟に勤務する助産師の院外研修参加の有無 (問 6)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	519	59	17
率(%)	100	87.2	9.9	2.9

7) 助産師の育成を目的とした定期的な面接実施の有無 (問 7)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	595	392	183	20
率(%)	100	65.9	30.8	3.4

面接の回数

(施設)

		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回以上	無回答	平均
n数	392	55	159	139	14	1	5	1	1	0	6	11	2.5
率(%)	100	14	40.6	35.5	3.6	0.3	1.3	0.3	0.3	0	1.5	2.8	

8) 学生実習の受け入れ状況 (問 8) (複数回答)

(施設)

		母性看護学実習を受け入れている	受け入れたい	受け入れない	無回答
n数	595	514	405	51	7
率(%)	100	86.4	68.1	8.6	1.2

9) 助産実習の受け入れ状況 (問9)

助産実習を受け入れている学校数

(施設)

		1校	2校	3校	4校	5校	6校	7校	8校	9校	10校以上	無回答	平均
n数	405	232	66	26	9	0	1	1	1	0	1	68	1.5
率(%)	100	57.3	16.3	6.4	2.2	0	0.2	0.2	0.2	0	0.2	16.8	

助産実習の受け入れ状況 1校あたりの受け入れ助産学生数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	405	2	276	32	9	9	3	5	1	68	4.3
率(%)	100	0.5	68.1	7.9	2.2	2.2	0.7	1.2	0.2	16.8	

助産実習の受け入れ状況 1回あたりの受け入れ助産学生数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	405	4	281	19	0	0	0	0	0	101	2.4
率(%)	100	1	69.4	4.7	0	0	0	0	0	24.9	

助産実習の受け入れ状況 複数の学校 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	405	49	251	105
率(%)	100	12.1	62	25.9

10) 専任実習指導者の配置状況 (問 10)

(施設)

		専任の実習指導者を配置している	専任の実習指導者がいない	無回答
n数	405	233	167	5
率(%)	100	57.5	41.2	1.2

専任の実習指導者の配置数

(施設)

		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	233	141	49	14	13	4	2	0	2	0	3	5	1.8
率(%)	100	60.5	21	6	5.6	1.7	0.9	0	0.9	0	1.3	2.1	

専任実習指導者がいる場合の指導について

(施設)

		業務から独立して実習指導を行う	業務とかねて実習指導を行う	無回答
n数	233	71	145	17
率(%)	100	30.5	62.2	7.3

専任の実習指導者がいない場合の指導について(複数回答)

(施設)

		妊産褥婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う	妊産褥婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う	その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う	病棟管理者が実習指導を行う	学校の教員が実習指導を行ない職員は関与しない	その他	無回答
n数	167	120	36	117	16	4	9	6
率(%)	100	71.9	21.6	70.1	9.6	2.4	5.4	3.6

11) 助産学生の実習の受け入れが可能となる・更に可能となると考える病院の条件 (問 13)

(施設)

		増えれば受け入れが可能 勤務助産師の数が	専任の実習指導者を 配置できれば 受け入れが可能	看護師の協力体制が 整えば受け入れが可能	勤務助産師や 看護師の協力体制が 整えば受け入れが可能	産科医師の協力が 得られれば 受け入れが可能	妊産褥婦の理解と協力が 得られれば受け入れが可能	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれれば 受け入れが可能	学校側との連携や話し合いの 機会が増えれば可能
n数	595	431	339	144	128	166	231	64	
率(%)	100	72.4	57	24.2	21.5	27.9	38.8	10.8	
	看護師免許を有していれば 受け入れが可能	学生のロッカールームや 寮の整備など物理的な環境 が整えば可能	将来的に就職に 結びつけば受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば 受け入れが可能	看護手順の整備が整えば 受け入れが可能	実習費用手当が増額されれば 受け入れが可能	その他	無回答	
n数	62	88	279	306	25	38	36	21	
率(%)	10.4	14.8	46.9	51.4	4.2	6.4	6.1	3.5	

上位 1位の条件

(施設)

		増えれば受け入れが可能 勤務助産師の数が	専任の実習指導者を 配置できれば 受け入れが可能	看護師の協力体制が 整えば受け入れが可能 勤務助産師や	産科医師の協力が 得られれば 受け入れが可能	妊産褥婦の理解と協力が 得られれば受け入れが可能	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれれば 受け入れが可能	学校側との連携や話し合いの 機会が増えれば可能 実習期間中の病院と
n数	595	235	70	15	12	12	23	2
率(%)	100	39.5	11.8	2.5	2	2	3.9	0.3
	看護師免許を有していれば 受け入れが可能	学生用のロッカールームや 寮の整備など物理的な環境 が整えば可能	将来的に就職に 結びつけば受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば 受け入れが可能	看護手順の整備が整えば 受け入れが可能	実習費用手当が増額され ば受け入れが可能	その他	無回答
n数	2	4	31	143	0	2	15	29
率(%)	0.3	0.7	5.2	24	0	0.3	2.5	4.9

上位 2位の条件

(施設)

		増えれば受け入れが可能 勤務助産師の数が	専任の実習指導者を 配置できれば 受け入れが可能	看護師の協力体制が 整えば受け入れが可能 勤務助産師や	産科医師の協力が 得られれば 受け入れが可能	妊産褥婦の理解と協力が 得られれば受け入れが可能	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれれば 受け入れが可能	学校側との連携や話し合いの 機会が増えれば可能 実習期間中の病院と
n数	595	96	148	26	23	40	56	3
率(%)	100	16.1	24.9	4.4	3.9	6.7	9.4	0.5
	看護師免許を有していれば 受け入れが可能	学生用のロッカールームや 寮の整備など物理的な環境 が整えば可能	将来的に就職に 結びつけば受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば 受け入れが可能	看護手順の整備が整えば 受け入れが可能	実習費用手当が増額され ば受け入れが可能	その他	無回答
n数	9	9	69	63	1	2	8	42
率(%)	1.5	1.5	11.6	10.6	0.2	0.3	1.3	7.1

上位 3位の条件

(施設)

		増えれば受け入れが可能 勤務助産師の数が	専任の実習指導者を 配置できれば 受け入れが可能	看護師の協力体制が 整えば受け入れが可能	産科医師の協力が 得られれば 受け入れが可能	妊産婦の理解と協力が 得られれば受け入れが可能	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれれば 受け入れが可能	学校側との連携や話し合いの 機会が増えれば可能
n数	595	58	74	36	33	41	77	12
率(%)	100	9.7	12.4	6.1	5.5	6.9	12.9	2
	看護師助産学生がすでに 受け入れが可能	学生のロッカールームや 寮の整備など物理的な環境 が整えば可能	将来的に就職に 結びつけば受け入れが可能	正常分娩の件数が増えれば 受け入れが可能	看護手順の整備が整えば 受け入れが可能	実習費用手当が増額されれば 受け入れが可能	その他	無回答
n数	9	19	96	57	6	4	7	66
率(%)	1.5	3.2	16.1	9.6	1	0.7	1.2	11.1

助産実習の受け入れ可能性 実習費用手当の増額額 (施設)

		1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	
n数	38	2	0	0	0	0	
率(%)	100	5.3	0	0	0	0	
	5万円台	6万円台	7万円台	8万円台	9万円台	10万円以上	無回答
	0	0	0	0	0	0	36
	0	0	0	0	0	0	94.7
							平均
							4500

VI. 混合病棟について

1) 産科以外の診療科名称 (問1) (複数回答)

(施設)

		婦人科	小児科	内科	外科	整形外科	脳神経外科
n数	460	405	196	182	113	117	36
率(%)	100	88	42.6	39.6	24.6	25.4	7.8
	耳鼻咽喉科	泌尿器科	眼科	歯科口腔外科	皮膚科	その他	無回答
n数	67	46	102	32	36	84	13
率(%)	14.6	10	22.2	7	7.8	18.3	2.8

2) 助産師による産科と他科患者の同時受け持ち状況 (問2) (複数回答)

(施設)

		常に他科診療科の患者は受け持たない	同時に受け持つ	他科の分娩介助の時のみ患者は受け持たない	他科入院した時点で、分娩第1期の患者は受け持たない	その他	無回答
n数	460	60	318	100	55	26	17
率(%)	100	13	69.1	21.7	12	5.7	3.7

混合病棟での産科と他科患者の同時受け持ち頻度(施設)

		常に	ときどき	ごくまれに	無回答
n数	318	104	156	58	0
率(%)	100	32.7	49.1	18.2	0

3) 産科病床に空床がある場合の対応 (問3)

(施設)

		他科患者を入院させないままにしておく	他科入院状況と産科患者の状況を産科病床に入院	産科病床の空床確保は特にしていない	その他	無回答
n数	460	93	241	89	23	14
率(%)	100	20.2	52.4	19.3	5	3

産科病床としての常に確保している病床数 (施設)

		0床	1~3床	4~5床	6~10床	11床以上	無回答	平均
n数	93	0	16	10	17	18	32	7.7
率(%)	100	0	17.2	10.8	18.3	19.4	34.4	

産科病床として最低でも確保している病床数 (施設)

		0床	1~3床	4~5床	6~10床	11床以上	無回答	平均
n数	241	3	114	19	19	24	62	5
率(%)	100	1.2	47.3	7.9	7.9	10	25.7	

4) 産科患者の入院先病室の決まり (問 4)

(施設)

		産科患者は基本的に個室へ入院	産科患者のみの病室へ入院	他科の患者と同室	無回答
n数	460	58	222	167	13
率(%)	100	12.6	48.3	36.3	2.8

産科患者の他科の患者と同室の頻度 (施設)

		常に	ときどき	ごくまれに	無回答
n数	167	13	72	81	1
率(%)	100	7.8	43.1	48.5	0.6

5) 産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準の有無 (問 5) (複数回答)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	460	403	40	17
率(%)	100	87.6	8.7	3.7

産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準がある場合の内容(複数回答)(施設)

		感染疑いは除外・感染患者は除外	就学前の小児科は除外	ターミナル期は除外	男性は除外	不穏・認知の症状がある患者は除外	クリニカルパス適応者のみ入院可	その他	無回答
n数	403	342	212	181	347	222	8	73	3
率(%)	100	84.9	52.6	44.9	86.1	55.1	2	18.1	0.7

6) ルールや基準があると回答した施設のルールや基準の順守度 (問 6)

(施設)

		完全に守っている	入院患者を受け入れざるをえない	ケースバイケースで緊急があれば入院を受け入れる	ルールはあるがほとんど守られていない	その他	無回答
n数	403	217	114	62	2	4	4
率(%)	100	53.8	28.3	15.4	0.5	1	1

VII. 助産師の出向について

1) 出向に関する経験の有無 (問 1)

(1) 他施設への出向

(施設)

		現在助産師が 出向している	以前助産師が 出向していた	出向の経験はない	助産師の出向経験 はないが看護師の 出向経験はある	無回答
n数	595	18	71	448	39	19
率(%)	100	3.0	11.9	75.3	6.6	3.2

(2) 他施設からの出向受け入れ

(施設)

		現在助産師の出向を 受け入れている	以前助産師の出向を 受け入れていた	出向受け入れの 経験はない	助産師の受け入れ 経験はないが 看護師はある	無回答
n数	595	21	55	466	24	29
率(%)	100	3.5	9.2	78.3	4.0	4.9

2) 出向施設の設置主体 (問 2)

出向元

(施設)

		グループ間 での出向	公立病院 (都道府県)	公立病院 (市町村)	国立大学法人	私立学校法人	個人病院	社会保険関係 団体の病院	医療法人	診療所	助産所	その他
n数	94	55	11	8	4	3	1	5	5	0	1	5
率(%)	100	58.5	11.7	8.5	4.3	3.2	1.1	5.3	5.3	0.0	1.1	5.3

出向先

(施設)

		グループ間 での出向	公立病院 (都道府県)	公立病院 (市町村)	国立大学法人	私立学校法人	個人病院	社会保険関係 団体の病院	医療法人	診療所	助産所	その他
n数	105	62	7	15	1	2	3	6	3	1	0	11
率(%)	100	59.0	6.7	14.3	1.0	1.9	2.9	5.7	2.9	1.0	0.0	10.5

3) 出向助産師の人数 (問3)

1年間													(施設)
	0人	1~10人	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71~80人	81~90人	91~100人	101人以上	無回答
n数	135	6	89	1	0	0	0	0	0	0	0	0	39
率(%)	100	4.4	65.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.9

累積													(施設)
	0人	1~10人	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71~80人	81~90人	91~100人	101人以上	無回答
n数	135	3	102	9	0	2	0	0	0	0	0	0	19
率(%)	100	2.2	75.6	6.7	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.1

4) 出向助産師の、出向時点での臨床経験年数の分布 (問4)

3-4年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	72	34	3	2	1	0	0	22
率(%)	100	53.3	25.2	2.2	1.5	0.7	0.0	0.0	16.3

5-6年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	69	43	1	0	0	0	0	22
率(%)	100	51.1	31.9	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

7-8年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	86	27	0	0	0	0	0	22
率(%)	100	63.7	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

9-10年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	94	19	0	0	0	0	0	22
率(%)	100	69.6	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

11-14年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	94	18	1	0	0	0	0	22
率(%)	100	69.6	13.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

15-19年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	91	22	0	0	0	0	0	22
率(%)	100	67.4	16.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

20-29年目 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	90	23	0	0	0	0	0	22
率(%)	100	66.7	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

30年目以上 (施設)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答
n数	135	110	3	0	0	0	0	0	22
率(%)	100	81.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3

5) 1回の出向期間 (問5)

														(施設)	
平均		1か月未満	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月以上	無回答
n数	135	4	8	3	23	2	3	20	3	0	2	2	0	33	32
率(%)	100	3.0	5.9	2.2	17.0	1.5	2.2	14.8	2.2	0.0	1.5	1.5	0.0	24.4	23.7
最短															(施設)
		0ヶ月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月以上	無回答
n数	135	1	12	8	17	1	0	13	0	0	0	3	0	10	70
率(%)	100	0.7	8.9	5.9	12.6	0.7	0.0	9.6	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	7.4	51.9
最長															(施設)
		1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	12か月以上	無回答	
n数	135	5	2	8	1	0	8	1	0	2	0	0	38	70	
率(%)	100	3.7	1.5	5.9	0.7	0.0	5.9	0.7	0.0	1.5	0.0	0.0	28.1	51.9	

6) 出向先もしくは出向元の施設の所在地 (問6)

							(施設)
		都道府県内	都道府県別	複数出向先あり	両方に該当する	無回答	
n数	135	66	51	9	0	9	
率(%)	100	48.9	37.8	6.7	0.0	6.7	

7) 出向元と出向先での給与差 (問7)

						(施設)
		減額	増額	同額	無回答	
n数	135	0	20	100	15	
率(%)	100	0	14.8	74.1	11.1	

8) 出向先での出向助産師の分娩介助件数 (問8)

								(施設)
		0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	
n数	135	8	27	24	4	4	5	
率(%)	100	5.9	20.0	17.8	3.0	3.0	3.7	
		51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答
n数	3	4	1	1	1	2	63	
率(%)	2.2	3.0	0.7	0.7	0.7	1.5	46.7	

9) 他施設へ助産師の出向が可能になる条件／前提について (問9)

現時点よりも助産師の数が増えること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	2	14	21	122	418	18
率(%)	100	0.3	2.4	3.5	20.5	70.3	3

出向先は病院のみで診療所ではないこと (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	56	133	212	114	51	29
率(%)	100	9.4	22.4	35.6	19.2	8.6	4.9

出向先は同じ都道府県内の施設であること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	23	63	132	199	152	26
率(%)	100	3.9	10.6	22.2	33.4	25.5	4.4

出向先は通勤が可能な範囲であること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	10	39	115	187	220	24
率(%)	100	1.7	6.6	19.3	31.4	37.0	4.0

ひとりの助産師の出向期間が1年以内であること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	5	24	104	243	187	32
率(%)	100	0.8	4	17.5	40.8	31.4	5.4

ひとりの助産師の出向期間が半年以内であること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	14	49	185	185	134	28
率(%)	100	2.4	8.2	31.1	31.1	22.5	4.7

出向する助産師の給与が今よりも減額にならないこと (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	1	2	13	134	420	27
率(%)	100	0.2	0.3	2.2	22.5	70.6	4.5

出向期間中の年月が出向元の退職金の計算対象範囲に含まれること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	1	1	16	141	413	23
率(%)	100	0.2	0.2	2.7	23.7	69.4	3.9

出向先が寮を準備し出向助産師が2カ所の家賃を支払う必要がないこと (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	2	1	21	153	393	25
率(%)	100	0.3	0.2	3.5	25.7	66.1	4.2

出向元施設側に金銭的なメリットがあること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	15	38	204	178	135	25
率(%)	100	2.5	6.4	34.3	29.9	22.7	4.2

出向先での教育体制が整っていること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	0	7	35	238	290	25
率(%)	100	0	1.2	5.9	40	48.7	4.2

出向先の施設に常勤助産師が1人以上いること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	2	4	14	134	416	25
率(%)	100	0.3	0.7	2.4	22.5	69.9	4.2

都道府県医療計画の中で助産師出向システムが制度化されている (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	4	18	95	235	218	25
率(%)	100	0.7	3	16	39.5	36.6	4.2

地域全体の医療施設間で助産師の養成や研修制度を構築していること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	2	7	43	274	246	23
率(%)	100	0.3	1.2	7.2	46.1	41.3	3.9

出向元施設と出向先施設の間で出向について調整／仲介してくれる (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	0	15	37	273	245	25
率(%)	100	0	2.5	6.2	45.9	41.2	4.2

出向中の経験を出向元施設に戻ってから評価する仕組みがあること (施設)

		全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である	無回答
n数	595	1	9	46	310	103	26
率(%)	100	0.2	1.5	7.7	52.1	17.3	4.4

10) 助産師の出向に関する産科関連病棟の看護管理者としての気持ち (問 10)

(施設)

		他施設から助産師の出向を受け入れたい	一定の条件が整えば他施設への助産師出向を検討する	どのような条件が整えられても助産師を出向させることはできない	無回答
n数	595	119	333	117	26
率(%)	100	20	56	19.7	4.4

11) 助産師の出向を受け入れるために病院が取れる対応 (問 10-1)

(施設)

		病院の規定給与内での支払いであれば受け入れたい	病院の規定給与を超えても受け入れたい	病院の就業形態に合わせられる人であれば受け入れたい	寮・宿泊施設を提供してでも受け入れたい	病院の規定住宅手当内での支払いであれば受け入れたい	分娩介助経験数が()件以上であれば受け入れたい	その他	無回答
n数	119	76	14	77	40	26	37	13	2
率(%)	100	63.9	11.8	64.7	33.6	21.8	31.1	10.9	1.7

受け入れ可能な分娩介助経験数

(施設)

		1~5件	6~10件	11~15件	16~20件	21件~	無回答	平均
n数	37	1	0	0	1	33	2	85.5
率(%)	100	2.7	0	0	2.7	89.2	5.4	

12) 1回に同時に出向させることができる人数 最少 (問 10-2)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	333	95	226	0	0	0	0	0	0	12	0.7
率(%)	100	28.5	67.9	0	0	0	0	0	0	3.6	

13) 1回に同時に出向させるじよとができる人数 最多 (問 10-2)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	333	16	120	0	0	0	0	0	0	197	1.4
率(%)	100	4.8	36	0	0	0	0	0	0	59.2	

Ⅷ. 平成24年8月1日(水)の日勤帯終了時点での、妊産褥婦及び新生児の入院状況について

1) 妊産褥婦及び新生児の入院状況

産科関連病棟に入院している妊婦の数 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	38	188	135	76	40	24	12	13	69	9
率(%)	100	6.4	31.6	22.7	12.8	6.7	4	2	2.2	11.6	

そのうち分娩進行中の妊婦 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	247	275	7	0	0	0	0	0	66	1
率(%)	100	41.5	46.2	1.2	0	0	0	0	0	11.1	

妊婦の妊娠リスクスコア低リスク群 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	112	275	40	15	7	3	0	1	142	3
率(%)	100	18.8	46.2	6.7	2.5	1.2	0.5	0	0.2	23.9	

妊娠リスクスコア中程度リスク群 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	100	286	46	8	1	2	0	0	152	2.7
率(%)	100	16.8	48.1	7.7	1.3	0.2	0.3	0	0	25.5	

妊娠リスクスコア高リスク群 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	168	209	33	3	0	0	1	0	181	1.8
率(%)	100	28.2	35.1	5.5	0.5	0	0	0.2	0	30.4	

妊娠リスクスコア超高リスク群 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	215	155	12	2	2	0	0	0	209	1.1
率(%)	100	36.1	26.1	2	0.3	0.3	0	0	0	35.1	

産科関連病棟に入院している産後0・1・2日目の褥婦の数 (施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	65	274	123	32	7	2	2	1	89	4.6
率(%)	100	10.9	46.1	20.7	5.4	1.2	0.3	0.3	0.2	15	

そのうち帝王切開後の褥婦の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	163	327	16	0	0	0	0	0	89	1.6
率(%)	100	27.4	55	2.7	0	0	0	0	0	15	

そのうち吸引分娩後の褥婦の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	381	76	1	0	0	0	0	0	137	0.2
率(%)	100	64	12.8	0.2	0	0	0	0	0	23	

そのうち鉗子分娩後の褥婦の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	441	14	0	0	0	0	0	0	140	0
率(%)	100	74.1	2.4	0	0	0	0	0	0	23.5	

そのうち分娩当日の褥婦の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	180	305	12	0	1	1	0	0	96	1.4
率(%)	100	30.3	51.3	2	0	0.2	0.2	0	0	16.1	

産科関連病棟に入院している産後3日目以降の褥婦の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	67	339	96	26	2	4	1	0	60	4
率(%)	100	11.3	57	16.1	4.4	0.3	0.7	0.2	0	10.1	

産科関連病棟や新生児室で管理している正常新生児の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	43	231	146	78	26	14	0	4	53	6.9
率(%)	100	7.2	38.8	24.5	13.1	4.4	2.4	0	0.7	8.9	

妊産婦褥婦のうち護送(車椅子)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	156	224	97	35	14	3	0	3	63	4
率(%)	100	26.2	37.6	16.3	5.9	2.4	0.5	0	0.5	10.6	

妊産婦褥婦のうち担送(ベット・ストレッチャーでの移動)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	290	205	16	1	2	0	2	0	79	1.2
率(%)	100	48.7	34.5	2.7	0.2	0.3	0	0.3	0	13.3	

日勤帯での分娩件数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	259	282	7	0	0	0	0	0	47	1
率(%)	100	43.5	47.4	1.2	0	0	0	0	0	7.9	

そのうち予定帝王切開術

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	354	127	0	0	0	0	0	0	114	0.4
率(%)	100	59.5	21.3	0	0	0	0	0	0	19.2	

そのうち緊急帝王切開術

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	409	62	0	0	0	0	0	0	124	0.1
率(%)	100	68.7	10.4	0	0	0	0	0	0	20.8	

日勤帯での妊婦の新規入院患者数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	210	326	17	1	0	0	0	1	40	1.4
率(%)	100	35.3	54.8	2.9	0.2	0	0	0	0.2	6.7	

日勤帯での新生児の新規入院患者数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	297	247	8	0	0	0	0	0	43	0.9
率(%)	100	49.9	41.5	1.3	0	0	0	0	0	7.2	

日勤帯での妊婦・褥婦の退院患者数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	180	345	23	1	1	1	0	0	44	1.8
率(%)	100	30.3	58	3.9	0.2	0.2	0.2	0	0	7.4	

日勤帯での新生児の退院患者数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	226	314	9	1	0	0	0	0	45	1.3
率(%)	100	38	52.8	1.5	0.2	0	0	0	0	7.6	

日勤帯での勤務助産師の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	4	303	184	48	16	4	2	1	33	6.1
率(%)	100	0.7	50.9	30.9	8.1	2.7	0.7	0.3	0.2	5.5	

そのうち新卒助産師の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	264	284	4	0	0	0	0	0	43	0.9
率(%)	100	44.4	47.7	0.7	0	0	0	0	0	7.2	

分娩室担当の助産師の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	32	519	6	1	0	1	0	0	36	1.5
率(%)	100	5.4	87.2	1	0.2	0	0.2	0	0	6.1	

日勤帯での産科担当の勤務看護師の数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	595	167	312	62	8	2	3	1	0	40	2.6
率(%)	100	28.1	52.4	10.4	1.3	0.3	0.5	0.2	0	6.7	

IX. 総合周産期母子医療センターについて

1) MFICU 病床数 (問 1)

(施設)

		0 床	1~3床	4~5床	6~10床	11床以上	無回答	平均
n数	61	0	6	0	52	3	0	6.5
率(%)	100	0.0	9.8	0.0	85.2	4.9	0.0	

2) 8月1日時点での入院者数 (問 1)

(施設)

		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	61	3	26	27	2	0	0	0	0	3	5.2
率(%)	100	4.9	42.6	44.3	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	

3) 8月1日時点での MFICU 病床担当の助産師数 (問 2)

(施設)

		0 人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	61	0	41	8	4	4	4	3.5
率(%)	100	0	67.2	13.1	6.6	6.6	6.6	

4) 8月1日時点での MFICU 病床担当の看護師数 (問 2)

(施設)

		0 人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	61	42	15	1	0	0	0	0	0	3	0.6
率(%)	100	68.9	24.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	

X. 混合病棟について

1) 8月1日の日勤終了時点における混合病棟の他科診療科入院患者数 (問1)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	460	29	67	61	47	43	38	33	41	101	14.9
率(%)	100	6.3	231.0	91.0	77.0	91.5	88.4	86.8	124.2	246.3	

2) 8月1日の日勤終了時点における混合病棟の助産師数 (問2)

(施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	460	80	172	40	28	7	133	2.4
率(%)	100	17.4	37.4	8.7	6.1	1.5	28.9	

3) 8月1日の日勤終了時点における混合病棟助産師の受け持ち入院患者数 (問2)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	460	187	76	61	14	7	3	3	0	109	3.2
率(%)	100	40.7	16.5	13.3	3.0	1.5	0.7	0.7	0.0	23.7	

4) 他科診療科の患者を対象とした「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価表」で8月1日を評価日とした、A得点(モニタリング及び処置等に係る得点)が2点以上、かつB得点(患者の状況等に係る得点)が3点以上の患者数

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	460	116	168	30	9	2	1	1	0	133	2.5
率(%)	100	25.2	36.5	6.5	2.0	0.4	0.2	0.2	0.0	28.9	

平成 24 年度

助産師の出向システムと助産実習の
受け入れ可能性等に関する調査

診療所対象

単純統計 結果

これより、診療所を対象とした調査の単純集計結果を記す。単純集計は、本調査に回答いただいた全数を集計した結果となっている。しかし、本調査の結果分析にあたり、有効回答を以下の通りとしており、分析の結果と単純集計結果を解釈する際には留意いただきたい。

診療所を対象としている本結果では、有効回答の条件を以下のように定めた。

セクション	有効回答条件
I	問1（所在地の県名記載があれば有効）、問2、問3が回答されている
II	問1、問2、問3、問4（のべ人数が入っていれば有効）、問5、問6（どれか1つが入っていれば有効）、問7、問8が回答されている
III	問1、問2、問3、問4が回答されている
IV	問1（件数、率のどちらかが記載されていれば有効）、問2、問3（母子同室の開始時期の記載がなくても有効）、問4（院内助産の有無、導入希望の記載がなくても有効）、問5（助産外来、助産外来の導入希望、時間割がなくても有効）が回答されている
V	問1、問2、問4、問5、問7が回答されている

セクション	診療所 (N=355)		
	有効回答母数	有効回答数	有効回答率
I	355	180	50.7%
II	355	343	96.6%
III	355	308	86.8%
IV	355	204	57.5%
V	355	250	70.4%

I. 診療所の概要

1) 所在地 (問 1)

(施設)

		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
n数	355	15	5	4	6	-	1	6	8
率(%)	100	4.2	1.4	1.1	1.7	-	0.3	1.7	2.3

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
14	4	12	14	17	9	5	1	7	2
3.9	1.1	3.4	3.9	4.8	2.5	1.4	0.3	2	0.6

山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
2	7	8	9	24	7	6	9	22	20
0.6	2	2.3	2.5	6.8	2	1.7	2.5	6.2	5.6

奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
2	7	2	2	4	8	10	2	3	3
0.6	2	0.6	0.6	1.1	2.3	2.8	0.6	0.8	0.8

高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
3	23	2	9	6	6	4	10	4	1
0.8	6.5	0.6	2.5	1.7	1.7	1.1	2.8	1.1	0.3

2) 診療所の病床数 (問 2)

産科病床数

(施設)

		0床	1~5床	6~10床	11~15床	16~20床	21床以上	無回答	平均
n数	355	2	15	78	107	141	3	9	13.9
率(%)	100	0.6	4.2	22	30.1	39.7	0.8	2.5	

その他の病床数

(施設)

		0床	1~5床	6~10床	11~15床	16~20床	21床以上	無回答	平均
n数	355	178	8	5	1	0	4	159	3.8
率(%)	100	50.1	2.3	1.4	0.3	0	1.1	44.8	

3) 標榜診療科名称 (問 3)

(施設)

		産科	婦人科	小児科	内科	その他	無回答
n数	355	348	319	43	40	28	4
率(%)	100	98	89.9	12.1	11.3	7.9	1.1

II. 助産師の出向について

1) 他施設からの助産師の出向について (問 1)

(施設)

		受け入れて 現在	受け入れて 以前受	出向受け入れ 経験はない	助産師の受け入れ の経験はないが 看護師はある	無回答
n数	355	11	10	328	2	4
率(%)	100	3.1	2.8	92.4	0.6	1.1

2) 助産師の出向受け入れの希望 (問 2)

(施設)

		希望する	希望しない	無回答
n数	330	131	198	1
率(%)	100	39.7	60	0.3

3) 出向助産師に期待する担当業務内容 (問 2-1) (複数回答)

(施設)

		分娩 介助	夜勤 勤務	妊婦 健診	助産学生 の実習 指導	その他	無回答
n数	131	112	112	38	21	19	1
率(%)	100	85.5	85.5	29	16	14.5	0.8

4) 希望する出向期間 (問 2-2)

(施設)

		1年間	半年間	その他	無回答
n数	131	102	15	9	5
率(%)	100	77.9	11.5	6.9	3.8

その他の希望

(施設)

		1~5カ月	7~11カ月	13カ月以上	無回答
n数	9	1	0	3	5
率(%)	100	11.1	0	33.3	55.6

5) 希望する出向助産師の人数 (問 2-3)

(施設)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	131	0	125	0	0	0	0	0	0	6	1.7
率(%)	100	0	95.4	0	0	0	0	0	0	4.6	

6) 希望する出向助産師の臨床経験年数 (問 2-4)

(施設)

		0年	1年目以上	2年目以上	3年目以上	4年目以上	5年目以上	無回答	平均
n数	131	1	8	17	54	1	45	5	3.6
率(%)	100	0.8	6.1	13	41.2	0.8	34.4	3.8	

7) 助産師の出向を受け入れるためにとれる対応 (問 2-5) (複数回答)

(施設)

		診療所の規定給与内での支払いであれば受け入れたい	診療所の規定給与を超えても受け入れたい	診療所の就業形態に合わせられる人であれば受け入れたい	寮・宿泊施設を提供してでも受け入れたい	診療所の規定の住宅手当内での支払いであれば受け入れたい	分娩介助経験数が一定数以上であれば受け入れたい	その他	無回答
n数	131	113	10	97	17	29	16	14	3
率(%)	100	86.3	7.6	74	13	22.1	12.2	10.7	2.3

希望する分娩介助経験件数

(施設)

		20件未満	21~40件	41~60件	61~80件	81~100件	101件以上	無回答	平均
n数	16	2	2	2	0	9	1	0	80
率(%)	100	12.5	12.5	12.5	0	56.3	6.3	0	

8) 助産師の出向を受け入れている・いた施設の、助産師出向元の設置主体 (問 3)

(施設)

		グループ間での出向	(都道府県) 公立病院	(市町村) 公立病院	国立大学法人	私立大学法人	個人病院	社会保険関係団体の病院	医療法人	診療所	助産所	その他	無回答
n数	21	2	-	2	1	1	-	-	1	2	7	-	7
率(%)	100	9.5	-	9.5	4.8	4.8	-	-	4.8	9.5	33.3	-	33.3

9) 受け入れている助産師の人数 (問 4)

(施設)

1年間の延べ人数													(施設)	
		0人	1~10人	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71~80人	81~90人	91人以上	無回答	平均
n数	21	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2.4
率(%)	100	-	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	

今までの延べ人数													(施設)	
		0人	1~10人	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71~80人	81~90人	91~100人	101人以上	無回答
n数	21	-	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
率(%)	100	-	76.2	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19

10) 受け入れた助産師の出向時点での臨床経験年数 (問 5)

(施設)

		0名	1~4名	5~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
3~4年 目	21	-	4	2	-	-	-	-	-	15	3.7
	100	-	19	9.5	-	-	-	-	-	71.4	
5~6年 目	21	-	4	1	-	-	-	-	-	16	2.2
	100	-	19	4.8	-	-	-	-	-	76.2	
7~8年 目	21	-	3	-	-	-	-	-	-	18	2.7
	100	-	14.3	-	-	-	-	-	-	85.7	
9~10 年目	21	-	2	1	-	-	-	-	-	18	2.3
	100	-	9.5	4.8	-	-	-	-	-	85.7	
11~14 年目	21	-	4	1	-	-	-	-	-	16	1.8
	100	-	19	4.8	-	-	-	-	-	76.2	
15~19 年目	21	-	5	1	-	-	-	-	-	15	2
	100	-	23.8	4.8	-	-	-	-	-	71.4	
20~29 年目	21	-	6	-	-	-	-	-	-	15	1.3
	100	-	28.6	-	-	-	-	-	-	71.4	
30年目 以上	21	-	6	-	-	-	-	-	-	15	1.8
	100	-	28.6	-	-	-	-	-	-	71.4	

11) 受け入れた助産師の1回の出向期間 (問 6)

平均

(施設)

		1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	
n数	21	1	-	1	-	-	2	-	
率(%)	100	4.8	-	4.8	-	-	9.5	-	
		8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月	13カ月以上	無回答	平均
n数	-	-	-	1	1	4	11	16.3	
率(%)	-	-	-	4.8	4.8	19	52.4		

最短

(施設)

		1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	
n数	21	-	-	3	-	-	-	1	
率(%)	100	-	-	14.3	-	-	-	4.8	
		8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月	13カ月以上	無回答	平均
n数	-	-	1	-	-	1	15	14.3	
率(%)	-	-	4.8	-	-	4.8	71.4		

最長

(施設)

		1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	7カ月	
n数	21	-	-	2	-	-	-	-	
率(%)	100	-	-	9.5	-	-	-	-	
		8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月	13カ月以上	無回答	平均
n数	-	-	-	-	2	8	9	36.7	
率(%)	-	-	-	-	9.5	38.1	42.9		

12) 助産師の出向を受け入れている・いた、助産師の出向元施設の所在地 (問 7)

(施設)

		同じ都道府県内	別の都道府県	無回答
n数	21	17	5	2
率(%)	100	81	23.8	9.5

13) 出向先での出向助産師の平均分娩介助件数 (問 8)

(施設)

		0件	1~5件	6~10件	11~15件	16~20件	21~25件	26~30件	31件以上	無回答	平均
n数	21	-	3	1	-	1	-	-	8	8	45.2
率(%)	100	-	14.3	4.8	-	4.8	-	-	38.1	38.1	

III. 助産実習の受け入れの可能性について

1) 学生実習の受け入れ状況 (問 1) (複数回答)

(施設)

		母性看護学実習を 受け入れている	受け入れていない	受け入れていないは	無回答
n数	355	87	66	222	14
率(%)	100	24.5	18.6	62.5	3.9

2) 実習を受け入れていない施設において、助産学生の実習受け入れを可能にする条件 (問 2)
(複数回答)

(施設)

		勤務助産師の数が 増えれば	専任の実習指導者を 配置できれば	勤務助産師や看護師の 協力的体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が 得られれば	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれれば	話し合いの機会が増えれば 実習期間中の診療所と 学校側との連携や
n数	275	141	123	136	59	91	83	45
率(%)	100	51.3	44.7	49.5	21.5	33.1	30.2	16.4
	看護師免許を有して いれば	ロッカールームや寮の 物理的な環境が整備 など	将来的に就職に結び つけば	正常分娩の件数が増 えれば	看護手順の整備が整 えば	実習費用手当が増額 されれば	その他	無回答
n数	47	62	87	48	27	9	25	23
率(%)	17.1	22.5	31.6	17.5	9.8	3.3	9.1	8.4

実習費用手当の増額希望額

(施設)

		1000円 以内	1001~ 5000円	5001~ 10000	10001 円以上	無回答	平均
n数	9	-	-	1	1	7	15000
率(%)	100	-	-	11.1	11.1	77.8	15000

助産学生の実習受け入れを可能にする条件<1位>

(施設)

		勤務助産師の数が 増えれば	専任の実習指導者を 配置できれば	勤務助産師や看護師の 協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が 得られれば	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれば	実習期間中の診療所と 学校側との連携や 話し合いの機会が増えれば
n数	275	73	35	25	12	16	17	1
率(%)	100	26.5	12.7	9.1	4.4	5.8	6.2	0.4
	看護師助産学生が すいでいれば	ロッカールームや寮の 物理的な環境を整え ば	将来的に就職に結び つけば	正常分娩の件数が増え れば	看護手順の整備が整え ば	実習費用手当が増額さ れれば	その他	無回答
n数	6	4	23	20	-	-	13	30
率(%)	2.2	1.5	8.4	7.3	-	-	4.7	10.9

助産学生の実習受け入れを可能にする条件<2位>

(施設)

		勤務助産師の数が 増えれば	専任の実習指導者を 配置できれば	勤務助産師や看護師の 協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が 得られれば	学校側の指導者が実習に ほぼ毎日同行してくれれば	実習期間中の診療所と 学校側との連携や 話し合いの機会が増えれば
n数	275	29	40	51	10	26	22	8
率(%)	100	10.5	14.5	18.5	3.6	9.5	8	2.9
	看護師助産学生が すいでいれば	ロッカールームや寮の 物理的な環境が整備など 学生用の	将来的に就職に結びつけば	正常分娩の件数が増えれば	看護手順の整備が整えば	実習費用手当が増額されれば	その他	無回答
n数	5	7	13	13	4	1	-	46
率(%)	1.8	2.5	4.7	4.7	1.5	0.4	-	16.7

助産学生の実習受け入れを可能にする条件<3位>

(施設)

		勤務助産師の数が増えれば	専任の実習指導者を配置できれば	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が得られれば	学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	実習期間中の診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば
n数	275	12	24	31	12	14	26	12
率(%)	100	4.4	8.7	11.3	4.4	5.1	9.5	4.4
	看護師助産学生がすでに有していれば	ロッカールームや寮の整備など物理的な環境が整えば	将来的に就職に結びつけば	正常分娩の件数が増えれば	看護手順の整備が整えば	実習費用手当が増額されれば	その他	無回答
n数	16	20	32	7	9	2	2	56
率(%)	5.8	7.3	11.6	2.5	3.3	0.7	0.7	20.4

3) 助産実習で受け入れている年間助産学生数 (問3)

(施設)

		10人以下	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人
n数	66	56	8	-	-	-	-
率(%)	100	84.8	12.1	-	-	-	-
	61~70人	71~80人	81~90人	91~100人	101人以上	無回答	平均
n数	-	-	-	-	-	2	5.9
率(%)	-	-	-	-	-	3	

4) 助産学生実習の受け入れをさらに可能にする条件 (問 4) (複数回答)

(施設)

		勤務助産師の数が増えれば	専任の実習指導者を配置できれば	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が得られれば	学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	実習期間中の診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば
n数	66	30	29	15	5	12	25	9
率(%)	100	45.5	43.9	22.7	7.6	18.2	37.9	13.6
	看護師助産学生が有していれば	学生用のロッカールームや物理的な環境が整えば	将来的に就職に結びつけば	正常分娩の件数が増えれば	看護手順の整備が整えば	実習費用手当が増額されれば	その他	無回答
n数	4	16	22	10	2	3	8	9
率(%)	6.1	24.2	33.3	15.2	3	4.5	12.1	13.6

実習費用手当の増額希望額

(施設)

		1000円以内	1001~5000円	5001~10000	10001円以上	無回答	平均
n数	3	-	1	-	-	2	1500
率(%)	100	-	33.3	-	-	66.7	1500

助産学生の実習受け入れをさらに可能にする条件<1位> (施設)

		勤務助産師の数が増えれば	専任の実習指導者を配置できれば	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が得られれば	学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	実習期間中の診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば
n数	66	12	8	2	-	2	11	-
率(%)	100	18.2	12.1	3	-	3	16.7	-
	看護師助産学生がすでにあれば	学生用のロッカールームや物理的な環境が整えば	将来的に就職に結びつけば	正常分娩の件数が増えれば	看護手順の整備が整えば	実習費用手当が増額されれば	その他	無回答
n数	1	2	8	5	-	-	4	11
率(%)	1.5	3	12.1	7.6	-	-	6.1	16.7

助産学生の実習受け入れをさらに可能にする条件<2位> (施設)

		勤務助産師の数が増えれば	専任の実習指導者を配置できれば	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が得られれば	学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	実習期間中の診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば
n数	66	9	13	4	2	4	5	4
率(%)	100	13.6	19.7	6.1	3	6.1	7.6	6.1
	看護師助産学生がすでにいれば	学生用のロッカールームや物理的な環境が整えば	将来的に就職に結びつけば	正常分娩の件数が増えれば	看護手順の整備が整えば	実習費用手当が増額されれば	その他	無回答
n数	1	7	4	1	-	-	-	12
率(%)	1.5	10.6	6.1	1.5	-	-	-	18.2

助産学生の実習受け入れをさらに可能にする条件<3位> (施設)

		勤務助産師の数が増えれば	専任の実習指導者を配置できれば	勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	産科医師の協力が得られれば	妊産褥婦の理解と協力が得られれば	学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	実習期間中の診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば
n数	66	6	5	4	2	3	7	1
率(%)	100	9.1	7.6	6.1	3	4.5	10.6	1.5
	看護師助産学生がすでに免許を有していれば	学生用のロッカールームや物理的な環境が整えば	将来的に就職に結びつけば	正常分娩の件数が増えれば	看護手順の整備が整えば	実習費用手当が増額されれば	その他	無回答
n数	-	5	8	3	-	1	2	19
率(%)	-	7.6	12.1	4.5	-	1.5	3	28.8

Ⅳ. 分娩状況やケアに関して

1) 平成 23 年の年間分娩件数 (問 1)

年間分娩件数		(施設)								
		0件	1~50件	451~100件	101~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501~600件	
n数	355	2	9	13	39	59	71	51	30	
率(%)	100	0.6	2.5	3.7	11	16.6	20	14.4	8.5	
		601~700件	701~800件	801~900件	901~1000件	1001~1500件	1501~2000件	2001件以上	無回答	平均
n数	19	17	13	6	7	1	-	18	411.2	
率(%)	5.4	4.8	3.7	1.7	2	0.3	-	5.1		

分娩件数		(施設)									
		0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	71~80件	
帝王切開術	355	12	24	37	43	40	32	28	20	17	
吸引分娩	100	3.4	6.8	10.4	12.1	11.3	9	7.9	5.6	4.8	
鉗子分娩	355	13	68	49	36	29	25	10	5	6	
	100	3.7	19.2	13.8	10.1	8.2	7	2.8	1.4	1.7	
帝王切開術	355	214	36	9	2	3	1	-	-	-	
吸引分娩	100	60.3	10.1	2.5	0.6	0.8	0.3	-	-	-	
		81~90件	91~100件	101~150件	151~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501件以上	無回答	平均
帝王切開術	7	6	39	6	2	1	-	-	-	41	52.2
吸引分娩	2	1.7	11	1.7	0.6	0.3	-	-	-	11.5	
鉗子分娩	3	6	14	1	-	-	-	-	-	90	31.1
	0.8	1.7	3.9	0.3	-	-	-	-	-	25.4	
帝王切開術	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90	1.7
吸引分娩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.4	

率		(施設)							
		0%	~10%	11~15%	16~20%	21~25%	26~30%	31~35%	
帝王切開術	355	5	55	37	19	10	2	1	
吸引分娩	100	1.4	15.5	10.4	5.4	2.8	0.6	0.3	
鉗子分娩	355	6	59	16	12	4	3	1	
	100	1.7	16.6	4.5	3.4	1.1	0.8	0.3	
帝王切開術	355	78	23	-	-	-	-	-	
吸引分娩	100	22	6.5	-	-	-	-	-	
		36~40%	41~45%	46~50%	51~55%	56~60%	61%以上	無回答	平均
帝王切開術	-	-	1	-	-	-	-	225	11.8
吸引分娩	-	-	0.3	-	-	-	-	63.4	
鉗子分娩	-	-	-	-	-	-	-	254	9
	-	-	-	-	-	-	-	71.5	
帝王切開術	-	-	-	-	-	-	-	254	0.6
吸引分娩	-	-	-	-	-	-	-	71.5	

2) 常勤助産師 1 人あたりの年間分娩件数 (問 2)

		(施設)						
		0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	
n数	355	10	7	13	11	29	43	
率(%)	100	2.8	2	3.7	3.1	8.2	12.1	
		51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答
n数	36	27	19	13	36	37	74	
率(%)	10.1	7.6	5.4	3.7	10.1	10.4	20.8	

3) 母子同室の実施状況 (問3)

(施設)

		完全 母子 同室	それ 以外 の 母子 同室	日 中 も し く は 夜 間 の み 母 子 同 室	母 子 異 室	無 回 答
n数	355	65	216	47	12	15
率(%)	100	18.3	60.8	13.2	3.4	4.2

母子同室の開始時期

(施設)

		出生後数 時間から	出生1日 目から	それ以降 から	無回答
n数	263	58	154	45	6
率(%)	100	22.1	58.6	17.1	2.3

2日目以降の開始時期

(施設)

		出生2日 目から	出生3日 目から	出生4日 目から	出生5日 目以降か ら	無回答
n数	45	32	8	-	-	5
率(%)	100	71.1	17.8	-	-	11.1

4) 調査時点 (平成24年) の院内助産実施の有無 (問4)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	355	20	303	32
率(%)	100	5.6	85.4	9

院内助産の開始時期

(施設)

		平成1 ~5年	平成6 ~10年	平成11 ~15年	平成16 ~20年	平成21 ~22年	平成23 年	平成24 年	無回答
n数	20	1	-	3	4	5	1	1	5
率(%)	100	5	-	15	20	25	5	5	25

院内助産での通産分娩件数

(施設)

		0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	
n数	20	-	1	1	1	-	-	
率(%)	100	-	5	5	5	-	-	
		51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答
n数	-	-	-	-	-	-	9	8
率(%)	-	-	-	-	-	-	45	40

院内助産の導入希望 (施設)

		導入希望あり	導入希望なし	無回答
n数	303	49	215	39
率(%)	100	16.2	71	12.9

導入希望の状況 (施設)

		実施予定である	準実施中の	実施の予定も準備もしていないが導入希望はある	無回答
n数	49	-	6	42	1
率(%)	100	-	12.2	85.7	2

5) 調査時点(平成24年)の助産外来実施の有無(問5)

(施設)

		あり	なし	無回答
n数	355	79	261	15
率(%)	100	22.3	73.5	4.2

助産外来の開始時期

(施設)

		平成1~5年	平成6~10年	平成11~15年	平成16~20年	平成21~22年	平成23年	平成24年	無回答
n数	79	3	3	10	20	16	9	7	11
率(%)	100	3.8	3.8	12.7	25.3	20.3	11.4	8.9	13.9

助産師による超音波検査の実施有無 (施設)

		あり	なし	無回答
n数	79	48	28	3
率(%)	100	60.8	35.4	3.8

新人助産師の就職後1年以内における妊婦健診への関与(施設)

		妊婦健診を見学する	指導の先輩との実施	見学も実施もしていない	その他	無回答
n数	79	15	22	17	17	10
率(%)	100	19	27.8	21.5	21.5	12.7

助産外来の導入希望 (施設)

		導入希望あり	導入希望なし	無回答
n数	261	84	160	17
率(%)	100	32.2	61.3	6.5

導入希望の状況 (施設)

		実施予定である	実施の準備中	実施の予定も準備もしていないが導入希望はある	無回答
n数	84	3	18	61	2
率(%)	100	3.6	21.4	72.6	2.4

分娩第1期は助産師が担当する (施設)

		はい	いいえ	無回答
n数	595	558	25	12
率(%)	100	93.8	4.2	2

分娩第1期に助産師が担当するために必要と考える人数 (施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	62	264	32	13	4	220	2.2
率(%)	100	10.4	44.4	5.4	2.2	0.7	37	

分娩の直接介助者は助産師である (施設)

		はい	いいえ	無回答
n数	595	577	8	10
率(%)	100	97	1.3	1.7

分娩の直接介助者が助産師であるために必要と考える人数 (施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	67	267	29	14	4	214	2.2
率(%)	100	11.3	44.9	4.9	2.4	0.7	36	

産褥0・1・2日は助産師が担当する (施設)

		はい	いいえ	無回答
n数	595	343	238	14
率(%)	100	57.6	40	2.4

産褥0・1・2日に助産師が担当するために必要と考える人数 (施設)

		0人	1~3人	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	595	52	261	58	27	5	192	2.7
率(%)	100	8.7	43.9	9.7	4.5	0.8	32.3	

午前の助産外来担当助産師の人数<最大値> (施設)

		0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	79	-	47	-	-	-	32	1.3
	100	-	59.5	-	-	-	40.5	
火曜日	79	1	46	-	-	-	32	1.3
	100	1.3	58.2	-	-	-	40.5	
水曜日	79	1	43	-	-	-	35	1.3
	100	1.3	54.4	-	-	-	44.3	
木曜日	79	3	41	-	-	-	35	1.3
	100	3.8	51.9	-	-	-	44.3	
金曜日	79	-	45	-	-	-	34	1.4
	100	-	57	-	-	-	43	
土曜日	79	3	40	-	-	-	36	1.2
	100	3.8	50.6	-	-	-	45.6	
日曜日	79	19	4	-	-	-	56	0.2
	100	24.1	5.1	-	-	-	70.9	

午前の助産外来を受ける妊婦の人数<最大値> (施設)

		0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	79	-	42	-	-	-	37	7.9
	100	-	53.2	-	-	-	46.8	
火曜日	79	1	41	-	-	-	37	6.9
	100	1.3	51.9	-	-	-	46.8	
水曜日	79	-	37	-	-	-	42	7.6
	100	-	46.8	-	-	-	53.2	
木曜日	79	3	36	-	-	-	40	7.1
	100	3.8	45.6	-	-	-	50.6	
金曜日	79	-	40	-	-	-	39	7.6
	100	-	50.6	-	-	-	49.4	
土曜日	79	4	34	-	-	-	41	6.9
	100	5.1	43	-	-	-	51.9	
日曜日	79	17	3	-	-	-	59	1.6
	100	21.5	3.8	-	-	-	74.7	

午後の助産外来担当助産師の人数<最大値> (施設)

		0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	79	1	42	-	-	-	36	1.3
	100	1.3	53.2	-	-	-	45.6	
火曜日	79	2	35	-	-	-	42	1.1
	100	2.5	44.3	-	-	-	53.2	
水曜日	79	3	36	-	-	-	40	1.2
	100	3.8	45.6	-	-	-	50.6	
木曜日	79	4	30	-	-	-	45	1.2
	100	5.1	38	-	-	-	57	
金曜日	79	1	38	-	-	-	40	1.3
	100	1.3	48.1	-	-	-	50.6	
土曜日	79	5	18	-	-	-	56	1
	100	6.3	22.8	-	-	-	70.9	
日曜日	79	15	2	-	-	-	62	0.2
	100	19	2.5	-	-	-	78.5	

午後の助産外来を受ける妊婦の人数<最大値> (施設)

		0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	79	2	36	-	-	-	41	6
	100	2.5	45.6	-	-	-	51.9	
火曜日	79	3	30	-	-	-	46	4.8
	100	3.8	38	-	-	-	58.2	
水曜日	79	3	30	-	-	-	46	5.5
	100	3.8	38	-	-	-	58.2	
木曜日	79	5	27	-	-	-	47	5.3
	100	6.3	34.2	-	-	-	59.5	
金曜日	79	1	33	-	-	-	45	5.4
	100	1.3	41.8	-	-	-	57	
土曜日	79	6	14	-	-	-	59	4.6
	100	7.6	17.7	-	-	-	74.7	
日曜日	79	15	1	-	-	-	63	0.3
	100	19	1.3	-	-	-	79.7	

午前の助産外来担当助産師の人数<最小値> (施設)

	0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	17	2	-	-	-	15	1.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
火曜日	17	2	-	-	-	15	1.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
水曜日	17	2	-	-	-	15	1.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
木曜日	17	2	-	-	-	15	1.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
金曜日	17	2	-	-	-	15	1.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
土曜日	17	2	-	-	-	15	1.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
日曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	

午前の助産外来を受ける妊婦の人数<最小値> (施設)

	0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	17	15	-	-	-	2	4.5
	100	88.2	-	-	-	11.8	
火曜日	17	15	-	-	-	2	4.5
	100	88.2	-	-	-	11.8	
水曜日	17	12	-	-	-	5	4.8
	100	70.6	-	-	-	29.4	
木曜日	17	13	-	-	-	4	4.7
	100	76.5	-	-	-	23.5	
金曜日	17	14	-	-	-	3	4.6
	100	82.4	-	-	-	17.6	
土曜日	17	12	-	-	-	5	4.5
	100	70.6	-	-	-	29.4	
日曜日	17	2	-	-	-	15	3
	100	11.8	-	-	-	88.2	

午後の助産外来担当助産師の人数<最小値> (施設)

	0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-
火曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-
水曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-
木曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-
金曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-
土曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-
日曜日	17	-	-	-	-	17	-
	100	-	-	-	-	100	-

午後の助産外来を受ける妊婦の人数<最小値> (施設)

	0人	4人未満	4~5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
月曜日	17	11	-	-	-	6	2.7
	100	64.7	-	-	-	35.3	
火曜日	17	6	-	-	-	11	3.5
	100	35.3	-	-	-	64.7	
水曜日	17	6	-	-	-	11	3.2
	100	35.3	-	-	-	64.7	
木曜日	17	7	-	-	-	10	3.6
	100	41.2	-	-	-	58.8	
金曜日	17	8	-	-	-	9	2.6
	100	47.1	-	-	-	52.9	
土曜日	17	2	-	-	-	15	4.5
	100	11.8	-	-	-	88.2	
日曜日	17	1	-	-	-	16	3
	100	5.9	-	-	-	94.1	

6) 診療所の分娩の現状と方向性 (問 6)

(施設)

		近年分娩件数が 増加している	近年分娩件数が 減少している	大きな変化はない	制限する予定である 分娩件数を	分娩の廃止を 予定している	分娩対応を24年度に なって廃止した	無回答
n数	355	83	93	157	32	8	4	15
率(%)	100	23.4	26.2	44.2	9	2.3	1.1	4.2

分娩件数が増加している理由 (施設)

		地域の 妊産婦の 増加	他の医療 機関の産 科廃止	その他	無回答
n数	83	21	56	22	1
率(%)	100	25.3	67.5	26.5	1.2

分娩件数が減少している理由 (施設)

		地域の 妊産婦の 減少	他の医療 機関に妊 婦が集中	その他	無回答
n数	93	47	39	23	5
率(%)	100	50.5	41.9	24.7	5.4

V. 職員状況について

1) 8月1日現在の職員数(問1)

<産科医> (施設)

		0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
常勤	355	-	343	2	-	-	-	-	-	10	1.6
	100	-	96.6	0.6	-	-	-	-	-	2.8	
非常勤	355	64	156	20	-	-	-	-	-	115	2
	100	18	43.9	5.6	-	-	-	-	-	32.4	

<准看護師> (施設)

		0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
常勤	355	30	210	72	9	2	-	-	-	32	4
	100	8.5	59.2	20.3	2.5	0.6	-	-	-	9	
非常勤	355	62	176	13	2	-	-	-	-	102	1.8
	100	17.5	49.6	3.7	0.6	-	-	-	-	28.7	

<看護師> (施設)

		0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
常勤	355	20	228	62	3	2	-	-	1	39	3.7
	100	5.6	64.2	17.5	0.8	0.6	-	-	0.3	11	
非常勤	355	64	161	14	1	1	-	-	-	114	2
	100	18	45.4	3.9	0.3	0.3	-	-	-	32.1	

<助産師> (施設)

		0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
常勤	355	14	205	95	15	2	3	-	2	19	4.8
	100	3.9	57.7	26.8	4.2	0.6	0.8	-	0.6	5.4	
非常勤	355	31	190	52	7	-	-	-	-	75	3.4
	100	8.7	53.5	14.6	2	-	-	-	-	21.1	

<看護補助者> (施設)

		0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
常勤	355	87	149	23	-	-	-	-	-	96	2
	100	24.5	42	6.5	-	-	-	-	-	27	
非常勤	355	89	110	8	-	1	1	-	-	146	1.5
	100	25.1	31	2.3	-	0.3	0.3	-	-	41.1	

8月1日現在の職員数<産休・育休・休職中の常勤助産師> (施設)

		0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~25名	26~30名	31名以上	無回答	平均
n数	336	208	72	-	-	-	-	-	-	56	0.3
率(%)	100	61.9	21.4	-	-	-	-	-	-	16.7	

2) 年齢階層別常勤助産師人数 (問 2)

(施設)

		0名	1～5名	6～10名	11～15名	16～20名	21～25名	26～30名	31名以上	無回答	平均
25歳未満	355	261	20	1	-	-	-	-	-	73	0.1
	100	73.5	5.6	0.3	-	-	-	-	-	20.6	
25～29歳	355	193	94	2	1	-	-	-	-	65	0.6
	100	54.4	26.5	0.6	0.3	-	-	-	-	18.3	
30～34歳	355	151	144	2	-	-	-	-	-	58	0.9
	100	42.5	40.6	0.6	-	-	-	-	-	16.3	
35～39歳	355	144	156	1	-	-	-	-	-	54	0.9
	100	40.6	43.9	0.3	-	-	-	-	-	15.2	
40～44歳	355	141	152	2	-	-	-	-	-	60	1
	100	39.7	42.8	0.6	-	-	-	-	-	16.9	
45～49歳	355	169	128	2	-	-	-	-	-	56	0.7
	100	47.6	36.1	0.6	-	-	-	-	-	15.8	
50～54歳	355	152	143	-	-	-	-	-	-	60	0.6
	100	42.8	40.3	-	-	-	-	-	-	16.9	
55～59歳	355	217	73	-	-	-	-	-	-	65	0.3
	100	61.1	20.6	-	-	-	-	-	-	18.3	
60歳以上	355	229	59	-	-	-	-	-	-	67	0.2
	100	64.5	16.6	-	-	-	-	-	-	18.9	

3) 平成 23 年度 助産師の採用状況 (問 3)

採用予定数

(施設)

		0名	1～5名	6～10名	11～15名	16～20名	21～25名	26～30名	31名以上	無回答	平均
n数	355	102	141	3	1	-	-	-	-	108	1.2
率(%)	100	28.7	39.7	0.8	0.3	-	-	-	-	30.4	1.2

実際の採用数

(施設)

		0名	1～5名	6～10名	11～15名	16～20名	21～25名	26～30名	31名以上	無回答	平均
常勤の新卒助産師	355	171	38	1	-	-	-	-	-	145	0.2
	100	48.2	10.7	0.3	-	-	-	-	-	40.8	0.2
常勤の助産師	355	145	101	-	-	-	-	-	-	109	0.7
	100	40.8	28.5	-	-	-	-	-	-	30.7	0.7
パートタイム・非常勤の助産師	355	129	98	3	-	-	-	-	-	125	0.7
	100	36.3	27.6	0.8	-	-	-	-	-	35.2	0.7

新規採用以外で勤務している常勤・非常勤の助産師数

(施設)

		0名	1～5名	6～10名	11～15名	16～20名	21～25名	26～30名	31名以上	無回答	平均
n数	355	62	87	45	23	3	-	2	-	133	4.4
率(%)	100	17.5	24.5	12.7	6.5	0.8	-	0.6	-	37.5	4.4

常勤・非常勤の助産師数合計

(施設)

		0名	1～5名	6～10名	11～15名	16～20名	21～25名	26～30名	31名以上	無回答	平均
n数	355	43	116	58	30	9	1	-	2	96	5.3
率(%)	100	12.1	32.7	16.3	8.5	2.5	0.3	-	0.6	27	5.3

4) 平成23年度 常勤助産師の離職状況(問4)

平成23年度の常勤助産師退職者数

(施設)

	0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~30名	31~40名	41~50名	51~60名	61~70名	71名以上	無回答	平均
n数	355	235	99	1	-	-	-	-	-	-	-	20	0.4
率(%)	100	66.2	27.9	0.3	-	-	-	-	-	-	-	5.6	

平成23年度当初の在籍助産師職員数(常勤)

(施設)

	0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~30名	31~40名	41~50名	51~60名	61~70名	71名以上	無回答	平均
n数	355	58	169	68	17	1	4	1	-	-	-	37	4.1
率(%)	100	16.3	47.6	19.2	4.8	0.3	1.1	0.3	-	-	-	10.4	

平成23年度末の在籍助産師職員数(常勤)

(施設)

	0名	1~5名	6~10名	11~15名	16~20名	21~30名	31~40名	41~50名	51~60名	61~70名	71名以上	無回答	平均
n数	355	57	175	67	12	2	4	1	-	-	-	37	4.1
率(%)	100	16.1	49.3	18.9	3.4	0.6	1.1	0.3	-	-	-	10.4	

平成23年度の常勤助産師離職率(施設)

	離職率
n数	316 / 164.19
率(%)	100

5) 看護職の主な勤務形態(問5)(複数回答)

(施設)

	総数	三交代制	変則三交代制	二交代制	変則二交代制	交代制のミックス	夜勤専従制あり	当直制あり	オンコール体制あり 日中・夜間の両方で 分働体制あり	オンコールのみ分働時あり	無回答
n数	355	13	6	195	121	10	119	106	59	87	11
率(%)	100	3.7	1.7	54.9	34.1	2.8	33.5	29.9	16.6	24.5	3.1

6) 平成24年7月における、平均的な看護職の勤務者数(問6)

<日勤(平日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	355	8	300	24	1	1	-	-	-	21	2.5
	100	2.3	84.5	6.8	0.3	0.3	-	-	-	5.9	
そのうち非常勤 助産師数	355	71	186	1	-	-	-	-	-	97	1
	100	20	52.4	0.3	-	-	-	-	-	27.3	
看護師数	355	20	285	18	-	-	1	-	-	31	2.4
	100	5.6	80.3	5.1	-	-	0.3	-	-	8.7	
准 看護師数	355	29	264	22	1	-	-	-	-	39	2.4
	100	8.2	74.4	6.2	0.3	-	-	-	-	11	
看護 補助者数	355	68	227	4	-	-	-	-	-	56	1.6
	100	19.2	63.9	1.1	-	-	-	-	-	15.8	

<日勤(土曜日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	355	18	298	11	-	-	-	-	-	28	1.7
	100	5.1	83.9	3.1	-	-	-	-	-	7.9	
そのうち非常勤 助産師数	355	116	122	-	-	-	-	-	-	117	0.6
	100	32.7	34.4	-	-	-	-	-	-	33	
看護師数	355	18	289	5	-	-	-	-	-	43	1.7
	100	5.1	81.4	1.4	-	-	-	-	-	12.1	
准 看護師数	355	38	256	7	-	-	-	-	-	54	1.7
	100	10.7	72.1	2	-	-	-	-	-	15.2	
看護 補助者数	355	83	200	2	-	-	-	-	-	70	1.2
	100	23.4	56.3	0.6	-	-	-	-	-	19.7	

<日勤(日曜日/祝日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	355	21	296	9	-	-	-	-	-	29	1.6
	100	5.9	83.4	2.5	-	-	-	-	-	8.2	
そのうち非常勤 助産師数	355	125	114	-	-	-	-	-	-	116	0.6
	100	35.2	32.1	-	-	-	-	-	-	32.7	
看護師数	355	20	284	5	-	-	-	-	-	46	1.6
	100	5.6	80	1.4	-	-	-	-	-	13	
准 看護師数	355	40	256	3	-	-	-	-	-	56	1.5
	100	11.3	72.1	0.8	-	-	-	-	-	15.8	
看護 補助者数	355	89	194	2	-	-	-	-	-	70	1.1
	100	25.1	54.6	0.6	-	-	-	-	-	19.7	

<交代制の場合の夜勤(平日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	334	27	217	-	-	-	-	-	-	90	1
	100	8.1	65	-	-	-	-	-	-	26.9	
そのうち 非常勤 助産師数	334	92	63	-	-	-	-	-	-	179	0.3
	100	27.5	18.9	-	-	-	-	-	-	53.6	
看護師数	334	36	192	1	-	-	-	-	-	105	0.8
	100	10.8	57.5	0.3	-	-	-	-	-	31.4	
准 看護師数	334	46	169	2	-	-	-	-	-	117	0.9
	100	13.8	50.6	0.6	-	-	-	-	-	35	
看護 補助者数	334	147	34	-	-	-	-	-	-	153	0.2
	100	44	10.2	-	-	-	-	-	-	45.8	

<交代制の場合の夜勤(土曜日/日曜日/祝日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	355	26	195	-	-	-	-	-	-	134	1
	100	7.3	54.9	-	-	-	-	-	-	37.7	
そのうち 非常勤 助産師数	355	90	56	-	-	-	-	-	-	209	0.3
	100	25.4	15.8	-	-	-	-	-	-	58.9	
看護師数	355	36	172	1	-	-	-	-	-	146	0.8
	100	10.1	48.5	0.3	-	-	-	-	-	41.1	
准 看護師数	355	42	154	-	-	-	-	-	-	159	0.8
	100	11.8	43.4	-	-	-	-	-	-	44.8	
看護 補助者数	355	143	30	-	-	-	-	-	-	182	0.2
	100	40.3	8.5	-	-	-	-	-	-	51.3	

<当直体制の場合の夜勤(平日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	106	11	74	-	-	-	-	-	-	21	0.9
	100	10.4	69.8	-	-	-	-	-	-	19.8	
そのうち 非常勤 助産師数	106	27	22	-	-	-	-	-	-	57	0.4
	100	25.5	20.8	-	-	-	-	-	-	53.8	
看護師数	106	14	64	-	-	-	-	-	-	28	0.8
	100	13.2	60.4	-	-	-	-	-	-	26.4	
准 看護師数	106	16	60	-	-	-	-	-	-	30	0.8
	100	15.1	56.6	-	-	-	-	-	-	28.3	
看護 補助者数	106	46	9	-	-	-	-	-	-	51	0.2
	100	43.4	8.5	-	-	-	-	-	-	48.1	

<当直体制の場合の夜勤(土曜日/日曜日/祝日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	106	11	62	-	-	-	-	-	-	33	0.8
	100	10.4	58.5	-	-	-	-	-	-	31.1	
そのうち 非常勤 助産師数	106	23	22	-	-	-	-	-	-	61	0.4
	100	21.7	20.8	-	-	-	-	-	-	57.5	
看護師数	106	13	56	-	-	-	-	-	-	37	0.8
	100	12.3	52.8	-	-	-	-	-	-	34.9	
准 看護師数	106	15	53	-	-	-	-	-	-	38	0.7
	100	14.2	50	-	-	-	-	-	-	35.8	
看護 補助者数	106	44	8	-	-	-	-	-	-	54	0.1
	100	41.5	7.5	-	-	-	-	-	-	50.9	

<オンコール体制の場合の夜勤(平日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	146	8	89	-	-	-	-	-	-	49	0.8
	100	5.5	61	-	-	-	-	-	-	33.6	
そのうち非常勤 助産師数	146	36	19	-	-	-	-	-	-	91	0.3
	100	24.7	13	-	-	-	-	-	-	62.3	
看護師数	146	22	50	-	-	-	-	-	-	74	0.6
	100	15.1	34.2	-	-	-	-	-	-	50.7	
准 看護師数	146	19	49	-	-	-	-	-	-	78	0.7
	100	13	33.6	-	-	-	-	-	-	53.4	
看護 補助者数	146	46	6	-	-	-	-	-	-	94	0.2
	100	31.5	4.1	-	-	-	-	-	-	64.4	

<オンコール体制の場合の夜勤(土曜日/日曜日/祝日)>

(施設)

		0人	5人以下	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
助産師数	146	9	76	-	-	-	-	-	-	61	0.8
	100	6.2	52.1	-	-	-	-	-	-	41.8	
そのうち非常勤 助産師数	146	33	17	-	-	-	-	-	-	96	0.3
	100	22.6	11.6	-	-	-	-	-	-	65.8	
看護師数	146	21	43	-	-	-	-	-	-	82	0.6
	100	14.4	29.5	-	-	-	-	-	-	56.2	
准 看護師数	146	19	41	-	-	-	-	-	-	86	0.7
	100	13	28.1	-	-	-	-	-	-	58.9	
看護 補助者数	146	43	5	-	-	-	-	-	-	98	0.1
	100	29.5	3.4	-	-	-	-	-	-	67.1	

7) 平成24年7月における、助産師1人あたりの平均夜勤回数(問7)

就業規則上の1回あたりの夜勤時間 (施設)

		0時間	1~7時間	8時間	9~11時間	12時間	13~15時間	16時間	17時間以上	無回答	平均
n数	355	5	11	35	1	6	41	176	16	64	14.9
率(%)	100	1.4	3.1	9.9	0.3	1.7	11.5	49.6	4.5	18	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<三交代制> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	28	-	2	9	3	-	-	-	-	14	8.8
率(%)	100	-	7.1	32.1	10.7	-	-	-	-	50	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<二交代制> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	320	13	44	111	56	12	3	-	1	80	8.7
率(%)	100	4.1	13.8	34.7	17.5	3.8	0.9	-	0.3	25	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<当直制> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	106	7	14	13	6	4	-	-	-	62	6.6
率(%)	100	6.6	13.2	12.3	5.7	3.8	-	-	-	58.5	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<分娩時オンコール回数> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	146	9	49	18	8	4	1	-	2	55	0.6
率(%)	100	6.2	33.6	12.3	5.5	2.7	0.7	-	1.4	37.7	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<三交代制> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	139	1	1	1	-	2	-	-	-	134	9.3
率(%)	100	0.7	0.7	0.7	-	1.4	-	-	-	96.4	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<二交代制> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	328	7	31	27	9	8	2	-	-	244	7.1
率(%)	100	2.1	9.5	8.2	2.7	2.4	0.6	-	-	74.4	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<当直制> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	176	5	8	5	3	1	-	-	-	154	5.3
率(%)	100	2.8	4.5	2.8	1.7	0.6	-	-	-	87.5	

常勤助産師一人あたりの平均夜勤回数<分娩時オンコール回数> (施設)

		0回	6回未満	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~30回	31回以上	無回答	平均
n数	223	5	7	3	1	-	-	1	-	206	5.2
率(%)	100	2.2	3.1	1.3	0.4	-	-	0.4	-	92.4	

平成 24 年度

助産師の出向システムと
助産師就業継続意思に関する調査

助産師対象

単純統計 結果

これより、助産師を対象とした調査の単純集計結果を記す。単純集計は、本調査に回答いただいた全数を集計した結果となっている。しかし、本調査の結果分析にあたり、有効回答を以下の通りとしており、分析の結果と単純集計結果を解釈する際には留意いただきたい。

助産師を対象としている本結果では、有効回答の条件を以下のように定めた。

セクション	有効回答条件
I	すべての問が回答されている。ただし、最初の質問の答えが「9」のみ問1～3が回答されている（問4はコメントのため含まない）
II	問2、問5、問9、問10、問16、問17、問18、問20～25が回答されている（問5、問17は「そのうち以下の質問」と追加質問への回答は含まない）
III	問1（都道府県のみ）、問2、問3、問4、問5（MFICU病床数は記載していなくても有効）、問6が回答されている
IV	問1、問2、問4、問6、問7、問9、問10、問11が回答されている（問2、問11は「そのうち以下の質問」と追加質問している部分への回答は含まない）
V	問1（帝王切開術は件数、もしくは率どちらか記載があれば有効）、問3（母子同室の開始時期は含まれない）、問7、問8が回答されている
VI	問1、問2であり、なしが回答されている
VII	問1、問3、問4、問5、問6（あり、なし）、問7（あり、なし）が回答されている
VIII	問1、問2、問4、問5、問6が回答されている（問2、問4の単数回答は含まれない）
IX	問1-1、問1-2、問2、問3（あり、なし）、問4-2、4、5、7、8、12、問5、問6が回答されている（問4-7引越しの有無は含まれない）
X	すべての問が回答されている
ご自身について	問1、問2、問3（配偶者の有無のみ）、問4（子供の有無のみ）が回答されている

セクション	助産師 (N=7,780)		
	有効回答母数	有効回答数	有効回答率
I	635	155	24.4%
II	5,403	2,395	44.3%
III	5,403	4,868	90.0%
IV	5,403	3,949	73.1%
V	5,403	3,774	69.9%
VI	5,403	5,213	96.5%
VII	5,403	4,589	84.9%
VIII	3,464	3,085	89.1%
IX	5,403	3,898	72.1%
X-1	6,038	5,614	93.0%
X-2	6,038	5,543	91.8%
X-3	6,038	5,554	92.0%
ご自身について	7,780	7,412	95.3%

回答者について

1) 年齢 (問 1)

(人)

		～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	
n数	7780	710	1168	1050	1042	1050	1037	
率(%)	100	9.1	15	13.5	13.4	13.5	13.3	
		51～55歳	56～60歳	61～65歳	66～70歳	71歳以上	無回答	平均
n数	817	484	140	34	32	216		40.1
率(%)	10.5	6.2	1.8	0.4	0.4	2.8		40.1

2) 介護を必要とする同居家族の有無 (問 2)

(人)

		いる	いない	無回答
n数	7780	691	6954	135
率(%)	100	8.9	89.4	1.7

介護を必要とする同居家族がいる場合、その人数 (人)

		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
n数	691	553	93	8	2	0	35
率(%)	100	80	13.5	1.2	0.3	0	5.1

介護を必要とする同居家族がいる場合、主たる介護者が自分か(人)

		はい	いいえ	無回答
n数	691	411	271	9
率(%)	100	59.5	39.2	1.3

3) 配偶者の有無 (問 3)

(人)

		未婚	既婚	離死別	無回答
n数	7780	2881	4330	443	126
率(%)	100	37	55.7	5.7	1.6

助産師免許取得後の結婚時期 (人)

		取得0年目	取得1～2年目	取得3～4年目	取得5～6年目	取得7～8年目	取得9～10年目	取得11年目～	結婚後に取得	無回答
n数	4773	74	817	1346	925	538	286	345	61	381
率(%)	100	1.6	17.1	28.2	19.4	11.3	6	7.2	1.3	8

4) 子どもの有無 (問4)

問4. 子どもの有無 (人)

		いる	いない	無回答
n数	7780	3971	3557	252
率(%)	100	51	45.7	3.2

子どもがいると回答した者の子どもの人数 (人)

		1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
n数	3971	748	1680	905	122	16	1	499
率(%)	100	18.8	42.3	22.8	3.1	0.4	0	12.6

子どもがいると回答した者の子どもの年齢とその人数 (人)

			0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
0～3歳のこども	n数	3971	30	698	114	3	0	0	0	3126
	率(%)	100	0.8	17.6	2.9	0.1	0	0	0	78.7
4歳～就学前のこども	n数	3971	27	549	23	3	0	0	0	3369
	率(%)	100	0.7	13.8	0.6	0.1	0	0	0	84.8
小学校1～3年生	n数	3971	26	658	55	1	0	0	0	3231
	率(%)	100	0.7	16.6	1.4	0	0	0	0	81.4
小学校4～6年生	n数	3971	27	674	65	2	0	0	0	3203
	率(%)	100	0.7	17	1.6	0.1	0	0	0	80.7
中学生	n数	3971	27	680	81	3	0	0	0	3180
	率(%)	100	0.7	17.1	2	0.1	0	0	0	80.1
高校生	n数	3971	26	726	117	18	3	0	0	3081
	率(%)	100	0.7	18.3	2.9	0.5	0.1	0	0	77.6

仕事を続けるうえでの協力者 (人)

		夫	母(義母)	父(義父)	兄弟姉妹	その他	いない	無回答
n数	3971	2981	2534	1280	368	336	110	251
率(%)	100	75.1	63.8	32.2	9.3	8.5	2.8	6.3

I. 回答者の助産師として勤めの施設・配属先について

1) 勤めの施設・配属先

		病院 (産科関連病棟)	病院 (MFICU)	有床診療所(産科 関連病棟)	病院(産科外来)	病院 (NICU)
n数	7,780	4,699	391	313	334	317
率(%)	100	60.4	5	4	4.3	4.1
	有床診療所 (産科外来)	無床診療所(分娩 取り扱いなし)	助産所	教育機関	その他	無回答
n数	28	30	32	635	998	3
率(%)	0.4	0.4	0.4	8.2	12.8	0

2) 平成24年度の人数(教育機関勤務回答者対象)(問1)

助産学生の1学年あたり定員数

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	635	50	21	105	43	78	9	12	21	296	14.5
率(%)	100	7.9	3.3	16.5	6.8	12.3	1.4	1.9	3.3	46.6	14.5

実際の1学年あたり学生数

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	635	37	38	92	35	68	12	12	47	294	19.1
率(%)	100	5.8	6	14.5	5.5	10.7	1.9	1.9	7.4	46.3	19.1

助産学生の担当教員数(常勤)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均
n数	635	43	4	20	78	70	56	64	300	3.8
率(%)	100	6.8	0.6	3.1	12.3	11	8.8	10.1	47.2	3.8

助産学生の担当教員数(非常勤)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答	平均
n数	635	174	54	21	11	5	8	19	343	1.7
率(%)	100	27.4	8.5	3.3	1.7	0.8	1.3	3	54	1.7

3) 助産学生の養成コース(教育機関勤務回答者対象)(問2)

		助産師学校 養成所	短期大学 専攻科	大学	大学専攻科・ 別科	大学院	無回答
n数	635	96	7	138	28	23	343
率(%)	100	15.1	1.1	21.7	4.4	3.6	54

4) 助産学生の実習先施設として、依頼している施設数（教育機関勤務回答者対象）（問3）

<病院> (人)

		0施設	1施設	2施設	3施設	4施設	5施設	6施設
n数	635	3	28	50	56	48	32	29
率(%)	100	0.5	4.4	7.9	8.8	7.6	5	4.6
	7施設	8施設	9施設	10施設	11施設以上	無回答	平均	
n数	15	7	11	5	6	345	4.1	
率(%)	2.4	1.1	1.7	0.8	0.9	54.3	4.1	

<診療所> (人)

		0施設	1施設	2施設	3施設	4施設	5施設	6施設
n数	635	67	60	41	18	7	4	6
率(%)	100	10.6	9.4	6.5	2.8	1.1	0.6	0.9
	7施設	8施設	9施設	10施設	11施設以上	無回答	平均	
n数	2	0	0	0	0	430	1.4	
率(%)	0.3	0	0	0	0	67.7	1.4	

<助産所> (人)

		0施設	1施設	2施設	3施設	4施設	5施設	6施設
n数	635	29	60	58	31	22	22	4
率(%)	100	4.6	9.4	9.1	4.9	3.5	3.5	0.6
	7施設	8施設	9施設	10施設	11施設以上	無回答	平均	
n数	4	2	0	1	4	398	2.5	
率(%)	0.6	0.3	0	0.2	0.6	62.7	2.5	

Ⅱ. 8月1日現在の、回答者自身について

1) 職位 (問1)

		(人)						
		看護部長	看護副部長	看護師長	副看護師長・主任	スタッフ	その他	無回答
n数	5403	19	42	374	822	4100	33	13
率(%)	100	0.4	0.8	6.9	15.2	75.9	0.6	0.2

2) 雇用形態 (問2)

		(人)			
		（フルタイム常勤）正規の看護職員	（正短時間常勤）正規の看護職員	（約・臨時パート）派遣・契約看護職員以外の看護職員	無回答
n数	5403	5102	110	175	16
率(%)	100	94.4	2	3.2	0.3

3) 転職経験の有無 (問3)

		(人)		
		転職なし	転職あり	無回答
n数	5403	3141	2234	28
率(%)	100	58.1	41.3	0.5

転職先数

		(人)						
		2施設目	3施設目	4施設目	5施設目	6施設目以上	無回答	平均
n数	2234	1069	640	268	138	82	37	2.9
率(%)	100	47.9	28.6	12	6.2	3.7	1.7	2.9

4) 看護師としての経験 (問4)

		(人)		
		あり	なし	無回答
n数	5403	2569	2703	131
率(%)	100	47.5	50	2.4

看護師としての経験年数

		(人)									
		1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31年以上	無回答	平均
n数	2569	150	1633	506	147	53	22	12	9	37	4.9
率(%)	100	5.8	63.6	19.7	5.7	2.1	0.9	0.5	0.4	1.4	

5) 助産師としての経験年数 (問 5)

(人)

		1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31年以上	無回答	平均
n数	5403	262	1536	1044	807	671	484	350	168	81	11.6
率(%)	100	4.8	28.4	19.3	14.9	12.4	9	6.5	3.1	1.5	

他施設での助産師経験

(人)

		1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31年以上	無回答	平均
n数	5403	2608	1186	545	301	183	87	48	14	431	3.7
率(%)	100	48.3	22	10.1	5.6	3.4	1.6	0.9	0.3	8	

現在の病棟での勤続年数

(人)

		1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31年以上	無回答	平均
n数	5403	456	2236	959	552	379	207	138	55	421	7.6
率(%)	100	8.4	41.4	17.7	10.2	7	3.8	2.6	1	7.8	

6) 現在の配属先は、希望通りであったか (問 6)

(人)

		希望通り	希望ではない	無回答
n数	5403	5008	349	46
率(%)	100	92.7	6.5	0.9

7) 現在の勤務先での配属先ローテーション経験の有無 (問 7)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	1871	3450	82
率(%)	100	34.6	63.9	1.5

8) ローテーション先 (問 7-1) (複数回答)

(人)

		産科病棟	産科外来	NICU	MFICU	内科	
n数	1871	611	735	437	276	350	
率(%)	100	32.7	39.3	23.4	14.8	18.7	
		外科	ICU	救命救急	手術室	その他	無回答
n数	217	97	115	136	497	11	
率(%)	11.6	5.2	6.1	7.3	26.6	0.6	

9) ローテーション先の希望は通ったか (問 7-2)

(人)

		希望通り	希望ではない	無回答
n数	1871	731	1100	40
率(%)	100	39.1	58.8	2.1

10) 1回のローテーションの期間 (問 7-3)

		(人)						
		1カ月未満	1～6ヶ月	7～12ヶ月	13～18ヶ月	19～24ヶ月	25～30ヶ月	31～36ヶ月
n数	1871	39	458	403	121	226	44	136
率(%)	100	2.1	24.5	21.5	6.5	12.1	2.4	7.3
		37～42ヶ月	43～48ヶ月	49～54ヶ月	55～60ヶ月	61ヶ月以上	無回答	平均
n数	30	64	14	44	84	208	21	
率(%)	1.6	3.4	0.7	2.4	4.5	11.1	21	

11) 現在の勤務先を選択した理由 (問 8) (複数回答)

												(人)
		給与水準が高い	寮が完備されている	福利厚生が良い	夜勤回数が少ない	日勤のみの勤務である	残業が少ない	休暇制度がしっかりしている	院内託児所がある	育児・介護等と仕事が両立しやすい	看護部の理念に共感する	無回答
n数	5403	798	363	1239	72	114	263	844	285	545	251	
率(%)	100	14.8	6.7	22.9	1.3	2.1	4.9	15.6	5.3	10.1	4.6	
	研究・教育体制がしっかりしている	医療事故・傷害事故対策がしっかりしている	職場の雰囲気や人間関係が良さそう	納得のできる看護ができる	看護管理者などの人柄がよい	助産学生の実習先の施設である	出身地と同じ都道府県である	住みたいエリア(都道府県/市町村)である	通勤の便が良い	特に理由はない	その他	無回答
n数	1112	210	1593	983	376	624	1787	1113	2673	34	1499	34
率(%)	20.6	3.9	29.5	18.2	7	11.5	33.1	20.6	49.5	0.6	27.7	0.6

現在の勤務先を選択した理由(1位)

												(人)
		給与水準が高い	寮が完備されている	福利厚生が良い	夜勤回数が少ない	日勤のみの勤務である	残業が少ない	休暇制度がしっかりしている	院内託児所がある	育児・介護等と仕事が両立しやすい	看護部の理念に共感する	無回答
n数	5403	247	31	238	11	54	36	105	43	105	39	
率(%)	100	4.6	0.6	4.4	0.2	1	0.7	1.9	0.8	1.9	0.7	
	研究・教育体制がしっかりしている	医療事故・傷害事故対策がしっかりしている	職場の雰囲気や人間関係が良さそう	納得のできる看護ができる	看護管理者などの人柄がよい	助産学生の実習先の施設である	出身地と同じ都道府県である	住みたいエリア(都道府県/市町村)である	通勤の便が良い	特に理由はない	その他	無回答
n数	318	12	403	315	27	256	575	214	1329	0	924	121
率(%)	5.9	0.2	7.5	5.8	0.5	4.7	10.6	4	24.6	0	17.1	2.2

現在の勤務先を選択した理由(2位)

(人)

		給与水準が高い	寮が完備されている	福利厚生が良い	夜勤回数が少ない	日勤のみの勤務である	残業が少ない	休暇制度がしっかりしている	院内託児所がある	育児・介護等と仕事が両立しやすい	看護部の理念に共感する		
n数	5403	221	103	368	25	28	66	273	70	169	70		
率(%)	100	4.1	1.9	6.8	0.5	0.5	1.2	5.1	1.3	3.1	1.3		
	研究・教育体制がしっかりしている	医療事故・傷害事故対策がしっかりしている	職場の雰囲気や人間関係が良さそう	納得のできる看護ができる	看護管理者などの人柄がよい	助産学生の時の実習先の施設である	出身地と同じ都道府県である	住みたいエリア(都道府県/市町村)である	自宅から通勤の便が良い	特に理由はない	その他	無回答	
n数	332	53	562	303	114	160	537	400	745	0	297	507	
率(%)	6.1	1	10.4	5.6	2.1	3	9.9	7.4	13.8	0	5.5	9.4	

現在の勤務先を選択した理由(3位)

(人)

		給与水準が高い	寮が完備されている	福利厚生が良い	夜勤回数が少ない	日勤のみの勤務である	残業が少ない	休暇制度がしっかりしている	院内託児所がある	育児・介護等と仕事が両立しやすい	看護部の理念に共感する		
n数	5403	224	122	397	19	21	95	270	83	164	68		
率(%)	100	4.1	2.3	7.3	0.4	0.4	1.8	5	1.5	3	1.3		
	研究・教育体制がしっかりしている	医療事故・傷害事故対策がしっかりしている	職場の雰囲気や人間関係が良さそう	納得のできる看護ができる	看護管理者などの人柄がよい	助産学生の時の実習先の施設である	出身地と同じ都道府県である	住みたいエリア(都道府県/市町村)である	自宅から通勤の便が良い	特に理由はない	その他	無回答	
n数	317	66	472	256	110	124	383	290	459	0	197	1266	
率(%)	5.9	1.2	8.7	4.7	2	2.3	7.1	5.4	8.5	0	3.6	23.4	

12) 分娩介助件数 (問 9)

1年間の分娩介助件数 (人)

		0件	01~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	
n数	5403	552	1360	1135	759	370	315	
率(%)	100	10.2	25.2	21	14	6.8	5.8	

	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	平均
n数	130	82	56	26	62	91	465	26.3
率(%)	2.4	1.5	1	0.5	1.1	1.7	8.6	26.3

今までの分娩介助件数 (人)

		0件	01~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	51~60件	61~70件	
n数	5403	123	167	156	144	147	184	131	111	
率(%)	100	2.3	3.1	2.9	2.7	2.7	3.4	2.4	2.1	

	71~80件	81~90件	91~100件	101~200件	201~300件	301~400件	401~500件	501件~	無回答	平均
n数	145	82	233	871	548	352	350	968	691	358.3
率(%)	2.7	1.5	4.3	16.1	10.1	6.5	6.5	17.9	12.8	358.3

13) 助産師免許を取得した養成機関 (問 10)

(人)

		助産師学校 養成所	短期大学専 攻科	大学	大学専攻 科・別科	大学院	無回答
n数	5403	3080	1135	892	222	45	29
率(%)	100	57	21	16.5	4.1	0.8	0.5

14) 助産学生/助産実習に対する臨床指導の経験 (問 11)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	2467	2906	30
率(%)	100	45.7	53.8	0.6

15) 臨床指導者としての経験年数 (問 11-1)

(人)

		1年未満	1~3年	4~5年	6~10年	11年以上	無回答	平均
n数	2467	87	1034	441	495	310	100	5.7
率(%)	100	3.5	41.9	17.9	20.1	12.6	4.1	5.7

16) 臨床指導の担当者向け研修の受講経験の有無 (問 11-2)

(人)

		1年未満	1~3年	4~5年	6~10年	11年以上	無回答	平均
n数	2467	87	1034	441	495	310	100	5.7
率(%)	100	3.5	41.9	17.9	20.1	12.6	4.1	5.7

17) 現在の勤務先における、院外研修参加の有無 (問 12)

(人)

		あり	なし	その他	無回答
n数	2467	1165	1243	19	40
率(%)	100	47.2	50.4	0.8	1.6

18) 院外研修参加費用の取り扱い (問 12-1)

(人)

		自費	(勤務先の支払い) 公費	自費と公費の 両方の場合がある	無回答
n数	4461	1584	506	2354	17
率(%)	100	35.5	11.3	52.8	0.4

19) 院外研修参日の勤務扱い (問 12-2)

院外の研修参加日の勤務扱い

(人)

		年次有給休暇を利用	日勤扱い	有給休暇利用と日勤 扱いの両方がある	無回答
n数	4461	1463	558	1981	459
率(%)	100	32.8	12.5	44.4	10.3

20) 受講した研修 (問 13) (複数回答)

(人)

		CTG (胎児心拍陣痛図) 判読	NCPR (新生児蘇生法) Aコース	NCPR (新生児蘇生法) Bコース	ALSO	会陰縫合	無回答
n数	5403	2629	2306	1703	299	475	972
率(%)	100	48.7	42.7	31.5	5.5	8.8	18

21) 勤務先の研修内容や研修回数への満足度 (問 14)

(人)

		満足している	満足していない	無回答
n数	5403	1978	3225	200
率(%)	100	36.6	59.7	3.7

22) 「産婦人科診療ガイドライン 産科編 2011」既読の有無 (問 15)

(人)

		あり	なし	いま初めて聞いた	無回答
n数	5403	4181	1041	122	59
率(%)	100	77.4	19.3	2.3	1.1

23) 勤務形態 (問 16) (複数回答)

(人)

		三交代制	変則 三交代制	二交代制	変則 二交代制	上記1~4以 外の 交代制	
n数	5403	2548	120	1452	819	48	
率(%)	100	47.2	2.2	26.9	15.2	0.9	
	夜勤専従	日勤のみ	当直制	日中・夜間を 通して分娩時 オンコール体制 あり	夜間のみ 分娩時 オンコール体制 あり	管理夜勤・ 当直	無回答
n数	70	458	107	224	451	233	21
率(%)	1.3	8.5	2	4.1	8.3	4.3	0.4

24) 平成24年7月の勤務状況について

三交代制・変則三交代制の場合(問17-1)

7月の出勤日数 (人)

		0日	1~5日	6~10日	11~15日	16~20日	21~25日	26~31日	無回答	平均
n数	2704	16	16	57	65	1211	990	4	345	19.5
率(%)	100	0.6	0.6	2.1	2.4	44.8	36.6	0.1	12.8	19.5

夜勤時間 (人)

		0時間	1~8時間 未満	8~9時間 未満	9~12時 間未満	12~13時 間未満	13~16時 間未満	16~17時 間未満	17時間以 上	無回答	平均
n数	2704	0	79	1949	266	18	3	13	2	374	8.2
率(%)	100	0	2.9	72.1	9.8	0.7	0.1	0.5	0.1	13.8	8.2

夜勤時間 (人)

		0時間	1~8時間 未満	8~9時間 未満	9~12時 間未満	12~13時 間未満	13~16時 間未満	16~17時 間未満	17時間以 上	無回答	平均
n数	2704	0	79	1949	266	18	3	13	2	374	8.2
率(%)	100	0	2.9	72.1	9.8	0.7	0.1	0.5	0.1	13.8	8.2

日勤の回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	2704	1	40	858	1378	176	22	0	229	11.4
率(%)	100	0	1.5	31.7	51	6.5	0.8	0	8.5	11.4

日勤→深夜勤のシフトの回数 (人)

		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回~	無回答	平均
n数	2704	787	116	179	304	548	291	79	400	2.4
率(%)	100	29.1	4.3	6.6	11.2	20.3	10.8	2.9	14.8	2.4

準夜勤の回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	2704	71	1986	410	4	1	0	0	232	4.2
率(%)	100	2.6	73.4	15.2	0.1	0	0	0	8.6	4.2

準夜勤→日勤のシフトの回数 (人)

		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回~	無回答	平均
n数	2704	2047	95	48	25	9	2	1	477	0.1
率(%)	100	75.7	3.5	1.8	0.9	0.3	0.1	0	17.6	0.1

深夜勤の回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	2704	85	1970	406	2	0	0	0	241	4.2
率(%)	100	3.1	72.9	15	0.1	0	0	0	8.9	4.2

深夜勤が2連続であった回数 (人)

		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回~	無回答	平均
n数	2704	1394	334	374	108	36	3	9	446	0.7
率(%)	100	51.6	12.4	13.8	4	1.3	0.1	0.3	16.5	0.7

深夜勤が3連続以上であった回数 (人)

		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回~	無回答	平均
n数	2704	2109	9	4	0	0	0	0	582	0
率(%)	100	78	0.3	0.1	0	0	0	0	21.5	0

25) 平成24年7月の勤務状況について

三交代制・変則三交代制の場合 (問 17-2)

7月の出勤日数 (人)

		0日	1~5日	6~10日	11~15日	16~20日	21~25日	26~31日	無回答	平均
n数	2302	18	26	26	169	824	791	4	444	19.1
率(%)	100	0.8	1.1	1.1	7.3	35.8	34.4	0.2	19.3	19.1

夜勤時間 (人)

		0時間	1~8時間	8~9時間	9~12時	12~13時	13~16時	16~17時	17時間以	無回答	平均
n数	2302	0	8	20	12	144	248	1080	369	421	15.6
率(%)	100	0	0.3	0.9	0.5	6.3	10.8	46.9	16	18.3	15.6

日勤の回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	2302	5	85	764	928	204	34	0	282	11.4
率(%)	100	0.2	3.7	33.2	40.3	8.9	1.5	0	12.3	11.4

夜勤の回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	2302	32	1434	543	35	4	0	0	254	4.9
率(%)	100	1.4	62.3	23.6	1.5	0.2	0	0	11	4.9

深夜勤が2連続であった回数 (人)

		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回~	無回答	平均
n数	2302	1404	198	113	25	27	8	13	514	0.4
率(%)	100	61	8.6	4.9	1.1	1.2	0.3	0.6	22.3	0.4

深夜勤が3連続以上であった回数 (人)

		0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回~	無回答	平均
n数	2302	1647	25	7	1	2	0	0	620	0
率(%)	100	71.5	1.1	0.3	0	0.1	0	0	26.9	0

26) 平成24年7月の実際の勤務状況について

夜勤専従の場合 (問 17-3)

7月の出勤日数 (人)

		0日	1~5日	6~10日	11~15日	16~20日	21~25日	26~31日	無回答	平均
n数	70	1	6	11	1	16	3	0	32	12.8
率(%)	100	1.4	8.6	15.7	1.4	22.9	4.3	0	45.7	12.8

27) 平成24年7月の実際の勤務状況について

当直ありの場合 (問 17-4)

7月の出勤日数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	332	15	180	13	0	0	0	0	124	2.3
率(%)	100	4.5	54.2	3.9	0	0	0	0	37.3	2.3

28) 平成24年7月の勤務状況について
夜間分娩時のオンコールありの場合 (問 17-5)

オンコール回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	675	61	376	82	18	13	2	4	119	3.9
率(%)	100	9	55.7	12.1	2.7	1.9	0.3	0.6	17.6	3.9

オンコールの呼び出しに応じた回数 (人)

		0回	1~5回	6~10回	11~15回	16~20回	21~25回	26~31回	無回答	平均
n数	675	300	227	13	3	0	0	0	132	1
率(%)	100	44.4	33.6	1.9	0.4	0	0	0	19.6	1

29) 夜勤中の休憩時間の平均的な取得状況 (問 18)

就業規則上の休憩時間 (人)

		~30分	31~60分	61~90分	91~120分	121分~	無回答	平均
n数	5403	124	2457	609	916	166	1131	76.4
率(%)	100	2.3	45.5	11.3	17	3.1	20.9	76.4

夜勤での休憩時間の平均的な取得状況 (人)

		いつも規定通り取得している	取ほぼ取得していい通り	通とき取どきは規定	りほとんで規定ない通	無回答
n数	5403	142	2048	1635	928	650
率(%)	100	2.6	37.9	30.3	17.2	12

30) 夜勤・交代制勤務の勤務計画表に対する満足度 (問 19)

(人)

		満足している	満足していない	無回答
n数	5403	2451	2354	598
率(%)	100	45.4	43.6	11.1

31) 平成24年7月の時間外労働時間(超過勤務)の有無(問 20)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	4759	449	195
率(%)	100	88.1	8.3	3.6

実際におこった時間外労働の時間数 (人)

		1時間未満	01~10時間	11~20時間	21~30時間	31~40時間	41~50時間		
n数	4759	16	2576	920	369	145	66		
率(%)	100	0.3	54.1	19.3	7.8	3	1.4		
		51~60時間	61~70時間	71~80時間	81~90時間	91~100時間	101時間以上	無回答	平均
n数	32	14	9	5	1	5	601	12.7	
率(%)	0.7	0.3	0.2	0.1	0	0.1	12.6	12.7	

32) 平成 23 年度の年次有給休暇取得状況 (問 21)

(人)

		すべて取得した	8割程度は取得した	半分程度は取得した	2割程度は取得した	ほとんど取得していない	無回答
n数	5403	169	380	1214	1709	1741	190
率(%)	100	3.1	7	22.5	31.6	32.2	3.5

33) 直近 1 年間のヒヤリ・ハットの有無 (問 22)

(人)

		なし	あり	無回答
n数	5403	2294	2972	137
率(%)	100	42.5	55	2.5

34) 自覚症状 (問 23) (複数回答)

(人)

		頭痛	肩こり	手足の関節痛	腰痛	疲れ目	高血圧	不整脈	月経不順	
n数	5403	1841	3312	509	2235	2073	322	367	720	
率(%)	100	34.1	61.3	9.4	41.4	38.4	6	6.8	13.3	
		便通異常	憂鬱感	倦怠感	睡眠障害	慢性的な睡眠不足	胃の調子が悪い	食欲不振	特に自覚症状はない	無回答
n数	1016	954	2141	696	1157	733	142	439	88	
率(%)	18.8	17.7	39.6	12.9	21.4	13.6	2.6	8.1	1.6	

35) 全体としての健康状態 (問 24)

全体としての健康状態

(人)

		非常に健康である	まあ健康である	やや不調である	非常に不調である	どちらともいえない	無回答
n数	5403	217	3562	1314	187	88	35
率(%)	100	4	65.9	24.3	3.5	1.6	0.6

36) 就業継続意思 (問 25)

(人)

		産科関連病棟で働き続けたい	現在勤務している病院の、産科外来で助産師として働き続けたい	現在の勤務している病院の、ほかの病棟で看護師として働き続けたい	現在勤務している病院からの退職を考えている	無回答
n数	5403	4136	205	213	1547	124
率(%)	100	76.6	3.8	3.9	28.6	2.3

産科関連病棟の今後の就業 (人)

		ずっと働きたい	あと〇〇年ぐらい働きたい	無回答
n数	4136	1477	2351	308
率(%)	100	35.7	56.8	7.4

産科関連病棟の今後の就業－希望年数 (人)

		～2年	3～4年	5～6年	7～8年	
n数	2351	916	506	528	54	
率(%)	100	39	21.5	22.5	2.3	
	9～10年	11～15年	16～20年	21年以上	無回答	平均
n数	248	28	18	4	49	4.1
率(%)	10.5	1.2	0.8	0.2	2.1	4.1

37) 転職活動の有無 (問 25-1) (複数回答)

(人)

		助産師で探している	看護師で探している	看護職以外で探している	探していない(今後探す予定である)	具体的には探していない(今後探す予定である)	ナースバンクに登録している	進学を考えている	助産教員で探している	転職の予定はない(結婚・出産など)	無回答
n数	1547	536	77	56	663	74	98	40	322	26	
率(%)	100	34.6	5	3.6	42.9	4.8	6.3	2.6	20.8	1.7	

Ⅲ. 回答者の施設概要について

1) 所在地 (問1)

(人)

		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
n数	5403	285	57	59	135	63	85	89	70
率(%)	100	5.3	1.1	1.1	2.5	1.2	1.6	1.6	1.3

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県
110	86	136	128	358	224	116	89	89	49
2	1.6	2.5	2.4	6.6	4.1	2.1	1.6	1.6	0.9

山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
52	183	87	173	304	60	89	100	462	204
1	3.4	1.6	3.2	5.6	1.1	1.6	1.9	8.6	3.8

奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
76	92	51	83	108	110	121	34	84	33
1.4	1.7	0.9	1.5	2	2	2.2	0.6	1.6	0.6

高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
45	169	31	48	70	37	61	83	57	68
0.8	3.1	0.6	0.9	1.3	0.7	1.1	1.5	1.1	1.3

2) 設置主体 (問2)

(人)

		(厚生労働省)	国立独立行政法人 病院機構	国立大学法人	労働者健康福祉機構 独立行政法人	国(その他の 独立行政法人)	地方独立行政法人	都道府県	市町村	日本赤十字社
n数	5403	16	314	229	71	22	275	340	991	474
率(%)	100	0.3	5.8	4.2	1.3	0.4	5.1	6.3	18.3	8.8

	済生会	北海道社会事業協会	全国厚生農業協同組合連合会(厚生連)	国民健康保険 団体連合会	全国社会保険 協会連合会	厚生年金事業振興団	船員保険会	健康保険組合及び その連合会	共済組合及び その連合会	国民健康保険組合
n数	174	7	291	2	100	24	3	32	127	13
率(%)	3.2	0.1	5.4	0	1.9	0.4	0.1	0.6	2.4	0.2

	医療法人	私立学校法人	その他の法人	会社	医師会	社会福祉法人	医療生協	個人	その他	無回答
n数	821	365	186	49	10	117	40	119	78	113
率(%)	15.2	6.8	3.4	0.9	0.2	2.2	0.7	2.2	1.4	2.1

3) 勤務している病院・診療所全体の許可病床数（一般病床）（問 3）

（人）

		19床以下	20～99床	100～199床	200～299床	300～399床	400～499床
n数	5403	313	210	327	568	893	788
率(%)	100	5.8	3.9	6.1	10.5	16.5	14.6
	500～599床	600～699床	700～799床	800～899床	900～999床	1000床以上	無回答
n数	610	510	325	204	144	297	214
率(%)	11.3	9.4	6	3.8	2.7	5.5	4

4) 勤務先病院（問 4）

（人）

		単科病院	を複 有数 合の すの 病診 院療 病療 院科 など	地 域 病 院 医 療 支 援	特 定 機 能 病 院	無 回 答
n数	5090	220	3867	928	949	70
率(%)	100	4.3	76	18.2	18.6	1.4

5) 勤務先病院機能（問 5）

（人）

		セ 母 子 医 療 セ ン タ ー	セ 母 子 医 療 セ ン タ ー	1 の 2 以 外 の 病 院	無 回 答
n数	5090	1128	1415	2399	148
率(%)	100	22.2	27.8	47.1	2.9

MFICUの病床数（総合周産期母子医療センター）

（人）

		0床	1床	2床	3床	4床	5床	6床	7床	8床	9床	10床以上	無回答	平均
n数	1128	14	10	9	115	8	10	582	19	3	175	113	70	6.9
率(%)	100	1.2	0.9	0.8	10.2	0.7	0.9	51.6	1.7	0.3	15.5	10	6.2	6.9

6) 勤務先における一般病棟の入院基本料の算定状況（問 6）

（人）

		7対1	10対1	13対1	15対1	無回答
n数	5090	4304	646	8	6	126
率(%)	100	84.6	12.7	0.2	0.1	2.5

Ⅳ. 平成24年8月1日現在の、病棟の概要について

1) 病棟の診療科 (問1)

(人)

		産科単独病棟	産科と婦人科のみの混合病棟	産婦人科以外の診療科も含む混合病棟	無回答
n数	5403	1863	1117	2347	76
率(%)	100	34.5	20.7	43.4	1.4

2) 病棟の病床数 (問2)

病棟の病床数－産科単独病棟の場合

(人)

		1～5床	6～10床	11～15床	16～20床	21～25床	26～30床
n数	1863	11	55	111	279	297	263
率(%)	100	0.6	3	6	15	15.9	14.1

	31～35床	36～40床	41～45床	46～50床	51床以上	無回答	平均
n数	210	217	126	99	157	38	32
率(%)	11.3	11.6	6.8	5.3	8.4	2	32

病棟の病床数－混合病棟の場合

(人)

		1～5床	6～10床	11～15床	16～20床	21～25床	26～30床
n数	3464	1	5	51	182	153	308
率(%)	100	0	0.1	1.5	5.3	4.4	8.9

	31～35床	36～40床	41～45床	46～50床	51床以上	無回答	平均
n数	460	616	560	411	428	289	39.1
率(%)	13.3	17.8	16.2	11.9	12.4	8.3	39.1

病棟の病床数－混合病棟の場合(うち、産科の病床)

(人)

		1～5床	6～10床	11～15床	16～20床	21～25床	26～30床
n数	3464	128	410	393	493	235	229
率(%)	100	3.7	11.8	11.3	14.2	6.8	6.6

	31～35床	36～40床	41～45床	46～50床	51床以上	無回答	平均
n数	134	106	27	11	21	1277	19.1
率(%)	3.9	3.1	0.8	0.3	0.6	36.9	19.1

3) 初産婦(自然分娩)の入院日数(問3)

(人)

		1～3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日以上	無回答	平均
n数	5403	9	186	1949	2154	897	58	0	1	1	148	5.8
率(%)	100	0.2	3.4	36.1	39.9	16.6	1.1	0	0	0	2.7	5.8

4) 8月1日現在の、産科関連病棟の看護職員数（問4）

常勤 (人)

			0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
助産師	n数	5403	1	265	822	844	853	740	439	1043	396	22.1
	率(%)	100	0	4.9	15.2	15.6	15.8	13.7	8.1	19.3	7.3	22.1
看護師	n数	5403	514	1402	1156	880	444	154	78	50	725	8.9
	率(%)	100	9.5	25.9	21.4	16.3	8.2	2.9	1.4	0.9	13.4	8.9
准看護師	n数	5403	2558	1089	87	6	3	7	0	0	1653	0.8
	率(%)	100	47.3	20.2	1.6	0.1	0.1	0.1	0	0	30.6	0.8
看護補助者	n数	5403	767	3151	123	3	2	2	0	3	1352	2.1
	率(%)	100	14.2	58.3	2.3	0.1	0	0	0	0.1	25	2.1

非常勤 (人)

			0人	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上	無回答	平均
助産師	n数	5403	1232	2239	222	36	15	1	1	1	1656	1.9
	率(%)	100	22.8	41.4	4.1	0.7	0.3	0	0	0	30.6	1.9
看護師	n数	5403	1793	1337	68	4	7	1	0	2	2191	1.1
	率(%)	100	33.2	24.7	1.3	0.1	0.1	0	0	0	40.6	1.1
准看護師	n数	5403	2470	445	6	5	2	0	0	0	2475	0.3
	率(%)	100	45.7	8.2	0.1	0.1	0	0	0	0	45.8	0.3
看護補助者	n数	5403	1328	1375	63	3	0	0	0	3	2631	1.3
	率(%)	100	24.6	25.4	1.2	0.1	0	0	0	0.1	48.7	1.3

産休、育休、休職、長期研修中の常勤助産師数 (人)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6～10人	11人以上	無回答	平均
n数	5403	1317	1082	644	316	151	95	69	29	1700	1.5
率(%)	100	24.4	20	11.9	5.8	2.8	1.8	1.3	0.5	31.5	1.5

5) 医師数 (問 5)

常勤 (人)

			0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人
産科医 男性	n数	5403	42	759	1096	920	661	469	894
	率(%)	100	0.8	14	20.3	17	12.2	8.7	16.5
産科医 女性	n数	5403	609	1202	862	544	463	326	425
	率(%)	100	11.3	22.2	16	10.1	8.6	6	7.9
小児科医	n数	5403	380	372	452	510	543	420	874
	率(%)	100	7	6.9	8.4	9.4	10	7.8	16.2
		11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均	
産科医 男性	n数	84	22	1	3	5	447	3.8	
	率(%)	1.6	0.4	0	0.1	0.1	8.3	3.8	
産科医 女性	n数	26	33	0	0	0	913	2.7	
	率(%)	0.5	0.6	0	0	0	16.9	2.7	
小児科医	n数	206	80	87	62	42	1375	5.7	
	率(%)	3.8	1.5	1.6	1.1	0.8	25.4	5.7	

非常勤 (人)

			0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人
産科医 男性	n数	5403	1264	652	403	180	77	42	52
	率(%)	100	23.4	12.1	7.5	3.3	1.4	0.8	1
産科医 女性	n数	5403	1335	764	339	123	98	16	9
	率(%)	100	24.7	14.1	6.3	2.3	1.8	0.3	0.2
小児科医	n数	5403	1203	439	207	88	54	40	82
	率(%)	100	22.3	8.1	3.8	1.6	1	0.7	1.5
		11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均	
産科医 男性	n数	3	3	0	0	0	2727	1.1	
	率(%)	0.1	0.1	0	0	0	50.5	1.1	
産科医 女性	n数	0	0	0	0	0	2719	0.9	
	率(%)	0	0	0	0	0	50.3	0.9	
小児科医	n数	21	1	0	0	0	3268	1.1	
	率(%)	0.4	0	0	0	0	60.5	1.1	

6) 平成24年度の産科関連病棟の勤務者について(問6)

新卒助産師数 (人)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人
n数	1540	1120	745	547	442	302	416
率(%)	28.5	20.7	13.8	10.1	8.2	5.6	7.7
	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	30	34	1	0	0	226	2.3
率(%)	0.6	0.6	0	0	0	4.2	2.3

新卒看護師数 (人)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人
n数	3049	939	635	287	135	31	78
率(%)	56.4	17.4	11.8	5.3	2.5	0.6	1.4
	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	6	2	1	1	13	226	1.1
率(%)	0.1	0	0	0	0.2	4.2	1.1

新卒准看護師数 (人)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人
n数	5071	75	15	7	2	1	6
率(%)	93.9	1.4	0.3	0.1	0	0	0.1
	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	0	0	0	0	0	226	0
率(%)	0	0	0	0	0	4.2	0

7) 平成23年度開始時点の産科関連病棟の看護職員数(問7)

昨年度開始時点の産科関連病棟の助産師数 (人)

	0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	377	268	699	809	670	556	418	817	789	19.5
率(%)	0.6	5	12.9	15	12.4	10.3	7.7	15.1	14.6	19.5

昨年度の産科関連病棟の退職者数-助産師 (人)

	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	1597	1109	750	456	273	128	184	117	789	2
率(%)	29.6	20.5	13.9	8.4	5.1	2.4	3.4	2.2	14.6	2

助産師離職率 (人)

	0%	3%未満	3%以上 5%未満	5%以上 7%未満	7%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上	助産師数 (開始時点 助産師数 < 退職 助産師数)	エラー	平均(%)	
n数	5403	1293	52	281	434	551	1008	242	185	22	1335	10.1
率(%)	100	23.9	1	5.2	8	10.2	18.7	4.5	3.4	0.4	24.7	

昨年度開始時点の産科関連病棟の看護師数 (人)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	5403	1176	1025	1028	711	439	157	37	41	789	7.6
率(%)	100	21.8	19	19	13.2	8.1	2.9	0.7	0.8	14.6	7.6

昨年度の産科関連病棟の退職者数－看護師 (人)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	5403	2788	929	537	220	48	35	41	16	789	0.8
率(%)	100	51.6	17.2	9.9	4.1	0.9	0.6	0.8	0.3	14.6	0.8

看護師離職率 (人)

		0%	3%未満	3%以上 5%未満	5%以上 7%未満	7%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上	看護師数 (開始時点 看護師数 ＜退職 看護師 数)	エラー	平均(%)
n数	5403	1542	1	65	141	196	544	296	394	20	2204	10.3
率(%)	100	28.5	0	1.2	2.6	3.6	10.1	5.5	7.3	0.4	40.8	

昨年度開始時点の産科関連病棟の准看護師数 (人)

		0人	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21~25人	26~30人	31人以上	無回答	平均
n数	5403	3496	1003	89	18	6	1	0	1	789	0.6
率(%)	100	64.7	18.6	1.6	0.3	0.1	0	0	0	14.6	0.6

昨年度の産科関連病棟の退職者数－准看護師 (人)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人	6~10人	11人以上	無回答	平均
n数	5403	4362	201	29	14	2	2	4	0	789	0.1
率(%)	100	80.7	3.7	0.5	0.3	0	0	0.1	0	14.6	0.1

准看護師離職率 (人)

		0%	3%未満	3%以上 5%未満	5%以上 7%未満	7%以上 10%未満	10%以上 20%未満	20%以上 30%未満	30%以上	看護師数 (開始時点 看護師数 ＜退職 看護師 数)	エラー	平均(%)
n数	5403	792	0	0	1	12	28	30	144	4	4392	12.1
率(%)	100	70.8	0	0	0.1	1.1	2.5	2.7	12.9	0.4	9.6	

8) 産科関連病棟に勤務する常勤助産師の夜勤手当 (問 8)

該当勤務形態 (人)

		三交代制 準夜勤 手当	三交代制 深夜勤 手当	二交代制 夜勤 手当	当直制(非管理 職)夜勤 手当	オン コール 制	無 回 答
n数	5403	3049	3050	2813	302	1131	28
率(%)	100	56.4	56.5	52.1	5.6	20.9	0.5

産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当 (人)

		あり	なし	無回答
三交代制 準夜勤手当	3049	2730	147	172
	100	89.5	4.8	5.6
三交代制 深夜勤手当	3050	2797	86	167
	100	91.7	2.8	5.5
二交代制 夜勤手当	2813	2520	72	221
	100	89.6	2.6	7.9
当直制(非管理職) 夜勤手当	302	201	53	48
	100	66.6	17.5	15.9
オンコール制 待機手当	1131	684	296	151
	100	60.5	26.2	13.4
オンコール制 夜間手当	1131	782	112	237
	100	69.1	9.9	21

9) 分娩室担当助産師の配置 (問 9)

昼間 (人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	4633	610	160
率(%)	100	85.7	11.3	3

昼間・配置人数 (人)

		~1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	4633	3075	910	254	96	114	26	9	0	1	9	139	1.6
率(%)	100	66.4	19.6	5.5	2.1	2.5	0.6	0.2	0	0	0.2	3	1.6

夜間 (人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	4057	1159	187
率(%)	100	75.1	21.5	3.5

夜間・配置人数 (人)

		~1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答	平均
n数	4057	3423	369	108	14	33	1	4	0	0	1	104	1.2
率(%)	100	84.4	9.1	2.7	0.3	0.8	0	0.1	0	0	0	2.6	1.2

10) 正常分娩第2期に介助する看護職員数 (問10)

(人)

		0人	～1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均
助産師	5403	25	2752	2006	421	10	2	187	1.6
	100	0.5	50.9	37.1	7.8	0.2	0	3.5	1.6
看護師	5403	2263	2661	285	7	0	0	187	0.6
	100	41.9	49.3	5.3	0.1	0	0	3.5	0.6
准看護師	5403	4972	236	8	0	0	0	187	0
	100	92	4.4	0.1	0	0	0	3.5	0
看護補助者	5403	5150	64	0	1	1	0	187	0
	100	95.3	1.2	0	0	0	0	3.5	0

11) 勤務形態別、夜勤時の配置看護職員数 (問11)

三交代・変則三交代(深夜勤) (人)

		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
n数	3078	41	375	1437	691	404	130
率(%)	100	1.3	12.2	46.7	22.4	13.1	4.2

三交代・変則三交代(深夜勤)5人以上 (人)

		5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
n数	404	199	83	9	57	5	3	48
率(%)	100	49.3	20.5	2.2	14.1	1.2	0.7	11.9

二交代・変則二交代(夜勤) (人)

		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
n数	2813	91	468	935	562	575	182
率(%)	100	3.2	16.6	33.2	20	20.4	6.5

二交代・変則二交代(夜勤)5人以上 (人)

		5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
n数	575	223	80	159	26	7	25	55
率(%)	100	38.8	13.9	27.7	4.5	1.2	4.3	9.6

うち助産師数 (人)

		0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均
n数	5364	29	1864	1275	721	407	414	654	2.4
率(%)	100	0.5	34.8	23.8	13.4	7.6	7.7	12.2	2.4

V. 分娩状況やケアに関して

1) 平成23年度 勤務先の年間分娩件数 (問1)

昨年度の年間分娩件数

(人)

		0件	1~20件 未満	20~50件 未満	50~100件未 満	100~150件 未満	150~200件 未満	
n数	5403	12	23	51	102	199	185	
率(%)	100	0.2	0.4	0.9	1.9	3.7	3.4	
	200~300件 未満	300~400件 未満	400~500 件未満	500~1000未 満	1000~1500 未満	1500件 以上	無回答	平均
n数	492	568	542	1833	448	252	696	605.6
率(%)	9.1	10.5	10	33.9	8.3	4.7	12.9	605.6

うち帝王切開術

(人)

		0件	1~20件 未満	20~50件 未満	50~100件未 満	100~150件 未満	150~200件 未満	
n数	5403	18	209	496	609	482	377	
率(%)	100	0.3	3.9	9.2	11.3	8.9	7	
	200~300件 未満	300~400件 未満	400~500件 未満	500~1000未 満	1000~1500 未満	1500件 以上	無回答	平均
n数	501	179	107	139	0	0	2286	154.4
率(%)	9.3	3.3	2	2.6	0	0	42.3	154.4

帝王切開率

(人)

		~5%	6~10%	11~15%	16~20%	21~25%	
n数	5403	48	189	236	553	336	
率(%)	100	0.9	3.5	4.4	10.2	6.2	
	26~30%	31~35%	36~40%	41~45%	46~50%	51%以上	無回答
n数	549	281	311	119	176	132	2473
率(%)	10.2	5.2	5.8	2.2	3.3	2.4	45.8

2) 妊娠期からの継続受け持ち制度の有無 (問2)

(人)

		あり	なし	その他	無回答
n数	5403	1009	3912	321	161
率(%)	100	18.7	72.4	5.9	3

3) 勤務施設の母子同室の実施状況 (問 3)

(人)

		完全 母子 同室	それ以外 の 母子 同室	日中の みも しくは 夜間の みも しくは	(同室 母子 異室 はし ない)	無 回 答
n数	5403	818	3555	557	330	143
率(%)	100	15.1	65.8	10.3	6.1	2.6

母子同室開始時期 (人)

		出生後数 時間から	出生1日 目から	それ以降	無回答
n数	4112	1506	2188	314	104
率(%)	100	36.6	53.2	7.6	2.5

母子同室開始時期-2日目以降 (人)

		2日目	3日目	4日目 以降	無回答
n数	314	179	85	22	28
率(%)	100	57	27.1	7	8.9

4) 母乳外来実施の有無 (問 4)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	4298	1006	99
率(%)	100	79.5	18.6	1.8

母乳外来の担当部署 (人)

		病棟	外来	病棟と外 来の両方	その他	無回答
n数	4298	2137	1010	1063	43	45
率(%)	100	49.7	23.5	24.7	1	1

母乳外来の担当職種 (人)

		助産師	看護師	助産師と 看護師の 両方	その他	無回答
n数	4298	3946	7	221	9	115
率(%)	100	91.8	0.2	5.1	0.2	2.7

5) 新生児訪問実施の有無 (問 5)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	361	4925	117
率(%)	100	6.7	91.2	2.2

新生児訪問の担当部署

(人)

		病棟	外来	病棟と外 来の両方	その他	無回答
n数	361	213	36	65	39	8
率(%)	100	59	10	18	10.8	2.2

新生児訪問の担当職種

(人)

		助産師	看護師	助産師と 看護師の 両方	その他	無回答
n数	361	284	9	39	13	16
率(%)	100	78.7	2.5	10.8	3.6	4.4

6) 外来における出産準備教育実施の有無 (問 6) (複数回答)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	5056	247	100
率(%)	100	93.6	4.6	1.9

外来での出産準備教育の実施状況

(人)

		講義助産 等を師が 担当	講義看護 等を師が 担当	助産師と 看護師 の両方が 担当	その 他の職 種が 担当	視 聴の み を 実 施 D V D の	無 回 答
n数	5056	4621	3	378	921	0	32
率(%)	100	91.4	0.1	7.5	18.2	0	0.6

7) 下記のケアについて、看護職種別実施頻度の多さ（問7）

助産師		(人)				
			1番目	2番目	3番目	無回答
妊婦へのケア (切迫流早産など)	n数	5403	4481	493	120	309
	率(%)	100	82.9	9.1	2.2	5.7
日勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	3778	899	63	663
	率(%)	100	69.9	16.6	1.2	12.3
夜勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	4638	383	21	361
	率(%)	100	85.8	7.1	0.4	6.7
日勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	2603	1747	19	1034
	率(%)	100	48.2	32.3	0.4	19.1
夜勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	4658	296	12	437
	率(%)	100	86.2	5.5	0.2	8.1
分娩第1期におけるケア	n数	5403	5182	12	5	204
	率(%)	100	95.9	0.2	0.1	3.8
分娩第2期におけるケア	n数	5403	5156	43	2	202
	率(%)	100	95.4	0.8	0	3.7
陣痛促進剤や 誘発時の点滴管理	n数	5403	4957	212	1	233
	率(%)	100	91.7	3.9	0	4.3
分娩監視装置の装着	n数	5403	5167	34	4	198
	率(%)	100	95.6	0.6	0.1	3.7
分娩監視装置を外す判断	n数	5403	4895	276	2	230
	率(%)	100	90.6	5.1	0	4.3
小児科医が不在の分娩時における、 新生児に対する緊急蘇生	n数	5403	2015	2618	94	676
	率(%)	100	37.3	48.5	1.7	12.5
褥婦へのケア (乳房マッサージ以外)	n数	5403	4814	307	59	223
	率(%)	100	89.1	5.7	1.1	4.1
褥婦への乳房マッサージ	n数	5403	5068	68	7	260
	率(%)	100	93.8	1.3	0.1	4.8
正常新生児のケア	n数	5403	4362	705	95	241
	率(%)	100	80.7	13	1.8	4.5

看護師		(人)				
			1番目	2番目	3番目	無回答
妊婦へのケア (切迫流早産など)	n数	5403	687	2896	13	1807
	率(%)	100	12.7	53.6	0.2	33.4
日勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	251	1653	502	2997
	率(%)	100	4.6	30.6	9.3	55.5
夜勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	123	1947	362	2971
	率(%)	100	2.3	36	6.7	55
日勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	51	720	538	4094
	率(%)	100	0.9	13.3	10	75.8
夜勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	49	1150	283	3921
	率(%)	100	0.9	21.3	5.2	72.6
分娩第1期におけるケア	n数	5403	25	1550	16	3812
	率(%)	100	0.5	28.7	0.3	70.6
分娩第2期におけるケア	n数	5403	8	718	300	4377
	率(%)	100	0.1	13.3	5.6	81
陣痛促進剤や 誘発時の点滴管理	n数	5403	19	679	227	4478
	率(%)	100	0.4	12.6	4.2	82.9
分娩監視装置の装着	n数	5403	80	2683	78	2562
	率(%)	100	1.5	49.7	1.4	47.4
分娩監視装置を外す判断	n数	5403	42	1353	465	3543
	率(%)	100	0.8	25	8.6	65.6
小児科医が不在の分娩時における、 新生児に対する緊急蘇生	n数	5403	158	791	1523	2931
	率(%)	100	2.9	14.6	28.2	54.2
褥婦へのケア (乳房マッサージ以外)	n数	5403	513	2919	19	1952
	率(%)	100	9.5	54	0.4	36.1
褥婦への乳房マッサージ	n数	5403	154	2132	14	3103
	率(%)	100	2.9	39.5	0.3	57.4
正常新生児のケア	n数	5403	988	2933	18	1464
	率(%)	100	18.3	54.3	0.3	27.1

准看護師

(人)

			1番目	2番目	3番目	無回答
妊婦へのケア (切迫流早産など)	n数	5403	97	169	537	4600
	率(%)	100	1.8	3.1	9.9	85.1
日勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	27	70	255	5051
	率(%)	100	0.5	1.3	4.7	93.5
夜勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	28	93	310	4972
	率(%)	100	0.5	1.7	5.7	92
日勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	13	33	115	5242
	率(%)	100	0.2	0.6	2.1	97
夜勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	14	61	214	5114
	率(%)	100	0.3	1.1	4	94.7
分娩第1期におけるケア	n数	5403	12	89	261	5041
	率(%)	100	0.2	1.6	4.8	93.3
分娩第2期におけるケア	n数	5403	5	51	158	5189
	率(%)	100	0.1	0.9	2.9	96
陣痛促進剤や 誘発時の点滴管理	n数	5403	8	44	135	5216
	率(%)	100	0.1	0.8	2.5	96.5
分娩監視装置の装着	n数	5403	21	118	400	4864
	率(%)	100	0.4	2.2	7.4	90
分娩監視装置を外す判断	n数	5403	14	57	220	5112
	率(%)	100	0.3	1.1	4.1	94.6
小児科医が不在の分娩時における、 新生児に対する緊急蘇生	n数	5403	11	39	129	5224
	率(%)	100	0.2	0.7	2.4	96.7
褥婦へのケア (乳房マッサージ以外)	n数	5403	87	154	499	4663
	率(%)	100	1.6	2.9	9.2	86.3
褥婦への乳房マッサージ	n数	5403	23	90	333	4957
	率(%)	100	0.4	1.7	6.2	91.7
正常新生児のケア	n数	5403	113	177	549	4564
	率(%)	100	2.1	3.3	10.2	84.5

産科医		(人)				
			1番目	2番目	3番目	無回答
妊婦へのケア (切迫流早産など)	n数	5403	0	0	0	5403
	率(%)	100	0	0	0	100
日勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	1115	645	272	3371
	率(%)	100	20.6	11.9	5	62.4
夜勤帯での入院に際して、 電話での来院指示	n数	5403	465	776	318	3844
	率(%)	100	8.6	14.4	5.9	71.1
日勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	2537	573	101	2192
	率(%)	100	47	10.6	1.9	40.6
夜勤帯での、 陣痛発来時の入院判断	n数	5403	510	1074	193	3626
	率(%)	100	9.4	19.9	3.6	67.1
分娩第1期におけるケア	n数	5403	0	0	0	5403
	率(%)	100	0	0	0	100
分娩第2期におけるケア	n数	5403	72	1349	142	3840
	率(%)	100	1.3	25	2.6	71.1
陣痛促進剤や 誘発時の点滴管理	n数	5403	249	1243	131	3780
	率(%)	100	4.6	23	2.4	70
分娩監視装置の装着	n数	5403	20	261	232	4890
	率(%)	100	0.4	4.8	4.3	90.5
分娩監視装置を外す判断	n数	5403	315	1525	217	3346
	率(%)	100	5.8	28.2	4	61.9
小児科医が不在の分娩時における、 新生児に対する緊急蘇生	n数	5403	2964	943	206	1290
	率(%)	100	54.9	17.5	3.8	23.9
褥婦へのケア (乳房マッサージ以外)	n数	5403	0	0	0	5403
	率(%)	100	0	0	0	100
褥婦への乳房マッサージ	n数	5403	0	0	0	5403
	率(%)	100	0	0	0	100
正常新生児のケア	n数	5403	0	0	0	5403
	率(%)	100	0	0	0	100

8) 助産師による会陰裂傷縫合の実施状況（問8）

（人）

		産科医のみが実施する	産科医の立ち会いは、 状況によっては、 助産師が実施	産科医の立ち会いは、 状況によっては、 助産師が実施	無回答
n数	5403	5085	126	71	121
率(%)	100	94.1	2.3	1.3	2.2

9) 助産師による会陰裂傷縫合の実施についての意見（問9）

（人）

		産科医のみが実施した方がよい と思う	産科医の立ち会いは、 状況によっては、 助産師が実施	産科医の立ち会いは、 状況によっては、 助産師が実施	その他	無回答
n数	5403	2551	1620	909	124	199
率(%)	100	47.2	30	16.8	2.3	3.7

Ⅵ. 院内助産システムに関して

1) 勤務施設における院内助産実施の有無 (問 1)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	737	4547	119
率(%)	100	13.6	84.2	2.2

院内助産の実施開始時期

(人)

		～ 昭和64年	平成1 ～5年	平成6 ～10年	平成11～ 15年	平成16～ 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	無回答
n数	737	0	10	3	10	165	111	95	149	71	123
率(%)	100	0	1.4	0.4	1.4	22.4	15.1	12.9	20.2	9.6	16.7

院内助産の通算分娩数

(人)

		0件	1～20件 未満	20～50件 未満	50～100 件未満	100～150 件未満	150～200 件未満
n数	737	7	158	68	85	56	21
率(%)	100	0.9	21.4	9.2	11.5	7.6	2.8

(人)

	200～300 件未満	300～400 件未満	400～500 件未満	500～ 1000件未 満	1000～ 1500件未 満	1500件以 上	無回答	平均
n数	16	10	13	61	9	7	226	221.5
率(%)	2.2	1.4	1.8	8.3	1.2	0.9	30.7	221.5

勤務先としての院内助産の導入希望有無(人)

		あり	なし	無回答
n数	4547	1752	2250	545
率(%)	100	38.5	49.5	12

勤務先としての院内助産の導入希望ありの場合(人)

		実施 予定で ある	実施 の準備 中	い予 が定 、も 導準 入備 も希 望し てあ い るな い	無 回 答
n数	1752	121	419	1143	69
率(%)	100	6.9	23.9	65.2	3.9

個人としての院内助産の導入希望

(人)

		あり	なし	無回答
n数	4547	2268	1599	680
率(%)	100	49.9	35.2	15

2) 勤務先施設における助産外来実施の有無 (問2)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	3054	2211	138
率(%)	100	56.5	40.9	2.6

助産外来の実施開始時期

(人)

		～ 昭和64年	平成1 ～5年	平成6 ～10年	平成11～ 15年	平成16～ 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	無回答
n数	3054	0	45	51	104	790	393	352	312	234	773
率(%)	100	0	1.5	1.7	3.4	25.9	12.9	11.5	10.2	7.7	25.3

助産師による超音波検査の実施有無 (人)

		あり	なし	無回答
n数	3054	1973	892	189
率(%)	100	64.6	29.2	6.2

新人助産師の就職後1年以内における妊婦健診への関与 (人)

		先輩助産師の妊婦健診を見	先輩の指導のもと、実施	見学も実施もしていない	その他	無回答
n数	3054	451	411	1833	123	286
率(%)	100	14.8	13.5	60	4	9.4

勤務先としての助産外来の導入希望 (人)

		あり	なし	無回答
n数	2211	1110	915	186
率(%)	100	50.2	41.4	8.4

勤務先としての助産外来の導入希望ありの場合 (人)

		実施予定である	実施の準備中	い予 が定 、も 導 準 入 希 望 し て あ い な	無回答
n数	1110	136	313	617	44
率(%)	100	12.3	28.2	55.6	4

個人としての助産外来の導入希望 (人)

		あり	なし	無回答
n数	2211	1411	581	219
率(%)	100	63.8	26.3	9.9

Ⅶ. 助産師の新卒・現任教育と学生実習に関して

1) 助産師に特化したクリニカルラダーの有無 (問 1)

(人)

		あり	現在作成中	なし	無回答
n数	5403	837	649	3638	279
率(%)	100	15.5	12	67.3	5.2

2) 回答者のクリニカルラダーレベル (問 2)

(人)

		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6以上	無回答
n数	5403	17	367	669	681	499	81	19	3070
率(%)	100	0.3	6.8	12.4	12.6	9.2	1.5	0.4	56.8

3) 助産師に特化した教育目標の有無 (問 3)

(人)

		あり	現在作成中	なし	無回答
n数	5403	1930	670	2419	384
率(%)	100	35.7	12.4	44.8	7.1

4) 産科関連病棟への教育担当者の配置有無 (問 4)

(人)

		配置あり	配置なし	無回答
n数	5403	3156	1875	372
率(%)	100	58.4	34.7	6.9

5) 助産師に対する新人研修の実施状況 (問 5) (複数回答)

(人)

		特化した院内で助産師に 新人助産師研修がある	都道府県看護協会や 他の病院などと合同で 新人助産師研修を実施	今年度は助産師用新人研修 を実施していないが 次年度以降実施予定	助産師に特化した新人研修 はない(看護職としての新 人研修に参加)	院内での新人研修はない 看護職としても、 助産師としても、	プリセプターシップ、 メンターシップ、 エルダー制などがある	無回答
n数	5403	638	988	48	3309	184	3109	432
率(%)	100	11.8	18.3	0.9	61.2	3.4	57.5	8

6) 助産師の育成を目的とした、定期的な面接の実施有無 (問 6)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	2462	2635	306
率(%)	100	45.6	48.8	5.7

面接回数

(人)

		1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	無回答	平均
n数	2462	504	1126	496	46	13	59	218	2.3
率(%)	100	20.5	45.7	20.1	1.9	0.5	2.4	8.9	2.3

面接のあなた以外の出席者(複数回答)

(人)

		看護師長	先輩 助産師	同期・ 後輩の 助産師	その他	無回答
n数	2462	2050	498	111	163	163
率(%)	100	83.3	20.2	4.5	6.6	6.6

7) 看護学生・助産学生実習受け入れの有無 (問 7)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	4788	392	223
率(%)	100	88.6	7.3	4.1

年間の母性看護学実習

(人)

		0校	~1校	2校	3校	4校	5校	6校	7校	8校	9校	10校以上	無回答	平均
n数	4788	5	1126	1358	1046	493	200	88	19	3	1	2	447	2.5
率(%)	100	0.1	23.5	28.4	21.8	10.3	4.2	1.8	0.4	0.1	0	0	9.3	2.5

1回の母性看護学実習の人数

(人)

		0人	~2人	3~4人	5~6人	7~8人	9~10人	11人以上	無回答	平均
n数	4788	5	167	1051	2001	538	290	156	580	6.3
率(%)	100	0.1	3.5	22	41.8	11.2	6.1	3.3	12.1	6.3

年間の助産実習

(人)

		0校	~1校	2校	3校	4校	5校	6校	7校	8校	9校	10校以上	無回答	平均
n数	4788	172	2161	733	181	44	4	0	0	0	0	1	1492	1.3
率(%)	100	3.6	45.1	15.3	3.8	0.9	0.1	0	0	0	0	0	31.2	1.3

1回の助産実習の人数

(人)

		0人	~2人	3~4人	5~6人	7~8人	9~10人	11人以上	無回答	平均
n数	4788	172	1438	1022	366	100	53	39	1598	3.2
率(%)	100	3.6	30	21.3	7.6	2.1	1.1	0.8	33.4	3.2

Ⅷ. 混合病棟について

1) 産科以外の診療科名称 (問 1) (複数回答)

(人)

		婦人科	小児科	内科	外科	整形外科	脳神経外科
n数	3464	3144	1295	1281	830	828	283
率(%)	100	90.8	37.4	37	24	23.9	8.2

	耳鼻咽喉科	泌尿器科	眼科	歯科口腔外科	皮膚科	その他	無回答
n数	454	387	628	228	277	484	52
率(%)	13.1	11.2	18.1	6.6	8	14	1.5

2) 助産師の産科と他科患者の同時受け持ち状況 (問 2) (複数回答)

(人)

		常に、他科診療科の患者は受け持たない	同時に受け持つ	他科の患者は受け持たない 分娩介助の時のみ、	他科の患者は受け持たない 分娩第1期の患者が入院した時点で、	その他	無回答
n数	3464	493	2405	575	226	150	183
率(%)	100	14.2	69.4	16.6	6.5	4.3	5.3

混合病棟での他科と同時に受け持つ場合の頻度(人)

		常に	ときどき	ごくまれに	無回答
n数	2405	831	1190	339	45
率(%)	100	34.6	49.5	14.1	1.9

3) 産科と他科患者の同時受け持ちの際の、受け持つ他科診療科数と患者人数 (問 3)

受け持ち患者数 (人)

			~2人	3~4人	5~9人	10人以上	無回答	平均
診療科1	n数	1992	1034	570	309	46	33	3
	率(%)	100	51.9	28.6	15.5	2.3	1.7	3
診療科2	n数	559	434	88	27	4	6	2
	率(%)	100	77.6	15.7	4.8	0.7	1.1	2
診療科3	n数	701	517	129	44	2	9	2
	率(%)	100	73.8	18.4	6.3	0.3	1.3	2
診療科4	n数	97	79	9	4	2	3	1.9
	率(%)	100	81.4	9.3	4.1	2.1	3.1	1.9

4) 産科患者の入院先病室の決めごと (問 4)

(人)

		産科患者は 個室へ入院	産科患者の 病室へ入院	他科の患者と 同室	無回答
n数	3464	360	1558	1318	228
率(%)	100	10.4	45	38	6.6

産科患者の他科の患者と同室 (人)

		常に	ときどき	ごく まれに	無回答
n数	1318	153	761	393	11
率(%)	100	11.6	57.7	29.8	0.8

5) 他科患者が入院する際のルールや基準の有無 (問 5)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	3464	2830	364	270
率(%)	100	81.7	10.5	7.8

他科患者が入院する際のルール(複数回答) (人)

		感染患者は除 外	小児科は除 外	ターミナル期は 除外	男性は除 外	不 安 ・ 認 知 の 症 状 が あ る 患 者 は 除 外	ク リ ニ カ ル パ ス 適 応 者 の み 入 院 可	そ の 他	無 回 答
n数	2830	2226	1116	1008	2294	1059	85	331	15
率(%)	100	78.7	39.4	35.6	81.1	37.4	3	11.7	0.5

6) ルールや基準の順守程度 (問 6)

(人)

		完全に守っている	ケースバイケースで入院患者を受け入れるをえない	ルールはあるが、緊急があれば入院を受け入れる	ルールはあるが、ほとんど守られていない	その他	無回答
n数	2830	1317	1106	355	39	29	49
率(%)	100	46.5	39.1	12.5	1.4	1	1.7

Ⅸ. 助産師の出向について

1) 他施設への出向経験 (問 1-1)

(人)

		現在、助産師が 出向している	以前、助産師が 出向していた	出向の経験はない	助産師の出向経験はないが、 看護師の出向経験はある	無回答
n数	5403	301	429	4301	170	202
率(%)	100	5.6	7.9	79.6	3.1	3.7

2) 他施設から助産師の出向受け入れ経験 (問 1-2)

(人)

		現在、助産師の出向を 受け入れている	以前、助産師の出向を 受け入れていた	出向受け入れの経験はない	助産師の受け入れ経験はないが、 看護師はある	無回答
n数	5403	194	385	4340	152	332
率(%)	100	3.6	7.1	80.3	2.8	6.1

3) 出向元施設の設置主体 (問 2)

出向元施設の設置主体 (人)

		グループ間での 出向	(都道府県) 公立病院	(市町村) 公立病院	国立大学法人	私立学校法人	
n数	579	263	70	76	42	19	
率(%)	100.0	45.4	12.1	13.1	7.3	3.3	
	個人病院	社会保険関係 団体の病院	医療法人	診療所	助産所	その他	無回答
n数	8	23	21	2	8	27	69
率(%)	1.4	4.0	3.6	0.3	1.4	4.7	11.9

4) 出向先施設の設置主体 (問 2)

出向先施設の設置主体 (人)

		グループ間での 出向	(都道府県) 公立病院	(市町村) 公立病院	国立大学法人	私立学校法人	
n数	730	344	48	91	14	17	
率(%)	100	47.1	6.6	12.5	1.9	2.3	
	個人病院	社会保険関係 団体の病院	医療法人	診療所	助産所	その他	無回答
n数	27	34	25	15	6	24	131
率(%)	3.7	4.7	3.4	2.1	0.8	3.3	17.9

5) 助産師としての出向経験の有無 (問 3)

(人)

		あり	なし	無回答
n数	5403	203	4428	772
率(%)	100	3.8	82	14.3

助産師としての出向経験の有りの場合(人)

		現在の勤務先	以前の勤務先	無回答
n数	203	80	50	73
率(%)	100	39.4	24.6	36

6) 助産師として出向した時期 (問 4-1)

(人)

		～昭和64年	平成1～5年	平成6～10年	平成11～15年	平成16～20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	無回答
n数	203	0	15	16	16	52	14	23	36	20	11
率(%)	100	0	7.4	7.9	7.9	25.6	6.9	11.3	17.7	9.9	5.4

7) 出向時の助産師経験年数 (問 4-2)

(人)

		0年目	1～2年目	3～4年目	5～6年目	7～8年目	9～10年目	11～14年目	15～19年目	20～29年目	30年目以上	無回答	平均
n数	203	0	38	53	23	16	13	12	16	23	2	7	8.4
率(%)	100	0	18.7	26.1	11.3	7.9	6.4	5.9	7.9	11.3	1	3.4	8.4

8) 1年間の延べ出向助産師の人数 (問 4-3)

(人)

		1人	2人	3人	4人	5人	6～10人	11人以上	無回答	平均
n数	203	51	45	32	21	11	25	6	12	3.4
率(%)	100	25.1	22.2	15.8	10.3	5.4	12.3	3	5.9	3.4

9) 1回の出向期間 (問 4-4)

(人)

		1カ月未満	1カ月	2カ月	3カ月	4カ月	5カ月	6カ月	
n数	203	11	25	12	42	4	1	31	
率(%)	100	5.4	12.3	5.9	20.7	2	0.5	15.3	
		7カ月	8カ月	9カ月	10カ月	11カ月	12カ月以上	無回答	平均
n数	0	3	3	2	0	52	17	6.6	
率(%)	0	1.5	1.5	1	0	25.6	8.4	6.6	

10) 出向先病院・診療所 (問 4-5)

(人)

		病院	診療所	無回答
n数	203	176	18	9
率(%)	100	86.7	8.9	4.4

11) 出向先の病床数－病院（問 4-5）

(人)

		0床	1～5床	6～10床	11～15床	16～20床	21～25床	
n数	176	0	4	15	9	26	16	
率(%)	100	0	2.3	8.5	5.1	14.8	9.1	
	26～30床	31～35床	36～40床	41～45床	46～50床	51床以上	無回答	平均
n数	11	4	24	2	5	5	55	36.5
率(%)	6.3	2.3	13.6	1.1	2.8	2.8	31.3	36.5

12) 出向先の病床数－診療所（問 4-5）

(人)

		0床	1～5床	6～10床	11～15床	16～19床	無回答	平均
n数	18	0	0	2	2	13	1	17.3
率(%)	100	0	0	11.1	11.1	72.2	5.6	17.3

13) 出向先病棟（問 4-6）

(人)

		産科単 独病棟	産科と婦 人科の 混合病棟	産婦人科以 外の 診療科との 混合病棟	無回 答
n数	203	40	47	102	14
率(%)	100	19.7	23.2	50.2	6.9

他科診療患者への看護ケア提供経験 (人)

		あり	なし	無回答
n数	149	94	51	4
率(%)	100	63.1	34.2	2.7

14) 出向先施設の所在地（問 4-7）

(人)

		同じ都道	別の都道	該当者
n数	203	102	91	10
率(%)	100	50.2	44.8	4.9

出向に伴う引っ越しの有無 (人)

		あり	なし	無回答
n数	203	91	81	31
率(%)	100	44.8	39.9	15.3

15) 出向元と出向先での給与差（問 4-8）

(人)

		減額	増額	同額	無回答
n数	203	21	39	126	17
率(%)	100	10.3	19.2	62.1	8.4

16) 出向先での分娩介助件数 (問 4-9)

(人)

		0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	
n数	203	13	56	35	29	10	7	
率(%)	100	6.4	27.6	17.2	14.3	4.9	3.4	
	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	平均
n数	2	2	4	2	4	7	32	38.6
率(%)	1	1	2	1	2	3.4	15.8	38.6

17) 出向前の分娩介助件数(年間) (問 4-9)

(人)

		0件	1~10件	11~20件	21~30件	31~40件	41~50件	
n数	203	11	42	31	15	8	7	
率(%)	100	5.4	20.7	15.3	7.4	3.9	3.4	
	51~60件	61~70件	71~80件	81~90件	91~100件	101件以上	無回答	平均
n数	4	4	1	1	5	22	52	101.5
率(%)	2	2	0.5	0.5	2.5	10.8	25.6	101.5

18) 他施設への出向希望があるか (問 4-12)

(人)

		はい	いいえ	無回答
n数	203	113	79	11
率(%)	100	55.7	38.9	5.4

19) 他施設へ出向する上での必要条件 (問5)

(人)

			全く重要 ではない	あまり重要 ではない	どちらでも ない	重要である	非常に 重要である	無回答
1. 出向先は、病院であること(診療所ではないこと)	n数	5403	832	1745	1349	845	445	187
	率(%)	100	15.4	32.3	25	15.6	8.2	3.5
2. 出向先は、同じ都道府県内の施設であること	n数	5403	230	622	747	1432	2213	159
	率(%)	100	4.3	11.5	13.8	26.5	41	2.9
3. 出向先は、通勤が可能な範囲であること(引越しは不要)	n数	5403	137	366	475	1187	3085	153
	率(%)	100	2.5	6.8	8.8	22	57.1	2.8
4. 出向期間が、1年以内であること	n数	5403	223	596	1323	1556	1535	170
	率(%)	100	4.1	11	24.5	28.8	28.4	3.1
5. 出向期間が、半年以内であること	n数	5403	303	781	1710	1203	1227	179
	率(%)	100	5.6	14.5	31.6	22.3	22.7	3.3
6. 給与が、今よりも減額にならないこと	n数	5403	20	59	203	1336	3628	157
	率(%)	100	0.4	1.1	3.8	24.7	67.1	2.9
7. 出向中の年月が現在の勤務先での退職金の計算対象範囲に含まれる	n数	5403	45	64	289	1247	3595	163
	率(%)	100	0.8	1.2	5.3	23.1	66.5	3
8. 出向先が寮を準備し、自分で2カ所の家賃を支払う必要がないこと	n数	5403	112	78	405	1268	3370	170
	率(%)	100	2.1	1.4	7.5	23.5	62.4	3.1
9. 出向先の施設での教育体制が整っていること	n数	5403	52	156	596	1829	2614	156
	率(%)	100	1	2.9	11	33.9	48.4	2.9
10. 出向先の施設に、常勤助産師が1人以上いること	n数	5403	41	79	236	1236	3651	160
	率(%)	100	0.8	1.5	4.4	22.9	67.6	3
11. 現在の勤務先から、同時に2人以上の助産師が出向できること	n数	5403	614	1161	1946	932	594	156
	率(%)	100	11.4	21.5	36	17.2	11	2.9
12. 自分ひとりだけの出向でも、過去に同僚助産師が出向している	n数	5403	550	1035	1809	1303	540	166
	率(%)	100	10.2	19.2	33.5	24.1	10	3.1
13. 出向先の施設で、正常分娩の直接介助が十分にできること	n数	5403	90	235	798	2110	1989	181
	率(%)	100	1.7	4.3	14.8	39.1	36.8	3.3
14. 出向先の施設で、妊娠期から継続的なケアを実施できる	n数	5403	152	452	1659	2033	948	159
	率(%)	100	2.8	8.4	30.7	37.6	17.5	2.9
15. 出向中の経験を、現在の勤務先に戻ってから評価する仕組み	n数	5403	129	348	1463	2141	1162	160
	率(%)	100	2.4	6.4	27.1	39.6	21.5	3
16. 出向することに、家族の理解と協力があること	n数	5403	81	168	499	1362	3134	159
	率(%)	100	1.5	3.1	9.2	25.2	58	2.9

20) 助産師出向についての考え (問 6)

(人)

		一定の条件、問5で挙げた 他施設への出向を検討 条件などが整えば、	どの様な条件が整えられ ても、他施設へ出向するこ とはできない	無回答
n数	5403	3913	1077	413
率(%)	100	72.4	19.9	7.6

X. 回答者の所属する助産チームについて

1) 所属する助産チームの様子について、回答者の実感に最もあてはまるもの-1

(人)

			全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう思う	非常に そう思う	無回答
1. チームの目標を達成しようという意気込みがある	n数	6038	113	761	1143	3152	581	288
	率(%)	100	1.9	12.6	18.9	52.2	9.6	4.8
2. 和やかな雰囲気がある	n数	6038	113	451	927	3039	1226	282
	率(%)	100	1.9	7.5	15.4	50.3	20.3	4.7
3. 新しいことに積極的にとり組む姿勢がある	n数	6038	205	918	1509	2530	589	287
	率(%)	100	3.4	15.2	25	41.9	9.8	4.8
4. 同僚のスタッフが失敗をすると自分のことのようにゆううつになる	n数	6038	74	610	1795	2866	408	285
	率(%)	100	1.2	10.1	29.7	47.5	6.8	4.7
5. 皆が互いの長所をみとめあっている	n数	6038	125	626	1575	2959	462	291
	率(%)	100	2.1	10.4	26.1	49	7.7	4.8
6. 自分の担当以外のことについては口を出さないようにしている	n数	6038	459	2656	1808	742	82	291
	率(%)	100	7.6	44	29.9	12.3	1.4	4.8
7. 仕事を確実にを行うために必要な知識・技能が受け継がれている	n数	6038	120	896	1606	2885	234	297
	率(%)	100	2	14.8	26.6	47.8	3.9	4.9
8. 新人指導の際、手順を教えるだけでなく、根拠も教える	n数	6038	131	499	967	3308	829	304
	率(%)	100	2.2	8.3	16	54.8	13.7	5
9. 同僚のスタッフの誰に対しても、気持ちよく挨拶を交わしている	n数	6038	79	260	655	3068	1697	279
	率(%)	100	1.3	4.3	10.8	50.8	28.1	4.6
10. やって見なければわからないことでも前向きなことであれば支持	n数	6038	154	665	1526	2904	497	292
	率(%)	100	2.6	11	25.3	48.1	8.2	4.8
11. 実績やキャリアの違いにこだわらず、互いに切磋琢磨している	n数	6038	157	765	1703	2696	430	287
	率(%)	100	2.6	12.7	28.2	44.7	7.1	4.8
12. 職場を抜けて研修に参加することは気が引ける	n数	6038	1025	2487	1195	800	240	291
	率(%)	100	17	41.2	19.8	13.2	4	4.8
13. 他の病院で起きた事故事例をもとに学習している	n数	6038	383	1353	1711	2066	235	290
	率(%)	100	6.3	22.4	28.3	34.2	3.9	4.8
14. 仕事の進め方や患者のケアについての意見がくい違うことがある	n数	6038	64	1310	2211	1952	212	289
	率(%)	100	1.1	21.7	36.6	32.3	3.5	4.8
15. 自分の知識・技能を高めるための取り組みがなされている	n数	6038	144	778	1798	2782	248	288
	率(%)	100	2.4	12.9	29.8	46.1	4.1	4.8
16. スタッフは頼まれた仕事を確実にやり遂げる	n数	6038	30	287	1106	3725	600	290
	率(%)	100	0.5	4.8	18.3	61.7	9.9	4.8
17. 安全もさることながら、仕事の効率性を重視している	n数	6038	123	911	2013	2440	260	291
	率(%)	100	2	15.1	33.3	40.4	4.3	4.8
18. 他者の経験から学ぶという姿勢に価値がおかれている	n数	6038	105	707	2154	2544	237	291
	率(%)	100	1.7	11.7	35.7	42.1	3.9	4.8
19. 仕事の手順を守ることにについて厳格である	n数	6038	71	827	2136	2378	335	291
	率(%)	100	1.2	13.7	35.4	39.4	5.5	4.8
20. チーム内で問題が起こっても、それを解決するだけの力がある	n数	6038	92	456	1245	3406	554	285
	率(%)	100	1.5	7.6	20.6	56.4	9.2	4.7

2) 所属する助産チームの行動について、回答者実感に最もあてはまるもの-2

(人)

			全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう思う	非常にそう 思う	無回答
1. 仕事の仕方や仕事で困ったことについて、相談しあっている	n数	6038	35	258	593	3949	891	312
	率(%)	100	0.6	4.3	9.8	65.4	14.8	5.2
2. 仕事を一人でたくさん抱えているスタッフがいたら、援助している	n数	6038	43	284	537	3854	1007	313
	率(%)	100	0.7	4.7	8.9	63.8	16.7	5.2
3. 状況に応じて、チームの目標とその計画を見直すことがある	n数	6038	102	623	1472	3160	358	323
	率(%)	100	1.7	10.3	24.4	52.3	5.9	5.3
4. 自分の経験から得た教訓や入手した情報をお互いに伝え合っている	n数	6038	51	429	1122	3661	453	322
	率(%)	100	0.8	7.1	18.6	60.6	7.5	5.3
5. 仕事以外のことについて話をする機会が少ない	n数	6038	797	2872	1308	639	104	318
	率(%)	100	13.2	47.6	21.7	10.6	1.7	5.3
6. 「例の件」とか「あのこと」と言うだけで話が通じる	n数	6038	216	1152	2393	1797	155	325
	率(%)	100	3.6	19.1	39.6	29.8	2.6	5.4
7. お互いの仕事上の役割を理解している	n数	6038	36	266	1046	3946	394	350
	率(%)	100	0.6	4.4	17.3	65.4	6.5	5.8
8. 年間目標等のチームの長期的活動計画をスタッフ全員で定めている	n数	6038	308	880	1269	2572	689	320
	率(%)	100	5.1	14.6	21	42.6	11.4	5.3
9. 仕事をうまく行うためのコツを伝え合っている	n数	6038	114	731	1854	2794	224	321
	率(%)	100	1.9	12.1	30.7	46.3	3.7	5.3
10. 立場が上のスタッフに対しても質問したり意見したりする	n数	6038	182	721	1394	2987	435	319
	率(%)	100	3	11.9	23.1	49.5	7.2	5.3
11. 仕事の仕方について迷っているスタッフがいたら、積極的に相談	n数	6038	58	413	1360	3442	445	320
	率(%)	100	1	6.8	22.5	57	7.4	5.3
12. お互いの都合や仕事の進み具合にあわせて、仕事の仕方を工夫	n数	6038	63	373	1093	3710	478	321
	率(%)	100	1	6.2	18.1	61.4	7.9	5.3
13. トラブルに対応できたかどうかだけでなくプロセスも重視	n数	6038	81	502	1559	3204	372	320
	率(%)	100	1.3	8.3	25.8	53.1	6.2	5.3
14. 前例や慣例に反する意見が出されることはまれである	n数	6038	166	1844	2578	995	125	330
	率(%)	100	2.7	30.5	42.7	16.5	2.1	5.5

Ⅲ 助産師調査

			全くそう思 わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう思う	非常にそう 思う	無回答
15. お互いに連絡をとらずに行動してしまい、失敗することがある	n数	6038	320	2912	1853	581	49	323
	率(%)	100	5.3	48.2	30.7	9.6	0.8	5.3
16. 仕事の負担が特定のスタッフに偏りすぎないよう気を配っている	n数	6038	93	524	1168	3526	402	325
	率(%)	100	1.5	8.7	19.3	58.4	6.7	5.4
17. 皆が納得するまで話し合っている	n数	6038	299	1194	2428	1669	124	324
	率(%)	100	5	19.8	40.2	27.6	2.1	5.4
18. 自分たちの職務とその目的を確認しあっている	n数	6038	188	963	2157	2245	161	324
	率(%)	100	3.1	15.9	35.7	37.2	2.7	5.4
19. 互いの苦手なことを補いあっている	n数	6038	119	742	1951	2735	169	322
	率(%)	100	2	12.3	32.3	45.3	2.8	5.3
20. わからないことがあれば、同僚へ気軽に尋ねている	n数	6038	41	192	655	3844	983	323
	率(%)	100	0.7	3.2	10.8	63.7	16.3	5.3
21. 他のスタッフの仕事の進み具合について、注意を払っている	n数	6038	35	256	977	3915	534	321
	率(%)	100	0.6	4.2	16.2	64.8	8.8	5.3
22. 個人の知識や技術の向上のためにアドバイスしあっている	n数	6038	69	477	1604	3259	307	322
	率(%)	100	1.1	7.9	26.6	54	5.1	5.3
23. ケアや処置を間違っ行っていたら、それを本人に教えている	n数	6038	40	235	888	3947	597	331
	率(%)	100	0.7	3.9	14.7	65.4	9.9	5.5
24. 仕事を改善するためのアイデアや工夫を出すことに積極的	n数	6038	119	668	1881	2683	365	322
	率(%)	100	2	11.1	31.2	44.4	6	5.3
25. 問題が起きたら、すぐに報告し、チーム内での共有を図っている	n数	6038	53	300	1001	3582	775	327
	率(%)	100	0.9	5	16.6	59.3	12.8	5.4
26. お互いの意見がくいちがうときは、譲歩しあって仕事をすすめる	n数	6038	88	474	2043	2923	187	323
	率(%)	100	1.5	7.9	33.8	48.4	3.1	5.3
27. お互いに建設的な意見を出して、仕事をしやすくする工夫をする	n数	6038	98	506	1827	3040	246	321
	率(%)	100	1.6	8.4	30.3	50.3	4.1	5.3
28. チーム内での決まりごとを守らなかつたらその場で注意している	n数	6038	115	737	1991	2629	242	324
	率(%)	100	1.9	12.2	33	43.5	4	5.4

3) 所属する助産チームで仕事をしている時、回答者の実感に最もあてはまるもの-3

(人)

			全くそう思 わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう思う	非常にそう 思う	無回答
1. 複数の異質な仕事をしなければならないことがある	n数	6038	71	726	1007	2615	1292	327
	率(%)	100	1.2	12	16.7	43.3	21.4	5.4
2. 自分の責任が何かわかっている	n数	6038	8	80	643	4086	902	319
	率(%)	100	0.1	1.3	10.6	67.7	14.9	5.3
3. 互いに矛盾する方針の下で働いている	n数	6038	395	1948	1953	1072	347	323
	率(%)	100	6.5	32.3	32.3	17.8	5.7	5.3
4. 十分な人手がないのに、仕事を割り当てられることがある	n数	6038	68	713	1294	2529	1112	322
	率(%)	100	1.1	11.8	21.4	41.9	18.4	5.3
5. 時間の割り振りをうまくやってきたと思う	n数	6038	79	794	1824	2649	370	322
	率(%)	100	1.3	13.2	30.2	43.9	6.1	5.3
6. 複数の人から矛盾した要求を受けることがある	n数	6038	216	1587	2054	1535	325	321
	率(%)	100	3.6	26.3	34	25.4	5.4	5.3
7. 曖昧な指示の下で働かなければならないことがある	n数	6038	235	1538	1612	1888	441	324
	率(%)	100	3.9	25.5	26.7	31.3	7.3	5.4
8. 仕事をやり遂げるために、規則や方針にそむかなければならない	n数	6038	553	2423	1855	750	135	322
	率(%)	100	9.2	40.1	30.7	12.4	2.2	5.3
9. 自分に何が期待されているのか正確にわかっている	n数	6038	83	655	2094	2611	278	317
	率(%)	100	1.4	10.8	34.7	43.2	4.6	5.3
10. 適当な設備がないのに、仕事を割り当てられることがある	n数	6038	416	2078	1867	1080	269	328
	率(%)	100	6.9	34.4	30.9	17.9	4.5	5.4
11. 自分がどの程度の権限をもっているかはっきりわかっている	n数	6038	99	699	1937	2634	349	320
	率(%)	100	1.6	11.6	32.1	43.6	5.8	5.3
12. 意味がないと思われる仕事を割り当てられることがある	n数	6038	452	2044	1723	1203	289	327
	率(%)	100	7.5	33.9	28.5	19.9	4.8	5.4
13. 医師と協調して働いている	n数	6038	193	682	1395	2901	519	348
	率(%)	100	3.2	11.3	23.1	48	8.6	5.8
14. 助産独自の仕事をしていると思う	n数	6038	353	1103	1533	2289	434	326
	率(%)	100	5.8	18.3	25.4	37.9	7.2	5.4
15. 自分の仕事を活かして仕事をしている	n数	6038	136	557	1589	2909	481	366
	率(%)	100	2.3	9.2	26.3	48.2	8	6.1

第3章 助産実習の受け入れの可能性

助産実習の受け入れの可能性

1 調査概要

1) 目的

分娩取扱い施設における、助産実習の受け入れの実態と、今後の助産実習受け入れの可能性について明らかにする

2) 調査対象

病院と診療所

3) 結果

(1) 病院における助産実習について

病院では、456 病院中 318 病院 (69.7%) が助産実習を受け入れていた。実習を受け入れている 269 病院では、1 年間に助産実習を受け入れている助産学校数は 1 病院あたり、1 から 5 校、平均は 1.5 校で、187 病院 (69.5%) が 1 校のみ助産実習を受け入れていた。1 校あたり受け入れる助産師学生は 1 から 30 人と幅広く、平均は 4.5 人であった。1 回の助産実習で受け入れる助産師学生は平均 2.9 人であった。助産実習中、複数の学校が同じ時期に実習に来ることがあるのは 238 病院中 35 病院 (14.7%) であった。

助産実習に対し、専任の実習指導者を配置している病院は 318 病院中 184 病院 (57.9%)、110 病院 (60.4%) では指導者を 1 人配置しており、平均は 1.9 人であった。173 病院のうち 117 病院 (67.6%) では、実習指導者は通常業務と兼ねながら指導をしていた。専任の実習指導者を設置していない病院では、助産実習指導時の担当者を多い順に 134 病院中 96 病院 (73.8%) が「妊産褥婦のその日の受け持ち助産師」、94 病院 (70.1%) が「その日の分娩室担当助産師」、27 病院 (20.1%) が「妊産褥婦のその日の受け持ち看護師」としていた。

また、対象 456 病院において、助産実習の受け入れるには必要な条件として、多い順に「勤務助産師の数が増えれば」326 病院 (71.5%)、「専任の実習指導者を配置出来れば」251 病院 (55.0%)、「正常分娩の件数が増えれば」207 病院 (45.4%) であった。

(2) 診療所における助産実習について

診療所では、334 診療所中 47 診療所 (14.1%) が助産実習を受け入れていた。この 47 診療所において、1 診療所が 1 年間に受け入れている助産師学生は 1 人から 20 人であり、平均は 5.9 人であった。

助産実習を受け入れている 47 診療所が、助産実習の受け入れをさらに可能にする条件として、多い順に「勤務助産師の数が増えれば」26 診療所 (55.3%)、「専任の実習指導者が配置出来れば」23 診療所 (48.9%)、「学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行して

くれば」10 診療所（21.3%）であった。また、助産実習を受け入れていない201 診療所では、助産実習の受け入れが可能になる条件は多い順に「勤務助産師の数が増えれば」92 診療所（45.8%）、「勤務助産師や看護師の協力体制を整えれば」92 診療所（45.8%）、「専任の実習指導者を配置できれば」77 診療所（38.3%）であった。

4) まとめと考察

助産師の必要人数や適正配置を提案していくうえで、日本においてどれ位の数の助産師を養成することが可能であるのかを把握することは重要である。日本の助産師の養成所は多岐にわたり、特に大学教育の中で養成される助産師の人数は把握されていない。また、保健師助産師看護師養成所規則では、助産師学生は助産学実習において「実習中分べんの取扱いについては、助産師又は医師の監督の下に学生一人につき十回程度行わせること。この場合において、原則として、取り扱う分べんは、正期産・経膈分べん・頭位単胎とし、分べん第一期から第三期終了より二時間までとする」としている。分娩件数が減少している中、助産実習が行える実習医療施設の確保が困難になっている。

本調査において、病院の約 7 割が助産実習を受け入れていた。しかし、1 回の実習で複数の助産師学生を指導する中、専任の実習指導者の配置は約 6 割の病院にとどまり、他の病院では助産師や看護師が業務をこなしながら指導を行っていた。指導にあたる職員の負担が大きいことが推察され、病院では助産実習をさらに受け入れるには職員が増えることや専任指導者が配置されることが必要であると考えている。

診療所では、約 1 割の診療所が助産実習を受け入れていた。助産実習を受け入れている診療所も、調査時点では実習を受け入れていない診療所も、助産実習を受け入れるには病院同様、助産師が増えることや専任の実習指導者が配置されることとしていた。

これより、医療施設で助産実習を受け入れるには、指導にあたる人員が必要であると考えていることが明らかになった。

また、病院が実習を受け入れる条件として「正常分娩の件数が増えれば」をあげている。現在、病院と診療所で取り扱われる分娩件数はほぼ同じであるが、診療所では約 1 割でしか助産実習を受け入れられない現状が明らかになっている。これに加え、助産師の約 6 割が病院に、約 2 割が診療所に就業しており、この助産師の就業先の偏在を是正することは、助産実習の受け入れ施設が増加する可能性につながると考えられる。

学生実習の受け入れ状況

産科関連病棟における、学生実習受け入れ状況

学生実習受け入れ状況	病院 (n=456)		診療所 (n=308)		助産師 (n=4,589)	
母性看護学実習を受け入れている	406	89%	79	26%	3,899	85%
助産実習を受け入れている	318	70%	47	15%	2,945	64%
受け入れはしていない	34	7%	208	68%	313	7%

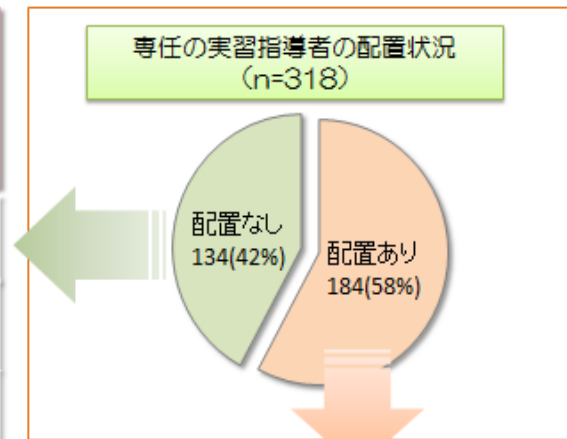
助産実習受け入れ状況

助産実習の受け入れに関して	病院(n=272)	診療所(n=47)	助産師(n=2,945)
	平均±標準偏差	平均±標準偏差	平均±標準偏差
年間受け入れ校数	1.5±1	—	2.5±0.7
1校あたり受け入れ助産学生数	4.4±4.6	—	—
1回あたりの受け入れ助産学生数	2.8±1.5	5.9±4.9	3.2±2.7

専任の実習指導者の配置状況 (n=318病院)

- 専任の実習指導者の配置がある病院が184件(58%)で、平均配置人数は1.9人である。そのうち、「業務とかねて、実習指導を行う」が117件(67.6%)である。
- 専任の実習指導者の配置がない病院の中で「妊産褥婦の、その日の受け持ち助産師が実習指導を行う」が96件でもっとも多く、次いで「分娩室担当の助産師が行う」が94件である。

	回答数	率(%)
妊産褥婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う	96	82.1%
妊産褥婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う	27	23.1%
その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う	94	80.3%
病棟管理者が実習指導を行う	11	9.4%
学校の教員が実習指導を行い職員は関与しない	1	0.9%
その他	8	6.8%



平均1.9人配置(標準偏差2.07人)

	回答数	率(%)
業務から独立して実習指導を行う	56	32.4%
業務とかねて、実習指導を行う	117	67.6%
合計	173	

助産実習の受け入れが「可能になる/さらに可能になる」条件^(病院と診療所)

受け入れ条件	病院 (n=456)	診療所 (n=308)	
	可能/ さらに可能	可能	さらに可能
勤務助産師の数が増えれば	55%	38%	9%
専任の実習指導者を配置できれば	44%	31%	8%
勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	18%	38%	5%
産科医師の協力が得られれば	12%	17%	2%
妊産婦の理解と協力が得られれば	22%	23%	4%
学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	30%	21%	7%
実習期間中の病院と学校側の連携や話し合いの機会が増えれば	8%	12%	3%
助産学生がすでに看護師免許を有していれば	8%	12%	1%
学校用のロッカールームや寮の整備など物理的環境が整えば	11%	17%	5%
将来的に就職に結びつけば	39%	24%	6%
正常分娩の件数が増えれば	37%	13%	3%
看護手順の整備が整えば	3%	7%	1%
実習費用手当てが増額されれば	6%	2%	1%
増額金額	4500円	20000円	1500円
その他	5%	7%	1%

第4章 産科混合病棟の実態と課題

産科混合病棟の実態と課題

1. 調査概要

1) 目的

分娩を取扱っている病院における、産科混合病棟の実態を明らかにする

2) 調査対象

病院

3) 結果

回答した 595 病院のうち、453 病院 (76.1%) が産科混合病棟であった。453 病院のうち、産婦人科病棟は 92 病院 (20.3%)、婦人科だけではなく婦人科以外の診療科との産科混合病棟は 361 病院 (79.7%) であった。産科と混合している他診療科の数は、最少で 1 診療科、最大で 12 診療科であり、平均は 3 診療科であった。産科と混合している診療科は多い順に、婦人科 410 病院 (90.5%)、小児科 199 病院 (43.9%)、内科 186 病院 (41.1%) であった。

また、産科混合病棟において産科患者の病室が「基本的に個室へ入院」は 60 病院 (13.2%)、「産科患者のみの病室」は 221 病院 (48.8%)、「他科患者と同室」は 172 病院 (38.0%) であった。また、「他科患者と同室」する病院のうち「常に」は 13 病院 (20.4%)、「ときどき」は 73 病院 (42.7%)、「ごくまれに」は 85 病院 (49.7%) であった。

他科患者が、産科混合病棟や産科患者が入院している病室に入院となる場合のルールや基準を設けている病院は 453 病院中 412 病院 (90.9%) であり、そのルールや基準を「完全に守っている」のは 408 病院中 222 病院 (54.3%) であり、「ケースバイケースで他科患者を受け入れる」は 117 病院 (28.6%)、「緊急時は他科患者を受け入れる」は 63 病院 (15.4%) であった。

他科患者が、産科混合病棟や産科患者が入院している病室に入院となる場合のルールや基準は多い順に「男性は除外」が 409 病院中 355 病院 (86.8%)、「感染疑い・感染患者は除外」が 351 病院 (85.8%)、「不穏・認知の症状がある患者は除外」が 230 病院 (56.2%) であった。

産科混合病棟の助産師が、産科と他科の患者を同時に受け持っているのは 453 病院のうち、327 病院 (72.2%) であり、そのうち「常に」は 108 病院 (33.0%)、「ときどき」は 162 病院 (49.5%) であった。

4) まとめと考察

北島 (2009 年) の調査では、全国産科併設総合病院 578 病院のうち、産科混合病棟は 436 病院 (75.4%) であり、そのうち産科と婦人科の混合病棟は 153 病院 (35.1%)、産科と婦

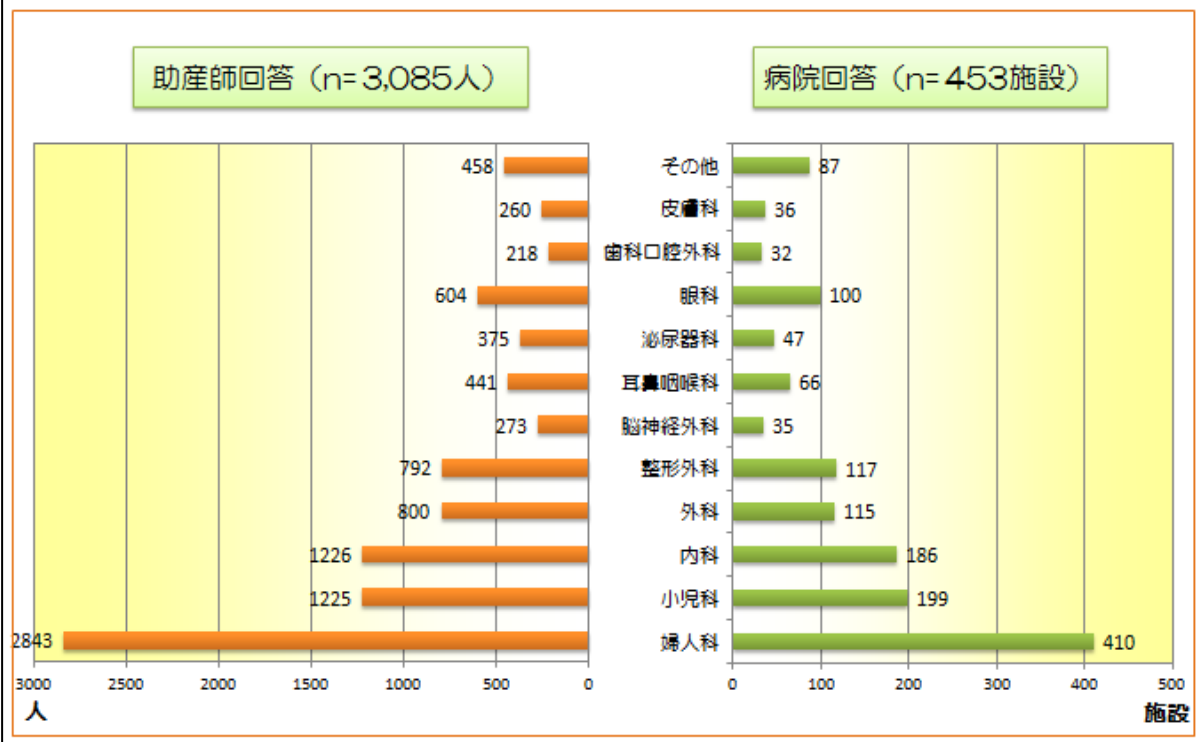
人科以外の混合病棟は 283 病院 (64.9%) であったと報告している。本調査では、産科混合病棟が 76.1% とほぼ同じ割合であるが、産科と婦人科以外との混合病棟が 79.7% と北島の報告よりも割合が高く、産科が婦人科以外の診療科との混合病棟になっている可能性がある。また、小児科との混合病棟が半数を占めており、小児科患者と免疫機能が未熟な新生児が同じ病棟にいることは、新生児の感染のリスクが高まることが危惧される。さらに、約 4 割の産科混合病棟では産科と他科患者が同じ病室に入院しており、さらに感染のリスクが高まることが想定される。

ほとんどの産科混合病棟では、他科患者が入院となる場合のルールや基準を設けているが、「男性は除外」や「感染疑い・感染患者は除外」といったルールが設けられていない病院もあり、母子が安全に、安心して入院できる環境の確保が難しいと考えられる。

本調査では、産科混合病棟の約 7 割の助産師が産科と他科患者を同時に受け持っており、他科患者から産科患者や新生児への感染の媒体となる可能性が考えられる。また、感染だけではなく、産科患者は基本的に ADL が高く自律していることから、他科患者へのケアが優先され、育児支援や指導を必要とする母子のケアが後回しになる状況が危惧される。

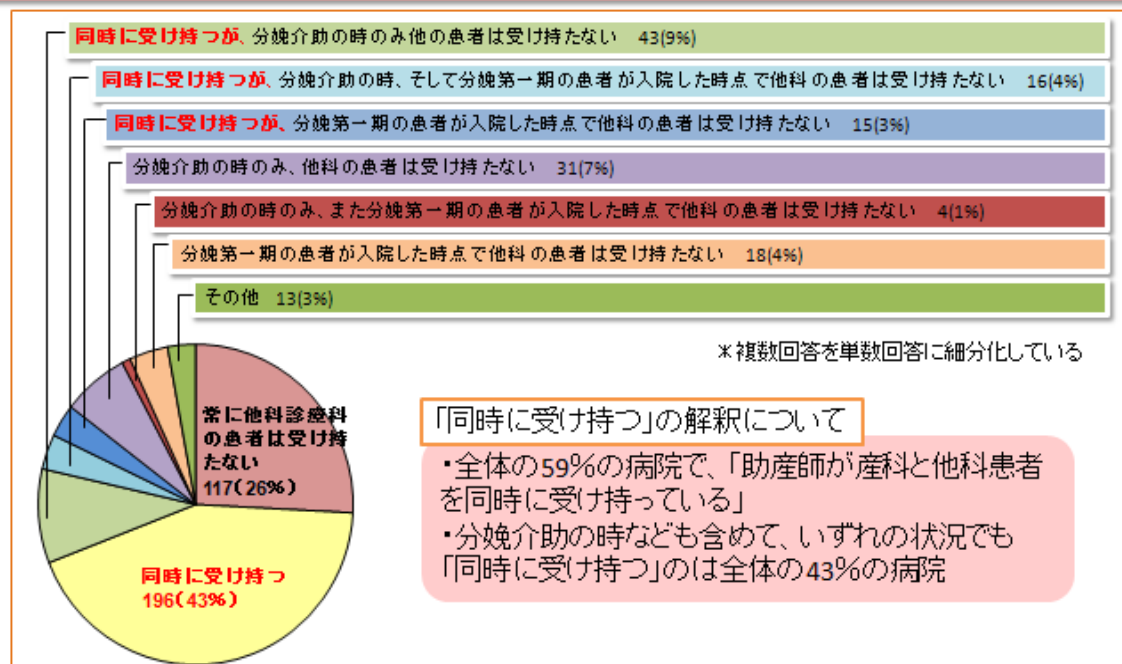
出生数が減少している日本において、今後も産科混合病棟が増加する可能性は否めない。しかし、安全・安心な出産環境を提供するには、母子が感染や他科患者へ児の啼き声などを気兼ねせずに入院でき、必要なときに助産師からケアを受けられる環境が望ましい。そのためには、例えば産科混合病棟の一角を産科専用と区分し管理するユニットマネジメントの導入など、産科混合病棟の在り方と管理に工夫が重要である。

混合病棟で、産科以外の診療科名称（複数回答・有効回答）



「産科と他科患者を同時に受け持ちますか」 (n=453病院)

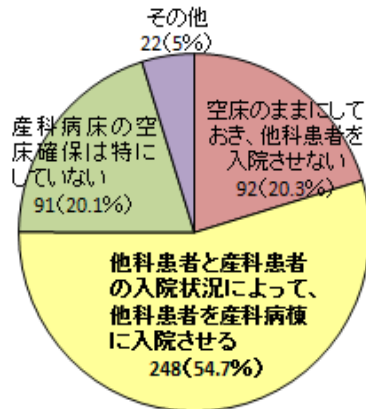
- 産科混合病棟で、助産師が産科患者と他科患者を「同時に受け持つ」が196施設で全体の43%を占める。ここでいう「同時に受け持つ」とは、分娩介助の時も含めて、いずれの状況でも「同時に受け持つ」ことを意味する。
- 次いで、「常に他科患者は受け持たない」が117施設で全体の26%である。



産科病棟に空床がある場合の対応 (n=453病院)

- 産科病床に空床がある場合の対応で「他科患者と産科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる」が248病院で全体の54.7%に上る。次いで、「空床のまましておき、他科患者を入院させない」が92病院で20.3%、「産科病床の空床確保は特にしていない」が91病院で20.1%である。

(単数回答)



	常に産科病床として確保している病床数	空床のまましておき、他科患者を入院させない	他科患者と産科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる
平均	回答: 58病院 6.6床	回答: 186病院 4.9床	回答: 186病院 4.9床
最少-最多	回答: 58病院 1床-17床	回答: 186病院 1床-48床	回答: 186病院 1床-48床

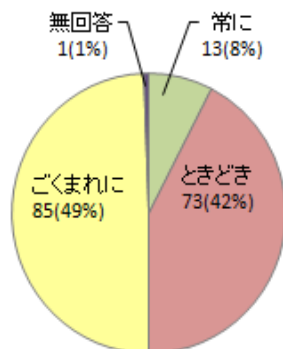
産科患者の入院先病室の決定方法について (n=453病院)

- 産科患者のみの病室へ入院(他科患者とは別室)が48.8%でもっとも多く、次いで他科の患者と同室が38.0%である。
- 他科の患者と同室になる頻度としては、「常に」が7.6%、「ときどき」が42.4%、「ごくまれに」が49.4%である。

	件数	%
産科患者は基本的に個室へ入院	60	13.2%
産科患者のみの病室へ入院(他科患者とは別室)	221	48.8%
他科の患者と同室	172	38.0%

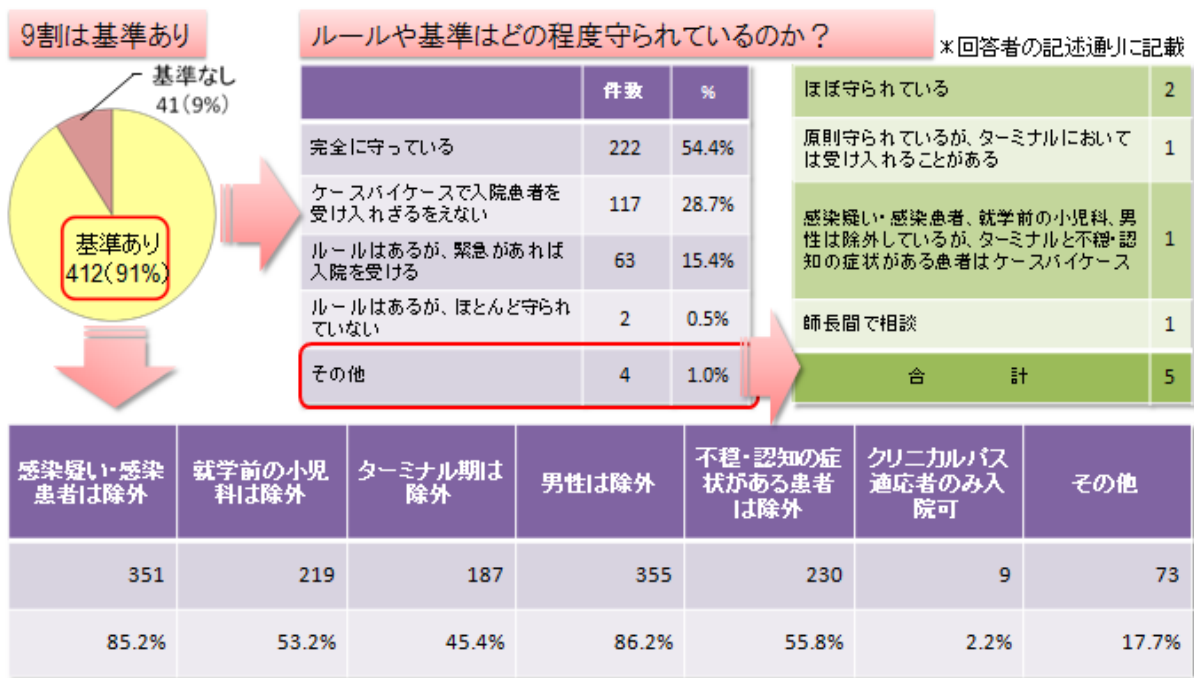
病床数	件数
20~99	14
100~199	39
200~299	58
300~399	87
400~499	82
500~599	44
600~699	36
700~799	14
800~899	8
900~999	6
1000以上	3
無記載	2
総計	393

他科の患者と同室の頻度



分娩件数	件数
1~100	26
101~300	117
301~500	122
501~800	92
801~1000	23
1001~1500	10
1501~2000	3
総計	393

他科診療科患者が混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準の有無と内容 (n=453病院)



第5章 妊産婦のリスクスコアと医療機関

妊産婦のリスクスコアと医療機関

1. 調査概要

1) 目的

分娩取扱い施設における、妊産婦のリスク特性に関する実態を明らかにする

2) 調査対象

病院

3) 結果

中林の妊娠リスクスコアを用いて、入院している妊婦のリスクスコアに回答した 212 病院のうち、総合周産期母子医療センターは 16 病院（7.5%）、地域周産期母子医療センターは 72 病院（34.0%）、一般病院は 117 病院（55.2%）であった。

平成 24 年、8 月 1 日（水）の日勤帯終了時点で、産科関連病棟に入院している妊婦は総合周産期母子医療センター16 病院では 210 人、地域周産期母子医療センター72 病院では 664 人、一般病院 117 病院では 746 人であった。そのうち、総合周産期母子医療センターでは超高リスク群の妊婦は 55 人（26.2%）、高リスク群の妊婦は 57 人（27.1%）、中リスク群の妊婦は 70 人（33.3%）、低リスク群の妊婦は 28 人（13.3%）であった。地域周産期母子医療センターでは、超高リスク群の妊婦は 87 人（13.1%）、高リスク群の妊婦は 177 人（26.7%）、中リスク群の妊婦は 226 人（34.0%）、低リスク群の妊婦は 174 人（26.2%）であった。一般病院では超高リスク群の妊婦は 41 人（9.0%）、高リスク群の妊婦は 80 人（10.7%）、中リスク群の妊婦は 217 人（29.1%）、低リスク群の妊婦は 408 人（54.7%）であった。

4) まとめと考察

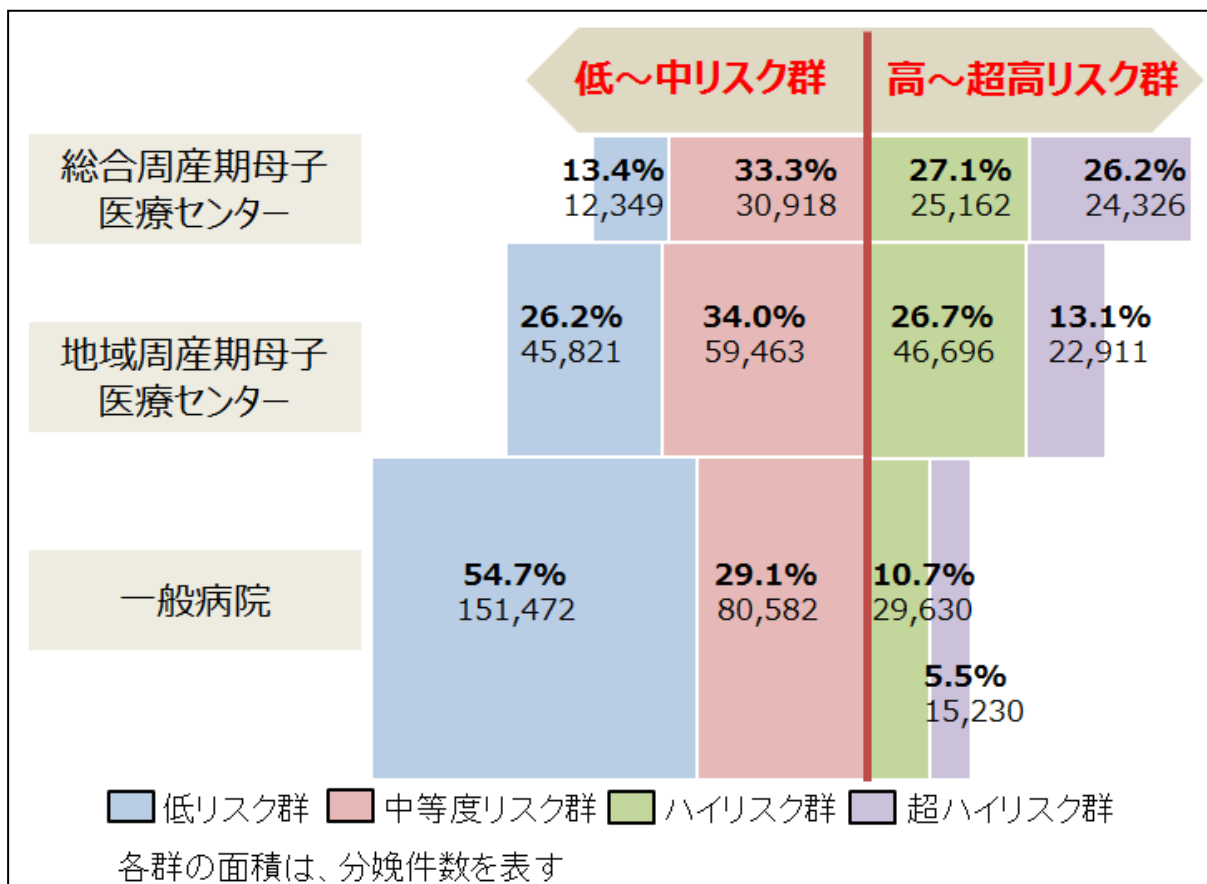
医療計画に基づいた周産期医療体制として、総合周産期母子医療センターなどの高度な医療を提供できる施設で、リスクの高い妊婦が効率的に医療を受けられるよう平成 8 年より整備されてきた。本調査では、妊産婦のリスクを中林のリスクスコアを用いて分類し、入院している妊産婦のリスクとその割合をみると、それぞれの医療施設では、その施設が担う役割に相応の妊婦が入院しているように見える。しかし、各施設の年間分娩件数でリスク別妊産婦を割り当てると、必ずしもハイリスクの妊産婦が一定の医療機能施設に集約されていないことがわかった。

今回の調査で明らかになった妊産婦リスクの割合と各施設の年間分娩件数に割り当てると、例えば総合周産期母子医療センターに入院している超高リスク群（26.2%）は 24,326 人となり、地域周産期母子医療センターに入院している超高リスク群（13.1%）は 22,911 人であり、患者数に換算すると大差はない。つまり、地域周産期母子医療センターにおい

ても、多くの超高リスク群の妊婦のケアにあたっていることが分かる。

一方で、地域の分娩取扱い施設は減少していることもあり、総合周産期母子医療センターでも低リスク群の妊婦（13.3%）は12,349人おり、低リスク群の妊婦にケアを提供していることが明らかとなった。

高齢出産の増加、妊産婦のリスクが高まってきている昨今、どの分娩取扱い施設にもハイリスク妊産婦がいることが考えられ、安全・安心な出産環境としてはよりケアを要するハイリスク妊産婦に備え、妊産婦のリスクに応じた助産師の適正配置が求められると考える。



【上図におけるリスク度別対象者数の算出方法】

本調査に回答した病院において、平成 24 年 8 月 1 日時点で入院している妊産婦を中林の妊娠リスクスコアを用いてリスク度別の人数を集計し、医療機能別にその割合を算出した。

2010 年の分娩場所別出生数の割合を用いて、2011 年の年間分娩件数に乗じて病院（一般病院、地域総合周産期母子医療センター、総合周産期母子医療センター）における出生数を推計した。その出生数に対し、本調査から医療機能別施設における出生割合を算出し、乗じることによって、2011 年の医療機能別施設における出生数を推計した。この出生数に対し、リスク度の割合を乗じて、図を作成している。

第6章 助産師の出向と受け入れの実態

助産師の出向と受け入れの実態

1. 調査概要

1) 目的

分娩取扱い施設と助産師の助産師出向への意向を明らかにする

2) 調査対象

病院、診療所と助産師

3) 結果

(1) 病院と助産師出向の実態

497 の病院中、「現在、助産師が出向している」のは 17 病院 (3.4%)、「以前、助産師が出向していた」のは 60 病院 (12.1%)、「出向の経験はない」のは 387 病院 (77.9%)、「助産師の出向はないが、看護師の出向経験はある」のは 33 病院 (6.6%) であった。また、494 病院中、「現在、助産師の出向を受け入れている」のは 16 病院 (3.2%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」のは 40 病院 (8.1%)、「出向の受け入れ経験はない」のは 417 病院 (84.4%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」のは 21 病院 (4.3%) であった。

助産師を出向したことがあるもしくは出向を受けていた 108 の病院で、出向時点での出向助産師 415 人の臨床経験年数は多い順に「3～4 年」が 174 人 (41.9%)、「5～6 年」が 81 人 (19.5%)、「7～8 年目」が 42 人 (10.1%) であった。

自施設と出向元、もしくは出向先の所在都道府県が異なっていたのは 110 病院中 57 病院 (51.8%)、同じ都道府県だったのは 45 病院 (40.9%) であった。また自施設と出向元もしくは出向先での給与差は、同額が 110 病院中 92 病院 (83.6%)、増額が 18 病院 (16.4%) で減額はなかった。

(2) 病院と助産師出向の意向

497 の病院で、自施設から他施設へ助産師の出向を可能とする条件で「非常に重要である」もしくは「重要である」とした条件は多い順に、「出向する助産師の給与が、今よりも減額にならないこと」482 病院 (97.0%)、「出向期間中の年月が、出向元の退職金の計算対象範囲に含まれること」481 病院 (96.8%)、「出向先の施設に、常勤助産師が 1 人以上いること (看護師だけではないこと)」479 病院 (96.4%) であった。

また、助産師出向について 497 病院の産科関連病棟の看護管理者の気持ちは「他施設から助産師の出向を受け入れたい」104 病院 (21.3%)、「一定の条件が整えば、他施設への助産師出向を検討する」292 病院 (58.8%)、「どのような条件が整えられても、助産師を他施設へ出向することができない」99 病院 (19.9%) であった。また、他施設から助産

師の出向を受け入れたい場合、受け入れのための条件として104の病院は多い順に「病院の就業形態に合わせられる人であれば」69病院(66.3%)、「病院の規程給与内の支払いであれば」67病院(64.4%)、「分娩介助経験数が一定数以上であれば」34病院(32.7%)であった。

(3) 診療所と助産師出向の実態

343の診療所のうち、「現在、助産師の出向を受け入れている」のは6診療所(1.7%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」のは9診療所(2.6%)、「出向の受け入れ経験はない」のは326診療所(95.0%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」のは2診療所(0.6%)であった。

(4) 診療所と出向助産師受け入れの意向

329の診療所のうち、助産師出向の受け入れ希望が「あり」は131診療所(39.8%)、「なし」は198診療所(60.2%)であった。助産師出向の受け入れ希望がある130診療所では、出向助産師に期待する業務は多い順に「分娩介助」112診療所(86.2%)、「夜勤勤務」112診療所(86.2%)、「妊婦健診」38診療所(29.2%)であった。また、出向助産師の受け入れを希望する126診療所が希望する、出向助産師の受け入れ期間は最短が3カ月、最高が24カ月であり、102診療所(81.0%)が1年間としていた。

また、助産師出向の受け入れ希望がある125診療所で、1回の受け入れで希望する助産師は1人から5人までであり、平均1.7人であった。さらに、希望する出向助産師の臨床経験年数は1年から10年であり、平均は3.6年であった。

助産師出向の受け入れ希望がある128診療所が、出向助産師を受け入れるためにとれる対応は多い順に「診療所の規程給与内での支払いであれば」113診療所(88.3%)、「診療所の就業形態に合わせられる人であれば」97診療所(75.8%)、「診療所の規程の住宅手当内での支払いであれば」29診療所(22.7%)であった。

(5) 助産師と助産師出向の実態と意向

3898人の助産師のうち、所属施設で「現在、助産師が出向している」のは200人(5.1%)、「以前、助産師が出向していた」のは293人(7.5%)、「出向の経験はない」のは3272人(83.9%)、「助産師の出向経験はないが、看護師の出向経験はある」のは133人(3.4%)であった。また、他施設より「現在、助産師の出向を受け入れている」のは131人(3.4%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」のは299人(7.7%)、「出向受け入れの経験はない」のは3343人(85.8%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」のは125人(3.2%)であった。

3898人の助産師のうち、助産師として出向した経験が「ある」のは128人(3.3%)、「ない」のは3770人(96.7%)であった。助産師として出向経験のある128人の、出向時点

の助産師経験年数は多い順に「3年目」27人（21.1%）、「4年目」26人（20.3%）、「2年目」21人（16.4%）であった。出向経験のある助産師の出向時点での経験年数の範囲は1年から35年であり、平均は7.6年であった。

128人の助産師の、1回の出向期間は多い順に「1年」31人（24.2%）、「3カ月」30人（23.4%）、「6カ月」22人（17.2%）であり、範囲は半月から3年、平均が7.1カ月であった。出向先が「病院」だったのは118人（92.2%）、「診療所」だったのは10人（7.8%）であった。出向先と出向前の分娩件数に回答した助産師99人のうち、年間取扱い分娩件数が出向前より増加したのは70人（70.7%）であった。

出向元と出向先の所在地が同じ県内であった助産師は64人（50.0%）であり、119人の助産師のうち引っ越しを要した助産師は71人（59.7%）であった。出向元と出向先における給与は、「減額」が17人（13.3%）、「増額」が28人（23.5%）、「同額」が83人（64.8%）であった。

128人の助産師のうち、「また機会があれば他施設へ出向したい」のは79人（61.7%）であった。

4) まとめと考察

本調査より、助産師の出向が全国で実施されており、施設間で助産師の偏在是正の試みがなされていることが明らかとなった。

病院では、助産師を出向させる条件として助産師の給与や身分が保障されることをあげており、また、病院や診療所は出向助産師を受ける前提として施設の給与規程内や業務形態に合わせた人員であることをあげている。また、助産師の出向では、出向時点の助産師経験が「3～4年目」が最も多いことから、社会的背景として自由な勤務が組みやすく、なおかつ一定の実践能力が備わった人員が出向に相当であると考えられていると考えられる。これより助産師の出向には、出向助産師が出向元に在職し、その身分が守られながらも、ある程度出向先の現状に合わせてフレキシブルに働ける助産師が適切であると考えられる。

また、出向を経験した助産師の約7割が年間に取り扱う分娩件数が増加しており、助産実践能力が強化されたと考える。出向時の給与も、約9割が同額もしくは増額しており、金銭的な不利益もなく、また、機会があれば出向したいと約6割の助産師が考えていることから、助産師出向は助産師自身にとっても有意義であると考えられる。出向助産師の受け入れは約2割の病院と約4割の診療所が希望している。助産師出向に対するニーズがあることがわかり、また実際に助産師が出向できるとしていることから、助産師出向システムの実現可能性があることが示唆された。

「助産師出向」の実施状況（病院・診療所調査）

他施設への助産師出向経験がある病院(有効回答)

		現在、 出向している	以前、 出向していた
他施設への助産師出向経験がある病院	77病院	17病院	60病院

(単数回答)

他施設から助産師の出向を受け入れている病院と診療所(有効回答)

		現在、 出向を受け入れている	以前、 出向を受け入っていた
助産師出向の受け入れ経験がある病院	56病院	16病院	40病院
助産師出向の受け入れ経験がある診療所	15診療所	6診療所	9診療所

(単数回答)

- 「出向経験のあり・なし」の回答項目だけを見ると、他施設への助産師出向経験がある病院は89病院にのぼり、病院調査票回収数595病院のうち14.9%を占める。
- 「受け入れ経験のあり・なし」の回答だけを見ると、他施設からの助産師出向受け入れ経験がある診療所は21診療所にのぼり、診療所調査票回収数355診療所のうち5.9%を占める。

「助産師出向」の実施状況（助産師調査票）

助産師として出向した経験がある助産師(有効回答)

		現在、出向 している	以前、出向 していた
助産師としての出向経験がある助産師	128人	53人	75人

(単数回答)

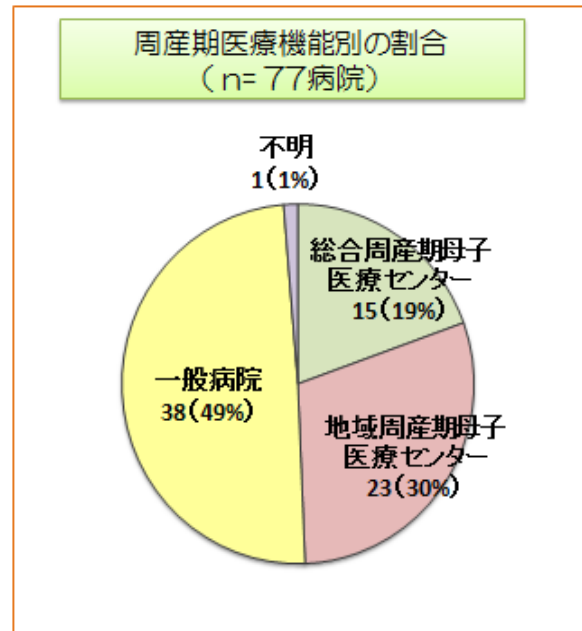
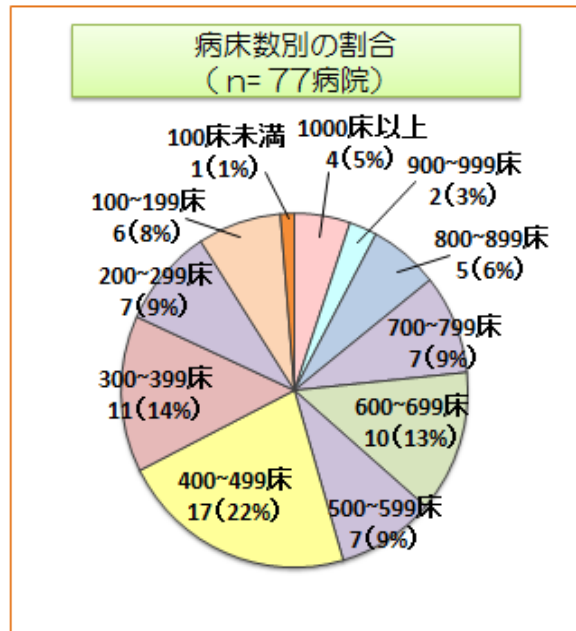
現在、他施設へ出向している助産師（53人）の 所属先機関の所在地内訳（23都道府県）

23都道府県	人数	23都道府県	人数
大阪府	9人	山形県	1人
栃木県	8人	群馬県	1人
北海道	7人	東京都	1人
兵庫県	4人	長野県	1人
秋田県	2人	岐阜県	1人
福島県	2人	京都府	1人
埼玉県	2人	和歌山県	1人
富山県	2人	鳥取県	1人
静岡県	2人	島根県	1人
鹿児島県	2人	岡山県	1人
		高知県	1人
		福岡県	1人
		佐賀県	1人
		計	53人

- 他施設への出向経験がある助産師は128人で、助産師調査票回収数7,780人のうち1.6%を占める。

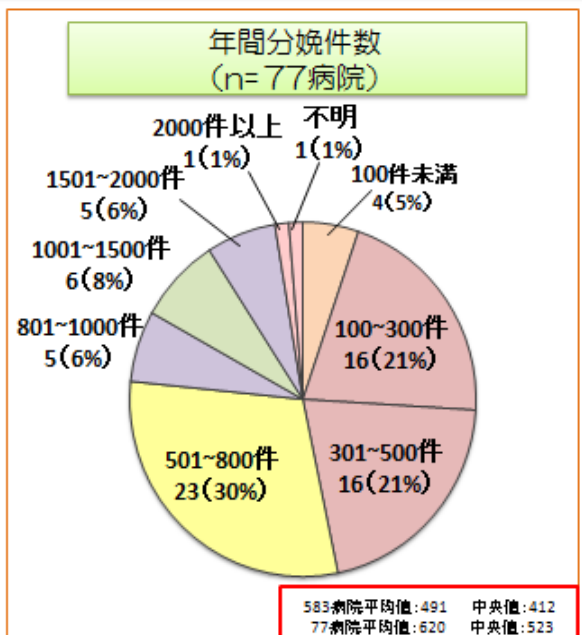
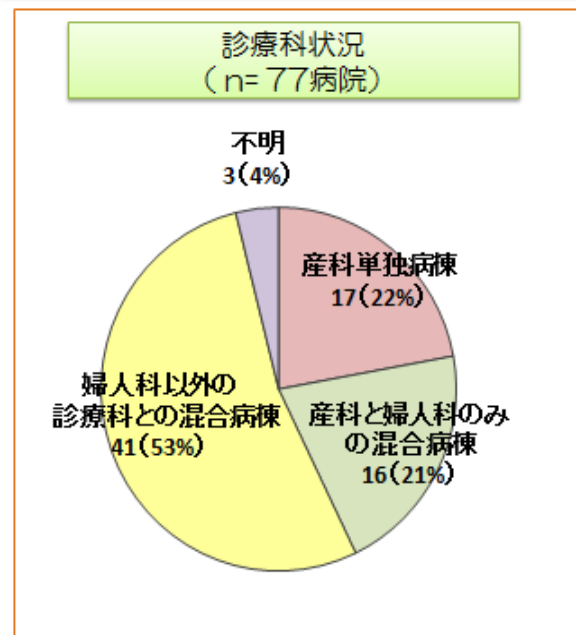
他施設への助産師出向経験がある病院（有効回答77病院）

- 他施設への助産師出向経験がある77病院の病床数は、400～499床(22%)が最も多く、次いで、300～399床(14%)、700～799床、500～599床、200～299床(9%)である。
- 総合周産期母子医療センターが19%、地域周産期母子医療センターが30%、一般病院が49%である。



他施設への助産師出向経験がある病院（有効回答77病院）

- 産科単独病棟は22%、産科と婦人科のみの混合病棟が21%、婦人科以外の診療科との混合病棟が53%。
- 年間分娩件数は、501～800件(30%)が最も多く、次いで100～300件、301～500件(21%)、1001～1500件(8%)である。

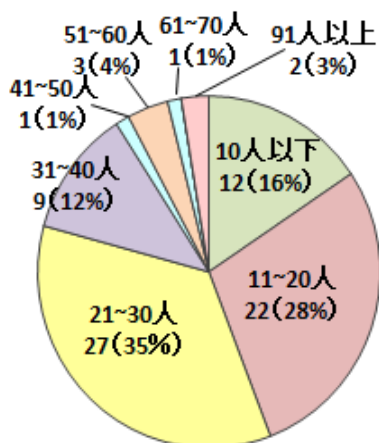


583病院平均値:491 中央値:412
77病院平均値:620 中央値:523

他施設への助産師出向経験がある病院（有効回答77病院）

- 常勤助産師は、21～30人(35%)が最も多く、次いで、11～20人(28%)、10人以下(16%)、31～40人(12%)である。
- 出向時点の助産師の臨床経験年数は、3～4年目(44%)が最も多く、次いで5～6年目(19%)、7～8年目(11%)である。

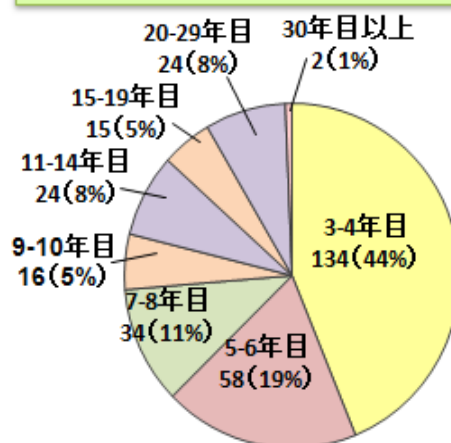
常勤助産師数
(n=77病院)



589病院平均値:18 中央値:15
77病院平均値:24 中央値:22

出向時点の助産師の臨床経験年数
(n=77病院)

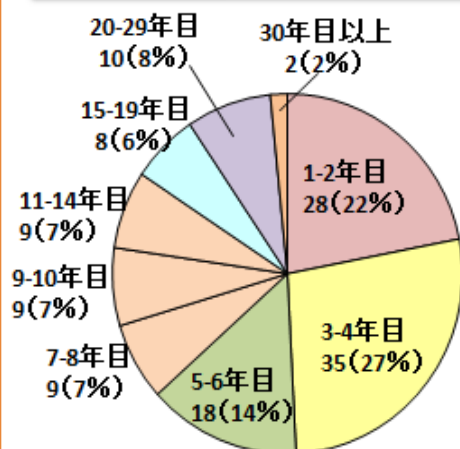
*77病院から出向した308人の助産師の、出向時点での臨床経験年数



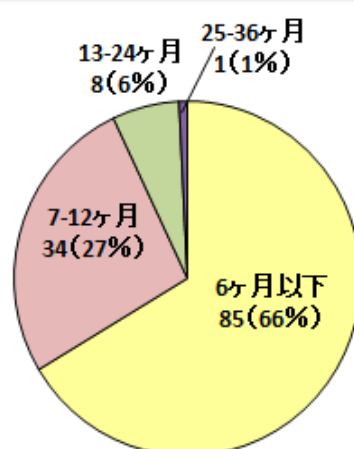
出向経験のある助産師（128人）回答

- 出向した時の助産師としての経験年数は3-4年目が35人(27%)で最も多く、次いで1-2年目が28人(22%)、5-6年目が18(14%)である。
- 1回の出向期間は6ヶ月以下が85人(66%)で最も多く、次いで7-12ヶ月が34人(27%)、13-24ヶ月が8人(6%)である。最高36ヶ月の出向。

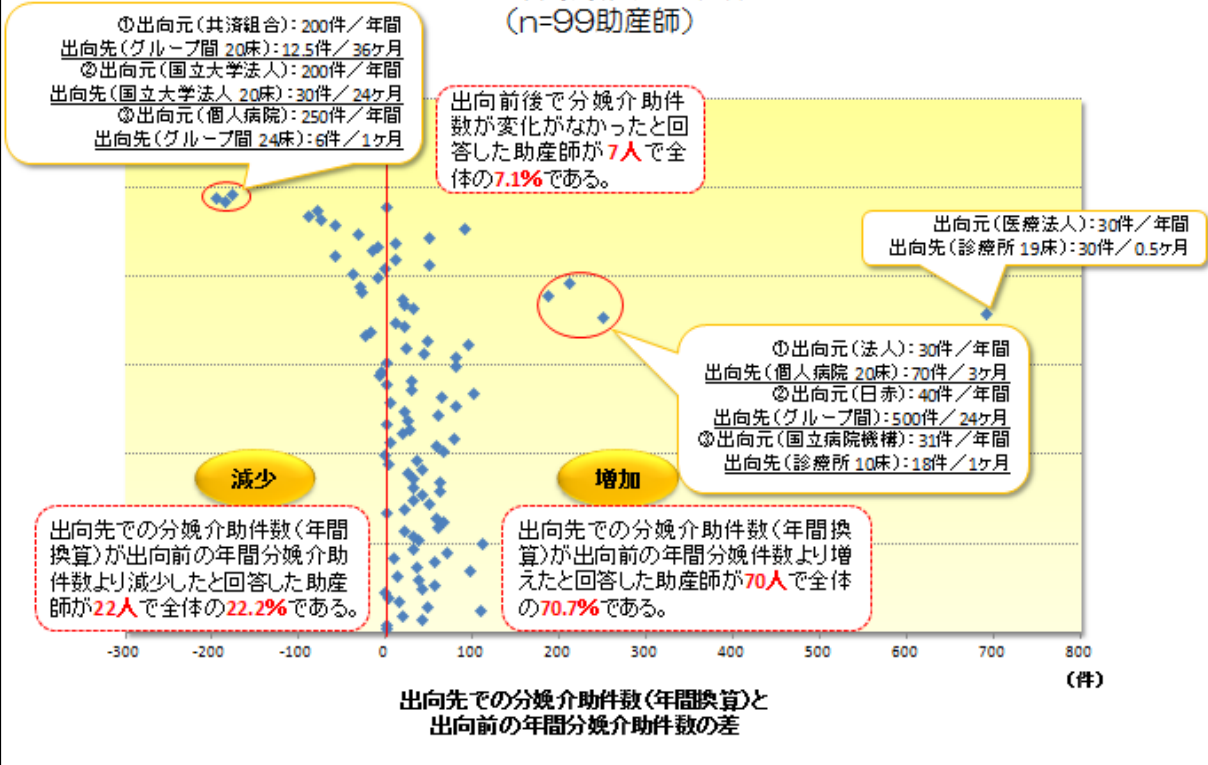
出向した時点での
助産師としての経験年数
(n=128人)



出向経験がある助産師の1回の出向期間
(n=128人)



出向先での分娩介助件数（年間換算）と 出向前の年間分娩介助件数の差 (n=99助産師)



助産師出向に関する意向

「一定条件が整えば、他施設への出向を検討する」と回答した助産師は、有効回答者数の79%3,079人

病院の考え (n= 497病院)

- どのような条件が整えられても、助産師を他施設へ出向させることほできない
- 一定条件が整えば、他施設への助産師出向を検討する
- 他施設から助産師の出向を受け入れたい

診療所の考え (n= 328診療所)

- 助産師の出向を受け入れたくない
- 助産師の出向を受け入れたい

1回の期間で
出向可能な平均助産師数

最小0.7人～最大1.4人

1回の期間で
出向してほしい平均助産師数

1.7人

出向助産師に望む
平均臨床経験年数

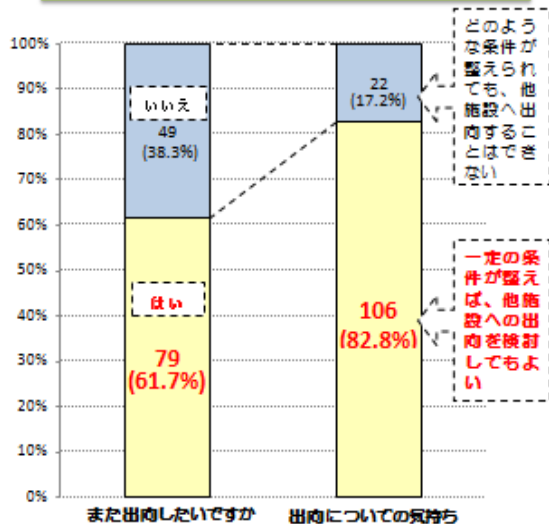
3.6年

- 助産師出向を受け入れたい病院106施設+診療所130施設=236施設
- 一定条件が整えば、他施設への助産師出向を検討する病院=292施設
- 数字のうえでは需要と供給が成立しているが、助産師出向の前提として「現在よりも助産師数が増員されること」を指摘している施設が多く、現在の助産師数で助産師出向に対応可能な病院は29施設にとどまる。
- 助産師調査では、「一定条件が整えば、他施設への出向を検討する」と回答した助産師が有効回答者数の79%、3,079人。

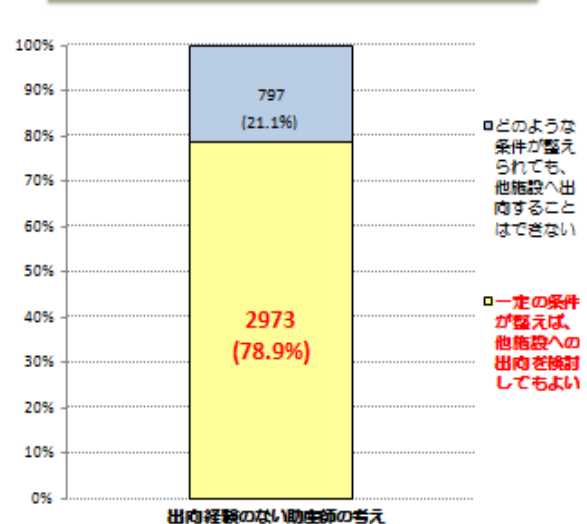
助産師出向に関する意向（助産師）

- 出向経験のある助産師128人中、「機会があれば、また、他施設へ出向したい」と答えた助産師が79人(61.7%)ですが、「一定の条件が整えば、他施設への出向を検討してもよい」と回答した助産師は106人(82.8%)で21.1%が増えている。
- 出向経験がない助産師3770人中、一定の条件が整えば、他施設への出向を検討してもよいと答えた助産師が3079人(79%である。

出向経験のある助産師の考え
(n=128人)

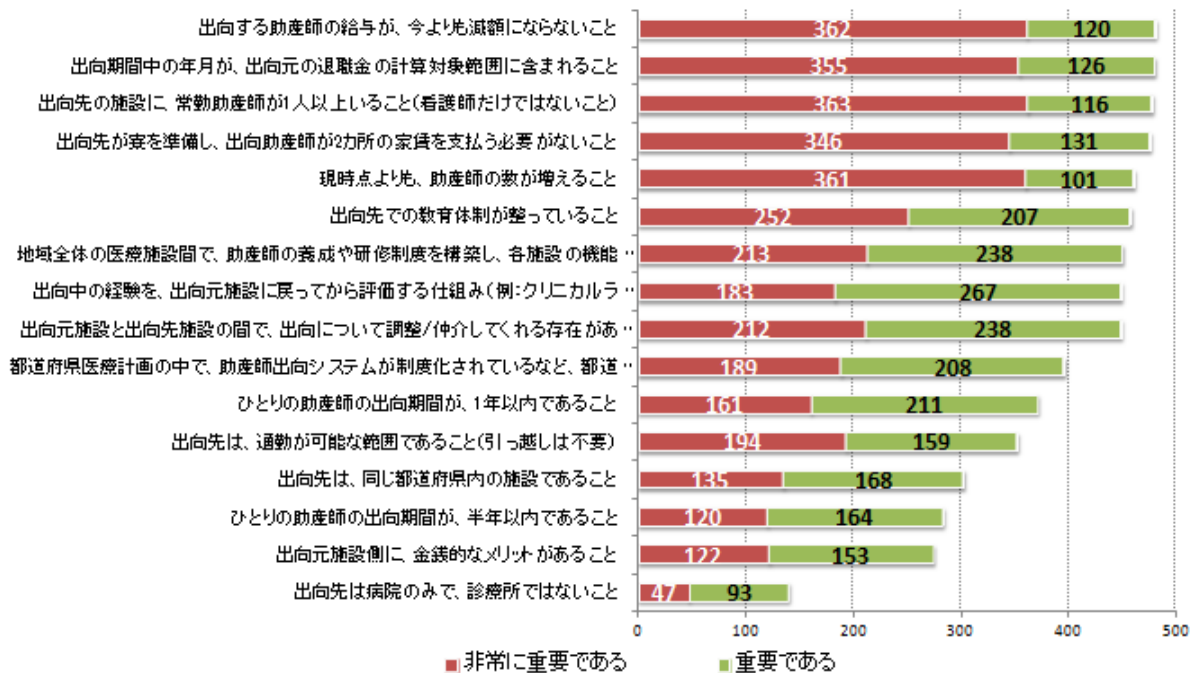


出向経験のない助産師の考え
(n=3,770人)



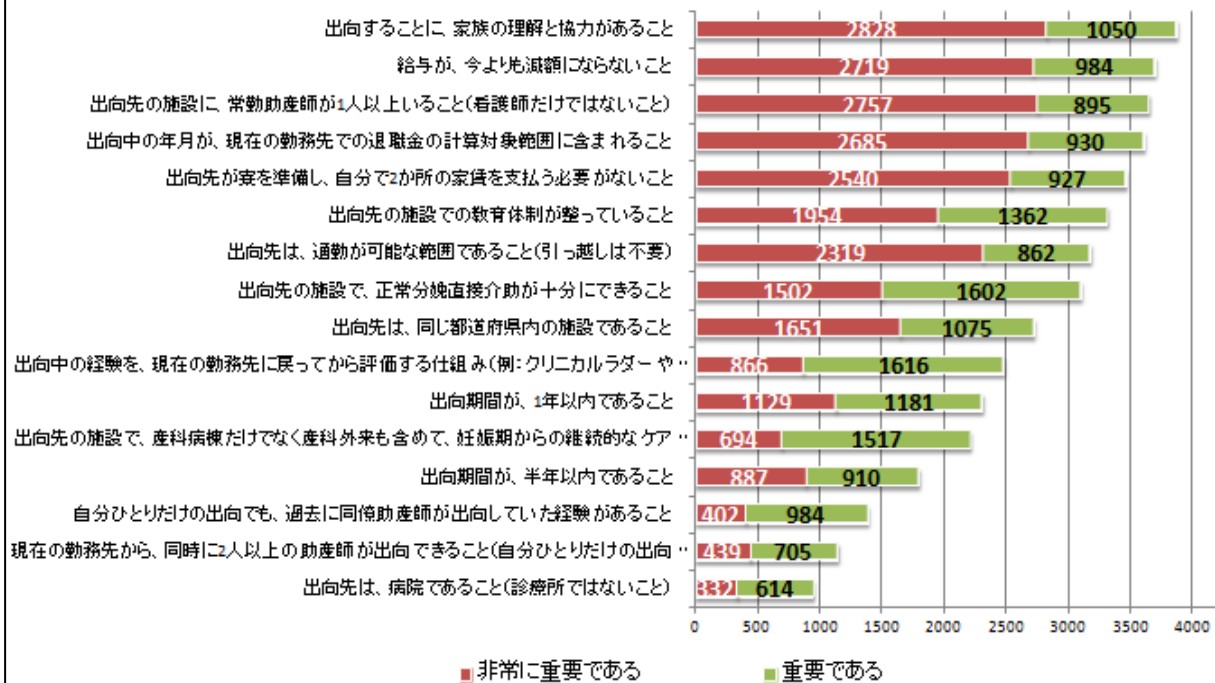
他施設への助産師出向が可能になる条件/前提（497病院）

出向条件/前提として「非常に重要である」「重要である」を選んだ件数



他施設への出向が可能になる条件/前提（助産師3,898名）

出向条件/前提として「非常に重要である」「重要である」を選んだ人数



第7章 助産師の就業継続意思、 ライフサイクルと就業状況

助産師の就業継続意思、ライフサイクルと就業状況

1. 調査概要

1) 目的

助産師の就業継続意思の実態を明らかにし、ライフイベント、助産の実践経験、現任教
育の実態から助産師のライフサイクルと就業状況を明らかにする

2) 調査対象

助産師

3) 結果

(1)助産師の就業継続意思

現在の職場における就業継続意思について回答した助産師 2,395 人のうち、「現在勤務して
いる産科関連病棟で働き続けたい」のは 1,877 人 (78.4%)、「現在勤務している病院の、ほ
かの病棟で看護師として働き続けたい」のは 94 人 (3.9%)、「現在勤務している病院からの
退職を考えている」のは 703 人 (29.4%) であった。「現在勤務している産科関連病棟で働き
続けたい」と回答した 1,761 人の助産師のうち、「ずっと働き続けたい」のは 655 人 (37.2%)、
「期限を決めて働き続けたい」のは 1,106 人 (62.8%) であり、その期限は最短が半年、最
長が 10 年、平均 3.2 年であった。

(1)「現在勤務している病院の、ほかの病棟で看護師として働き続けたい」助産師について

以下、「現在勤務している病院の、ほかの病棟で看護師として働き続けたい」と答えた助
産師 94 人についての結果を述べる。

「現在勤務している病院の、ほかの病棟で看護師として働き続けたい」助産師 88 人のうち、
20代は 32 人 (36.4%)、30代は 25 人 (28.4%)、40代は 25 人 (28.4%)、50代は 6 人 (6.8%)
であった。また、助産師 93 人のうち、未婚は 53 人 (57.0%)、既婚は 40 人 (43.0%) であ
った。助産師経験年数は、多い順に「1～5 年目」33 人 (35.1%)、「6～10 年目」26 人 (27.7%)、
「15～20 年目」14 人 (14.9%) であった。また、94 人の助産師が、現在の勤務先を選択し
た理由の 1 位とした理由は多い順に「自宅からの通勤の便が良い」25 人 (26.6%)、「出身地
と同じ都道府県である」11 人 (11.7%)、「給与水準が高い」9 人 (9.6%) であった。

(2)「現在勤務している病院からの退職を考えている」助産師について

以下、「現在勤務している病院からの退職を考えている」と答えた助産師 703 人につい
ての結果を述べる。

「現在勤務している病院からの退職を考えている」助産師 679 人のうち、20代は 251 人
(37.0%)、30代は 226 人 (33.3%)、40代は 151 人 (22.2%)、50代は 50 人 (7.4%)、60
代は 1 人 (0.1%) であった。また、助産師経験年数は、多い順に「1 から 5 年目」276 人 (39.3%)、

「6～10年目」165人（23.5%）、「11～15年目」85人（12.1%）であった。

(3) 病院機能別にみた助産師の就業継続意思

現在勤務している病院機能別にみると、「総合周産期母子医療センター」に勤務している助産師641人のうち、「働き続けたい」のは411（64.1%）人、「他の病棟で看護師として働きたい」のは30人（4.7%）、「退職を考えている」のは183人（28.5%）であった。「地域周産期母子医療センター」に勤務している助産師798人のうち「働き続けたい」のは556人（70.1%）、「他の病棟で看護師として働きたい」のは24人（3.0%）、「退職を考えている」のは191人（24.1%）であった。「一般病院」に勤務している助産師1,177人のうち、「働き続けたい」のは804人（68.3%）、「他の病棟で看護師として働きたい」のは36人（3.1%）、「退職を考えている」のは303人（25.7%）であった。

総合周産期母子医療センターのMFICU病棟に勤務している助産師237名のうち、「働き続けたい」144人（60.8%）、「他の病棟で看護師として働きたい」7人（3.0%）、「退職を考えている」81人（34.2%）であった。地域周産期母子医療センターのMFICUに勤務している助産師14名のうち、「働き続けたい」11人（78.6%）、「他の病棟で看護師として働きたい」2人（14.3%）、「退職を考えている」1人（7.1%）であった。

(4) チームワークと助産師の就業継続意思

助産チームとして、「そうである」と回答した助産師の方が就業継続意思が高く、「そうではない」と回答した助産師の方が退職意向が高かったチームワークの項目は、「職場に和やかな雰囲気がある」、「やってみなければわからないことでも、前向きなことであれば支持される」、「実績やキャリアの違いにこだわらず、切磋琢磨している」、「チーム内で問題が起こっても、それを解決するだけの力がある」、「仕事の仕方や仕事で困ったことについて、相談しあっている」、「仕事を一人でたくさん抱えているスタッフがいたら、援助している」、「経験や職位などの立場が上のスタッフに対しても、率直に意見をしたり、他の考えを出したりする」、「仕事の仕方について迷っているスタッフがいたら、積極的に相談に乗っている」、「お互いの都合や仕事の進み具合に合わせて、仕事の仕方を工夫して調整しあっている」、「お互いに建設的な意見を出して、仕事をしやすくする工夫をしている」、「意思と強調して働いている」、「自分の仕事を活かして仕事をしている」、「助産師独自の仕事をしていると思う」であった。

また、助産チームとして「そうである」と回答した助産師の方が退職意向が高く、「そうではない」と回答した助産師の方が就業継続意思が高かったチームワークの項目は、「前例や慣例に反する意見が出されることはまれである」、「お互いに連絡をとらずに行動してしまい、失敗することがよくある」、「意味がないと思われる仕事を割り当てられることがある」であった。

(5) 助産師の就業継続意思と出向への意向

「現在勤務している産科関連病棟で働き続けたい」と回答した1,431人の助産師のうち、

「一定の条件が整えば他施設への出向を検討してもよい」のは 1,151 人 (80.4%)、「どのような条件が整えられても他施設へ出向することはできない」のは 280 人 (19.6%) であった。「現在勤務している病院のほかの病棟で看護師として働きたい」と回答した助産師 63 人のうち、「一定の条件が整えば他施設への出向を検討してもよい」のは 46 人 (73.0%)、「どのような条件が整えられても他施設へ出向することはできない」のは 17 人 (27.0%) であった。「現在勤務している病院からの退職を考えている」と回答した 543 人の助産師のうち、「一定の条件が整えば他施設への出向を検討してもよい」のは 456 人 (84.0%)、「どのような条件が整えられても他施設へ出向することはできない」のは 87 人 (16.0%) であった。

4) まとめと考察

助産師の就業継続意志として、約 3 割の助産師が現在の職場からの退職を考えていることが分かった。「現在勤務している産科関連病棟で働きたい」と回答した助産師でも、「ずっと働きたい」は約 3 割であり、「期限を決めて働きたい」が約 6 割だった。具体的な期限は平均 4 年であり、助産師として様々な場で働きながら、知識と技術を向上させていくキャリアの重ね方を志向する様子が示唆された。「現在勤務している病院からの退職を考えている」と答えたのは、助産師経験年数 1~5 年が約 3 割と高めであったことから、4~5 年を目処に、次のステップを考えている様子が伺える。

勤務先でみると、MFICU 勤務の助産師の退職意向が高くなっている。全体では、29%の助産師が退職意向を示しているが、MFICU では、32%が退職意向を示している。MFICU の助産師のうち、未婚助産師の退職意向が 35%で、既婚助産師の 28%を大きく上回っている。MFICU は総合周産期母子医療センターに集中していることから、病院機能別で見た場合、総合周産期母子医療センターにおける助産師の退職意向が高くなっている。

一方、産科単科の病棟と産科混病棟で比較した際に、勤務先の病棟による退職意向に大きな差異は見られなかった。

日本看護協会では、助産実践能力の強化支援と助産師の就業先の偏在是正に貢献するひとつの対策として、「助産師出向システム」を提案している。助産師出向とは、現在の勤務先の身分を有しながら、他施設で半年間から 1 年間など、助産師として働くものである。現在の周産期医療体制のもとで、助産師としてローリスクからハイリスクまで、多様な妊娠・分娩を経験しながら、助産実践能力を強化していくには、1 つの分娩施設だけでは多様な経験を積み難い。本調査結果では、分娩介助件数が少ない若手助産師に退職意向がある実態や、高度医療を提供する MFICU の勤務助産師に退職意向が強いことが明らかとなり、退職せずに「助産師出向システム」を活用して、他の施設で助産実践能力を強化していくことも有効と考えられる。本調査結果では、退職を考えている助産師でも、一定の条件が整えば、8 割以上の助産師が出向の意向を示している。助産師出向システムの活用は、助産実践能力の強化支援と同時に、助産師の離職率低下や潜在化を防ぐ一手段としても期待される。

就業継続意志と現在の勤務先を選択した理由 (第一位) のクロス集計結果では、「現在勤務している病院の他の病棟で看護師として働きたい」と考えている助産師が、現在の勤務

先を選択した理由で「給与水準が高い」が5ポイント、「自宅から通勤の便がよい」が3ポイント全体平均よりも高かった。つまり、助産師として働き続けるために他の施設に転職するのではなく、看護師として現在勤務している病院に残ることを選択する背景には、給与体系や生活圏の問題が大きいことが推察される。近年、産科医不足による産科病棟の閉鎖が相次いでおり、助産師としての業務を継続できない状況も起きている。このような状況において、助産師としての経験と知識の向上を継続的に望む場合に、現在の勤務先の身分を有する「助産師出向システム」の活用が期待される。

産科病棟でともに働く「助産師と看護師のチームワーク」への助産師の認識に関する結果から、チームワークが機能していれば、退職意向は下がり、逆にチームワークが機能していないところでは、退職意向が高まる傾向が明らかとなった。また、助産師としての能力を活かして仕事ができていると感じている人ほど、退職意向が低かった。

産科混合病棟が全体の8割に達し、助産師と看護師が協働する環境の中で、助産実践能力を強化し、自らの能力を生かし、助産師としての役割を全うできていることを、実感できる労働環境の整備が求められる。

第8章 資料

I 調査結果（病院調査）

1. 回収結果

回収総数は 595 施設で、病院調査票を送付した 1,109 施設の 54%にあたる。

2. 施設属性

○ 回収した施設のうち 500 施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した（有効回答率 84.0%）。

○ 回答のあった施設の都道府県別所在地は、「東京都」の 41 施設が最多で、次いで「北海道」の 34 施設、「神奈川県」の 27 施設だった。

都道府県名	施設数	都道府県名	施設数	都道府県名	施設数	都道府県名	施設数
東京都	41	石川県	13	島根県	7	福井県	5
北海道	34	福島県	12	山形県	7	徳島県	5
神奈川県	27	広島県	12	三重県	7	鳥取県	5
大阪府	25	富山県	10	岩手県	7	京都府	5
愛知県	25	滋賀県	10	和歌山県	6	茨城県	5
兵庫県	20	岡山県	10	栃木県	6	大分県	4
長野県	16	鹿児島県	9	長崎県	6	青森県	4
千葉県	16	山口県	9	秋田県	6	愛媛県	3
静岡県	15	香川県	9	山梨県	6	奈良県	2
埼玉県	15	宮城県	9	宮崎県	6	佐賀県	2
福岡県	14	群馬県	8	岐阜県	6	高知県	2
新潟県	14	熊本県	8	沖縄県	6	無回答	1

- 設置主体は「市町村」がもっとも多く 110 件、次いで「医療法人」の 69 件、日本赤十字社の 49 件だった。

	施設数	率	設置主体	施設数	率
市町村	110	22%	全国社会保険協会連合会	8	2%
医療法人	69	14%	共済組合およびその連合会	6	1%
日本赤十字社	49	10%	会社	6	1%
全国厚生農業協同組合連合会	34	7%	医療生協	6	1%
私立学校法人	31	6%	厚生年金事業振興団	4	1%
国立大学法人	30	6%	健康保険組合およびその連合会	3	1%
独立行政法人国立病院機構	24	5%	北海道社会事業協会	2	0%
地方独立行政法人	23	5%	国（その他の独立行政法人）	1	0%
その他の法人	22	4%	国民健康保険団体連合会	1	0%
都道府県	21	4%	医師会	1	0%
済生会	21	4%	個人	1	0%
その他	10	2%	国（厚生労働省）	0	0%
社会福祉法人	9	2%	国民健康保険組合	0	0%
独立行政法人労働者健康福祉機構	8	2%	船員保険会	0	0%

- 病院の属性は、「単科病院」は 28 施設（6%）、「総合病院などの複数の診療科を有する病院」は 388 施設（78%）、「地域医療支援病院」は 134 施設（27%）、「特定機能病院」は 64 施設（13%）だった。
- 「総合周産期母子医療センター」は 57 施設（11%）、「地域周産期母子医療センター」は 152 施設（30%）、「一般病院」は 291 施設（58%）だった。総合周産期母子医療センターで MFIUC を保持しているところの「平均病床数」は 6.6 病床だった。
- 病院全体の許可病床数は「20—99 床」が 31 施設（6%）、「100—199 床」が 46 施設（9%）、「200—299 床」が 64 施設（13%）、「300—399 床」が 93 施設（19%）、「400—499 床」が 99 施設（20%）、「500—599 床」が 53 施設（11%）、「600—699 床」が 42 施設（8%）、「700—799 床」が 23 施設（5%）、「800—899 床」が 18 施設（4%）、「900—999 床」が 11 施設（2%）、「1000 床以上」が 20 施設（4%）だった。
- 一般病棟の入院基本料の算定状況は、「7 対 1」が 395 施設（79%）、「10 対 1」が 103 施設（21%）、「13 対 1」が 2 施設（0.4%）、「15 対 1」が 0 施設（0%）だった。
- 昨年度に算定した加算は、「ハイリスク妊娠管理加算」が 426 施設（85%）、「ハイリスク分娩管理加算」が 355 施設（71%）、「妊産婦救急搬送入院加算」が 299 施設（60%）、「ハイリスク妊産婦共同管理料 I」が 53 施設（11%）、「ハイリスク妊産婦共同管理料 II」が 34 施設（7%）、「急性期看護補助体制加算 1（50 対 1）」が 269 施設（54%）、「急性期看護補助体制加算 2（70 対 1）」が 34 施設（7%）だった。

3. 平成 24 年 8 月 1 日現在の職員の状況

- 回収した施設のうち 389 施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した(有効回答率 65.4%)
- 常勤職員のうち、助産師免許保持者(産休、育休、休職中の職員を含む)について、平均では「病院全体で、助産師免許を有している人数(常勤)」が 23 人、「そのうち周産期関連(産科関連病棟・産科外来・MFICU・NICU)に配属されている人数(常勤)」が 21 人、「そのうち分娩の直接介助を行っている人数」が 16 人、「周産期関連以外の部署に配属されている人数(常勤)」が 3 人だった。
- 就業規則で定められた週休形態は、「完全週休 2 日制」が 309 施設(79%)、「月 3 回週休 2 日制」が 19 施設(5%)、「月 2 回週休 2 日制」が 33 施設(8%)、「月 1 回週休 2 日制」が 3 施設(1%)、「週休 1 日半制」が 3 施設(1%)、「週休 1 日制」が 0 施設(0%)、「その他」が 22 施設(6%)だった。
- 病院の研修責任者の配置有無は、「配置あり」が 350 施設(90%)、「配置なし」が 39 施設(10%)だった。
- 平成 23 年度の常勤看護職の離職状況は、常勤看護職の「退職者数」が平均 33 人、「離職率」は平均 9%だった。
- 平成 23 年度の常勤新卒看護職の離職状況は、常勤新卒看護職の「退職者数」が平均 3 人、「離職率」は 9%だった。
- 平成 23 年度の産科関連病棟の常勤助産師の離職状況は、常勤助産師の「退職者数」が平均 2 人、「離職率」は平均 9%だった。
- 平成 23 年度の産科関連病棟の常勤新卒助産師の離職状況は、常勤新卒助産師の「退職者数」が平均 0.2 人、「離職率」は平均 8%だった。
- 平成 23 年度の産科関連病棟の常勤看護師の離職状況は、常勤看護師の「退職者数」が平均 1 人、「離職率」は平均 8%だった。
- 平成 23 年度の産科関連病棟の常勤新卒看護師の離職状況は、常勤新卒看護師の「退職者数」が平均 0.1 人、「離職率」は平均 8%だった。

4. 平成 24 年 8 月 1 日現在の参加関連病棟の概要

- 回収した施設のうち 385 施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した(有効回答率 64.7%)。
- 病棟の診療科状況は、「産科単独病棟」が 81 施設(21%)、「産科と婦人科のみの混合病棟」が 74 施設(19%)、「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」が 230 施設(60%)だった。
- 病棟の病床数は、「産科単独病棟」が平均 31.2 床、「産科と婦人科のみの混合病棟」が平均 39.7 床、「混合病棟のうち産科の病床」が平均 20.2 床だった。
- 産科外来と産科関連病棟の助産師配置は、「一元管理」が 226 施設(59%)、「産科外来と病棟の助産師配置は別」が 159 施設(41%)だった。
- 産科外来と産科関連病棟の助産師配置が一元管理の場合、「兼務している助産師数」は平均 11 人だった。

- 産科関連病棟勤務の平均看護職員数（産休、育休、休職中の職員を含む）は、「常勤助産師」が 19 人、「常勤看護師」が 10 人、「常勤准看護師」が 0.4 人、「常勤看護補助者」が 2 人、「非常勤助産師」が 1 人、「非常勤看護師」が 0.5 人、「非常勤准看護師」が 0.1 人、「非常勤看護補助者」が 1 人、このうち「産休、育休、休暇、長期研修中の常勤助産師」は 1 人だった。
- 産科外来勤務の平均看護職員数（産休、育休、休職中の職員を含む）は、「常勤助産師」が 2 人、「常勤看護師」が 1 人、「常勤准看護師」が 0.3 人、「常勤看護補助者」が 0.2 人、「非常勤助産師」が 0.8 人、「非常勤看護師」が 1 人、「非常勤准看護師」が 0.2 人、「非常勤看護補助者」が 0.4 人だった。
- MFICU がある場合の MFICU 勤務の平均看護職員数（産休、育休、休職中の職員を含む）は、「常勤助産師」が 11 人、「常勤看護師」が 2 人、「常勤准看護師」が 0.0 人、「常勤看護補助者」が 0.2 人、「非常勤助産師」が 0.1 人、「非常勤看護師」が 0.0 人、「非常勤准看護師」が 0.0 人、「非常勤看護補助者」が 0.2 人だった。
- NICU がある場合の NICU 勤務の平均看護職員数（産休、育休、休職中の職員を含む）は、「常勤助産師」が 3 人、「常勤看護師」が 21 人、「常勤准看護師」が 0.0 人、「常勤看護補助者」が 0.5 人、「非常勤助産師」が 0.1 人、「非常勤看護師」が 0.3 人、「非常勤准看護師」が 0.0 人、「非常勤看護補助者」が 0.6 人だった。
- 医師数の平均は、「常勤男性産科医」が 4 人、「常勤女性産科医」が 2 人、「常勤小児科医（新生児科医含む）」が 5 人、「非常勤男性産科医」が 0.7 人、「非常勤女性産科医」が 0.5 人、「非常勤小児科医（新生児科医含む）」が 1 人だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師について年齢階層別の人数は、「25 歳未満」が 1,103 人（15%）、「25—29 歳」が 1,834 人（25%）、「30—34 歳」が 1,359 人（18%）、「35—39 歳」が 1,018 人（14%）、「40—44 歳」が 834 人（11%）、「45—49 歳」が 603 人（8%）、「50—54 歳」が 447 人（6%）、「55—59 歳」が 212 人（3%）、「60 歳以上」が 26 人（0.3%）だった。
- 助産師の充足状況について、「分娩第一期は助産師が担当する」が 365 施設（95%）、「分娩第一期は助産師が担当しない」が 16 施設（4%）だった。その上で、「全てを助産師が担当する場合には、平均で最低あと 2 人常勤助産師が必要」と回答されている。
- 助産師の充足状況について、「分娩の直接介助者は助産師である」が 375 施設（97%）、「分娩の直接介助者は助産師ではない」が 6 施設（2%）だった。その上で、「全てを助産師が担当する場合には、平均で最低あと 2 人常勤助産師が必要」と回答されている。
- 助産師の充足状況について、「産褥 0, 1, 2 日は助産師が担当する」が 230 施設（60%）、「産褥 0, 1, 2 日は助産師が担当しない」が 150 施設（39%）だった。その上で、「全てを助産師が担当する場合には、平均で最低あと 1 人常勤助産師が必要」と回答されている。
- 平成 22 年度の助産師の平均採用状況は、「助産師の採用予定数」が 3.5 人で、「常勤の新卒助産師（助産師免許を取得して 1 年以内）の実際の採用数」が 1.7 人、「常勤助産師（他施設で助産師経験あり）の実際の採用数」が 0.9 人、「パートタイム・非常勤の助産師の実際の採用数」が 0.3 人だった。

- 平成 23 年度の助産師の平均採用状況は、「助産師の採用予定数」が 3.5 人で、「常勤の新卒助産師（助産師免許を取得して 1 年以内）の実際の採用数」が 2.1 人、「常勤助産師（他施設で助産師経験あり）の実際の採用数」が 1.1 人、「パートタイム・非常勤の助産師の実際の採用数」が 0.4 人だった。
- 平成 24 年度の助産師の平均採用状況は、「助産師の採用予定数」が 3.6 人で、「常勤の新卒助産師（助産師免許を取得して 1 年以内）の実際の採用数」が 2.1 人、「常勤助産師（他施設で助産師経験あり）の実際の採用数」が 1.0 人、「パートタイム・非常勤の助産師の実際の採用数」が 0.3 人だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月間における、「産科病棟勤務の常勤助産師の平均時間外労働時間」は平均 9 時間だった。
- 昨年度の「産科関連病棟勤務の、常勤助産師の年次有給の取得率」は平均 40.2% だった。
- 産科関連病棟の主な勤務形態は、「三交代制」が 223 施設（58%）、「変則三交代制」が 6 施設（2%）、「二交代制」が 104 施設（27%）、「変則二交代制」が 52 施設（14%）、「三交代制、変則三交代制、二交代制、変則二交代制のミックス」が 36 施設（9%）、「夜勤専従制あり」が 64 施設（17%）、「当直性あり」が 9 施設（2%）、「日中・夜間の両方で分娩時オンコール体制あり」が 18 施設（5%）、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 47 施設（12%）、「その他」が 11 施設（3%）だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について、三交代制 準夜勤手当は「あり」が 251 施設（97%）、「なし」が 7 施設（3%）。「あり」の場合、「平均手当」は 3,777 円だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について、三交代制 深夜勤手当は「あり」が 251 施設（97%）、「なし」が 7 施設（3%）。「あり」の場合、「平均手当」は 4,848 円だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について、二交代制 夜勤手当は「あり」が 183 施設（99.5%）、「なし」が 1 施設（0.5%）。「あり」の場合、「平均手当」は 10,108 円だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について、当直制（非管理職） 夜勤手当は「あり」が 9 施設（100%）、「なし」が 0 施設（0.0%）。「あり」の場合、「平均手当」は 9,872 円だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について、オンコール制 待機手当は「あり」が 52 施設（85%）、「なし」が 9 施設（15%）。「あり」の場合、「平均手当」は 2,560 円だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について、オンコール制 夜勤手当は「あり」が 34 施設（71%）、「なし」が 14 施設（29%）。「あり」の場合、「平均手当」は 3,596 円だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月間での、産科病棟における平均的な看護職の勤務者数について、平日（月一金）の 1 日平均人数は、日勤の場合、「助産師数」が 7 人、「そのうち非常勤助産師数」が 0.7 人、「看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が 4 人、「准看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が 0.3 人、「看護補助者数（常勤・非常勤合わせて）」が 2 人だった。交代制の場合の夜勤は、「助産師数」が 3 人、「そのうち非常勤助産師数」が 0.1 人、「看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が 2 人、「准看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が 0.1 人、「看護補助者数（常勤・非常勤合わせて）」が 0.1 人だった。当直体制の場合の夜勤は、「助産師数」が 1 人、「そのうち非常勤助産師数」が 0.3 人、「看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が 0.5 人、「准看護師数（常勤・非常勤

合わせて)」が0.3人、「看護補助者数（常勤・非常勤合わせて）」が0.0人だった。オンコール体制の場合の夜勤は、「助産師数」が0.9人、「そのうち非常勤助産師数」が0.0人、「看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が1人、「准看護師数（常勤・非常勤合わせて）」が0.1人、「看護補助者数（常勤・非常勤合わせて）」が0.0人だった。

- 分娩室担当の助産師配置（常時）については、昼間が「あり」が336施設（87%）、「無回答」が49施設（13%）。「ありの場合の常時原則配置人数」は平均2人だった。夜間は「あり」が283施設（74%）、「無回答」が102施設（26%）。「ありの場合の常時原則配置人数」は平均1人だった。
- 正常分娩の第2期に、1人の産婦を介助する看護職の原則平均人数は、「助産師」が2人、「看護師」が0.7人、「准看護師」が0.0人、「看護補助者」が0.0人だった。
- 平成24年7月の1カ月間における、助産師1人あたりの平均夜勤回数について、「就業規則上の1回の夜勤時間」は平均10時間だった。また、平均夜勤回数は常勤助産師について平均で「三交代制」が8回、「二交代制」が8回、「当直制」が4回、「分娩時オンコール回数（待機含む）」が3回だった。夜勤専従の助産師については平均で「三交代制」が2回、「二交代制」が8回、「当直制」が6回、「分娩時オンコール回数（待機含む）」が0.5回だった。

5. 分娩状況とケア

- 回収した施設のうち536施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した（有効回答率90.1%）。
- 「昨年度の分娩件数」は、267,606件で、「帝王切開」は63,103件（24%）、「吸引分娩」が13,136件（5%）、「鉗子分娩」が1,292件（0.5%）だった。
- 昨年度の「母体搬送受け入れ件数」は13,749件で、「母体搬送送り件数」は2,727件だった。
- 常勤助産師一人あたりの年間分娩介助件数は、「平均」が30件で、「最多」は250件、「最少」は2件だった。
- 「妊娠期からの継続受け持ち制の有無は、「あり」が86施設（16%）、「なし」が421施設（79%）、「その他」が29施設（5%）だった。
- 現時点での院内助産の実施について、「実施あり」が57施設（11%）、「実施なし」が479施設（89%）だった。「院内助産での通算分娩件数」は8,404件だった。現在、院内助産を実施していない施設で、「院内助産の導入希望あり」が222施設（46%）、「導入希望なし」が219施設（46%）、「無回答」38（8%）だった。
- 現時点での助産外来の実施について、「実施あり」が275施設（51%）、「実施なし」が261施設（49%）だった。現在助産外来を実施していない施設で、「助産外来の導入希望あり」が171施設（66%）、「導入希望なし」が74施設（28%）だった。
- 助産外来での助産師による超音波検査の実施について、「実施あり」が196施設（73%）、「実施なし」が73施設（27%）だった。

- 新人助産師の就職後 1 年以内における妊婦健診への関与は、「先輩助産師の妊婦健診を見学」が 56 施設 (22%)、「先輩の指導のもと実施」が 23 施設 (9%)、「見学も実施していない」が 161 施設 (63%)、「その他」が 17 施設 (7%) だった。
- 母子同室の実施状況について、「完全母子同室(出産直後から 24 時間母子同室)」が 88 施設 (16%)、「それ以外の母子同室 (基本は 24 時間)」が 354 施設 (66%)、「日中のみ、もしくは、夜間のみの子同室」が 54 施設 (10%)、「母子異室 (同室はしない)」が 40 施設 (7%) だった。
- 母乳外来の有無は、「あり」が 407 施設 (76%)、「なし」が 128 施設 (24%) だった。母乳外来の担当部署は「病棟」が 222 施設 (55%)、「外来」が 73 施設 (18%)、「病棟と外来の両方」が 108 施設 (27%)、「その他」が 3 施設 (0.7%) だった。母乳外来の担当職種は、「助産師」が 370 施設 (94%)、「助産師と看護師の両方」が 22 施設 (6%) だった。
- 新生児訪問の有無は、「あり」が 37 施設 (7%)、「なし」が 495 施設 (93%) だった。新生児訪問の担当部署は、「病棟」が 29 施設 (81%)、「外来」は 3 施設 (8%)、「病棟と外来の両方」が 4 施設 (11%) だった。新生児訪問の担当職種は、「助産師」が 28 施設 (80%)、「看護師」が 1 施設 (3%)、「助産師と看護師の両方」が 6 施設 (17%) だった。
- 外来での出産準備教育 (集団) は、「あり」が 505 施設 (95%)、「なし」が 28 施設 (5%) だった。「あり」の場合の実施状況は、「助産師が講義等を担当」が 468 施設 (71%)、「看護師が講義を担当」が 1 施設 (0.2%)、「助産師と看護師の両方が担当」が 39 施設 (6%)、「その他の職種 (栄養士等) が担当」が 147 施設 (22%)、「DVD 視聴のみ」が 3 施設 (0.5%) だった。
- 「近年分娩件数が増加している」のは 176 施設 (33%)、「近年分娩件数が減少している」のは 167 施設 (31%)、「分娩件数に大きな変化がない」のは 186 施設 (35%)、「分娩件数を制限する予定である」のは 34 施設 (6%)、「分娩対応の廃止を予定している」のは 4 施設 (1%) だった。

6. 助産師の新卒・現任教育と学生実習

- 回収した施設のうち 456 施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した (有効回答率 76.6%)。
- 看護師のクリニカルラダーとは別に、「助産師に特化したクリニカルラダーがある」のは 78 施設 (17%)、「現在作成中」は 104 施設 (23%)、「ない」のは 274 施設 (60%) だった。
- 「助産師に特化した教育目標がある」のは 178 施設 (39%)、「現在作成中」は 106 施設 (23%)、「ない」のは 172 施設 (38%) だった。
- 産科関連病棟への「教育担当者の配置あり」は 268 施設 (59%)、「配置なし」は 188 施設 (41%) だった。
- 助産師に対する新人研修の実施状況について、「院内で助産師に特化した新人研修を実施している」が 79 施設 (17%)、「都道府県看護協会や他の病院などと、合同で新人助産師研修を実施している」が 106 施設 (23%)、「今年度は助産師に特化した新人研修を実施していないが、次年度以降は実施予定」が 19 施設 (4.2%)、「助産師に特化した新人研修は実施していない (看護職としての新人研修に参加している)」が 309 施設 (68%)、「看護職としても、助産師としても、院

内の新人研修は実施していない」が 11 施設 (2%)、「プリセプターシップ、メンターシップ、エルダー制などを実施している」が 331 施設 (73%) だった。

- 「助産師のローテーション方針がある」のは 142 施設 (31%)、「ない」のは 314 施設 (69%)。ローテーション方針がある場合、ローテーションした部署は、「内科・外科を含む全部署」が 66 施設 (47%)、「産科外来」が 33 施設 (23%)、「MFICU」が 15 施設 (11%)、「NICU」が 29 施設 (20%)、「その他特定の部署」が 23 施設 (16%) だった。ローテーション期間は約 12 カ月だった。
- 産科関連病棟勤務の助産師(管理者を除く)の院内研修の参加有無は、「あり」が 406 施設 (89%)、「なし」が 50 施設 (11%) だった。
- 助産師の育成を目的とした、定期的な面接の実施の有無は、「あり」が 316 施設 (69%)、「なし」が 140 施設 (31%) だった。「あり」の場合の面接の回数は、年間平均 3 回の実施だった。
- 産科関連病棟における学生実習の受け入れ状況について、「母性看護学実習を受け入れている」が 406 施設 (89%)、「助産実習を受け入れている」が 318 施設 (70%)、「受け入れはしていない」が 34 施設 (7%) だった。

- 助産実習の受け入れ状況は、「年間平均」で 2 校、「1 校あたりの受け入れ助産学生数」は平均 4 人、「1 回 (1 グループ) あたりの受け入れ助産学生数」は平均 3 人だった。
- 専任の実習指導者の配置状況について、「専任の実習指導者を配置している」のは、184 施設 (58%)、「専任の実習指導者を配置していない」は 134 施設 (42%) だった。配置している場合、平均 1.9 人を配置しており、「業務から独立して実習指導を行う」のは 56 施設 (32%) で、「業務とかねて実習主導を行う」のは 117 施設 (68%) だった。配置していない場合、「妊産褥婦のその日の受け持ち助産師が実習指導を行う」が 96 施設 (82%)、「妊産褥婦のその日の受け持ち看護師が実習指導を行う」が 27 施設 (23%)、「その日の分娩室担当の助産師が実習指導を行う」が 94 施設 (80%)、「病棟管理者が実習指導を行う」が 11 施設 (9%)、「学校の教員が実習指導を行い職員は関与しない」が 1 施設 (0.9%)、「その他」が 8 施設 (7%) だった。
- 勤務する病院で助産学生の実習が(さらに)可能となる前提・条件でもっとも多かったのが、「勤務助産師の数が増えれば」(55%)、次いで「専任の実習指導者を配置できれば」(44%)、「将来的に就職に結びつけば」(39%) だった。受け入れ条件の中で上位 3 位までを聞いたところ、1 位が「勤務助産師の数が増えれば」、2 位が「専任の実習指導者を配置できれば」、3 位が「正常分娩の件数が増えれば」だった。

助産学生の実習が（さらに）可能となる前提・受け入れ条件	回答施設数	率
勤務助産師の数が増えれば	249	55%
専任の実習指導者を配置できれば	200	44%
将来的に就職に結びつけば	177	39%
正常分娩の件数が増えれば	169	37%
学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	139	30%
妊産褥婦の理解と協力が得られれば	100	22%
勤務助産師や看護師の協力体制が整えば	80	18%
産科医師の協力が得られれば	56	12%
学校用のロッカールームや寮の整備など物理的環境が整えば	50	11%
実習期間中の病院と学校側の連携や話し合いの機会が増えれば	38	8%
助産学生がすでに看護師免許を有していれば	35	8%
実習費用手当が増額されれば	28	6%
その他	23	5%
看護手順の整備が整えば	12	3%

7. 産科混合病棟

- 回収した施設のうち 453 施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した（有効回答率 76.1%）。
- 「婦人科との混合病棟」がもっとも多く 410 施設（91%）、次いで「小児科との混合病棟」が 199 施設（44%）、「内科との混合病棟」が 186 施設（41%）、「整形外科との混合病棟」が 117 施設（26%）、「外科との混合病棟」が 115 施設（25%）、「眼科との混合病棟」が 100 施設（22%）だった。「脳神経外科」、「耳鼻咽喉科」、「泌尿器科」、「皮膚科」、「歯科口腔外科」との混合病棟も 10%前後の病院でみられた。
- 「産科・婦人科のみの混合病棟」は 98 施設（22%）、「産科・婦人科・小児科の混合病棟」は 38 施設（8%）、「産科・婦人科・内科の混合病棟」は 22 施設（5%）、「産科・婦人科を除くその他の 2 科混合病棟」は 22 施設（5%）、「上記を除く混合病棟」は 273 施設（60%）だった。
- 産科混合病棟で、助産師は産科と他科患者を同時に受け持つかについて、「常に他科診療科の患者は受け持たない」が 60 施設（13%）、「同時に受け持つ」が 327 施設（72%）、「分娩介助の時のみ他科の患者は受け持たない」が 102 施設（23%）、「分娩第 1 期の患者が入院した時点で、他科の患者は受け持たない」が 57 施設（13%）、「その他」が 26 施設（6%）だった。
- 産科病床に空床がある場合の対応は、「空床のままにしておき、他科患者を入院させない」が 92 施設（20%）、「他科患者と産科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる」が 248 施設（55%）、「産科病床の空床確保は特にしていない」が 91 施設（20%）だった。
- 産科患者の入院先病室の決定方法は、「産科患者は基本的に個室へ入院」が 60 施設（13%）、「産科患者のみの病室へ入院（他科患者とは別室）」が 221 施設（49%）、「他科の患者と同室」が 172 施設（38%）だった。

- 他科診療科の患者が産科混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準の有無は、「あり」が412施設(91%)、「なし」が41施設(9%)だった。ルールや基準が「あり」の場合、「感染疑い・感染患者は除外」が351施設(85%)、「就学前の小児は除外する」が219施設(53%)、「ターミナル期は除外する」が187施設(45%)、「男性は除外する」が355施設(86%)、「不穏・認知の症状がある患者は除外する」が230施設(56%)、「クリニカルパス適応者のみ入院可」が9施設(2%)、「その他」が73施設(18%)だった。
- 他科診療科の患者が産科混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準が「あり」の場合、ルールや基準が守られているレベルは、「完全に守っている」が222施設(54%)、「ケースバイケースで入院患者を受け入れざるをえない」が117施設(29%)、「ルールはあるが、緊急があれば入院を受ける」が63施設(15%)、「ルールはあるが、ほとんど守られていない」が2施設(1%)、「その他」が4施設(1%)だった。

8. 助産師の出向

- 回収した施設のうち426施設が有効回答とみなされ、その回答を分析した(有効回答率71.6%)。
- 出向受け入れ経験について、「現在、助産師の出向を受け入れている」が16施設(3%)、「以前、助産師の出向を受け入れていた」が40施設(8%)、「出向受け入れの経験はない」が420施設(85%)、「助産師の出向受け入れ経験はないが、看護師はある」が21施設(4%)だった。
- 出向経験について、「現在、助産師が出向している」が17施設(3%)、「以前、助産師が出向していた」が60施設(12%)、「出向の経験はない」が387施設(78%)、「助産師の出向経験はないが、看護師の出向経験はある」が33施設(7%)だった。
- 出向受け入れがもっとも多いのは、「日本赤十字」で10施設、次いで「独立行政法人国立病院機構」が6施設、「全国厚生農業協同組合連合会」が4施設だった。出向がもっとも多いのは、「日本赤十字」で16施設、次いで「全国厚生農業協同組合連合会」が9施設、「医療法人」が8施設だった。
- 「他施設へ出向経験がある病院」は、1年間で「平均」2人が出向し、「のべ平均」で4人出向している。「他施設から受け入れ経験がある病院」は、1年間で「平均」2人の出向を受け入れ、「のべ平均」で4人受け入れている。
- 出向助産師の出向時点での臨床経験年数は、「3—4年目」が135人(44%)、「5—6年目」が58人(19%)、「7—8年目」が34人(11%)、「9—10年目」が16人(5%)、「11—14年目」が24人(8%)、「15—19年目」が15人(5%)、「20—29年目」が24人(8%)、「30年目以上」が2人(1%)だった。
- 1回の出向期間の平均は、「他施設へ出向経験がある病院」は7カ月、「他施設から受け入れ経験がある病院」は7カ月だった。
- 出向先もしくは出向元の施設の所在地は、「同じ都道府県内」が57施設(52%)、「別の都道府県」が44施設(40%)、「両方」が8施設(7%)だった。

- 出向元と出向先での給与差は、「増額」が 18 施設（17%）、「同額」が 91 施設（83%）、「減額」は 0 施設（0%）だった。
- 出向先での分娩介助件数は、「他施設へ出向経験がある病院」は平均 44 件、「他施設から受け入れ経験がある病院」は平均 41 件だった。
- 他施設への助産師出向が可能となる条件・前提で「非常に重要である」「重要である」を選んだ施設でもっとも多かったのが、「出向する助産師の給与が今よりも減額にならないこと」、次いで「出向期間中の年月が、出向元の退職金の計算対象範囲に含まれること」、「出向先が寮を準備し出向助産師が 2 カ所の家賃を支払う必要がないこと」だった。

条件	全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である
現時点よりも、助産師の数が増えること	2	13	20	101	361
出向先は病院のみで、診療所ではないこと	49	118	190	93	47
出向先は、同じ都道府県内の施設であること	20	55	119	168	135
出向先は、通勤が可能な範囲であること	10	35	99	159	194
ひとりの助産師の出向期間が、1年以内であること	5	22	98	211	161
ひとりの助産師の出向期間が、半年以内であること	13	44	156	164	120
出向する助産師の給与が、今よりも減額にならないこと	1	2	12	120	362
出向期間中の年月が、出向元の退職金の計算対象範囲に含まれること	1	0	15	126	355
出向先が寮を準備し出向助産師が 2 カ所の家賃を支払う必要がないこと	1	1	18	131	346
出向元施設側に、金銭的なメリットがあること	14	31	176	153	122
出向先での教育体制が整っていること	0	7	31	207	252
出向先の施設に、常勤助産師が 1 人以上いること	2	4	12	116	363
都道府県医療計画の中で、助産師出向システムが制度化されている	4	15	79	208	189
地域全体の医療施設間で、助産師の養成や研修制度を構築していること	2	6	38	238	213
出向元施設と出向先施設の間で、出向について調整／仲介してくれる	0	14	32	238	212
出向中の経験を、出向元施設に戻ってから評価する仕組みがあること	1	7	38	267	183

- 産科関連病棟の看護管理者の出向についての意向は、「他施設から助産師の出向を受け入れたい」が 106 施設（20%）、「一定の条件が整えば、他施設への助産師出向を検討する」が 292 施設（59%）、

「どのような条件が整えられても、助産師を他施設へ出向させることはできない」が 99 施設 (10%) だった。

- 「他施設から助産師の出向を受け入れたい」と答えた施設の出向受け入れるための可能な対応は、「規定給与内での支払であれば受け入れたい」が 67 施設 (14%)、「規定給与を超えても受け入れたい」が 12 施設 (2%)、「就業形態に合わせられる人であれば受け入れたい」が 69 施設 (14%)、「寮・宿泊施設を提供してでも受け入れたい」が 33 施設 (7%)、「規定の住宅手当内の支払いであれば受け入れたい」が 24 施設 (5%)、「分娩介助件数が 87 件以上であれば受け入れたい」が 34 施設 (7%)、「その他」が 12 施設 (2%) だった。
- 「1 回の出向期間で出せる助産師数」は、0.7—1.4 人だった。

9. 平成 24 年 8 月 1 日の日勤帯終了時点での妊産褥婦および新生児の入院状況

- 回収した施設のうち 212 有効回答とみなされ、その回答を分析した (有効回答率 35.6%)。
- 産科関連病棟 (MFICU 病床を除く) に入院している妊婦の数は、「1—2 人」が 39 施設 (18%)、「3—4 人」が 34 施設 (16%)、「5—6 人」が 32 施設 (15%)、「7—8 人」が 25 施設 (12%)、「9—10 人」が 32 施設 (15%)、「11—12 人」が 13 施設 (6%)、「13—14 人」が 12 施設 (6%)、「15 人以上」が 25 施設 (12%) だった。
- 産科関連病棟 (MFICU 病床を除く) に入院しており、分娩進行中の妊婦の数は、「0 人」が 102 施設 (48%)、「1 人」が 56 施設 (26%)、「2 人」が 32 施設 (15%)、「3 人」が 14 施設 (7%)、「4 人」が 4 施設 (2%)、「5 人以上」が 4 施設 (2%) だった。
- 産科関連病棟 (MFICU 病床を除く) に入院している妊婦の妊娠リスクスコアは、低リスク群 (0—1 点) が、「0 人」が 56 施設 (26%)、「1 人」が 50 施設 (24%)、「2 人」が 25 施設 (12%)、「3 人」が 26 施設 (12%)、「4 人」が 14 施設 (7%)、「5 人」が 10 施設 (5%)、「6 人以上」が 31 施設 (15%) / 中リスク群 (2—3 点) が「0 人」が 53 施設 (25%)、「1 人」が 40 施設 (19%)、「2 人」が 30 施設 (14%)、「3 人」が 27 施設 (13%)、「4 人」が 23 施設 (11%)、「5 人」が 16 施設 (8%)、「6 人以上」が 23 施設 (11%) / 高リスク群 (4—6 点) が、「0 人」が 95 施設 (45%)、「1 人」が 41 施設 (19%)、「2 人」が 31 施設 (15%)、「3 人」が 12 施設 (6%)、「4 人」が 12 施設 (6%)、「5 人」が 10 施設 (5%)、「6 人以上」が 11 施設 (5%) / 超高リスク群 (7 点以上) が、「0 人」が 136 施設 (64%)、「1 人」が 36 施設 (17%)、「2 人」が 15 施設 (7%)、「3 人」が 13 施設 (6%)、「4 人」が 6 施設 (3%)、「5 人」が 0 施設 (0%)、「6 人以上」が 6 施設 (3%) だった。スコアは、「妊娠リスクスコア」(中林正雄開発)を使用した。
- 産科関連病棟 (MFICU 病床を除く) に入院している、産後 0、1、2 日目の褥婦の数は、「0 人」が 18 施設 (9%)、「1—2 人」が 58 施設 (27%)、「3—4 人」が 47 施設 (22%)、「5—6 人」が 31 施設 (15%)、「7—8 人」が 29 施設 (14%)、「9—10 人」が 10 施設 (5%)、「11 人以上」が 19 施設 (9%) だった。

- 産科関連病棟（MFICU 病床を除く）に入院している、産後 0、1、2 日目の褥婦で、帝王切開後の褥婦の数は、「0 人」が 90 施設（43%）、「1 人」が 54 施設（26%）、「2 人」が 33 施設（16%）、「3 人」が 19 施設（9%）、「4 人」が 9 施設（4%）、「5 人以上」が 7 施設（3%）だった。
- 産科関連病棟（MFICU 病床を除く）に入院している、産後 0、1、2 日目の褥婦で、吸引分娩後の褥婦の数は、「0 人」が 184 施設（87%）、「1 人」が 21 施設（10%）、「2 人」が 6 施設（3%）、「3 人」が 0 施設（0%）、「4 人」が 0 施設（0%）、「5 人以上」が 1 施設（0.5%）だった。
- 産科関連病棟（MFICU 病床を除く）に入院している、産後 0、1、2 日目の褥婦で、鉗子分娩後の褥婦の数は、「0 人」が 205 施設（97%）、「1 人」が 5 施設（2%）、「2 人」が 2 施設（1%）だった。
- 産科関連病棟（MFICU 病床を除く）に入院している分娩当日の褥婦の数は、「0 人」が 96 施設（45%）、「1 人」が 52 施設（25%）、「2 人」が 30 施設（14%）、「3 人」が 12 施設（6%）、「4 人」が 14 施設（7%）、「5 人以上」が 8 施設（4%）だった。
- 産科関連病棟に入院している、産後 3 日目の褥婦の数は、「0 人」が 26 施設（12%）、「1—2 人」が 62 施設（29%）、「3—4 人」が 52 施設（25%）、「5—6 人」が 35 施設（17%）、「7—8 人」が 15 施設（7%）、「9—10 人」が 13 施設（6%）、「11 人以上」が 9 施設（4%）だった。
- 産科関連病棟（NICU/GCU 病床を除く）や新生児室で管理している正常新生児の数（新生児が黄疸等で病児入院しても、母子同室や産科病棟で管理する場合は人数に含む）は、「0 人」が 15 施設（7%）、「1—2 人」が 28 施設（13%）、「3—4 人」が 38 施設（18%）、「5—6 人」が 32 施設（15%）、「7—8 人」が 27 施設（13%）、「9—10 人」が 20 施設（9%）、「11—12 人」が 19 施設（9%）、「13—14 人」が 11 施設（5%）、「15 人以上」が 22 施設（10%）だった。
- 妊産褥婦のうち、「護送（車いす）」が必要だったのは、「0 人」が 47 施設（22%）、「1—2 人」が 50 施設（24%）、「3—4 人」が 24 施設（11%）、「5—6 人」が 37 施設（18%）、「7—8 人」が 20 施設（9%）、「9—10 人」が 15 施設（7%）、「11 人以上」が 19 施設（9%）だった。
- 妊産褥婦のうち、「担送（ベッド・ストレッチャーでの移動）」が必要だったのは、「0 人」が 121 施設（57%）、「1 人」が 43 施設（20%）、「2 人」が 23 施設（11%）、「3 人」が 10 施設（5%）、「4 人」が 6 施設（3%）、「5 人以上」が 9 施設（4%）だった。
- 日勤帯での、分娩件数は、「0 件」が 98 施設（46%）、「1 件」が 50 施設（24%）、「2 件」が 40 施設（19%）、「3 件」が 17 施設（8%）、「4 件以上」が 7 施設（3%）だった。
- 日勤帯での、予定帝王切開術は、「0 件」が 172 施設（81%）、「1 件」が 27 施設（13%）、「2 件」が 10 施設（5%）、「3 件」が 3 施設（1%）だった。
- 日勤帯での、緊急帝王切開術は、「0 件」が 191 施設（90%）、「1 件」が 21 施設（10%）だった。
- 日勤帯での、妊婦の新規入院患者数（日勤終了時点で、出産した人も含む）は、「0 人」が 82 施設（39%）、「1 人」が 55 施設（26%）、「2 人」が 28 施設（13%）、「3 人」が 19 施設（9%）、「4 人」が 16 施設（8%）、「5 人以上」が 12 施設（6%）だった。

- 日勤帯での、新生児の新規入院患者数（他施設からの転院を含む）は、「0人」が121施設（57%）、「1人」が42施設（20%）、「2人」が28施設（13%）、「3人」が14施設（7%）、「4人」が2施設（1%）、「5人以上」が5施設（2%）だった。
- 日勤帯での、妊婦・褥婦の退院患者数（他施設からの転院を含む）は、「0人」が57施設（27%）、「1人」が50施設（24%）、「2人」が43施設（20%）、「3人」が26施設（12%）、「4人」が17施設（8%）、「5人以上」が19施設（9%）だった。
- 日勤帯での、新生児の退院数（NICU病床へ転入や他施設への転院を含む）は、「0人」が81施設（38%）、「1人」が66施設（31%）、「2人」が22施設（10%）、「3人」が23施設（11%）、「4人」が7施設（3%）、「5人以上」が13施設（6%）だった。
- 日勤帯での、助産師数（管理者を除く。直接的なケアを提供するスタッフ数）は、「0人」が3施設（1%）、「1—2人」が25施設（12%）、「3—4人」が50施設（24%）、「5—6人」が45施設（21%）、「7—8人」が35施設（17%）、「9—10人」が19施設（9%）、「11人以上」が35施設（17%）だった。
- 日勤帯での、新卒助産師数は、「0人」が89施設（42%）、「1人」が69施設（33%）、「2人」が32施設（15%）、「3人」が9施設（4%）、「4人以上」が9施設（4%）だった。
- 分娩室担当の助産師数は、「0人」が11施設（5%）、「1人」が124施設（59%）、「2人」が56施設（26%）、「3人」が10施設（5%）、「4人以上」が11施設（5%）だった。
- 日勤帯での、産科担当の勤務看護師数は、「0人」が69施設（33%）、「1人」が44施設（21%）、「2人」が22施設（10%）、「3人」が22施設（10%）、「4人」が16施設（8%）、「5人」が12施設（6%）、「6人以上」が27施設（13%）だった。

10. 平成24年8月1日現在の総合周産期母子医療センターについて

- 病院調査票に有効回答した病院で総合周産期母子医療センターを保有する56施設（有効回答率91.8%）の回答を分析対象とした。
- MFICUは、「3床」が6施設（11%）、「6床」が36施設（64%）、「7床」が1施設（2%）、「9床」が9施設（16%）、「10床」が1施設（2%）、「12床」が3施設（5%）だった。
- 平成24年8月1日の日勤終了時点で、MFICUに入院している人数は、「0人」は3施設（5%）、「1人」は2施設（4%）、「2人」は2施設（4%）、「3人」は6施設（11%）、「4人」は7施設（13%）、「5人」は8施設（14%）、「6人」は18施設（32%）、「7人」は2施設（4%）、「8人」は2施設（4%）、「9人」は4施設（7%）、「12人」は2施設（4%）だった。
- 平成24年8月1日の日勤終了時点で、MFICU病床担当の助産師数は、「1人」は12施設（21%）、「2人」は21施設（38%）、「3人」は7施設（13%）、「4人」は6施設（11%）、「5人」は2施設（4%）、「6人以上」は8施設（14%）だった。
- 平成24年8月1日の日勤終了時点で、MFICU病床担当の看護師数は、「0人」は40施設（71%）、「1人」は11施設（20%）、「2人」は0施設（0%）、「3人」は2施設（4%）、「4人」は1施設（2%）、「5人以上」は2施設（4%）だった。

11. 平成24年8月1日現在の産科混合病棟について

- 病院調査票に有効回答した病院で産科混合病棟である 278 施設（有効回答率 60.4%）の回答を分析対象とした。
- 平成24年8月1日の日勤終了時点で、産科混合病棟における、他科診療科の在院患者数は、「0人」は19施設（7%）、「1—5人」は52施設（19%）、「6—10人」は47施設（17%）、「11—15人」は40施設（14%）、「16—20人」は30施設（11%）、「21—25人」は30施設（11%）、「26—30人」は30施設（11%）、「31人以上」は30施設（11%）だった。
- 平成24年8月1日の日勤終了時点で、産科混合病棟担当の助産師数は、「0人」は64施設（23%）、「1人」は66施設（24%）、「2人」は50施設（18%）、「3人」は35施設（13%）、「4人」は18施設（7%）、「5人」は17施設（6%）、「6人」は7施設（3%）、「7人以上」は21施設（8%）だった。
- 平成24年8月1日の日勤終了時点で、産科混合病棟の助産師で他科診療科の入院患者を受け持った数は、「0人」は136施設（49%）、「1—2人」は28施設（10%）、「3—4人」は29施設（10%）、「5—6人」は31施設（11%）、「7—8人」は22施設（8%）、「9—10人」は8施設（3%）、「11人以上」は24施設（9%）だった。
- 他科診療科の患者を対象とした「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」で平成24年8月1日を評価日としたA得点（モニタリングおよび処置等に係る得点）が2点以上、かつB得点（患者の状況等に係る得点）が3点以上の患者数は、「0人」は98施設（35%）、「1人」は40施設（14%）、「2人」は50施設（18%）、「3人」は34施設（12%）、「4人」は16施設（6%）、「5人」は9施設（3%）、「6人以上」は31施設（11%）だった。

Ⅱ 調査結果（診療所調査）

1. 回収結果

回収総数は355施設で、質問票を送付した1,610施設の22%にあたる。

2. 施設属性

- 診療所調査票に有効回答した診療所180施設（有効回答率50.7%）の回答を分析対象とした。
- 都道府県別の施設の所在地は、「大阪府」が最多の14施設で、次いで「兵庫県」の13施設、「東京」「愛知県」「福岡県」の10施設だった。

都道府県	施設数	都道府県	施設数	都道府県	施設数	都道府県	施設数
大阪府	14	神奈川県	5	岩手県	3	福井県	1
兵庫県	13	京都府	5	宮城県	3	山梨県	1
東京都	10	和歌山県	5	新潟県	3	奈良県	1
愛知県	10	山口県	5	三重県	3	岡山県	1
福岡県	10	茨城県	4	鹿児島県	3	徳島県	1
栃木県	9	埼玉県	4	沖縄県	3	香川県	1
北海道	7	岐阜県	4	群馬県	2	佐賀県	1
長野県	7	滋賀県	4	愛媛県	2	熊本県	1
静岡県	6	広島県	4	高知県	2	大分県	1
福島県	5	長崎県	4	富山県	1	宮崎県	1
千葉県	5	青森県	3	石川県	1	島根県	1

- 診療所全体の産科病床数は、「0床」が1施設（1%）、「1—5床」が8施設（4%）、「6—10床」が51施設（28%）、「11—15床」が65施設（36%）、「16—20床」が53施設（29%）、「21床以上」が2施設（1%）だった。
- 診療所全体にその他の病床数は、「0床」が166施設（92%）、「1床」が1施設（1%）、「2床」が3施設（2%）、「3床」が1施設（1%）、「4床」が2施設（1%）、「5床以上」が7施設（4%）だった。
- 標榜診療科名称は、「産科」が180施設（100%）、「婦人科」が166施設（92%）、「小児科」が21施設（12%）、「内科」が23施設（13%）、「その他」が0施設（0%）だった。

3. 助産師の出自

- 診療所調査票に有効回答した診療所343施設（有効回答率96.6%）の回答を分析対象とした。
- 出自受け入れ経験について、「現在、助産師の出自を受け入れている」が6施設（2%）、「以前、助産師の出自を受け入れていた」が9施設（3%）、「出自受け入れの経験はない」が326施設（95%）、「助産師の出自受け入れ経験はないが、看護師はある」が2施設（1%）だった。

- 「助産師の出向の受け入れを希望する施設」は 130 施設（38%）で、「希望しない施設」は 198 施設（58%）、「無回答」が 15 施設（4%）だった。
- 出向助産師に期待する業務内容は、「分娩介助」が 112 施設（86%）、「夜勤勤務」が 112 施設（86%）、「妊婦健診」が 38 施設（29%）、「助産学生の実習指導」が 21 施設（16%）施設、「その他」は 19 施設（15%）だった。
- 出向期間の希望は、「1 年間」が 102 施設（78%）、「半年」が 15 施設（12%）、「その他」が 9 施設（7%）だった。
- 「出向を受け入れる助産師数の希望」は、平均 1.7 人で、「希望する臨床経験年数」は 3.6 年だった。
- 「他施設から助産師の出向を受け入れたい」と答えた施設の出向を受け入れるための可能な対応は、「規定給与内での支払であれば受け入れたい」が 113 施設（87%）、「規定給与を超えても受け入れたい」が 10 施設（8%）、「就業形態に合わせられる人であれば受け入れたい」が 96 施設（76%）、「寮・宿泊施設を提供してでも受け入れたい」が 17 施設（14%）、「規定の住宅手当内の支払いであれば受け入れたい」が 29 施設（23%）、「分娩介助件数が 110 件以上であれば受け入れたい」が 16 施設（13%）、「その他」が 13 施設（10%）だった。
- 出向元施設としてもっとも多かったのが、「助産所」と「その他」で 5 施設、次いで「公立病院（市町村）」と「医療法人」と「診療所」の 2 施設、「国立大学法人」と「個人病院」が 1 施設だった。
- 受け入れている助産師の人数は、1 年間で「平均」2.27 人、「のべ平均」3.33 人だった。
- 出向助産師の出向時点での臨床経験年数は、「3—4 年目」が 13 人（32%）、「5—6 年目」が 4 人（10%）、「7—8 年目」が 1 人（2%）、「9—10 年目」が 2 人（5%）、「11—14 年目」が 4 人（10%）、「15—19 年目」が 7 人（17%）、「20—29 年目」が 5 人（12%）、「30 年目以上」が 5 人（12%）だった。
- 「1 回の出向期間」は、平均 18.3 カ月だった。
- 出向先もしくは出向元の施設の所在地は、「同じ都道府県内」が 2 施設（13%）、「別の都道府県」が 11 施設（73%）、「両方」が 2 施設（13%）だった。
- 「出向先での分娩介助件数」は、平均 28 件だった。

4. 助産実習の受け入れの可能性

- 診療所調査票に有効回答した診療所 308 施設（有効回答率 86.8%）の回答を分析対象とした。
- 学生実習の受け入れ状況は、「母性看護学実習を受け入れている」が 79 施設（26%）、「助産実習を受け入れている」が 47 施設（15%）、「受け入れはしていない」が 208 施設（68%）だった。
- 勤務する診療所で助産学生の実習が可能となる条件でもっとも多かったのが、「勤務助産師の数が増えれば」と「勤務助産師や看護師の協力体制が整えば」（38%）、次いで「専任の実習指導者を配置できれば」（31%）だった。受け入れ条件の中で上位 3 位までを聞いたところ、1 位が「勤

務助産師の数が増えれば」、2位が「勤務助産師や看護師の協力体制を整えれば」、3位が「専任の実習指導者を配置できれば」だった。

助産学生の実習が可能となる前提・受け入れ条件	回答施設数	率
勤務助産師の数が増えれば	116	38%
勤務助産師や看護師の協力体制を整えれば	116	38%
専任の実習指導者を配置できれば	97	31%
将来的に就職に結びつけば	74	24%
妊産褥婦の理解と協力が得られれば	71	23%
学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば	65	21%
学校用のロッカールームや寮の整備など物理的環境を整えれば	52	17%
産科医師の協力が得られれば	51	17%
正常分娩の件数が増えれば	40	13%
実習期間中の病院と学校側の連携や話し合いの機会が増えれば	37	12%
助産学生がすでに看護師免許を有していれば	37	12%
その他	22	7%
看護手順の整備を整えれば	21	7%
実習費用手当が増額されれば	5	2%

- 助産実習の受け入れ状況は、年間6人だった。
- 勤務する診療所で助産学生の実習がさらに可能となる条件でもっとも多かったのが、「勤務助産師の数が増えれば」と「勤務助産師や看護師の協力体制を整えれば」(9%)、次いで「専任の実習指導者を配置できれば」(8%)だった。受け入れ条件の中で上位3位までを聞いたところ、1位が「勤務助産師の数が増えれば」、2位が「専任の実習指導者を配置できれば」、3位が「学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば」だった。

5. 分娩状況とケア

- 診療所調査票に有効回答した診療所204施設(有効回答率57.5%)の回答を分析対象とした。
- 昨年度の分娩件数は、85,060件で、帝王切開は10,728件(13%)、吸引分娩が6,508件(8%)、鉗子分娩が382件(0.4%)だった。
- 常勤助産師一人あたりの年間分娩介助件数は、平均65.5件だった。
- 母子同室の実施状況について、「完全母子同室(出産直後から24時間母子同室)」が43施設(21%)、「それ以外の母子同室(基本は24時間)」が123施設(60%)、「日中のみ、もしくは、夜間のみ」の母子同室が33施設(16%)、「母子異室(同室はしない)」が5施設(2%)だった。
- 現時点での院内助産の実施について、「実施あり」が12施設(6%)、「実施なし」が192施設(94%)だった。院内助産での通算分娩件数は9,349件だった。現在院内助産をやっていない施設で、「院内助産の導入希望あり」が36施設(20%)で、「導入希望なし」が140施設(80%)だった。

- 院内助産において助産師による超音波検査の実施については、「実施あり」が 31 施設（66％）で「実施なし」が 16 施設（34％）だった。
- 現時点での助産外来の実施について、「実施あり」が 50 施設（25％）、「実施なし」が 154 施設（75％）だった。現在助産外来を実施していない施設で、「助産外来の導入希望あり」が 53 施設（34％）、「導入希望なし」が 96 施設（62％）、「無回答」が 5 施設（4％）だった。
- 新人助産師の就職後 1 年以内における妊婦健診への関与は、「先輩助産師の妊婦健診を見学」が 10 施設（22％）、「先輩の指導のもと実施」が 17 施設（37％）、「見学も実施していない」が 13 施設（28％）、「その他」が 6 施設（13％）だった。

6. 職員状況

- 診療所調査票に有効回答した診療所 250 施設（有効回答率 70.4％）の回答を分析対象とした。
- 平成 24 年 8 月 1 日現在の平均職員数（産休、育休、休職中の職員を含む）は、「常勤産科医」が 2 人、「常勤看護師」が 4 人、「常勤准看護師」が 3 人、「常勤助産師」が 5 人、「常勤看護補助者」が 2 人、「非常勤産科医」が 2 人、「非常勤看護師」が 2 人、「非常勤准看護師」が 1 人、「非常勤助産師」が 3 人、「非常勤看護補助者」が 1 人、このうち「産休、育休、休暇中の常勤助産師」は 0.4 人だった。
- 常勤助産師の年齢階層別の人数は、「25 歳未満」が 33 人（2％）、「25—29 歳」が 146 人（11％）、「30—34 歳」が 223 人（17％）、「35—39 歳」が 236 人（18％）、「40—44 歳」が 241 人（18％）、「45—49 歳」が 175 人（13％）、「50—54 歳」が 156 人（12％）、「55—59 歳」が 71 人（5％）、「60 歳以上」が 54 人（4％）だった。
- 平成 23 年度の助産師の平均採用状況は、「助産師の採用予定数」が 1.4 人で、「実際の新卒助産師（助産師免許を取得して 1 年以内）の採用数」が 0.3 人、「実際の常勤助産師の採用数」が 0.7 人、「実際のパートタイム・非常勤の助産師の採用数」が 0.8 人だった。
- 平成 23 年度の常勤助産師の離職状況について、「助産師の退職者数」が平均 0.5 人、「離職率」は平均 12％だった。
- 看護職の主な勤務形態は、「三交代制」が 10 件（4％）、「変則三交代制」が 3 件（1％）、「二交代制」が 143 件（57％）、「変則二交代制」が 90 件（36％）、「三交代制、変則三交代制、二交代制、変則二交代制のミックス」が 5 件（2％）、「夜勤専従制あり」が 100 件（40％）、「当直制あり」が 75 件（30％）、「日中・夜間の両方で分娩時オンコール体制あり」が 43 件（17％）、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 58 件（23％）。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月間での、平均的な看護職の平均勤務者数は、平日（月—金）の 1 日平均、日勤は「助産師」が 2 人、「そのうち非常勤助産師数」が 1 人、「看護師（常勤・非常勤合わせて）」が 3 人、「准看護師（常勤・非常勤合わせて）」が 2 人、「看護補助者（常勤・非常勤合わせて）」が 2 人だった。交代制の場合の夜勤は、平均で「助産師」が 1 人、「そのうち非常勤助産師」が 0.4 人、「看護師（常勤・非常勤合わせて）」が 1 人、「准看護師（常勤・非常勤合わせて）」が 1 人、「看護補助者（常勤・非常勤合わせて）」が 0.2 人だった。当直体制の場合の夜勤は、平均で

「助産師」が1人、「そのうち非常勤助産師」が0.3人、「看護師（常勤・非常勤合わせて）」が1人、「准看護師（常勤・非常勤合わせて）」が1人、「看護補助者（常勤・非常勤合わせて）」が0.1人だった。オンコール体制の場合の夜勤は平均で、「助産師」が1人、「そのうち非常勤助産師」が0.3人、「看護師（常勤・非常勤合わせて）」が1人、「准看護師（常勤・非常勤合わせて）」が1人、「看護補助者（常勤・非常勤合わせて）」が0.2人だった。

- 平成24年7月の1カ月間における、助産師一人あたりの平均夜勤回数について、「就業規則上、夜勤時間」は1回平均14時間。平均回数は「三交代制の常勤助産師（夜間専従を除く）」では7回、「二交代制の常勤助産師」では8回、「当直制の常勤助産師」では5回、「分娩時オンコール回数」は平均5回だった。「三交代制の夜間専従の助産師」では3回、「二交代制の夜間専従の助産師」では5回、「当直制の夜間専従の助産師」では2回、「分娩時オンコール回数」は平均2回だった。

Ⅲ 調査結果（助産師調査）

1. 回収状況

回収総数は7,780名で、質問票を送付した21,437名の36%にあたる。

2. 勤務先の施設・配属先

- 勤務先の施設は、「病院（産科関連病棟）」が4,699人（60%）、「病院（MFICU）」が391人（5%）、「有床診療所（産科関連病棟）」が313人（4%）、「病院（産科外来）」が334人（4%）、「病院（NICU）」が317人（4%）、「有床診療所（産科外来）」が28人（0.4%）、「無床診療所（分娩取り扱いなし）」が30人（0.4%）、「助産所」が32人（0.4%）、「教育機関」が635人（8%）、「その他」が998人（13%）だった。
- 以下、有効回答であった助産師調査票のうち、教育機関に勤務している助産師155人（有効回答率24.4%）を分析対象とした。
 - 平成24年度の助産学生の1学年あたり定員数は「1—5人」が8件（5%）、「6—10人」が62件（40%）、「11—15人」が24件（16%）、「16—20人」が49件（32%）、「21—25人」が4件（3%）、「26—30人」が1件（1%）、「31人以上」が7件（5%）だった。「平均」は16人だった。
 - 実際の1学年あたり学生数は「1—5人」が15件（10%）、「6—10人」が57件（37%）、「11—15人」が21件（14%）、「16—20人」が43件（28%）、「21—25人」が5件（3%）、「26—30人」が1件（1%）、「31人以上」が13件（8%）だった。「平均」は18人だった。
 - 助産学生の常勤担当教員数は「0人」が0件（0%）、「1人」が0件（0%）、「2人」が9件（6%）、「3人」が42件（27%）、「4人」が37件（24%）、「5人」が39件（25%）、「6人」が21件（14%）、「7人」が4件（3%）、「8人」が2件（1%）、「9人」が1件（1%）、「10人以上」が0件（0%）だった。「平均」は4人だった。
 - 助産学生の非常勤担当教員数は「0人」が79件（51%）、「1人」が34件（22%）、「2人」が12件（8%）、「3人」が8件（5%）、「4人」が3件（2%）、「5人」が5件（3%）、「6人」が2件（1%）、「7人」が0件（0%）、「8人」が2件（1%）、「9人」が0件（0%）、「10人以上」が10件（7%）だった。「平均」は2人だった。
 - 助産学生の養成コースは、「助産師学校養成所」が54件（35%）、「短期大学専攻科」が3件（2%）、「大学」が72件（47%）、「大学専攻科・別科」が15件（10%）、「大学院」が11件（7%）だった。
 - 助産学生の実習先施設として、依頼している病院数は、「1施設」が14件（9%）、「2施設」が27件（17%）、「3施設」が28件（18%）、「4施設」が25件（16%）、「5施設」が18件（12%）、「6施設」が19件（12%）、「7施設」が10件（7%）、「8施設」が5件（3%）、「9施設」が4件（3%）、「10施設」が1件（0.6%）、「11施設以上」が4件（3%）だった。「平均」は4施設だった。

- 助産学生の実習先施設として、依頼している診療所数は、「0施設」が59件(38%)、「1施設」が36件(23%)、「2施設」が33件(21%)、「3施設」が12件(8%)、「4施設」が5件(3%)、「5施設」が4件(3%)、「6施設以上」が6件(4%)だった。「平均」は1施設だった。
- 助産学生の実習先施設として、依頼している助産所数は、「0施設」が24件(16%)、「1施設」が41件(27%)、「2施設」が32件(21%)、「3施設」が17件(11%)、「4施設」が17件(11%)、「5施設」が13件(8%)、「6施設以上」が11件(7%)だった。「平均」は3施設だった。

3. 助産師個人の背景

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）に勤務している助産師2,395人（有効回答率44.3%）の回答を分析対象とした。
- 現在の職位は、「看護部長」が4人(0.2%)、「看護副部長」が4人(0.2%)、「看護師長」が64人(3%)、「副看護師長」が371人(16%)、「スタッフ」が1,942人(81%)、「その他」が9人(0.4%)、「無回答」が1人(0.0%)だった。
- 雇用形態は、「正規の看護職員（フルタイム勤務：常勤）」が2,349人(98%)、「正規の看護職員（短時間勤務：常勤）」が22人(1%)、「それ以外の看護職員（臨時・派遣・契約・パート）」が24人(1%)だった。
- 転職経験の有無は、「経験なし」が1,440人(60%)、「経験あり」が949人(40%)だった。「転職経験あり」の中で現在の勤務先は「2施設目」が481人(51%)、「3施設目」が264人(28%)、「4施設目」が104人(11%)、「5施設目」が43人(5%)、「6施設目」が29人(3%)、「7施設以上」が11人(1%)だった。
- 看護師としての経験は、「あり」が1,067人(45%)、「なし」が1,293人(54%)だった。「看護師として経験あり」の中で経験年数は「1年未満」が70人(7%)、「1年以上—2年未満」が243人(23%)、「2年以上—3年未満」が150人(14%)、「3年以上—4年未満」が156人(15%)、「4年以上—5年未満」が87人(8%)、「5年以上—6年未満」が76人(7%)、「6年以上—7年未満」が68人(6%)、「7年以上—8年未満」が57人(5%)、「8年以上—9年未満」が27人(3%)、「9年以上—10年未満」が21人(2%)、「10年以上」が112人(11%)だった。「平均」で4年5カ月だった。
- 助産師としての経験年数は「1年未満」が120人(5%)、「1—5年」が780人(33%)、「6—10年」が509人(21%)、「11—15年」が345人(14%)、「15—20年」が283人(12%)、「21—25年」が191人(8%)、「26—30年」が118人(5%)、「31年以上」が49人(2%)だった。「平均」で11年だった。
- 他施設での助産師経験年数は「経験なし」が1,233人(52%)、「1年未満」が40人(2%)、「1—5年」が526人(22%)、「6—10年」が226人(9%)、「11—15年」が111人(5%)、「15—20年」が76人(3%)、「21—25年」が32人(1%)、「26—30年」が14人(1%)、「31年以上」が1人(0.0%)、「無回答」が136人(6%)だった。「平均」で3年だった。

- 現在の病棟での勤続年数は「1年未満」が197人(8%)、「1—5年」が1,093人(46%)、「6—10年」が440人(18%)、「11—15年」が224人(9%)、「16—20年」が160人(7%)、「21—25年」が83人(4%)、「26—30年」が44人(2%)、「31年以上」が18人(1%)、「無回答」が136人(6%)だった。「平均」で7年だった。
- 現在の配属先が希望通りかは、「希望通り」が2,249人(94%)、「希望通りではない」が139人(6%)だった。
- 現在の勤務先での配属先ローテーションの経験、は「あり」が837人(35%)、「なし」が1,539人(64%)だった。
- ローテーション先は、「産科関連病棟」が278人(33%)、「産科外来」が331人(40%)、「NICU」が213人(25%)、「MFICU」が149人(18%)、「内科」が133人(16%)、「外科」が91人(11%)、「ICU」が46人(6%)、「救命救急」が55人(7%)、「手術室」が63人(8%)、「その他」が209人(25%)だった。
- ローテーション先が希望通りかは、「希望通り」が331人(40%)、「希望通りではない」が490人(59%)だった。
- 1回のローテーション期間は、「3カ月以内」が147人(18%)、「3—6カ月」が95人(11%)、「6—9カ月」が41人(5%)、「9カ月—1年」が153人(18%)、「1—2年」が146人(17%)、「2—3年」が76人(9%)、「3—4年」が37人(4%)、「4年以上」が51人(6%)、「無回答」が91人(11%)だった。「平均」で1年7カ月だった。
- 現在の勤務先を選択した理由でもっとも多かったのは、「自宅からの通勤の便が良い」(48%)、次いで「出身地と同じ都道府県である」(35%)、「職場の雰囲気や人間関係が良さそう」(31%)だった。また、上位3位までを聞いたところ、1位が「自宅からの通勤の便が良い」、2位が「その他」、3位が「出身地と同じ都道府県である」だった。

理由	人	率	理由	人	率
自宅から通勤の便が良い	1151	48%	育児・介護等と仕事が両立しやすい	223	9%
出身地と同じ都道府県である	846	35%	寮が完備されている	191	8%
職場の雰囲気や人間関係が良さそう	739	31%	看護管理者などの人柄がよい	166	7%
その他	658	27%	院内託児所がある	118	5%
福利厚生が良い	599	25%	看護部の理念に共感する	114	5%
研究・教育体制がしっかりしている	546	23%	医療事故・傷害事故対策がしっかりしている	112	5%
住みたいエリア(都道府県/市町村)である	525	22%	残業が少ない	103	4%
納得のできる看護ができそう	462	19%	夜勤回数が少ない	31	1%
休暇制度がしっかりしている	437	18%	特に理由はない	10	0%
給与水準が高い	405	17%	日勤のみの勤務である	4	0%
助産学生の時の実習先の施設である	287	12%			

- 現在の産科関連病棟で、この1年間の分娩介助件数は、「平均」26件で、「最多」は980件、「最少」は0件だった。

- 今までの（他施設での経験を含む）分娩介助件数は、「平均」333件で、「最多」は9000件、「最少」は0件だった。
- 助産師免許を取得した養成機関は、「助産師学校養成所」が1,298人（54%）、「短期大学専攻科」が492人（21%）、「大学」が476人（20%）、「大学専攻科・別科」が108人（5%）、「大学院」が21人（1%）だった。
- 助産学生/助産実習に対する臨床指導の経験は、「あり」が1,061人（44%）、「なし」が1,330人（56%）だった。
- 助産学生/助産実習に対する臨床指導の「経験あり」と答えた中で、臨床指導者としての経験年数は、「1—2年目」が376人（35%）、「3—4年目」が233人（22%）、「5—6年目」が154人（15%）、「7—8年目」が67人（6%）、「9—10年目」が86人（8%）、「11—14年目」が41人（4%）、「15—19年目」が51人（5%）、「20—29年目」が28人（%）、「30年目以上」が3人（0.3%）、「無回答」が22人（2%）だった。「平均」で5年目だった。
- 助産学生/助産実習に対する臨床指導の「経験あり」と答えた中で、臨床指導の担当者向け研修を受講した経験の有無（院内・院外研修を含む）は、「あり」が489人（46%）、「なし」が555人（52%）、「その他」が9人（1%）だった。
- 現在の勤務先で院外研修への参加経験（院外の新卒助産師研修や学会参加も含む）は、「あり」が2,001人（84%）、「なし」が366人（15%）だった。
- 現在の勤務先で院外研修への参加経験（院外の新卒助産師研修や学会参加も含む）について、「参加経験あり」と答えた中で、院外の研修参加費用の取り扱いは、「自費」が754人（38%）、「公費（勤務先の支払い）」が198人（10%）、「自費と公費の両方がある」が1,042人（52%）だった。
- 現在の勤務先で院外研修への参加経験（院外の新卒助産師研修や学会参加も含む）について、「参加経験あり」と答えた中で、院外の研修参加日の勤務扱いは、「年次有給休暇を利用」が700人（35%）、「日勤扱い」が237人（12%）、「有給休暇利用と日勤扱いの両方がある」が869人（43%）、「無回答」が195人（10%）だった。
- 院内・院外を問わず参加経験のある研修は、CTG（胎児心拍陣痛図）判読が1,193人（50%）、「NCP（新生児蘇生法）Aコース」が1,062人（44%）、「NCP（新生児蘇生法）Bコース」が795人（33%）、「ALS0（Advanced Life Support in Obstetrics）」が131人（6%）、「会陰縫合」が207人（9%）だった。
- 助産師に必要な技術の獲得として、勤務先の研修内容や回数に満足しているかは、「満足している」が906人（38%）、「満足していない」が1,448人（61%）だった。
- 『産婦人科診療ガイドライン 産科編 2011』を読んだことがあるかについて、「あり」が1,906人（80%）、「なし」が432人（18%）、「いま初めて『産婦人科診療ガイドライン』を聞いた」が47人（2%）だった。
- 勤務形態として該当するものは「三交代制」が1,245人（52%）、「変則三交代制（日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの）」が52人（2%）、「二交代制」が646人（27%）、

「変則二交代制（日勤・夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの）」が 416 人（17%）、「夜勤専従」が 13 人（1%）、「日勤のみ」が 34 人（1%）、「当直制（施設内で待機し、必要時に業務につく）」が 23 人（1%）、「日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり（自宅など緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につく）」が 64 人（3%）、「夜間のみ分娩時オンコール体制あり」が 178 人（7%）、「管理夜勤・当直」が 32 人（1%）だった。

- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、出勤日数は「平均」が 20、「最少」が 2 日、「最多」が 26 日だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、就業規則上、夜勤時間は「平均」が 8 時間、「最短」が 2 時間、「最長」が 16 時間だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、日勤の回数は「平均」が 11 回、「最少」が 0 回、「最多」が 22 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、日勤→深夜勤のシフトの回数は「平均」が 2 回、「最少」が 0 回、「最多」が 8 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、準夜勤の回数は「平均」が 4 回、「最少」が 0 回、「最多」が 16 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、準夜勤→日勤のシフトの回数は「平均」が 0.1 回、「最少」が 0 回、「最多」が 5 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、深夜勤の回数は「平均」が 4 回、「最少」が 0 回、「最多」が 11 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、深夜勤が 2 連続以上であった回数は「平均」が 1 回、「最少」が 0 回、「最多」が 8 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、三交代制・変則三交代制の場合、深夜勤が 3 連続以上であった回数は「平均」が 0.0 回、「最少」が 0 回、「最多」が 2 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況は二交代制・変則二交代制の場合、出勤日数は「平均」が 20 日、「最少」が 1 日、「最多」が 26 日だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、二交代制・変則二交代制の場合、就業規則上、夜勤時間は「平均」が 16 時間、「最短」が 7 時間、「最長」が 21 時間だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、二交代制・変則二交代制の場合、日勤の回数は「平均」が 11 回、「最少」が 0 回、「最多」が 23 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、二交代制・変則二交代制の場合、夜勤の回数は「平均」が 5 回、「最少」が 0 回、「最多」が 18 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、二交代制・変則二交代制の場合、夜勤が 2 連続以上であった回数は「平均」が 0.4 回、「最少」が 0 回、「最多」が 8 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、二交代制・変則二交代制の場合、夜勤が 3 連続以上であった回数は「平均」が 0.0 回、「最少」が 0 回、「最多」が 4 回だった。

- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況は夜勤専従の場合、出勤日数は「平均」が「13 日」、「最少」が「4 日」、「最多」が「22 日」だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況で当直ありの場合、当直回数は「平均」が 2 回、「最少」が 0 回、「最多」が 7 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況で夜間分娩時のオンコールありの場合、オンコール回数（待機含む）合計は「平均」が 4 回、「最少」が 0 回、「最多」が 7 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況で夜間分娩時のオンコールありの場合、呼び出しに応じた回数は「平均」が 1 回、「最少」が 0 回、「最多」が 8 回だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、夜勤での休憩時間は「就業規則上では平均」77 分とれることになっており、「最短」は 1 分、「最長」は 240 分だった。
- 夜勤での休憩時間の平均的な取得状況は「いつも規定通り取得している」が 69 人（3%）、「ほぼ規定通り取得している」が 1,039 人（43%）、「ときどきは規定通り取得できる」が 816 人（34%）、「ほとんど規定通り取得できない」が 471 人（20%）だった。
- 夜勤・交代制勤務の勤務計画表に対する満足度は「満足している」が 1,215 人（51%）、「満足していない」が 1,143 人（48%）だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 か月間の時間外労働時間（超過勤務の有無）は「あり」が 2,232 人（93%）、「なし」が 163 人（7%）だった。
- 平成 24 年 7 月の 1 カ月の実際の勤務状況について、実際に行った時間外労働の時間数は「平均」で 13 時間、「最短」は 1 時間、「最長」は 152 時間だった。
- 昨年度の年次有給休暇の取得状況は「すべて取得した」が 60 人（3%）、「8 割程度は取得した」が 170 人（7%）、「半分程度は取得した」が 567 人（24%）、「2 割程度は取得した」が 800 人（33%）、「ほとんど取得していない」が 798 人（33%）だった。
- 直近 1 年間にヒヤリ・ハットを起こした経験は、「あり」が 987 人（41%）、「なし」が 1,408 人（59%）だった。
- 現在の健康状態について自覚症状があるものは、「頭痛」が 857 人（36%）、「肩こり」が 1,513 人（63%）、「手足の関節痛」が 219 人（9%）、「腰痛」が 1,079 人（45%）、「疲れ目」が 952 人（40%）、「高血圧」が 123 人（5%）、「不整脈」が 156 人（7%）、「月経不順」が 374 人（16%）、「便通異常」が 494 人（21%）、「憂鬱感」が 420 人（18%）、「倦怠感」が 1,022 人（43%）、「睡眠障害」が 331 人（14%）、「慢性的な睡眠不足」が 574 人（24%）、「胃の調子が悪い」が 322 人（13%）、「食欲不振」が 71 人（3%）、「特に自覚症状はない」が 193 人（8%）だった。
- 自身の健康状態を、全体としてどのように思うかは、「非常に健康である」が 88 人（4%）、「まあ健康である」が 1,589 人（66%）、「やや不調である」が 596 人（25%）、「非常に不調である」が 82 人（3%）、「どちらともいえない」が 40 人（2%）だった。
- 現在の勤務先での、就業継続意思是、「現在勤務している産科関連病棟で働きたい」が 1,877 人（78%）、「現在勤務している病院の、産科外来で助産師として働きたい」が 81 人（3%）、

「現在勤務している病院の、ほかの病棟で看護師として働きたい」が 94 人 (4%)、「現在勤務している病院からの退職を考えている」が 703 人 (29%) だった。

- 「現在勤務している産科関連病棟で働きたい」中の内訳は、「ずっと働きたい」が 655 人 (35%)、「期限を決めて働きたい」が 1,106 人 (59%)、「無回答」が 116 人 (6%) だった。
- 「現在勤務している産科関連病棟で期限を決めて働きたい」中で期限の「平均」は 4 年、「最短」は 0.5 年、「最長」は 20 年だった。
- 「現在勤務している病院からの退職を考えている」中で、現在、転職先を探しているかについては「助産師で探している」が 257 人 (37%)、「看護師で探している」が 34 人 (5%)、「看護職以外で探している」が 26 人 (4%)、「具体的には探していない (今後探す予定である)」が 312 人 (44%)、「ナースバンクに登録している」が 35 人 (5%)、「進学を考えている」が 49 人 (7%)、「助産教員で探している」が 19 人 (3%)、「転職の予定はない (結婚・出産など)」が 121 人 (17%) だった。

4. 勤務先の施設概要

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院 (産科関連病棟)、病院 (MFICU)、有床診療所 (産科関連病棟) に勤務している助産師 4,868 人 (有効回答率 90.1%) の回答を分析対象とした。
- 回答のあった助産師が勤務している施設の都道府県別所在地は、「大阪府」の 420 施設が最多で、次いで「東京都」の 329 施設、「愛知県」の 275 施設だった。

都道府県名	施設数	都道府県名	施設数	都道府県名	施設数	都道府県名	施設数
大阪府	420	新潟県	108	山形県	76	三重県	52
東京都	329	山口県	106	群馬県	76	宮崎県	49
愛知県	275	栃木県	104	島根県	76	鳥取県	48
北海道	266	広島県	104	香川県	76	山梨県	46
神奈川県	210	岡山県	95	石川県	73	福井県	45
兵庫県	186	京都府	92	奈良県	67	長崎県	45
長野県	170	和歌山県	85	茨城県	64	高知県	38
静岡県	163	福島県	83	秋田県	61	大分県	34
福岡県	153	滋賀県	82	熊本県	58	愛媛県	32
宮城県	124	富山県	80	岩手県	57	徳島県	30
埼玉県	119	岐阜県	79	沖縄県	53	佐賀県	29
千葉県	119	鹿児島県	79	青森県	52		

- 勤務先について設置主体・開設者は「国 (厚生労働省)」が 15 件 (0.3%)、「独立行政法人国立病院機構」が 289 件 (6%)、「国立大学法人」が 206 件 (4%)、「独立行政法人労働者健康福祉機構」が 70 件 (1%)、「国 (その他の独立行政法人)」が 22 件 (1%)、「地方独立行政法人」が 246

件(5%)、「都道府県」が309件(6%)、「市町村」が904件(19%)、「日本赤十字社」が442件(9%)、「済生会」が162件(3%)、「北海道社会事業協会」が6件(0.1%)、「全国厚生農業協同組合連合会(厚生連)」が266件(6%)、「国民健康保険団体連合会」が2件(0.0%)、「全国社会保険協会連合会」が94件(2%)、「厚生年金事業振興団」が22件(1%)、「船員保険会」が3件(0.1%)、「健康保険組合およびその連合会」が30件(1%)、「共済組合およびその連合会」が123件(3%)、「国民健康保険組合」が11件(0.2%)、「医療法人」が751件(15%)、「私立学校法人」が340件(7%)、「その他の法人」が176件(4%)、「会社」が47件(1%)、「医師会」が10件(0.2%)、「社会福祉法人」が104件(2%)、「医療生協」が39件(1%)、「個人」が108件(2%)、「その他」が71件(2%)だった。

- 病院、診療所全体の許可病床数(一般病棟)は、「19床以下」が299件(6%)、「20—99床」が157件(3%)、「100—199床」が300件(6%)、「200—299床」が533件(11%)、「300—399床」が844件(17%)、「400—499床」が749件(15%)、「500—599床」が579件(12%)、「600—699床」が479件(10%)、「700—799床」が314件(7%)、「800—899床」が193件(4%)、「900—999床」が134件(3%)、「1000床以上」が287件(6%)だった。
- 病院勤務の中で、勤務先の病院は、「単科病院」が173件(4%)、「総合病院など複数の診療科を有する病院」が3,544件(78%)、「地域医療支援病院」が864件(19%)、「特定機能病院」が875件(19%)だった。
- 病院勤務の中で、病院機能は、「総合周産期母子医療センター」が1,012件(22%)、「地域周産期母子医療センター」が1,317件(29%)、「それ以外の病院」が2,240件(49%)だった。
- 病院機能が「総合周産期母子医療センター」の中でMFICUの病床数は「平均」が7床、「最少」は0床、「最多」は35床だった。
- 一般病棟の入院基本料の算定状況は、「7対1」が3,965件(87%)、「10対1」が591件(13%)、「13対1」が8件(0.2%)、「15対1」が5件(0.1%)だった。

5. 平成24年8月1日現在の病棟概要

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院(産科関連病棟)、病院(MFICU)、有床診療所(産科関連病棟)に勤務している助産師3,949人(有効回答率73.1%)の回答を分析対象とした。
- 病棟の診療科状況について、「産科単独病棟」が1,403件(36%)、「産科と婦人科のみの混合病棟」が790件(20%)、「産婦人科以外の診療科も含む混合病棟」が1,756件(45%)だった。
- 病棟の病床数は産科単独病棟の場合、「平均」32床、「最少」は3床、「最多」は118床だった。
- 病棟の病床数は産科と婦人科のみの混合病棟の場合、「平均」39床、「最少」は5床、「最多」は161床だった。
- 病棟の病床数は産婦人科以外の診療科も含む混合病棟の場合、「平均」19床、「最少」は1床、「最多」は96床だった。
- 初妊婦の自然分娩での入院日数は、「平均」6日、「最短」は2日、「最長」は13日だった。

- 平成 24 年 8 月 1 日時点の勤務している産科関連病棟の看護職員数（常勤）は助産師が「平均」22 人、「最少」0 人、「最多」150 人、看護師が「平均」9 人、「最少」0 人、「最多」334 人、准看護師が「平均」1 人、「最少」0 人、「最多」25 人、看護補助者（クラーク除く）が「平均」2 人、「最少」0 人、「最多」39 人だった。
- 平成 24 年 8 月 1 日時点の勤務している産科関連病棟の看護職員のうち、「産休、育休、休職、長期研修中の常勤助産師数」は平均 1 人だった。
- 医師数について常勤の平均人数は「男性産科医」が 4 人、「女性産科医」が 3 人、「小児科医（新生児科医含む）」が 6 人だった。非常勤の平均人数は「男性産科医」が 1 人、「女性産科医」が 1 人、「小児科医（新生児科医含む）」が 1 人だった。
- 今年度の新卒（平成 24 年度免許取得者）病棟勤務の平均人数は「新卒助産師」が 2 人、「新卒看護師」が 1 人、「新卒准看護師」が 0.0 人だった。
- 昨年度、開始時点（平成 23 年 4 月時点）の産科関連病棟の看護職員の平均人数は「助産師」が 20 人、「看護師」が 8 人、「准看護師」が 1 人だった。
- 昨年度（平成 23 年 4 月—24 年 3 月）の産科関連病棟の退職者の平均人数は「助産師」が 2 人、「看護師」が 1 人、「准看護師」が 0.1 人だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について三交代制の準夜勤手当は「あり」が 2,009 件（92%）、「なし」が 102 件（5%）、「無回答」が 84 件（4%）だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について三交代制の深夜勤手当は「あり」が 2,054 件（94%）、「なし」が 63 件（3%）、「無回答」が 76 件（4%）だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について二交代制の夜勤手当は「あり」が 1,859 件（93%）、「なし」が 54 件（3%）、「無回答」が 92 件（5%）だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当について当直制（非管理職）の夜勤手当は「あり」が 142 件（68%）、「なし」が 35 件（17%）、「無回答」が 32 件（15%）だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当についてオンコール制の待機手当（オンコールの呼び出しに応じなくても支払われる手当）は「あり」が 502 件（62%）、「なし」が 208 件（26%）、「無回答」が 99 件（12%）だった。
- 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当についてオンコール制の夜勤手当（オンコールの呼び出しに応じた場合に支払われる手当）は「あり」が 584 件（72%）、「なし」が 80 件（10%）、「無回答」が 145 件（18%）だった。
- 常時、分娩室担当の助産師を配置しているか（分娩オンコール体制を除く）については「昼間」について「している」が 3,479 件（88%）、「していない」が 470 件（12%）だった。また、配置している場合、常時、原則平均 2 人配置していた。
- 常時、分娩室担当の助産師を配置しているか（分娩オンコール体制を除く）については「夜間」について「している」が 3,072 件（78%）、「していない」が 877 件（22%）だった。また、配置している場合、常時、原則平均 1 人配置していた。

- 正常分娩の第2期に、1人の産婦に看護職は原則として何人が介助に入るか(常勤・非常勤含む、直接介助・間接介助・外回りを含む)については、1人の産婦の正常分娩につき平均で「助産師」が2人、「看護師」が1人、「准看護師」が0.1人、「看護補助者」が0.0人だった。
- 通常、1勤務帯における夜勤人数(助産師・看護師・准看護師すべてを含む)は三交代・変則三交代(深夜勤)の場合、「1人」が29人(0.7%)、「2人」が276人(7%)、「3人」が1,109人(28%)、「4人」が504人(13%)、「5人以上」が292人(7%)、「無回答」が1,739人(44%)だった。
- 通常、1勤務帯における夜勤人数(助産師・看護師・准看護師すべてを含む)は二交代・変則二交代(夜勤)の場合、「1人」が62人(2%)、「2人」が367人(9%)、「3人」が720人(18%)、「4人」が424人(11%)、「5人以上」が432人(11%)、「無回答」が1944人(49%)だった。
- 通常、1勤務帯における夜勤人数(助産師・看護師・准看護師すべてを含む)は二交代・変則二交代(夜勤)の場合、「5人以上」の内訳は「5人」が163人(38%)、「6人」が55人(13%)、「7人」が126人(29%)、「8人」が15人(4%)、「9人」が3人(1%)、「11人」が1人(0.2%)、「13人」が22人(5%)、「無回答」が47人(11%)だった。
- 通常、1勤務帯における夜勤人数のうち、助産師の数は「0人」が20人(0.5%)、「1人」が1,412人(36%)、「2人」が968人(25%)、「3人」が534人(14%)、「4人」が307人(8%)、「5人」が178人(5%)、「6人以上」が151人(4%)、「無回答」が379人(10%)だった。

6. 分娩状況とケア

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院(産科関連病棟)、病院(MFICU)、有床診療所(産科関連病棟)に勤務している助産師3,774人(有効回答率69.9%)の回答を分析対象とした。
- 昨年度の年間分娩件数は「0件」が5件(0.1%)、「1—100件」が149件(4%)、「101—300件」が803件(21%)、「301—500件」が920件(24%)、「501—800件」が1,013件(27%)、「801—1000件」が408件(11%)、「1001—1500件」が303件(8%)、「1501—2000件」が141件(4%)、「2001件以上」が32件(1%)だった。「平均」は603件だった。
- 昨年度の年間分娩のうち、帝王切開術数は「0件」が14件(0.4%)、「1—100件」が1,564件(41%)、「101—300件」が1,705件(45%)、「301—500件」が344件(9%)、「501—800件」が147件(4%)だった。「平均」は162件だった。
- 妊娠期からの継続受け持ち制(外来通院中から助産師が受け持っているプライマリーナース制、母親学級での継続担当は含まない)は「あり」が701件(19%)、「なし」が2,794件(74%)、「その他」が262件(7%)だった。
- 母子同室の実施状況は「完全母子同室(出生直後から24時間母子同室)」が597件(16%)、「それ以外の母子同室(基本は24時間)」が2,569件(68%)、「日中のみ、もしくは、夜間のみ母子同室」が383件(10%)、「母子異室(同室はしない)」が225件(6%)だった。
- 母子同室の実施状況が「出生直後から24時間母子同室以外の母子同室(基本は24時間)」、「日中のみ、もしくは、夜間のみ母子同室」のうち母子同室の開始時期は「出生後数時間から」が

1,095件(37%)、「出生1日目から」が1,578件(54%)、「それ以降」が219件(7%)、「無回答」が60件(2%)だった。

- 母乳外来の有無は「あり」が3,060件(81%)、「なし」が702件(19%)だった。
- 母乳外来が「あり」の場合、担当部署は「病棟」が1,512件(49%)、「外来」が696件(23%)、「病棟と外来の両方」が794件(26%)、「その他」が31件(1%)だった。
- 母乳外来が「あり」の場合、担当職種は「助産師」が2,818件(92%)、「看護師」が5件(0.2%)、「助産師と看護師の両方」が155件(5%)、「その他」が6件(0.2%)、「無回答」が76件(3%)だった。
- 新生児訪問の有無は「あり」が261件(7%)、「なし」が3,494件(93%)だった。
- 新生児訪問が「あり」の場合、担当部署は「病棟」が153件(59%)、「外来」が29件(11%)、「病棟と外来の両方」が49件(19%)、「その他」が25件(10%)、「無回答」が5件(2%)だった。
- 新生児訪問が「あり」の場合、担当職種は「助産師」が204件(78%)、「看護師」が8件(3%)、「助産師と看護師の両方」が27件(10%)、「その他」が11件(4%)、「無回答」が11件(4%)だった。
- 外来での出産準備教育(集団)の有無は「あり」が3,623件(96%)、「なし」が142件(4%)だった。
- 外来での出産準備教育(集団)がある場合、実施状況は「助産師が講義等を担当」が3,318件(92%)、「看護師が講義等を担当」が0件(0.0%)、「助産師と看護師の両方が担当」が269件(7%)、「その他の職種が担当」が725件(20%)、「DVDの視聴のみを実施」が0件(0.0%)だった。
- 下記の行為の中で助産師が実施することのもっとも多い業務は「分娩第1期におけるケア」3761件(99.7%)、次いで「分娩監視装置の装着」3747件(99%)、「分娩第2期におけるケア」3741件(99%)だった。

	1 番目	2 番目	3 番目
分娩第1期におけるケア	3761	9	3
	99.7%	0.2%	0.1%
分娩監視装置の装着	3747	21	3
	99.4%	0.6%	0.1%
分娩第2期におけるケア	3741	30	1
	99.2%	0.8%	0.0%
褥婦への乳房マッサージ	3705	58	5
	98.3%	1.5%	0.1%
陣痛促進剤や誘発時の点滴管理	3614	146	1
	96.1%	3.9%	0.0%
分娩監視装置を外す判断	3574	189	1
	95.0%	5.0%	0.0%

	1 番目	2 番目	3 番目
褥婦へのケア（乳房マッサージ以外）	3501	208	52
	93.1%	5.5%	1.4%
夜勤帯での、陣痛発来時の入院判断	3413	203	7
	94.2%	5.6%	0.2%
夜勤帯での入院に際して、電話での来院指示	3397	274	15
	92.2%	7.4%	0.4%
妊婦へのケア（切迫流早産など）	3326	342	92
	88.5%	9.1%	2.4%
正常新生児のケア	3195	490	72
	85.0%	13.0%	1.9%
日勤帯での入院に際して、電話での来院指示	2808	675	41
	79.7%	19.2%	1.2%
日勤帯での、陣痛発来時の入院判断	1915	1304	13
	59.3%	40.3%	0.4%
小児科医が不在の分娩時における、新生児に対する緊急蘇生	1491	1991	69
	42.0%	56.1%	1.9%

- 下記の行為の中で看護師が実施することのもっとも多い業務は「正常新生児のケア」669件（23%）、次いで「妊婦へのケア（切迫流早産など）」483件（18%）、「褥婦へのケア（乳房マッサージ以外）」340件（14%）だった。

	1 番目	2 番目	3 番目
正常新生児のケア	669	2187	13
	23.3%	76.2%	0.5%
妊婦へのケア（切迫流早産など）	483	2155	9
	18.2%	81.4%	0.3%
褥婦へのケア（乳房マッサージ以外）	340	2139	12
	13.6%	85.9%	0.5%
日勤帯での入院に際して、電話での来院指示	179	1231	368
	10.1%	69.2%	20.7%
小児科医が不在の分娩時における、新生児に対する緊急蘇生	123	558	1175
	6.6%	30.1%	63.3%
褥婦への乳房マッサージ	100	1572	9
	5.9%	93.5%	0.5%
夜勤帯での入院に際して、電話での来院指示	79	1433	257
	4.5%	81.0%	14.5%

	1 番目	2 番目	3 番目
分娩監視装置の装着	53	1951	52
	2.6%	94.9%	2.5%
日勤帯での、陣痛発来時の入院判断	34	529	383
	3.6%	55.9%	40.5%
夜勤帯での、陣痛発来時の入院判断	29	840	200
	2.7%	78.6%	18.7%
分娩監視装置を外す判断	28	953	334
	2.1%	72.5%	25.4%
分娩第1期におけるケア	19	1118	10
	1.7%	97.5%	0.9%
陣痛促進剤や誘発時の点滴管理	16	478	141
	2.5%	75.3%	22.2%
分娩第2期におけるケア	6	508	208
	0.8%	70.4%	28.8%

- 下記の行為の中で准看護師が実施することのもっとも多い業務は「正常新生児のケア」81件（13%）、次いで「妊婦へのケア（切迫流早産など）」69件（11%）、「褥婦へのケア（乳房マッサージ以外）」58件（10%）だった。

	1 番目	2 番目	3 番目
正常新生児のケア	81	138	427
	12.5%	21.4%	66.1%
妊婦へのケア（切迫流早産など）	69	131	423
	11.1%	21.0%	67.9%
褥婦へのケア（乳房マッサージ以外）	58	129	384
	10.2%	22.6%	67.3%
分娩監視装置の装着	18	82	314
	4.3%	19.8%	75.8%
日勤帯での入院に際して、電話での来院指示	17	62	202
	6.0%	22.1%	71.9%
夜勤帯での入院に際して、電話での来院指示	15	76	245
	4.5%	22.6%	72.9%
褥婦への乳房マッサージ	15	67	254
	4.5%	19.9%	75.6%
分娩監視装置を外す判断	11	39	171
	5.0%	17.6%	77.4%

	1 番目	2 番目	3 番目
夜勤帯での、陣痛発来時の入院判断	9	48	166
	4.0%	21.5%	74.4%
分娩第 1 期におけるケア	9	66	199
	3.3%	24.1%	72.6%
小児科医が不在の分娩時における、新生児に対する緊急蘇生	9	28	99
	6.6%	20.6%	72.8%
日勤帯での、陣痛発来時の入院判断	8	25	87
	6.7%	20.8%	72.5%
陣痛促進剤や誘発時の点滴管理	6	29	101
	4.4%	21.3%	74.3%
分娩第 2 期におけるケア	3	34	121
	1.9%	21.5%	76.6%

- 下記の行為の中で産科医が実施することのもっとも多い業務は「小児科医が不在の分娩時における、新生児に対する緊急蘇生」2,216 件（72%）、次いで「日勤帯での、陣痛発来時の入院判断」1,846 件（78%）、「日勤帯での入院に際して、電話での来院指示」824 件（54%）だった。

	1 番目	2 番目	3 番目
小児科医が不在の分娩時における、新生児に対する緊急蘇生	2216	715	153
	71.9%	23.2%	5.0%
日勤帯での、陣痛発来時の入院判断	1846	434	79
	78.3%	18.4%	3.3%
日勤帯での入院に際して、電話での来院指示	824	490	209
	54.1%	32.2%	13.7%
夜勤帯での、陣痛発来時の入院判断	354	803	136
	27.4%	62.1%	10.5%
夜勤帯での入院に際して、電話での来院指示	338	586	235
	29.2%	50.6%	20.3%
分娩監視装置を外す判断	213	1152	161
	14.0%	75.5%	10.6%
陣痛促進剤や誘発時の点滴管理	165	900	101
	14.2%	77.2%	8.7%
分娩第 2 期におけるケア	43	994	98
	3.8%	87.6%	8.6%
分娩監視装置の装着	15	184	163
	4.1%	50.8%	45.0%

- 会陰裂傷縫合の実施状況は「産科医のみが実施する（助産師は一切、実施しない）」が 3,638 件（96%）、「状況によっては、産科医の立ち会いのもとで、助産師が実施することがある」が 87 件（2%）、「状況によっては、産科医の立ち会いがなくても、助産師が実施することがある」が 49 件（1%）だった。
- 助産師による会陰裂傷縫合の実施についての意見は「産科医のみが実施した方がよいと思う（助産師は一切、実施しない方がよい）」が 1,794 人（48%）、「状況によっては、産科医の立ち会いのもとで、助産師が実施してもよいと思う」が 1,143 人（30%）、「状況によっては、産科医の立ち会いがなくても、助産師が実施してもよいと思う」が 685 人（18%）、「その他」が 95 人（3%）、「無回答」57 人（2%）だった。

7. 院内助産システム

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）に勤務している助産師 5,213 人（有効回答率 96.5%）の回答を分析対象とした。
- 現時点での、勤務先での院内助産の実施の有無は「あり」が 730 件
- （14%）、「なし」が 4,483 件（86%）だった。
- 院内助産「あり」の場合、開始時期はもっとも多かったのが、「平成 23 年」で 147 件（20%）、次いで「平成 21 年」で 110 件（15%）「平成 22 年」で 95 件（13%）だった。
- 院内助産「あり」の場合、現時点までの、院内助産での通算分娩数は「0 件」が 7 件（1%）、「1—100 件」が 320 件（44%）、「101—300 件」が 85 件（12%）、「301—500 件」が 23 件（3%）、「501—800 件」が 47 件（6%）、「801—1000 件」が 15 件（2%）、「1001—1500 件」が 9 件（1%）、「1501—2000 件」が 0 件（0.0%）「2001 件以上」が 2 件（0.3%）、「無回答」が 222 件（31%）だった。「平均」は 221 件だった。
- 院内助産「なし」の中で、勤務先としての院内助産の導入希望は「導入希望あり」が 1,716 件（38%）、「導入希望なし」が 2,237 件（50%）、「無回答」が 530 件（12%）だった。
- 院内助産「なし」の中で、勤務先としての院内助産の「導入希望あり」の中で「実施予定である（実施が決まっている）」が 121 件（7%）、「実施の準備中（実施はまだ確定していない）」が 415 件（24%）、「実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある」が 1,111 件（65%）、「無回答」が 69 件（4%）だった。
- 院内助産「なし」の中で、勤務先の状況に関係なく、助産師本人の希望としては「院内助産導入希望あり」が 949 人（42%）、「院内助産導入希望なし」が 1,190 人（53%）、「無回答」が 98 件（4%）だった。
- 現時点での、勤務先での助産外来の実施の有無は「あり」が 3,014 件（58%）、「なし」が 2,199 件（42%）だった。
- 助産外来「あり」の中で、開始時期でもっとも多かったのは「平成 21 年」で 387 件（13%）、次いで「平成 22 年」で 351 件（12%）、「平成 23 年」で 311 件（10%）だった。

- 助産外来「あり」の中で、助産師による超音波検査の実施の有無は「あり」が1,955件(65%)、「なし」が882件(29%)、「無回答」が177件(6%)だった。
- 助産外来「あり」の中で、新任助産師の就職後1年以内における妊婦健診への関与について、「先輩助産師の妊婦健診を見学」が446件(15%)、「先輩の指導のもと、実施」が406件(14%)、「見学も実施もしていない」が1,815件(60%)、「その他」が122件(4%)だった。
- 助産外来「なし」の中で、勤務先としての助産外来の導入希望は「導入希望あり」が1,101件(50%)、「導入希望なし」が913件(42%)、「無回答」が185件(8%)だった。
- 助産外来「なし」の中で、勤務先としての助産外来の「導入希望あり」の中で「実施予定である(実施が決まっている)」が134件(12%)、「実施の準備中(実施はまだ確定していない)」が311件(28%)、「実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある」が612件(56%)、「無回答」が44件(4%)だった。
- 助産外来「なし」の中で、勤務先の状況に関係なく、助産師本人の希望としては「助産外来導入希望あり」が1,405人(64%)、「助産外来導入希望なし」が580人(26%)、「無回答」が214人(10%)だった。

8. 助産師の新卒・現任教育と学生実習

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院(産科関連病棟)、病院(MFICU)、有床診療所(産科関連病棟)に勤務している助産師4,589人(有効回答率84.9%)の回答を分析対象とした。
- 看護師のクリニカルラダーとは別に、助産師に特化したクリニカルラダーの有無は、「あり」が761件(17%)、「現在作成中」が595件(13%)、「なし」が3,233件(71%)だった。
- クリニカルラダー「あり」の場合、自分のクリニカルラダーレベルは「レベル0」が17人(0.4%)、「レベル1」が334人(7%)、「レベル2」が631人(14%)、「レベル3」が634人(14%)、「レベル4」が463人(10%)、「レベル5以上」が93人(2%)、「無回答」が2,417人(53%)だった。
- 助産師に特化した教育目標の有無は、「あり」が1,804件(39%)、「現在作成中」が614件(13%)、「なし」が2,171件(47%)だった。
- 産科関連病棟への教育担当者の配置有無は、「配置あり」が2,908件(63%)、「配置なし」が1,681件(37%)だった。
- 助産師に対する新任研修の実施状況として、「院内で助産師に特化した新件研修がある」が578件(13%)、「都道府県看護協会や他の病院などと、合同で新件助産師研修を実施している」が919件(20%)、「今年度は助産師に特化した新件研修を実施していないが、次年度以降は実施予定である」が44件(1%)、「助産師に特化した新件研修はない(看護職としての新件研修に参加している)」が3,086件(67%)、「看護職としても、助産師としても、院内での新件研修はない」が170件(4%)、「プリセプターシップ、メンターシップ、エルダー制などがある」が2,883件(63%)だった。

- 助産師の育成を目的とした、定期的な面接の実施の有無は、「あり」が 2,244 件 (49%)、「なし」が 2,345 件 (51%) だった。
- 助産師の育成を目的とした、定期的な面接の実施が「あり」の中で、「年間面接回数の平均」は 2 回だった。
- 助産師の育成を目的とした、定期的な面接において助産師本人以外の出席者は「看護師長」が 1,880 人 (84%)、「先輩助産師」が 446 人 (20%)、「同期・後輩の助産師」が 103 人 (5%)、「その他」が 152 人 (7%) だった。
- 看護学生・助産学生の実習受け入れの有無について、「母性看護学実習の受け入れあり」が 3,899 件 (85%)、「助産実習の受け入れあり」が 2,945 件 (64%)、「実習の受け入れはしていない」が 313 件 (7%) だった。
- 看護学生・助産学生の実習受け入れについて「母性看護学実習の受け入れあり」とした中では「受け入れ校数の年間平均」が 3 校、「1 回あたりの受け入れ学生数」は平均 6 人だった。
- 看護学生・助産学生の実習受け入れについて「助産実習の受け入れあり」とした中では「受け入れ校数の年間平均」が 1 校、「1 回あたりの受け入れ学生数」は平均 3 人だった。

9. 産科混合病棟

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）に勤務している助産師で、産科混合病棟に勤務する 3,085 人（有効回答率 89.1%）の回答を分析対象とした。
- 産科以外の診療科名称は「婦件科」が 2,843 件 (92%)、「小児科」が 1,255 件 (40%)、「内科」が 1,226 件 (40%)、「外科」が 800 件 (26%)、「整形外科」が 792 件 (26%)、「脳神経外科」が 273 件 (9%)、「耳鼻咽喉科」が 441 件 (14%)、「泌尿器科」が 375 件 (12%)、「眼科」が 604 件 (20%)、「歯科口腔外科」が 218 件 (7%)、「皮膚科」が 260 件 (8%)、「その他」が 458 件 (15%) だった。
- 産科混合病棟で、助産師は産科と他科患者を同時に受け持つかについて、「常に他科診療科の患者は受け持たない」が 762 件 (25%)、「同時に受け持つ」が 1,970 件 (64%)、「分娩介助の時のみ、他科の患者は受け持たない」が 548 件 (18%)、「分娩第 1 期の患者が入院した時点で、他科の患者は受け持たない」が 221 件 (7%)、「その他」が 138 件 (4%) だった。
- 産科患者の入院先病室の決定方法について、「産科患者は基本的に個室へ入院」が 338 件 (11%)、「産科患者のみの病室へ入院（他科患者とは別室）」が 1,472 件 (48%)、「他科の患者と同室」が 1,275 件 (41%) だった。
- 産科患者の入院先病室が他科の患者と同室の場合、その頻度は「常に」が 150 件 (12%)、「ときどき」が 732 件 (57%)、「ごくまれに」が 384 件 (30%) だった。
- 他科診療科の患者が産科混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準の有無は、「基準あり」が 2,731 件 (89%)、「基準なし」が 354 件 (12%) だった。

- 他科診療科の患者が産科混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準について、「基準あり」とした中で、そのルールや基準は「感染疑い・感染症者は除外する」が2,163件(79%)、「就学前の小児は除外する」が1,078件(40%)、「ターミナル期は除外する」が974件(36%)、「男性は除外する」が2,218件(81%)、「不穏・認知の症状がある患者は除外する」が1,024件(38%)、「クリニカルパス適応者のみ入院可」が83件(3%)、「その他」が311件(11%)だった。
- 他科診療科の患者が産科混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準について、「基準あり」とした中で、そのルールや基準が守られているレベルは、「完全に守っている」が1,292件(47%)、「ケースバイケースで入院患者を受け入れざるをえない」が1,092件(40%)、「ルールはあるが、緊急があれば入院を受け入れる」が345件(13%)、「ルールはあるが、ほとんど守られていない」が39件(1%)、「その他」が27件(1%)だった。

10. 助産師の出向

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）に勤務している助産師3,898人（有効回答率72.1%）の回答を分析対象とした。
- 現在、勤務している施設について他施設への出向経験の有無は、「現在、助産師が出向している」が200件(5%)、「以前は、助産師が出向していた（現在は出向なし）」が293件(8%)、「出向の経験はない」が3,272件(84%)、「助産師の出向経験はないが、看護師の出向経験はある」が133件(3%)だった。
- 現在、勤務している施設について他施設からの出向受け入れ経験の有無は「現在、助産師の出向を受け入れている」が131件(3%)、「以前は助産師の出向を受け入れていた（現在はなし）」が299件(8%)、「出向を受け入れたことはない」が3,343件(86%)、「助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある」が125件(3%)だった。
- 助産師本人の出向経験は「あり」が128人(3%)、「なし」が3,770人(97%)だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向した時期は「平均」が平成18年、「最古」が平成元年、「最新」が平成24年だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向した時の助産師経験年数は、「1—2年目」が28人(22%)、「3—4年目」が35人(32%)、「5—6年目」が18人(14%)、「7—8年目」が9人(7%)、「9—10年目」が9人(7%)、「11—14年目」が9人(7%)、「15—19年目」が8人(6%)、「20—29年目」が10人(8%)、「30年目以上」が2人(2%)だった。
- 助産師として出向経験があるうち、本人を含め出向した人数は、「病院」へ1年間でのべ364人出向しており、「診療所」へ1年間でのべ46人出向していた。
- 助産師として出向経験があるうち、1回の出向期間は「病院」へ出向経験がある助産師は「平均」7カ月、「最短」0.5カ月、「最長」36カ月、「診療所」へ出向経験がある助産師は「平均」6カ月、「最短」0.5カ月、「最長」12カ月だった。

- 出向先は「19床以下の病院」が26人(27%)、「20—99床の病院」が59人(61%)、「100—499床の病院」が1人(1%)、「500床以上の病院」が1人(1%)、「19床以下の診療所」が9人(9%)だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向先施設の所在地は、現在住んでいる都道府県と、「同じ都道府県内」が64人(50%)、「別の都道府県」が64人(50%)だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向に伴う引っ越しの有無は、「あり」が71人(60%)、「なし」が48人(40%)だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向元と出向先での給与差は、「増額」が28人(22%)、「同額」が83人(65%)、「減額」は17人(13%)だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向先での分娩介助件数は、病院へ出向経験がある助産師では「平均」34件、「最少」0件、「最多」500件、診療所へ出向経験がある助産師では「平均」32件、「最少」0件、「最多」102件だった。
- 助産師として出向経験があるうち、出向前の分娩介助件数は、病院へ出向経験がある助産師では「平均」92件、「最少」0件、「最多」1400件、診療所へ出向経験がある助産師では「平均」70件、「最少」0件、「最多」500件だった。
- 助産師として出向経験があるうち、機会があればまた他施設へ出向したいかは、「はい」が79人(62%)、「いいえ」が49人(38%)だった。
- 他施設へ出向するうえで必要になる条件・前提としてもっとも多かったのが、「出向先の施設に、常勤助産師が1人以上いること(看護師だけではないこと)」、次いで「給与が今よりも減額にならないこと」、「出向中の年月が、現在の勤務先での退職金の計算対象範囲に含まれること」だった。

条件	全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である
出向先は、病院であること（診療所ではないこと）	646	1322	984	614	332
出向先は、同じ都道府県内の施設であること	172	464	536	1075	1651
出向先は、通勤が可能な範囲であること（引っ越しは不要）	105	273	339	862	2319
出向期間が、1年以内であること	169	446	973	1181	1129
出向期間が、半年以内であること	235	599	1267	910	887
給与が、今よりも減額にならないこと	11	41	143	984	2719
出向中の年月が、現在の勤務先での退職金の計算対象範囲に含まれること	33	51	199	930	2685
出向先が寮を準備し、自分で2カ所の家賃を支払う必要がないこと	82	59	290	927	2540
出向先の施設での教育体制が整っていること	38	118	426	1362	1954
出向先の施設に、常勤助産師が1人以上いること（看護師だけではないこと）	26	56	164	895	2757
現在の勤務先から、同時に2人以上の助産師が出向できること（自分ひとりだけの出向ではないこと）	448	891	1415	705	439
自分ひとりだけの出向でも、過去に同僚助産師が出向していた経験があること	396	797	1319	984	402
出向先の施設で、正常分娩の直接介助が十分にあること	53	170	571	1602	1502
出向先の施設で、産科病棟だけではなく産科外来も含めて、妊娠期からの継続的なケアを実施できること	102	343	1242	1517	694
出向中の経験を、現在の勤務先に戻ってから評価する仕組み（例：クリニカルリーダーや人事考課）があること	92	266	1058	1616	866
出向することに、家族の理解と協力があること	58	125	372	1015	2328

- 助産師出向について「一定の条件が整えば、他施設への出向を検討してもよい」が3,079人(79%)、「どのような条件が整えられても、他施設へ出向することはできない」が819人(21%)だった。

11. 所属する助産チームについて

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）、教育機関に勤務している助産師 5,614 人（有効回答率 93.0%）の回答を分析対象とした。
- 所属する助産チームの様子について自身の実感にもっともあてはまる項目で、もっとも多いのは「同僚のスタッフの誰に対しても、気持ちよく挨拶を交わしている」4642人（83%：「非常にそう思う」と「そう思う」を合計）、次いで「スタッフは頼まれた仕事を確実にやり遂げる」4209人（75%）、「和やかな雰囲気がある」4161人（74%）だった。

		全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう 思う	非常に そう 思う
1. チームの目標を達成しようという意気込みがある	人	110	740	1118	3079	567
	率	2%	13%	20%	55%	10%
2. 和やかな雰囲気がある	人	110	438	905	2959	1202
	率	2%	8%	16%	53%	21%
3. 新しいことに積極的に取り組む姿勢がある	人	200	893	1469	2476	576
	率	4%	16%	26%	44%	10%
4. 同僚のスタッフが失敗をすると自分のことのようにゆううつになる	人	73	598	1756	2790	397
	率	1%	11%	31%	50%	7%
5. 皆が互いの長所をみとめあっている	人	118	612	1548	2884	452
	率	2%	11%	28%	51%	8%
6. 自分の担当以外のことについては口を出さないようにしている	人	452	2599	1765	717	81
	率	8%	46%	31%	13%	1%
7. 仕事を確実にを行うために必要な知識・技能が受け継がれている	人	116	880	1566	2824	228
	率	2%	16%	28%	50%	4%
8. 新人指導の際、手順を教えるだけでなく、根拠も教える	人	126	491	951	3233	813
	率	2%	9%	17%	58%	14%
9. 同僚のスタッフの誰に対しても、気持ちよく挨拶を交わしている	人	77	255	640	2994	1648
	率	1%	5%	11%	53%	29%
10. やって見なければわからないことでも前向きなことであれば支持	人	150	644	1497	2836	487
	率	3%	11%	27%	51%	9%
11. 実績やキャリアの違いにこだわらず、互いに切磋琢磨している	人	153	746	1659	2635	421
	率	3%	13%	30%	47%	7%

		全くそう思わない	あまりそう思わない	どちらでもない	そう思う	非常にそう思う
12. 職場を抜けて研修に参加することは気が引ける	人	1000	2425	1174	783	232
	率	18%	43%	21%	14%	4%
13. 他の病院で起きた事故事例をもとに学習している	人	376	1320	1665	2025	228
	率	7%	24%	30%	36%	4%
14. 仕事の進め方や患者のケアについての意見がくい違うことがある	人	62	1280	2156	1914	202
	率	1%	23%	38%	34%	4%
15. 自分の知識・技能を高めるための取り組みがなされている	人	141	766	1753	2713	241
	率	3%	14%	31%	48%	4%
16. スタッフは頼まれた仕事を確実にやり遂げる	人	30	285	1090	3625	584
	率	1%	5%	19%	65%	10%
17. 安全もさることながら、仕事の効率性を重視している	人	121	891	1971	2378	253
	率	2%	16%	35%	42%	5%
18. 他者の経験から学ぶという姿勢に価値がおかれている	人	104	682	2112	2483	233
	率	2%	12%	38%	44%	4%
19. 仕事の手順を守ることにについて厳格である	人	70	806	2095	2316	327
	率	1%	14%	37%	41%	6%
20. チーム内で問題が起こっても、それを解決するだけの力がある	人	91	443	1216	3323	541
	率	2%	8%	22%	59%	10%

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）、教育機関に勤務している助産師 5,543 人（有効回答率 91.8%）を分析対象とした。
- 所属する助産チームの行動についてあてはまる項目で、もっとも多いのは「仕事を一人でたくさん抱えているスタッフがいたら、援助している」4712人（85%：「非常にそう思う」と「そう思う」を合計）、次いで「わからないことがあれば、同僚へ気軽に尋ねている」4693人（85%）、「仕事の仕方や仕事で困ったことについて、相談しあっている」4685人（85%）だった。

		全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう 思う	非常に そう 思う
1. 仕事の仕方や仕事で困ったことについて、相談しあっている	人	34	250	574	3818	867
	率	1%	5%	10%	69%	16%
2. 仕事を一人でたくさん抱えているスタッフがいたら、援助している	人	43	272	516	3730	982
	率	1%	5%	9%	67%	18%
3. 状況に応じて、チームの目標とその計画を見直すことがある	人	97	604	1434	3060	348
	率	2%	11%	26%	55%	6%
4. 自分の経験から得た教訓や入手した情報をお互いに伝え合っている	人	51	414	1086	3551	441
	率	1%	7%	20%	64%	8%
5. 仕事以外のことについて話をする機会が少ない	人	773	2780	1271	616	103
	率	14%	50%	23%	11%	2%
6. 「例の件」とか「あのこと」と言うだけで話が通じる	人	211	1118	2325	1742	147
	率	4%	20%	42%	31%	3%
7. お互いの仕事上の役割を理解している	人	35	259	1022	3850	377
	率	1%	5%	18%	69%	7%
8. 年間目標等のチームの長期的活動計画をスタッフ全員で定めている	人	300	849	1227	2500	667
	率	5%	15%	22%	45%	12%
9. 仕事をうまく行うためのコツを伝え合っている	人	112	706	1801	2705	219
	率	2%	13%	32%	49%	4%
10. 立場が上のスタッフに対しても質問したり意見したりする	人	177	694	1346	2904	422
	率	3%	13%	24%	52%	8%
11. 仕事の仕方について迷っているスタッフがいたら、積極的に相談	人	56	393	1322	3341	431
	率	1%	7%	24%	60%	8%
12. お互いの都合や仕事の進み具合にあわせて、仕事の仕方を工夫	人	62	359	1059	3601	462
	率	1%	6%	19%	65%	8%
13. トラブルに対応できたかどうかだけでなくプロセスも重視	人	77	485	1521	3100	360
	率	1%	9%	27%	56%	6%
14. 前例や慣例に反する意見が出されることはまれである	人	161	1788	2509	964	121
	率	3%	32%	45%	17%	2%

		全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう 思う	非常に そう 思う
15. お互いに連絡をとらずに行動してしまい、失敗することがある	人	308	2827	1804	556	48
	率	6%	51%	33%	10%	1%
16. 仕事の負担が特定のスタッフに偏りすぎないように気を配っている	人	87	504	1131	3434	387
	率	2%	9%	20%	62%	7%
17. 皆が納得するまで話し合っている	人	288	1148	2367	1619	121
	率	5%	21%	43%	29%	2%
18. 自分たちの職務とその目的を確認しあっている	人	178	934	2100	2174	157
	率	3%	17%	38%	39%	3%
19. 互いの苦手なことを補いあっている	人	116	711	1896	2656	164
	率	2%	13%	34%	48%	3%
20. わからないことがあれば、同僚へ気軽に尋ねている	人	40	180	630	3742	951
	率	1%	3%	11%	68%	17%
21. 他のスタッフの仕事の進み具合について、注意を払っている	人	34	245	938	3810	516
	率	1%	4%	17%	69%	9%
22. 個人の知識や技術の向上のためにアドバイスしあっている	人	68	462	1557	3160	296
	率	1%	8%	28%	57%	5%
23. ケアや処置を間違っていていたら、それを本人に教えている	人	38	230	851	3842	582
	率	1%	4%	15%	69%	10%
24. 仕事を改善するためのアイデアや工夫を出すことに積極的	人	117	650	1818	2605	353
	率	2%	12%	33%	47%	6%
25. 問題が起きたら、すぐに報告し、チーム内での共有を図っている	人	50	292	964	3480	757
	率	1%	5%	17%	63%	14%
26. お互いの意見がくいちがうときは、譲歩しあって仕事をすすめる	人	86	460	1985	2832	180
	率	2%	8%	36%	51%	3%
27. お互いに建設的な意見を出して、仕事をしやすくする工夫をする	人	94	495	1773	2945	236
	率	2%	9%	32%	53%	4%
28. チーム内での決まりごとを守らなかったらその場で注意している	人	107	718	1937	2541	240
	率	2%	13%	35%	46%	4%

- 有効回答であった助産師調査票のうち、病院（産科関連病棟）、病院（MFICU）、有床診療所（産科関連病棟）、教育機関に勤務している助産師 5,554 人（有効回答率 92.0%）を分析対象とした。
- 所属する助産チームで、仕事をしている時に感じることとして、もっとも多いのは、「自分の責任が何かわかっている」4,842人（87%：「非常にそう思う」と「そう思う」を合計）、次いで「複数の異質な仕事をしなければならないことがある」3,792人（68%）、「十分な人手がないのに、仕事を割り当てられることがある」3,544人（64%）だった。

		全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう 思う	非常に そう 思う
1. 複数の異質な仕事をしなければならないことがある	人	68	705	989	2544	1248
	率	1%	13%	18%	46%	22%
2. 自分の責任が何かわかっている	人	7	77	628	3974	868
	率	0%	1%	11%	72%	16%
3. 互いに矛盾する方針の下で働いている	人	379	1885	1913	1044	333
	率	7%	34%	34%	19%	6%
4. 十分な人手がないのに、仕事を割り当てられることがある	人	65	689	1256	2466	1078
	率	1%	12%	23%	44%	19%
5. 時間の割り振りをうまくやってきたと思う	人	77	774	1777	2571	355
	率	1%	14%	32%	46%	6%
6. 複数の人から矛盾した要求を受けることがある	人	206	1534	1997	1500	317
	率	4%	28%	36%	27%	6%
7. 曖昧な指示の下で働かなければならないことがある	人	225	1494	1568	1836	431
	率	4%	27%	28%	33%	8%
8. 仕事をやり遂げるために、規則や方針にそむかなければならない	人	529	2357	1808	732	128
	率	10%	42%	33%	13%	2%
9. 自分に何が期待されているのか正確にわかっている	人	81	633	2043	2530	267
	率	1%	11%	37%	46%	5%
10. 適当な設備がないのに、仕事を割り当てられることがある	人	398	2027	1815	1052	262
	率	7%	36%	33%	19%	5%
11. 自分がどの程度の権限をもっているかはっきりわかっている	人	98	676	1890	2562	328
	率	2%	12%	34%	46%	6%
12. 意味がないと思われる仕事を割り当てられることがある	人	433	1999	1674	1167	281
	率	8%	36%	30%	21%	5%

		全くそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらでも ない	そう 思う	非常に そう 思う
13. 医師と協調して働いている	人	186	664	1363	2837	504
	率	3%	12%	25%	51%	9%
14. 助産独自の仕事をしていると思う	人	344	1078	1498	2220	414
	率	6%	19%	27%	40%	7%
15. 自分の仕事を活かして仕事をしている	人	133	545	1566	2848	462
	率	2%	10%	28%	51%	8%

1 2. 助産師個人の家庭環境

- 有効回答であったすべての助産師 7,412 人（有効回答率 95.3%）の回答を分析対象とした。
- 年齢は「20—29 歳」が 1,593 人（22%）、「30—39 歳」が 2,059 人（28%）、「40—49 歳」が 2,056 人（28%）、「50—59 歳」が 1,432 人（20%）、「60—69 歳」が 236 人（3%）、「70—79 歳」が 32 人（0.4%）、「80—89 歳」が 3 人（0.0%）、「90—99 歳」が 1 人（0.0%）、平均は 40 歳だった。
- 介護を必要とする同居家族がいるかについては、「いる」が 669 人（9%）、「いない」が 6,743 人（91%）だった。
- 介護を必要とする同居家族がいる中で、介護を必要とする同居家族人数は「1 人」が 535 人（80%）「2 人」が 90 人（14%）「3 人」が 8 人（1%）「4 人」が 2 人（0.3%）、「無回答」が 34 人（5%）だった。
- 介護を必要とする同居家族がいる中で、主たる介護者は「自分」が 396 人（59%）、「自分以外」が 265 人（40%）だった。
- 配偶者については「未婚」が 2,713 人（37%）、「既婚」が 4,265 人（58%）、「離死別」が 434 人（6%）だった。
- 助産師免許取得後、何年目に結婚したかについては「取得前に結婚」が 59 人（1%）、「1 年目」が 352 人（8%）、「2 年目」が 525 人（11%）、「3 年目」が 724 人（15%）、「4 年目」が 604 人（13%）、「5 年目」が 554 人（12%）、「6 年目」が 362 人（8%）、「7 年目」が 305 人（7%）、「8 年目」が 227 人（5%）、「9 年目」が 107 人（2%）、「10 年目」が 173 人（4%）、「11 年目」が 66 人（1%）、「12 年目」が 74 人（2%）、「13 年目」が 47 人（1%）、「14 年目」が 41 人（1%）、「15 年目以上」が 115 人（2%）だった。年齢は「20—29 歳」が 1,593 人（22%）、「30—39 歳」が 2,059 人（28%）、「40—49 歳」が 2,056 人（28%）、「50—59 歳」が 1,432 人（20%）、「60—69 歳」が 236 人（3%）、「70—79 歳」が 32 人（0.4%）、「80—89 歳」が 3 人（0.0%）、「90—99 歳」が 1 人（0.0%）、平均は 40 歳だった。

- 介護を必要とする同居家族がいるかについては、「いる」が 669 人 (9%)、「いない」が 6,743 人 (91%) だった。
- 介護を必要とする同居家族がいる中で、介護を必要とする同居家族人数は「1人」が 535 人 (80%) 「2人」が 90 人 (14%) 「3人」が 8 人 (1%) 「4人」が 2 人 (0.3%)、「無回答」が 34 人 (5%) だった。
- 介護を必要とする同居家族がいる中で、主たる介護者は「自分」が 396 人 (59%)、「自分以外」が 265 人 (40%) だった。
- 子どもの有無は「いる」が 3,912 人 (53%)、「いない」が 3,500 人 (47%) だった。
- 子どもの人数は「1人」が 733 人 (19%)、「2人」が 1,657 人 (42%)、「3人」が 896 人 (23%)、「4人」が 121 人 (3%)、「5人」が 16 人 (0.4%)、「6人」が 1 人 (0.0%)、「無回答」が 488 人 (13%) だった。平均は 2 人だった。
- 子どもの年齢は「0—3 歳の子ども」が 929 人 (24%)、「4 歳—就学前の子ども」が 597 人 (15%)、「小学校 1—3 年生」が 760 人 (19%)、「小学校 4—6 年生」が 799 人 (20%)、「中学生」が 845 人 (22%)、「高校生」が 1,009 人 (26%)、「その他」が 627 人 (16%) だった。
- 子育てをしながら、仕事を続けるうえでの協力者は「夫」が 2,942 人 (75%)、「母 (義母)」が 2,503 人 (64%)、「父 (義父)」が 1,262 人 (32%)、「兄弟姉妹」が 365 人 (9%)、「その他」が 333 人 (9%)、「いない」が 109 人 (3%) だった。

助産師の出向システムと助産実習の受け入れの可能性に関する調査

- 選択肢に番号があるものは、該当する番号に○をつけてください。
- () 内には該当する数字または文字をご記入ください。
- 特に期日・期間の指定のない項目については、平成24年8月1日現在の状況をご記入ください。8月1日現在の状況が把握しにくい場合には、直近の状況についてご記入ください。

I. 貴病院についてお伺いします

助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備を進めていくため、下記質問へのご協力をよろしくお願いたします。

問1. 所在地 都・道・府・県 市・区・町・村

問2. 設置主体 (該当する番号に1つだけ○をつけてください)

1. 国(厚生労働省)	2. 独立行政法人国立病院機構	3. 国立大学法人
4. 独立行政法人労働者健康福祉機構	5. 国(その他の独立行政法人)	6. 地方独立行政法人
7. 都道府県	8. 市町村	9. 日本赤十字社
10. 済生会	11. 北海道社会事業協会	
12. 全国厚生農業協同組合連合会(厚生連)	13. 国民健康保険団体連合会	
14. 全国社会保険協会連合会	15. 厚生年金事業振興団	16. 船員保険会
17. 健康保険組合及びその連合会	18. 共済組合及びその連合会	19. 国民健康保険組合
20. 医療法人	21. 私立学校法人	22. その他の法人
23. 会社	24. 医師会	25. 社会福祉法人
26. 医療生協	27. 個人	28. その他()

・一部事務組合が設置主体の場合は、「都道府県」もしくは「市町村」に○をつけてください。

問3. 貴病院は次のどれに該当しますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 単科病院 2. 総合病院など複数の診療科を有する病院 3. 地域医療支援病院
4. 特定機能病院

問4. 病院機能 (該当する番号に1つだけ○をつけてください)

1. 総合周産期母子医療センター 2. 地域周産期母子医療センター 3. 1と2以外の病院
MFICU 病床()床

問5. 病院全体の許可病床数(一般病床) (該当する番号に1つだけ○をつけてください)

1. 20~99床 2. 100~199床 3. 200~299床 4. 300~399床
5. 400~499床 6. 500~599床 7. 600~699床 8. 700~799床
9. 800~899床 10. 900~999床 11. 1000床以上

問6. 一般病床の入院基本料の算定状況 (該当する番号に1つだけ○をつけてください)

1. 7対1 2. 10対1 3. 13対1 4. 15対1

病院調査票

問7. 昨年度に算定した加算について、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. ハイリスク妊婦管理加算 2. ハイリスク分娩管理加算 3. 妊産婦緊急搬送入院加算
 4. ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰ 5. ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅱ
 6. 急性期看護補助体制加算1 (50対1) 7. 急性期看護補助体制加算2 (70対1)

Ⅱ. 8月1日現在の、職員状況についてお伺いします

産科関連病棟における適切な助産師の配置や離職防止策を検討するために、下記質問へのご協力を
 よろしくお願いいたします。

問1. 常勤職員のうち、助産師免許保持者について（産休、育休、休職、長期研修中の職員を含む）

病院全体で、助産師免許を有している人数（常勤）	人
そのうち、周産期関連（産科関連病棟・産科外来・MFCU・NICU）に配属され ている人数（常勤）（再掲）	人
そのうち、分娩の直接介助を行っている人数（8月1日現在）（常勤）（再掲）	人
周産期関連以外の部署に配属されている人数（常勤）（再掲）	人

問2. 貴病院の就業規則で定められた週休形態（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 完全週休2日制（4週に8日の休日） 2. 月3回週休2日制（4週に7日の休日）
 3. 月2回週休2日制（4週に6日の休日） 4. 月1回週休2日制（4週に5日の休日）
 5. 週休1日半制（土曜日等の半日勤務） 6. 週休1日制 7. その他（ ）
 ※完全週休2日制とは、毎週ごとに休日が2日ある制度を指す。

問3. 病院の研修責任者の配置有無 1. 配置あり 2. 配置なし

※研修責任者とは、施設及び看護部門の教育方針に基づき、教育担当者、実地指導者及び新人看護職員の
 研修プログラムの策定、企画及び運営に対する指導及び助言を行う者を指す。

問4. 昨年度（平成23年4月～24年3月）の病院全体の常勤看護職及び産科関連病棟の離職状況

問4-1. 病院全体の常勤看護職について（看護職には助産師・看護師・准看護師のすべてを含む）

平成23年度常勤看護職退職者数	人	※退職者がいない場合は「0人」
平成23年度当初の在籍看護職員数（常勤）	人	
平成23年度末の在籍看護職員数（常勤）	人	

問4-2. 病院全体の常勤新卒看護職について

（新卒看護職には助産師・看護師・准看護師の新卒すべてを含む）

※新卒看護職とは、免許を取得してから1年以内の者を指す

平成23年度の新卒看護職退職者数（常勤）	人	※退職者がいない場合は「0人」
平成23年度の新卒看護職採用者数（常勤）	人	※採用者がいない場合は「0人」

問4-3. 産科関連病棟の常勤助産師について

平成23年度常勤助産師退職者数	人	※退職者がいない場合は「0人」
平成23年度当初の在籍助産師職員数（常勤）	人	
平成23年度末の在籍助産師職員数（常勤）	人	

問4-4. 産科関連病棟の常勤新卒助産師について

※新卒助産師とは、助産師免許を取得してから1年以内の者を指す

平成23年度の新卒助産師退職者数（常勤）	人	※退職者がいない場合は「0人」
平成23年度の新卒助産師採用者数（常勤）	人	※採用者がいない場合は「0人」

問4-5. 産科関連病棟の常勤看護師について ※看護師には、看護師・准看護師を含み、助産師は含まない。

平成23年度常勤看護師退職者数	人	※退職者がいない場合は「0人」
平成23年度当初の在籍看護師数（常勤）	人	
平成23年度末の在籍看護師数（常勤）	人	

問4-6. 産科関連病棟の常勤新卒看護師について

※新卒看護師とは、看護師免許を取得してから1年以内の者を指す

平成23年度の新卒看護師退職者数	人	※退職者がいない場合は「0人」
平成23年度の新卒看護師採用者数（常勤）	人	※採用者がいない場合は「0人」

Ⅲ. 8月1日現在の、産科関連病棟の概要についてお伺いします

助産師の配置数が定められていないことから、施設によって就業助産師数に大きな偏りがあります。
 産科関連病棟における適切な助産師の必要人数を算出するために、下記質問へのご協力をよろしく
 お願いいたします。

問1. 病棟の診療科状況（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 産科単独病棟 2. 産科と婦人科のみの混合病棟 3. 産婦人科以外の診療科も含む混合病棟

問2. 病棟の病床数

産科単独病棟の場合	床		
混合病棟の場合 計	床	そのうち産科の病床	床

問3. 産科外来と産科関連病棟の助産師配置は、一元管理ですか。

※病棟の助産師が、助産外来を担当している場合は一元管理とする。

1. 一元管理である 兼務している助産師数 人
 2. 産科外来と病棟の助産師配置は別である

◆以下、平成24年8月1日現在の看護職員数についてお伺いします。

問4. 産科関連病棟勤務の看護職員数（産休、育休、休職、長期研修中の職員を含む）

※産科関連病棟とは、産科単独病棟・混合病棟のすべてを指す。

外来と一元管理をおこなっている場合は、兼務している助産師数を病棟別にご記入ください
（外来にはきめない）

	助産師	看護師	准看護師	看護補助者 (クラークを除く)
常勤	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名

上記のうち、産休、育休、休職、長期研修中の常勤助産師数 人

問5. 産科外来勤務の看護職員数（産休、育休、休職、長期研修中の職員を含む）

	助産師	看護師	准看護師	看護補助者 (クラークを除く)
常勤	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名

問6. MFICUがある場合は、MFICU勤務の看護職員数（産休、育休、休職、長期研修中の職員を含む）

	助産師	看護師	准看護師	看護補助者 (クラークを除く)
常勤	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名

問7. NICUがある場合は、NICU勤務の看護職員数（産休、育休、休職、長期研修中の職員を含む）

	助産師	看護師	准看護師	看護補助者 (クラークを除く)
常勤	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名

問8. 医師数

	産科医		小児科医 (新生児科医含む)
	男性	女性	
常勤	名	名	名
非常勤	名	名	名

問9. 産科関連病棟勤務の常勤助産師：年齢階層別の人数 ※該当する部分にのみ人数をご記入ください。

25歳未満	名	25-29歳	名	30-34歳	名	35-39歳	名	40-44歳	名
45-49歳	名	50-54歳	名	55-59歳	名	60歳以上	名		

問10. 助産師の充足状況：各分娩期における助産師の業務状況はい／いいえでお答えください。
そのうえで、すべてを助産師が担当する場合に、最低あと何人の常勤助産師が必要と思われる
ますか。人数をご記入ください。

1. 分娩第1期は助産師が担当する	はい・いいえ		人必要
2. 分娩の直接介助者は助産師である	はい・いいえ		人必要
3. 産褥Q.1,2日は助産師が担当する	はい・いいえ		人必要

問11. 過去3年間の、産科関連病棟での助産師の採用状況

※採用予定のなかった年度・募集をしなかった年度は、採用予定数に「0人」とご記入ください。
募集はしたものの、実際の採用がなかった年度は、実際の採用数に「0人」とご記入ください。

		一昨年度	昨年度	今年度
採用予定数	助産師	人	人	人
実際の採用数	常勤の新卒助産師 (助産師免許を取得して1年以内)	人	人	人
	常勤助産師(他で助産師経験あり)	人	人	人
	パートタイム・非常勤の助産師	人	人	人
新規採用以外で勤務している常勤・非常勤の助産師数		人	人	人
常勤・非常勤 助産師数の合計		人	人	人

問12. 平成24年7月の1カ月間における、産科関連病棟勤務の、常勤助産師の平均時間外労働時間

※超過勤務手当がついていない時間外労働もきめてご記入ください。

時間外労働時間の実績（1人当たりの平均） 時間 分

問13. 昨年度の、産科関連病棟勤務の、常勤助産師の年次有給休暇の取得率

※取得率(%) = 取得日数 ÷ 各人の付与日数(前年度からの繰越分をきまない) × 100

取得率 . % (小数点第1位までご記入ください。)

問14. 産科関連病棟の主な勤務形態（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 三交代制	2. 変則三交代制(日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの)
3. 二交代制	4. 変則二交代制(日勤・夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの)
5. 上記1~4のミックス	6. 夜勤専従制あり
7. 当直制あり(施設内で待機し、必要時に業務につく)	
8. 日中・夜間の両方で分娩時オンコール体制あり(自宅など緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につく)	
9. 夜間のみ分娩時オンコール体制あり	10. その他()

問15. 産科関連病棟勤務の常勤助産師の夜勤手当

※該当する勤務形態の番号に○をつけてご記入ください。
 ※夜間割増し分を除く定額分のみをご記入ください管理職の当直などは除きます。
 ※夜間手当が定額で定められていない場合は、「勤続10年・非管理職」の場合を想定して金額をご記入ください。

1. 三交代制 準夜勤手当	あり・なし	ありの場合	<input type="text"/>	円
2. 三交代制 深夜勤手当	あり・なし	ありの場合	<input type="text"/>	円
3. 二交代制 夜勤手当	あり・なし	ありの場合	<input type="text"/>	円
4. 当直制(非管理職) 夜勤手当	あり・なし	ありの場合	<input type="text"/>	円
5. オンコール制 待機手当	あり・なし	ありの場合	<input type="text"/>	円

(待機手当とは、オンコールの呼び出しに反応しなくても支払われる金額)
 夜勤手当 あり・なし ありの場合 円
 (夜勤手当とは、オンコールの呼び出しに反応した場合に支払われる金額)

問16. 平成24年7月の1カ月間での、産科関連病棟における平均的な看護職の勤務者数

※勤務形態のうち、該当部分にのみ、ご記入ください。
 該当者がいない場合は「0人」とご記入ください。(小数点以下は切り上げて記入。)

勤務形態		平日(月-金)	土曜日/
		1日平均	日曜日/祝日
日勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	看護補助者数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
交代制の場合の夜勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	看護補助者数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
当直体制の場合の夜勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	看護補助者数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
オンコール体制の場合の夜勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	看護補助者数(常勤・非常勤合わせて)	人	人

問17. 常時、分娩室担当の助産師を配置していますか。(分娩時オンコール体制を除く)

昼間	あり・なし	ありの場合	常時	原則	人を配置
夜間	あり・なし	ありの場合	常時	原則	人を配置

問18. 正常分娩の第2期に、1人の産婦に看護職は原則として何人が介助に入りますか。(常勤・非常勤含む。直接介助・間接介助・外回りを含む。)

	助産師	看護師	准看護師	看護補助者 (クラークを除く)
1人の産婦の 正常分娩につき	名	名	名	名

問19. 平成24年7月の1カ月間における、助産師一人あたりの平均夜勤回数

※該当する勤務形態部分にご記入ください。
 就業規則上、夜勤時間は1回 時間
 平均夜勤回数は、1回の夜勤を8時間として計算してください。(例：16時間夜勤の場合は2回となる)

	三交代制 (変則含む)	二交代制 (変則含む)	当直制	分娩時オンコール回数 (待機含む)
常勤の助産師 (夜間専従を除く)	回	回	回	回
夜勤専従の助産師	回	回	回	回

IV. 分娩状況やケアについてお尋ねします

施設によって就業助産師数に大きな偏りがあります。分娩状況に応じた適切な助産師の配置や助産師の業務のあり方を検討するために、各施設における分娩状況をお伺いいたします。

問1. 昨年度の年間分娩件数

記入数が年度(平成23年4月~24年3月)あるいは年(平成23年1月~12月)のどちらで記載しているか、該当する番号に○をつけてください。

1. 年度(平成23年4月~24年3月) 2. 年(平成23年1月~12月)

年間 <input type="text"/> 件	うち帝王切開術件数 <input type="text"/> 件	もしくは帝王切開率 <input type="text"/> %
	うち吸引分娩件数 <input type="text"/> 件	もしくは吸引分娩率 <input type="text"/> %
	うち鉗子分娩件数 <input type="text"/> 件	もしくは鉗子分娩率 <input type="text"/> %

問2. 昨年度の母体搬送の受け入れ件数 件 母体搬送の送り件数 件

※問1での年間分娩件数の記入数である、「年度」あるいは「年」に合わせて、ご記入ください。

問3. 常勤助産師一人あたりの年間分娩介助件数 (直接介助のみ、間接介助は含まない。)

年間 件

問4. 妊娠期からの継続受け持ち制の有無

※継続受け持ちとは外来通院中から助産師が受け持っているプライマリナース制母親学級での継続担当は含まない。

1. あり 2. なし 3. その他 ()

現時点での院内助産の実施有無

※院内助産は「分娩を目的に入院する産婦及び産後の母子に対して、助産師が主体的なケア提供を行う方法・体制である。殊に、ローリスクの分娩は助産師により行われる」と定義する。

1. あり 院内助産 開始時期 平成 年 月 現時点までの、院内助産での通算分娩件数 件
2. なし
- 院内助産の導入希望 1. 導入希望あり
 ①実施予定である（実施が決まっている）
 ②実施の準備中（実施はまだ確定していない）
 ③実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある
2. 導入希望なし
 理由（ ）

問5. 現時点での助産外来の実施有無

※助産外来は「助産師により妊婦・産婦の健康診査並びに保健指導が行われる外来」と定義する。保健指導のみの場合はここでは助産外来には含まない。

1. あり 助産外来 開始時期 平成 年 月 助産師による超音波検査の実施有無 1. あり 2. なし
 新人助産師の、就職後1年以内における妊婦健診への関与
2. なし
1. 先輩助産師の妊婦健診を見学 2. 先輩の指導のもと、実施
 3. 見学も実施もしていない 4. その他（ ）
- 助産外来の導入希望 1. 導入希望あり
 ①実施予定である（実施が決まっている）
 ②実施の準備中（実施はまだ確定していない）
 ③実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある
2. 導入希望なし
 理由（ ）

助産外来を行っている場合は、時間と担当助産師および妊婦の人数をご記入ください。

助産外来の時間	月		火		水		木		金		土		日	
	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦
午前 ～ ～	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
午後 ～ ～	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問6. 母子同室の実施状況

1. 完全母子同室（出生直後から24時間母子同室）
 2. それ以外の母子同室（基本は24時間）
 3. 日中のみ、もしくは、夜間のみ母子同室
 4. 母子異室（同室はしない）
- 母子同室の開始時期
 1. 出生後数時間から
 2. 出生1日目から
 3. それ以降（ ）日目から

問7. 母乳外来の有無 1. あり 2. なし

ありの場合：（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

母乳外来の担当部署	1. 病棟	2. 外来	3. 病棟と外来の両方	4. その他（ ）
母乳外来の担当職種	1. 助産師	2. 看護師	3. 助産師と看護師の両方	4. その他（ ）

問8. 新生児訪問の有無 1. あり 2. なし

ありの場合：（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

新生児訪問の担当部署	1. 病棟	2. 外来	3. 病棟と外来の両方	4. その他（ ）
新生児訪問の担当職種	1. 助産師	2. 看護師	3. 助産師と看護師の両方	4. その他（ ）

問9. 外来での出産準備教育（集団）の有無 1. あり 2. なし

ありの場合の実施状況（該当する番号にすべて○をつけてください）

1. 助産師が講義等を担当 2. 看護師が講義等を担当 3. 助産師と看護師の両方が担当
 4. その他の職種（ ）が担当 5. DVDの視聴のみを実施（講義や指導なし）

問10. 貴病院の分娩の現状と方向性（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 近年、分娩件数が増加している
 理由： ①地域の妊産婦の増加 ②他の医療機関の産科廃止
 ③その他（ ）
2. 近年、分娩件数が減少している
 理由： ①地域の妊産婦の減少 ②他の医療機関に妊婦が集中
 ③その他（ ）
3. 分娩件数に大きな変化はない
4. 分娩件数を制限する予定である 制限する分娩の種類は ①ハイリスク分娩
 ②ローリスク分娩
 ③両方
5. 分娩対応の廃止を予定している（理由： ）
6. 分娩対応を平成24年度になって廃止した（理由： ）

V. 助産師の新卒・現任教育と学生実習についてお伺いします

助産師養成数は年々増加していますが、助産実習先の確保が難しいといわれております。助産師の養成数を増やしていくために、助産学生実習の状況をお伺いいたします。

問1. 看護師のクリニカルラダーとは別に、助産師に特化したクリニカルラダーの有無

1. あり 2. 現在作成中 3. なし

問2. 助産師に特化した教育目標の有無

1. あり 2. 現在作成中 3. なし

問3. 産科関連病棟への教育担当者の配置有無 1. 配置あり 2. 配置なし

※教育担当者は、看護部門の看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心となって行う者であり、実地指導者（プリセプターなど）への助言及び指導、また、新人看護職員への指導、評価を行う者を指す。

問4. 助産師に対する新人研修の実施状況（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 院内で助産師に特化した新人研修を実施している
2. 都道府県看護協会や他の病院などと、合同で新人助産師研修を実施している
3. 今年度は助産師に特化した新人研修を実施していないが、次年度以降は実施予定
4. 助産師に特化した新人研修は実施していない（看護職としての新人研修に参加している）
5. 看護職としても、助産師としても、院内での新人研修は実施していない
6. プリセプターシップ、メンターシップ、エルダー制などを実施している

問5. 助産師のローテーション方針 ※該当する番号すべてに○をつけてください。師長など管理職への登用を前提とする配置転換・異動は除く。

1. あり
- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①全部署(内科、外科等を含む) | |
| ②産科外来 | |
| ③MFCU | ありの場合：ローテーション期間 |
| ④NICU | カ月 |
| ⑤その他特定の部署（ ） | |
2. なし

問6. 産科関連病棟勤務の助産師（管理者を除く）の院外研修の参加有無

1. あり 2. なし

問7. 助産師の育成を目的とした、定期的な面接の実施有無

1. あり 2. なし ありの場合：ひとり 年間 回 実施

問8. 産科関連病棟における、学生実習の受け入れ状況について、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 母性看護学実習を受け入れている 2. 助産実習を受け入れている 3. 受け入れはしていない

◆問8の2.を選んでいただいた方にお尋ねします。それ以外の方は問11にお進みください。

問9. 助産実習の受け入れ状況

- 年間で（ ）校 1校あたりの受け入れ助産学生数（ ）人
 1回（1グループ）あたりの受け入れ助産学生数（ ）人
 複数の学校の実習受け入れが重なる場合 ① あり ② なし

問10. 専任の実習指導者の配置状況（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 専任の実習指導者を配置している 人 ① 業務から独立して実習指導を行う
 ② 業務とかねて、実習指導を行う
2. 専任の実習指導者はいない
-
- ① 妊産婦のその日の受け持ち助産師が、実習指導を行う
 - ② 妊産婦のその日の受け持ち看護師が、実習指導を行う
 - ③ その日の分娩室担当の助産師が、実習指導を行う
 - ④ 病棟管理者が、実習指導を行う
 - ⑤ 学校の教員が実習指導を行い、職員は関与しない
 - ⑥ その他（ ）

問11. 助産実習を受け入れていない施設にお尋ねします。実習を受け入れていない理由をご記入ください。

問12. 学生の実習に関して日本看護協会に伝えたいことがありましたら、自由にご記入ください。



- 問13. 全員にお尋ねします。どのような条件が整えば、あなたが勤務する病院で助産学生の実習受け入れが(さらに)可能になると思いますか。助産実習の受け入れに大きく影響すると思われる番号、すべてに○をつけてください。その中から上位3つに該当する番号をご記入ください。
- 勤務助産師の数が増えれば、(さらに)受け入れが可能
 - 専任の実習指導者を配置できれば、(さらに)受け入れが可能
 - 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、(さらに)受け入れが可能
 - 産科医師の協力が得られれば、(さらに)受け入れが可能
 - 妊産婦の理解と協力が得られれば、(さらに)受け入れが可能
 - 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれば、(さらに)受け入れが可能
 - 実習期間中の病院と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、(さらに)受け入れが可能
 - 助産学生がすでに看護師免許を有していれば、(さらに)受け入れが可能
 - 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、(さらに)受け入れが可能
 - 将来的に就職に結びつけば、(さらに)受け入れが可能
 - 正常分娩の件数が増えれば、(さらに)受け入れが可能
 - 看護手順の整備が整えば、(さらに)受け入れが可能
 - 実習費用手当が増額されれば、(さらに)受け入れが可能(希望額¥ /学生1人あたり)(希望金額をご記入ください。)
 - その他()
- 上位3つに該当する番号をご記入ください。
- 1位 2位 3位

VI. 混合病棟の方にお伺いします

産科単科の方は、「VII. 助産師出向 (15 ページ)」へおすすみください。

近年、産科混合病棟が75%に及ぶといわれています。助産師と看護師の連携・協働による安全で安心な出産環境の整備のため、下記質問にご協力ください。

- 問1. 産科以外の、診療科名称 (該当する番号すべてに○をつけてください)
- | | | |
|--------|------------|------------|
| 1. 婦人科 | 2. 小児科 | 3. 内科(主に) |
| 4. 外科 | 5. 整形外科 | 6. 脳神経外科 |
| 9. 眼科 | 10. 歯科口腔外科 | 11. 皮膚科 |
| | | 12. その他() |
- 問2. 混合病棟で、助産師は産科と他科患者を同時に受け持ちますか。(該当する番号すべてに○をつけてください)
- 常に、他科診療科の患者は受け持たない
 - 同時に受け持つ ①常に ②ときどき ③ごくまれに
 - 分娩介助の時のみ、他科の患者は受け持たない
 - 分娩第1期の患者が入院した時点で、他科の患者は受け持たない
 - その他()

- 問3. 産科病棟に空床がある場合の対応
※陣痛室入院患者分の産科病床確保はきまない。該当する番号に1つだけ○をつけてください。
- 空床のままにしておき、他科患者を入院させない
常に産科病床として()床を確保しておく
 - 他科患者と産科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる
最低でも産科病床として()床を確保しておく
 - 産科病床の空床確保は特にしていない
 - その他()
- 問4. 産科患者の入院先病室の決定方法について (該当する番号に1つだけ○をつけてください)
- 産科患者は基本的に個室へ入院
 - 産科患者のみの病室へ入院(他科患者とは別室)
 - 他科の患者と同室 ①常に ②ときどき ③ごくまれに
- 問5. 他科診療科の患者が混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準はありますか。ある場合は、該当する番号すべてに○をつけてください。
- あり

① 感染疑い・感染患者は除外	② 就学前の小児科は除外
③ ターミナル期は除外	④ 男性は除外
⑤ 不穏・認知の症状がある患者は除外	⑥ クリニカルパス適応者のみ入院可
⑦ その他()	
 - なし
- 問6. 上記「1. あり」を選択された方にお伺いします。ルールや基準はどの程度守られていますか。
- 完全に守っている
 - ケースバイケースで入院患者を受け入れざるをえない
 - ルールはあるが、緊急があれば入院を受け入れる
 - ルールはあるが、ほとんど守られていない
 - その他()



あと、もう少しです！
最後まで、ご協力のほどよろしく
お願いいたします。

Ⅶ. 助産師の出向についてお伺いします

分娩状況に応じた助産師の配置を促進するために「助産師の出向システム」について検討しております。

助産師の出向とは、現在の勤務先の身分を有しながら、他施設で助産師として働くもので、正常分娩の経験など、助産師としてのキャリアアップ等を目的とするものです。

出向期間はおよそ半年間から1年間です。

出向システムを活用して地域のお産を守っている事例があり、助産師の就業先偏在を少しでも解決するための方法として有効だと考えております。助産師出向に関する下記質問へのご協力をよろしくお願いたします。

- 問1. あなたが勤務する病院での、出向に関する経験の有無
 (1) 他施設へのお出向 (貴病院が出向元に該当する) (該当する番号に1つだけ○をつけてください)
 1. 現在、助産師が出向している 2. 以前、助産師が出向していた
 3. 出向の経験はない 4. 助産師の出向経験はないが、看護師の出向経験はある
 (2) 他施設からの出向受け入れ (貴病院が出向先に該当する) (該当する番号に1つだけ○をつけてください)
 1. 現在、助産師の出向を受け入れている 2. 以前、助産師の出向を受け入れていた
 3. 出向受け入れの経験はない 4. 助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある

◆助産師の出向もしくは出向受け入れの経験がある病院の方にお伺いします (問1-1, 1-2の回答が1もしくは2)。それ以外の方は問9におすすみください。

- 問2. 出向元および出向先の設置主体
 ※該当する番号をすべてご記入ください。該当する番号がない場合は「11.その他」を選び、具体的にご記入ください。
 出向元施設
 出向先施設
 1. グループ間での出向 (例: 日赤, 済生会, 国立病院機構など)
 2. 公立病院 (都道府県) 3. 公立病院 (市町村)
 4. 国立大学法人 (国立大学附属病院など) 5. 私立学校法人 (私立大学附属病院など)
 6. 個人病院 7. 社会保険関係団体の病院 8. 医療法人
 9. 診療所 10. 助産所 11. その他 ()

問3. 出向助産師の人数 1年間で のべ 人出向。今までにのべ 人出向

問4. 出向助産師の、出向時点での臨床経験年数の分布

3-4年目	名	5-6年目	名	7-8年目	名	9-10年目	名
11-14年目	名	15-19年目	名	20-29年目	名	30年目以上	名

- 問5. 1回の出向期間 平均 カ月 最短 1カ月 最長 3カ月
 問6. 出向先もしくは出向元の施設の所在地 1. 同じ都道府県内 2. 別の都道府県
 3. 出向先が複数あり、1と2の両方に該当する
 問7. 出向元と出向先での給与差 1. 減額 2. 増額 3. 同額
 問8. 出向先での出向助産師の分娩介助件数 出向期間中 平均 件

◆全員にお尋ねします。

問9. 他施設への助産師出向を打診されたらと仮定した場合 (貴病院が出向元になる)、どのような条件/前提であれば、他施設への助産師出向が可能になると思いますか。以下の各項目が示す内容について、病棟管理者として、あなたのお気持ちにもっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

他施設への助産師出向が可能になる条件/前提として	全く重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	重要である	非常に重要である
1. 現時点よりも、助産師の数が増えること。	1	2	3	4	5
2. 出向先は病院のみで、診療所ではないこと。	1	2	3	4	5
3. 出向先は、同じ都道府県内の施設であること。	1	2	3	4	5
4. 出向先は、通勤が可能な範囲であること (引越しは不要)。	1	2	3	4	5
5. ひとりの助産師の出向期間が、1年以内であること。	1	2	3	4	5
6. ひとりの助産師の出向期間が、半年以内であること。	1	2	3	4	5
7. 出向する助産師の給与が、今よりも減額にならないこと。	1	2	3	4	5
8. 出向期間中の年月が、出向元の退職金の計算対象範囲に含まれること。	1	2	3	4	5
9. 出向先が寮を準備し、出向助産師が2カ所の家賃を支払う必要がないこと。	1	2	3	4	5
10. 出向元施設側に、金銭的なメリットがあること。	1	2	3	4	5
11. 出向先での教育体制が整っていること。	1	2	3	4	5
12. 出向先の施設に、常勤助産師が1人以上いること (看護師だけではないこと)。	1	2	3	4	5
13. 都道府県医療計画の中で、助産師出向システムが制度化されているなど、都道府県等からの出向要請があること。	1	2	3	4	5
14. 地域全体の医療施設間で、助産師の養成や研修制度を構築し、各施設の機能 (高度医療・ローリスク分娩) に応じた取り組みの一環であること。	1	2	3	4	5
15. 出向元施設と出向先施設の間で、出向について調整/仲介してくれる存在があること。(出向先と出向元のそれぞれが相手の施設を探さないで済むこと。)	1	2	3	4	5
16. 出向中の経験を、出向元施設に戻ってから評価する仕組み (例: クリニカルラダーや人事考課) があること。	1	2	3	4	5

その他、出向が可能となる条件や助産師出向について、あなたのお考えをお聞かせください。

問10. 産科関連病棟の看護管理者として、あなたのお気持ちにもっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 他施設から、助産師の出向を受け入れたい
2. 一定の条件、例えば問9で挙げた条件などが整えば、他施設への助産師出向を検討する
3. どのような条件が整えられても、助産師を他施設へ出向させることはできない

◆問10. で 「1」を選んだ方は 問10-1を
 「2」を選んだ方は 問10-2を
 「3」を選んだ方は 問10-3をご回答ください。

問10-1. 助産師の出向を受け入れるための可能な対応として、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 病院の規定給与内での支払いであれば、受け入れたい
2. 病院の規定給与を超えても、受け入れたい
3. 病院の就業形態に合わせられる人であれば、受け入れたい(例:4週6休など)
4. 寮・宿泊施設を提供してでも、受け入れたい
5. 病院の規定住宅手当内での支払いであれば、受け入れたい
6. 分娩介助経験数が()件以上であれば、受け入れたい(件数をご記入ください)
7. その他()

問10-2. 現在の助産師数の状況で、1回の出向期間(半年間から1年間)に何人の助産師を出すことができますか。

1回の期間で 人 ~ 人

問10-3. 助産師を出向させることが難しい理由について、ご記入ください。

◆全員にお尋ねします。

問11. 助産師の出向システムに関して、看護管理者として「気がかり」なことや「要望」などがありましたら、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

**Ⅷ. 平成24年8月1日(水)の日勤帯終了時点での、
 妊産婦及び新生児の入院状況についてお伺いします**

地域での安全・安心な出産環境の整備を目指して、すべての妊産婦と新生児に助産ケアを提供するための施策を検討しております。そのために、産科関連病棟の実態を把握したく、以下の項目にご協力いただけますよう、お願いいたします。

産科関連病棟(MFICU病棟を除く)に入院している妊婦の数	人
そのうち、分娩進行中の妊婦 ※分娩室に入室している妊婦を含む。	人
上記産科関連病棟(MFICU病棟を除く)に入院している分娩進行中も含めた妊婦の妊娠リスクスコア ※妊娠リスクスコアについては次ページをご覧ください。	
低リスク群 0-1点	人
中程度リスク群 2-3点	人
高リスク群 4-6点	人
超高リスク群 7点以上	人
産科関連病棟(MFICU病棟を除く)に入院している、産後0,1,2日目の褥婦の数	人
そのうち、帝王切開後の褥婦の数	人
そのうち、吸引分娩後の褥婦の数	人
そのうち、鉗子分娩後の褥婦の数	人
そのうち、分娩当日の褥婦の数 ※分娩室・回復室に入室している褥婦を含む。	人
産科関連病棟に入院している、産後3日目以降の褥婦の数	人
産科関連病棟(NICU/GCU病棟を除く)や新生児室で管理している正常新生児の数 ※新生児が黄疸等で病児入院しても、母子同室や産科病棟で管理する場合は人数に含む。	人
妊産婦のうち、搬送(車椅子)	人
搬送(ベット・ストレッチャーでの移動)	人
日勤帯での、分娩件数	件
そのうち、予定帝王切開術	件
そのうち、緊急帝王切開術	件
日勤帯での、妊婦の新規入院患者数 ※日勤終了時点で、出産した人も含む。	人
日勤帯での、新生児の新規入院患者数 ※他施設からの転院を含む。	人
日勤帯での、妊婦・褥婦の退院患者数 ※転院を含む。	人
日勤帯での、新生児の退院患者数 ※NICU病棟へ転入や他施設への転院を含む。	人
日勤帯での、勤務助産師の数 ※管理者を除く、直接的なケアを提供するスタッフ数を指す。	人
そのうち、新卒助産師の数 ※助産師免許を取得して1年以内の者を指す。	人
分娩室担当の助産師の数 ※日勤帯での勤務助産師のうち、分娩室の担当	人
日勤帯での、産科担当の勤務看護師の数 ※混合病棟で、他科患者のみを担当する看護師は除く。	人

【妊娠リスクスコア】

平成24年8月1日の日勤終了時点で、産科関連病棟（MFICU病棟を除く）に入院している。

分娩進行中も含めた妊婦全員の妊娠リスクスコアを計算してください(各項目1・2・5点)。

【低リスク群 0-1点 ・ 中程度リスク群 2-3点 ・ 高リスク群 4-6点 ・ 超高リスク群 7点以上】

1. 基本情報

年齢	15歳以下、35~39歳	1		40歳以上	5
経産数	初産婦	1			
身長	150cm未満	1			
妊娠前体重	BMI25以上(65~79kg)	1	80~99kg	2	100kg以上

2. 既往歴

高血圧	血圧140/90mmHg以上で降圧剤の服用なし	1		高血圧で降圧剤の服用中	5
心臓疾患	心臓疾患 NYHA I・II	1		心臓疾患 NYHA III以上	5
内分泌疾患	甲状腺疾患 管理良好	1	甲状腺疾患 管理不良/SLE	2	
糖尿病/腎疾患	糖尿病 管理良好 食事療法のみ	1	慢性腎臓疾患	2	糖尿病 インスリン注射
その他	肝炎/先天性股関節脱臼/子宮頸部腫瘍 Class IIIb以上	1	精神神経疾患/向精神薬の使用/気管支喘息/血液疾患/Rh(-)/てんかん	2	抗リン脂質抗体症候群/HIV陽性
	感染症(麻疹/風疹/水痘) 既往なし/予防接種歴なし	1	虐待を受けた既往歴	2	
嗜好	タバコ(20本/日)/アルコール 常用	1	薬の乱用	2	

3. 産婦人科既往歴

	産後出血多量(500ml以上)/巨大児4kg以上/難産/妊娠高血圧症候群 軽症/子宮筋腫/子宮頸部の内鏡切除後	1	死産/早産/器機流産/新生児死亡/大奇形/IUGR/既往帝王切開術/巨大子宮筋腫/子宮手術後	2	妊娠高血圧症候群 重症/常位胎盤早期剥離
--	---	---	--	---	----------------------

4. 現在の妊娠経過について

妊婦健診	28週以後初診 健診3回未満	1	分娩時が初診	2	
	27週以前に染色体異常の疑いあり	1	28週以前に染色体異常の確定	2	
妊娠成立	治療中の自然排卵/予定日不明妊娠/減数手術を受けた	1	人工排卵/多発排卵/卵巣切除後排卵/ART(ICSIを含む)/長期不妊治療後の妊娠	2	
	HB陽性/STD 感染症疑い	1	STDの治療中	2	HIV陽性
Rh陰性	Rh(-)	1			感作されたRh(-)/Rh血液型不適合
多胎妊娠	2絨毛膜 2羊膜性双胎妊娠(DD双胎)	1	2絨毛膜 2羊膜性双胎妊娠(DD双胎) (体重差25%以上)	2	1絨毛膜 2羊膜性双胎妊娠(MD)/1絨毛膜 1羊膜性双胎妊娠(MM)/3胎以上の多胎
	妊娠糖尿病 食事療法のみ	1			妊娠糖尿病 インスリン療法
出血	20週未満の出血	1	20週以後の出血	2	
前期破水/切迫早産	34-36週の前期破水/切迫早産	1	33週以前の前期破水/切迫早産	2	
妊娠 高血圧 症候群	軽症	1			重症/HELLP症候群/子癇
			羊水過少(AFI:5未満)	2	羊水過多
胎盤	低置胎盤	1	前置胎盤	2	前回帝王切開例の前置胎盤
児発育	2SD以上の巨大児	1	-2SD以下のIUGR	2	
胎位胎向	CPD疑い	1	骨盤位/横位	2	

総合周産期母子医療センターの方にお伺いします

問1. MFICU 床 8月1日の日勤終了時点で 人入院
問2. 8月1日の日勤帯でのMFICU病棟担当の助産師数 人 看護師数 人

混合病棟の方にお伺いします

8月1日の日勤終了時点で
問1. 産科混合病棟における、他科診療科の在院患者数 人
問2. 人の助産師で、人の他科診療科の入院患者を受け持った。
※他科診療科の患者受け持ちがなかった場合は、「0人」とご記入ください。
問3. 他科診療科の患者を対象とした「一般病棟用の重症度・看護必要度に係る評価票」で、8月1日
を評価日とした、A得点（モニタリング及び処置等に係る得点）が2点以上、かつB得点（患者
の状況等に係る得点）が3点以上の患者数 人

最後に、日本看護協会へのご意見・ご要望などがございましたら、ぜひお聞かせください。

以上で、調査票は終わりです。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに8月31日（金）までにご返送ください。

さしつかえなければ貴病院名とご住所をご記入ください。後日、調査結果の概要をお送りします。
(外部に病院名を公表することはございません)

貴病院名	
ご住所	



【助産外来・院内助産や、助産師の出向経験のある病院のみなさまへ】

院内助産システムや助産師出向システムを行っている場合は、ぜひヒアリングをさせていただきたく、ご検討をお願いいたします。ご協力を頂ける場合は、下記に担当者名をお書きくださいますよう、お願い申し上げます。ヒアリングの結果は、本会のホームページや協会ニュース、助産師キャンペーン、報告書などで、貴病院をご紹介させていただきたく計画をしております。何卒よろしく申し上げます。

ヒアリング協力担当者名	
メールアドレスまたは電話番号などの連絡方法	メールアドレス 電話番号

ありがとうございました。みなさまからいただいた声を活かします！

助産師の出向システムと助産実習の受け入れの可能性に関する調査

- 選択肢に番号があるものは、該当する番号に○をつけてください。
- () 内には該当する数字または文字をご記入ください。
- 特に期日・期間の指定のない項目については、平成24年8月1日現在の状況をご記入ください。8月1日現在の状況が把握しにくい場合には、直近の状況についてご記入ください。

I. 貴診療所についてお伺いします

- 問1. 所在地 都・道・府・県 市・区・町・村
- 問2. 診療所全体の病床数 産科病床 床 その他の病床 床
- 問3. 標榜診療科名称 (該当する番号すべてに○をつけてください)
1. 産科 2. 婦人科 3. 小児科 4. 内科 5. その他 ()

II. 助産師の出向についてお伺いします

産科診療所へ助産師の配置を促進するために「助産師出向システム」について検討しております。

助産師の出向とは、助産師が不足している分娩取り扱い施設(病院・診療所)への期限付き異動を指します。現在の勤務先の身分を有しながら、他施設で助産師として働くものです。出向期間はおよそ半年間から1年間です。

出向システムを活用して地域のお産を守っている実例があります。助産師の就業先偏在を少しでも解決するための方法として有効だと考えております。

助産師出向に関する下記質問へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

- 問1. 他施設からの助産師の出向について、当てはまる番号に1つだけ○をしてください。
1. 現在、助産師の出向を受け入れている 2. 以前、助産師の出向を受け入れていた
3. 出向受け入れの経験はない 4. 助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある
- ◆ 問1で「3.」と「4.」を選んだ方にお伺いします。それ以外の方は問3へおすすみください。
- 問2. 助産師の出向の受け入れを希望しますか。 1. 希望する 2. 希望しない
(1. を選んだ方にお伺いします)
- 問2-1. 出向助産師に期待する担当業務内容 (該当する番号すべてに○をつけてください)
1. 分娩介助 2. 夜勤勤務 3. 妊婦健診 4. 助産学生の実習指導 5. その他 ()
- 問2-2. 出向期間の希望 1. 1年間 2. 半年間 3. その他 (力月)

診療所調査票

問2-3. 助産師数の希望 助産師を1回の出向期間で 人希望
 問2-4. 助産師の臨床経験年数の希望 臨床経験 年目以上を希望
 問2-5. 助産師の出向を受け入れるために可能な対応として、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 診療所の規定給与内での支払いであれば、受け入れたい
2. 診療所の規定給与を超えても、受け入れたい
3. 診療所の就業形態に合わせられるのであれば、受け入れたい(例: 4週6休など)
4. 寮・宿泊施設を提供してでも、受け入れたい
5. 診療所の規定の住宅手当内での支払いであれば、受け入れたい
6. 分娩介助経験数が()件以上であれば、受け入れたい(件数をご記入ください)
7. その他()

◆ 問2で「2. 助産師の出向受け入れを希望しない」を選んだ方にお伺いします。希望されない理由をお聞かせください。

◆ 問1で「助産師の出向受け入れ経験がある」と回答された方にお伺いします。

問3. 出向元の設置主体について、該当する番号に○をつけてください。該当する番号がない場合は「11. その他」に具体的にご記入ください。

1. グループ間での出向
2. 公立病院(都道府県)
3. 公立病院(市町村)
4. 国立大学法人(国立大学附属病院など)
5. 私立学校法人(私立大学附属病院など)
6. 個人病院
7. 社会保険関係団体の病院
8. 医療法人
9. 診療所
10. 助産所
11. その他()

問4. 受け入れている助産師の人数
 1年間で のべ 人
 今までに のべ 人

問5. 受け入れた出向助産師の、出向時点での臨床経験年数の分布

3-4年目	名	5-6年目	名	7-8年目	名	9-10年目	名
11-14年目	名	15-19年目	名	20-29年目	名	30年目以上	名

問6. 1回の出向期間 平均 力月 最短 力月 最長 力月

問7. 出向元の施設の所在地 1. 同じ都道府県内 2. 別の都道府県

問8. 出向先(貴診療所)での出向助産師の分娩介助件数 出向期間中 平均 件

Ⅲ. 助産実習の受け入れの可能性についてお伺いします

助産学生の実習先の確保が難しく、教育機関は定員数での助産学生の入学受け入れが難しいといわれ、問2で助産学生の実習先確保を希望し、そのために、助産実習の受け入れ状況についてお伺いします。

問1. 学生実習の受け入れ状況について、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. 母性看護学実習を受け入れている
2. 助産実習を受け入れている
3. 受け入れはしていない

◆ 「助産実習を受け入れていない」施設にお伺いします。それ以外の方は問3へおすすみください。

問2. どのような条件が整えば、貴診療所で助産学生の実習受け入れが可能になるとお考えですか。助産実習の受け入れに大きく影響すると思われる番号に、すべて○をつけてください。そのうち、上位3つに該当する番号をご記入ください。

1. 勤務助産師の数が増えれば、受け入れが可能
2. 専任の実習指導者を配置できれば、受け入れが可能
3. 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、受け入れが可能
4. 産科医師の協力が得られれば、受け入れが可能
5. 妊産婦の理解と協力が得られれば、受け入れが可能
6. 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、受け入れが可能
7. 実習期間中の、診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、受け入れが可能
8. 助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、受け入れが可能
9. 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、受け入れが可能
10. 将来的に就職に結びつけば、受け入れが可能
11. 正常分娩の件数が増えれば、受け入れが可能
12. 看護手順の整備が整えば、受け入れが可能
13. 実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能(希望額¥ /学生1人あたり)(金額を記入)
14. その他()

上位3つに該当する番号をご記入ください。

1位 2位 3位

◆ 「助産実習を受け入れている」施設にお伺いします。それ以外の方は次ページの「Ⅳ. 分娩状況やケア」に関する質問におすすみください。

問3. 助産実習の受け入れ状況 受け入れ助産学生数 年間 人



問4. どのような条件が整えば、貴診療所で助産学生の実習受け入れがさらに可能になると思いますか。助産実習のさらなる受け入れに大きく影響すると思われる番号に、すべて○をつけてください。そのうち、上位3つに該当する番号をご記入ください。

1. 勤務助産師の数が増えれば、さらに受け入れが可能
2. 専任の実習指導者を配置できれば、さらに受け入れが可能
3. 勤務助産師や看護師の協力体制が整えば、さらに受け入れが可能
4. 産科医師の協力が得られれば、さらに受け入れが可能
5. 妊産婦の理解と協力が得られれば、さらに受け入れが可能
6. 学校側の指導者が実習にほぼ毎日同行してくれれば、さらに受け入れが可能
7. 実習期間中の診療所と学校側との連携や話し合いの機会が増えれば、さらに受け入れが可能
8. 助産学生が、すでに看護師免許を有していれば、さらに受け入れが可能
9. 学生用のロッカールームや寮の整備など、物理的な環境が整えば、さらに受け入れが可能
10. 将来的に就職に結びつければ、さらに受け入れが可能
11. 正常分娩の件数が増えれば、さらに受け入れが可能
12. 看護手順の整備が整えば、さらに受け入れが可能
13. 実習費用手当が増額されれば、受け入れが可能（希望額¥ /学生1人あたり）（金額を記入）
14. その他（)

上位3つに該当する番号をご記入ください。

1位 2位 3位

IV. 分娩状況やケアに関してお伺いします

施設によって就業助産師数に大きな偏りがあります。診療所における分娩状況に応じた助産師の配置を検討しています。下記質問へのご協力をよろしくお願いいたします。

問1. 昨年度の年間分娩件数

※記入数が年度（平成23年4月～24年3月）あるいは年（平成23年1月～12月）のどちらで記載しているか、該当する番号に○をつけてください。

1. 年度（平成23年4月～24年3月） 2. 年（平成23年1月～12月）

年間	件	うち帝王切開術	件	もしくは帝王切開率	%
		うち吸引分娩件数	件	もしくは吸引分娩率	%
		うち鉗子分娩件数	件	もしくは鉗子分娩率	%

問2. 常勤助産師一人あたりの年間分娩介助件数（直接介助のみ、間接介助は含まない。）

年間 件

問3. 母子同室の実施状況

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 完全母子同室（出生直後から24時間母子同室） 2. それ以外の母子同室（基本は24時間） 3. 日中のみ、もしくは、夜間のみ母子同室 4. 母子異室（同室はしない） | <p>母子同室の開始時期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出生後数時間から 2. 出生1日目から 3. それ以降()日目から |
|--|--|

問4. 現時点での院内助産の実施有無

※院内助産は「分娩を目的に入院する産婦及び産後の母子に対して、助産師が主体的なケア提供を行う方法・体制である。殊に、ローリスクの分娩は助産師により行われる。」と定義する。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. あり 2. なし | <p>院内助産 開始時期 平成 年 月</p> <p>現時点までの、院内助産での通算分娩件数 件</p> |
| <ol style="list-style-type: none"> 2. なし | <p>院内助産の導入希望 1. 導入希望あり</p> <p style="margin-left: 20px;">①実施予定である（実施が決まっている）</p> <p style="margin-left: 20px;">②実施の準備中（実施はまだ確定していない）</p> <p style="margin-left: 20px;">③実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある</p> <p>2. 導入希望なし</p> <p style="margin-left: 20px;">理由（)</p> |

問5. 現時点での助産外来の実施有無

※助産外来は「助産師により妊婦・産婦の健康診査並びに保健指導が行われる外来」と定義する。保健指導のみの場合はここでは助産外来には含まない。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. あり 2. なし | <p>助産外来 開始時期 平成 年 月</p> <p>助産師による超音波検査の実施有無 1. あり 2. なし</p> <p>新人助産師の、就職後1年以内における妊婦健診への関与</p> <p>1.先輩助産師の妊婦健診を見学 2.先輩の指導のもと、実施</p> <p>3.見学も実施もしていない 4.その他（)</p> |
|--|---|

助産外来の導入希望 1. 導入希望あり

- ①実施予定である（実施が決まっている）
- ②実施の準備中（実施はまだ確定していない）
- ③実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある
2. 導入希望なし
- 理由（)



あと、もう少しです！
最後まで、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

助産外来を行っている場合は、時間と担当助産師および妊婦の人数をご記入ください。

助産外来の時間		月		火		水		木		金		土		日	
		助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦	助産師	妊婦
午前	～	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
午後	～	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

問6. 貴診療所の分娩の現状と方向性 (該当する番号すべてに○をつけてください。)

- 近年、分娩件数が増加している
理由: ①地域の妊産婦の増加 ②他の医療機関の産科廃止
③その他 ()
- 近年、分娩件数が減少している
理由: ①地域の妊産婦の減少 ②他の医療機関に妊婦が集中
③その他 ()
- 分娩件数に大きな変化はない ()
- 分娩件数を制限する予定である (理由:) ()
- 分娩対応の廃止を予定している (理由:) ()
- 分娩対応を平成 24 年度になって廃止した (理由:) ()

V. 職員状況についてお伺いします

最近では、少しずつ診療所で働く助産師も増えてきましたが、依然として助産師が不足しており、診療所に勤務する助産師の増員が求められています。診療所で働く助産師を増やす活動の資料とするために、下記質問へのご協力をよろしくお願いいたします。

問1. 8月1日現在の職員数 (産休、育休、休職中の職員を含む。)

	産科医	准看護師	看護師	助産師	看護補助者 (クラークを除く)
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

上記のうち、産休、育休、休職中の常勤助産師数 人

問2. 常勤助産師：年齢階層別の人数 (該当する部分にのみ人数をご記入ください。)

25歳未満	名	25-29歳	名	30-34歳	名	35-39歳	名	40-44歳	名
45-49歳	名	50-54歳	名	55-59歳	名	60歳以上	名		

問3. 昨年度(平成23年度)の助産師の採用状況

※採用予定がなかった・募集をしなかった場合は、採用予定数に「0人」とご記入ください。
募集はしたものの、実際の採用がなかった場合は、実際の採用数に「0人」とご記入ください。

採用予定数		助産師	昨年度
実際の採用数	常勤の新卒助産師(助産師免許を取得して1年以内)		人
	常勤の助産師(他で助産師経験あり)		人
	パートタイム・非常勤の助産師		人
新規採用以外で勤務している常勤・非常勤の助産師数			人
常勤・非常勤の助産師数 合計			人

問4. 平成23年度(平成23年4月～24年3月)の常勤助産師の離職状況

平成23年度常勤助産師退職者数	人	※該当者がいない場合は「0人」
平成23年度当初の在籍助産師職員数(常勤)	人	
平成23年度末の在籍助産師職員数(常勤)	人	

問5. 看護職の主な勤務形態 (該当する番号すべてに○をつけてください。)

- 三交代制
- 変則三交代制(日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの)
- 二交代制
- 変則二交代制(日勤・夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの)
- 上記1～4のミックス
- 夜勤専従制あり
- 当直制あり(施設内で待機し、必要時に業務につく)
- 日中・夜間の両方で分娩時オンコール体制あり(緊急時対応可能な範囲に待機し、呼出しに応じて勤務につく)
- 夜間のみ分娩時オンコール体制あり

問6. 平成24年7月の1カ月間での、平均的な看護職の勤務者数

※勤務形態のうち、該当する部分にのみご記入ください。該当者がいない場合は「0人」とご記入ください。
(小数点以下は切り上げて記入)

勤務形態		平日(月-金)	土曜日/
		1日平均	日曜日/祝日
日勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	看護補助者数(常勤・非常勤合わせて)	人	人

診療所調査票

交代制の場合の夜勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
当直体制の場合の夜勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
オンコール体制の場合の夜勤	助産師数	人	人
	そのうち非常勤助産師数(再掲)	人	人
	看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	准看護師数(常勤・非常勤合わせて)	人	人
	看護補助者数(常勤・非常勤合わせて)	人	人

問7. 平成24年7月の1カ月間における、助産師一人あたりの平均夜勤回数

※該当する部分にご記入ください。

就業規則上、夜勤時間は1回 時間

1回の夜勤を8時間として計算してください。(例：16時間夜勤の場合は2回となる)

	三交替制 (変則含む)	二交替制 (変則含む)	当直制	分娩時オンコール回数 (待機含む)
常勤の助産師 (夜間専従を除く)	回	回	回	回
夜勤専従の助産師	回	回	回	回

最後に、日本看護協会へのご意見・ご要望などがございましたら、ぜひお聞かせください。

以上で、調査票は終わりです。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに8月31日(金)までにご返送ください。

さしつかえなければ貴診療所名とご住所をご記入ください。後日、調査結果の概要をお送りします。

貴診療所名	
ご住所	
ご記入者について	<input type="checkbox"/> 院長 <input type="checkbox"/> 看護師長 <input type="checkbox"/> お二方で記入

ありがとうございました



Ⅱ. 8月1日現在の、あなたご自身のことについてお伺いします

◆ 分娩取り扱い病院・診療所の産科関連病棟（MFICUを含む）にお勤めの方にお伺いします。

問1. 現在の職位（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 看護部長 2. 看護副部長 3. 看護師長 4. 副看護師長・主任 5. スタッフ
6. その他（ ）

問2. 雇用形態

1. 正規の看護職員（フルタイム勤務：常勤） 2. 正規の看護職員（短時間勤務：常勤）
3. 上記1と2以外の看護職員（臨時職員・派遣職員・契約職員・パートタイマー・アルバイト・その他）

問3. 転職経験の有無

（看護職の経験のみ、教員経験も含む。グループ間などでの人事異動による職場の変化は除く）

1. 転職なし 2. 転職あり 現在の勤務先は（ ）施設目

問4. 看護師としての経験年数

※助産師免許の取得前後を問わず、看護師として働いた通算の年月数。看護教員等として働いた期間も含める。母性看護学の教員経験は、「看護師」としての経験年数に含める。

1. あり（ ）年（ ）カ月（平成24年8月1日現在） 2. なし

問5. 助産師としての経験年数（平成24年8月1日現在）

※助産教員として働いた経験がある方は、その期間も含めた、通算の年月数

年	カ月	そのうち、他施設での助産師経験	年	カ月
		現在の病棟での勤続年数	年	カ月

問6. 現在の配属先は、あなたの希望通りでしたか。

1. 希望通り 2. 希望ではない

問7. 現在の勤務先での配属先ローテーションの経験 1. あり 2. なし

<1. を選んだ方にお伺いします>

問7-1. ローテーション先として、該当するものすべてに○をつけてください。

1. 産科関連病棟 2. 産科外来 3. NICU 4. MFICU 5. 内科 6. 外科
7. ICU 8. 救命救急 9. 手術室 10. その他（ ）

問7-2. ローテーション先は、あなたの希望通りでしたか。

1. 希望通り 2. 希望ではない

問7-3. 1回のローテーションの期間はどのくらいでしたか。 年月

問8. 現在の勤務先を選択した理由として、該当する番号すべてに○をつけてください。そのうち、上位3つに該当する番号をご記入ください。

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 給与水準が高い | 2. 寮が完備されている |
| 3. 福利厚生が良い | 4. 夜勤回数が少ない |
| 5. 日勤のみの勤務である | 6. 残業が少ない |
| 7. 休暇制度がしっかりしている | 8. 院内託児所がある |
| 9. 育児・介護等と仕事が両立しやすい | 10. 看護部の理念に共感する |
| 11. 研究・教育体制がしっかりしている | 12. 医療事故・傷害事故対策がしっかりしている |
| 13. 職場の雰囲気や人間関係が良さそう | 14. 納得のできる看護ができそう |
| 15. 看護管理者などの人柄がよい | 16. 助産学生の時の実習先の施設である |
| 17. 出身地と同じ都道府県である | 18. 住みたいエリア（都道府県/市町村）である |
| 19. 自宅から通勤の便が良い | 20. 特に理由はない |
| 21. その他（具体的に： ） | |

上位3つに該当する番号をご記入ください。

1位 2位 3位

問9. あなたの分娩介助件数

現在の産科関連病棟で、この1年間に介助した件数 件

今までの分娩介助件数すべて（他施設での経験を含む） 計 件

※新人助産師の方は、就職してから8月1日までの件数をご記入ください。

問10. あなたが助産師免許を取得した養成機関（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 助産師学校養成所 2. 短期大学専攻科 3. 大学 4. 大学専攻科・別科 5. 大学院

問11. 助産学生/助産実習に対する臨床指導の経験はありますか。

1. あり 2. なし

<1. を選んだ方にお伺いします>

問11-1. 臨床指導者としての経験年数 年

問11-2. 臨床指導の担当者向け研修を受講した経験の有無（院内・院外研修を含む）

1. あり 2. なし 3. その他（ ）

問12. 現在の勤務先で、院外研修へ参加したことはありますか。

（院外の新卒助産師研修や学会参加も含む）

1. あり 2. なし

<1. を選んだ方にお伺いします>

問12-1. 院外の研修参加費用の取り扱い

1. 自費 2. 公費（勤務先の支払い） 3. 自費と公費の両方の場合がある

問12-2. 院外の研修参加日の勤務扱い

1. 年次有給休暇を利用 2. 日勤扱い 3. 有給休暇利用と日勤扱いの両方がある

- 問13. 院内・院外を問わず、参加経験のある研修すべてに○をつけてください。
1. CTG（胎児心拍陣痛図）判読 2. NCPR（新生児蘇生法） Aコース
3. NCPR（新生児蘇生法） Bコース 4. ALSO（Advanced Life Support in Obstetrics）
5. 会陰縫合
- 問14. 助産師に必要な知識と技術の獲得として、勤務先の研修内容や研修回数に満足していますか。
1. 満足している
2. 満足していない（理由： _____）
- 問15. 「産婦人科診療ガイドライン 産科編 2011」を読んだことはありますか。
1. あり 2. なし 3. いま初めて「産婦人科診療ガイドライン」を聞いた

- 問16. あなたの勤務形態として、該当する番号すべてに○をつけてください。
1. 三交代制 2. 変則三交代制（日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの）
3. 二交代制 4. 変則二交代制（日勤・夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの）
5. 上記1～4以外の交代制 6. 夜勤専従
7. 日勤のみ 8. 当直制（施設内で待機し、必要時に業務につく）
9. 日中・夜間を通して分娩時オンコール体制あり（自宅など緊急時対応可能な範囲に待機し、呼び出しに応じて勤務につく）
10. 夜間のみ分娩時オンコール体制あり 11. 管理夜勤・当直

- 問17. 平成24年7月の1カ月の実際の勤務状況についてお伺いします。あなたの勤務形態部分にご記入ください。

問17-1. 三交代制・変則三交代制の場合 7月の出勤日数 計 日
就業規則上、夜勤時間は1回 時間

日勤の回数	<input type="text"/>	そのうち、日勤→深夜勤のシフトの回数 (間に休日がある場合を除く)	<input type="text"/>
準夜勤の回数	<input type="text"/>	そのうち、準夜勤→日勤のシフトの回数 (間に休日がある場合を除く)	<input type="text"/>
深夜勤の回数	<input type="text"/>	そのうち、深夜勤が2連続であった回数	<input type="text"/>
		そのうち、深夜勤が3連続以上であった回数	<input type="text"/>

問17-2. 二交代制・変則二交代制の場合 7月の出勤日数 計 日
就業規則上、夜勤時間は1回 時間

日勤の回数	<input type="text"/>	そのうち、夜勤が2連続であった回数	<input type="text"/>
夜勤の回数	<input type="text"/>	そのうち、夜勤が3連続以上であった回数	<input type="text"/>

- 問17-3. 夜勤専従の場合 7月の出勤日数 計 日
問17-4. 当直ありの場合 7月の当直回数 計 回
問17-5. 夜間分娩時のオンコールありの場合 7月のオンコール回数（待機含む） 計 回
そのうち呼び出しに応じた回数 回

- 問18. あなたの夜勤での休憩時間の平均的な取得状況 就業規則上では 分間取得できる
1. いつも規定通り取得している 2. ほぼ規定通り取得している
3. ときどきは規定通り取得できる 4. ほとんど規定通り取得できない
- 問19. 夜勤・交代制勤務の勤務計画表に対する満足度 1. 満足している 2. 満足していない
満足していない場合の理由について、ご記入ください。
- 問20. 平成24年7月の1ヶ月間の時間外労働時間（超過勤務）の有無 1. あり 2. なし
※超過勤務手当がついていない時間外労働もきめてご記入ください。
実際におこなった時間外労働の時間数 合計 時間 分
- 問21. 昨年度の、あなたの年次有給休暇の取得状況
※新人助産師の方は、就職してから平成24年8月1日までの状況をご記入ください。
1. すべて取得した 2. 8割程度は取得した 3. 半分程度は取得した
4. 2割程度は取得した 5. ほとんど取得していない
- 問22. あなたは直近1年間に、ヒヤリ・ハットを起こしたことがありますか。
※新人助産師の方は、就職してから平成24年8月1日までの状況をご記入ください。
1. なし 2. あり 内容（ _____ ）
- 問23. 現在の健康状態についてお伺いします。以下の症状について、自覚症状がある項目すべてに○をつけてください。
1. 頭痛 2. 肩こり 3. 手足の関節痛 4. 腰痛 5. 疲れ目 6. 高血圧
7. 不整脈 8. 月経不順 9. 便通異常 10. 憂鬱感 11. 倦怠感 12. 睡眠障害
13. 慢性的な睡眠不足 14. 胃の調子が悪い 15. 食欲不振 16. 特に自覚症状はない
- 問24. ご自身の健康状態を、全体としてどのように思われますか。
1. 非常に健康である 2. まあ健康である 3. やや不調である 4. 非常に不調である
5. どちらともいえない
- 問25. 現在の勤務先での、就業継続意思についてお伺いします。
(該当する番号すべてに○をつけてください)
1. 現在勤務している産科関連病棟で働き続けたい
①ずっと働き続けたい ②あと（ _____ ）年ぐらい働きたい
2. 現在勤務している病院の、産科外来で助産師として働き続けたい
3. 現在勤務している病院の、ほかの病棟で看護師として働き続けたい
4. 現在勤務している病院からの退職を考えている

問8. 産科関連業務勤務の常勤助産師の夜勤手当

※該当する勤務形態の番号に○をつけたうえでご記入ください。(管理職の当直などは除く)

1. 三交代制 準夜勤手当	1. あり	2. なし
2. 三交代制 深夜勤手当	1. あり	2. なし
3. 二交代制 夜勤手当	1. あり	2. なし
4. 当直制(非管理職) 夜勤手当	1. あり	2. なし
5. オンコール制 待機手当	1. あり	2. なし

(待機手当とは、オンコールの呼び出しに応じなくても支払われる金額)

夜勤手当	1. あり	2. なし
------	-------	-------

(夜勤手当とは、オンコールの呼び出しに応じた場合に支払われる金額)

⑧

問9. 常時、分娩室担当の助産師を配置していますか。(分娩室オンコール体制を除く)

昼間	あり・なし	ありの場合	常時	原則	人を配置
夜間	あり・なし	ありの場合	常時	原則	人を配置

問10. 正常分娩の第2期に、1人の産婦に看護職は原則として何人が介助に入りますか。

(常勤・非常勤含む。直接介助・間接介助・外回りを含む)

	助産師	看護師	准看護師	看護補助者 (クラークを除く)
1人の産婦の 正常分娩につき	名	名	名	名

問11. 通常、1勤務帯における夜勤人数は何人ですか。(助産師・看護師・准看護師すべてを含む)

三交代・変則三交代(深夜勤)	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上 ()人
二交代・変則二交代(夜勤)	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上 ()人

そのうち、助産師の数は 人

V. 分娩状況やケアに関して伺います

施設によって就業助産師数に大きな偏りがあります。分娩状況に応じた適切な助産師の配置や助産師の業務のあり方を検討するために、各施設における分娩状況をお伺いいたします。

問1. 昨年度の年間分娩件数

年間	件	うち帝王切開術	件	もしくは帝王切開率	%
----	---	---------	---	-----------	---

問2. 妊娠期からの継続受け持ち制の有無 ※継続受け持ちとは外来通院中から助産師が受け持っているプライマリナース制、母親学級での継続担当は含まない。

1. あり 2. なし 3. その他 ()

問3. 母子同室の実施状況

- 完全母子同室(出生直後から24時間母子同室)
- それ以外の母子同室(基本は24時間)
- 日中のみ、もしくは、夜間のみ母子同室
- 母子異室(同室はしない)

母子同室の開始時期

- 出生後数時間から
- 出生1日目から
- それ以降()日目から

問4. 母乳外来の有無 1. あり 2. なし

ありの場合:(該当する番号に1つだけ○をつけてください)

母乳外来の担当部署	1. 病棟	2. 外来	3. 病棟と外来の両方	4. その他()
母乳外来の担当職種	1. 助産師	2. 看護師	3. 助産師と看護師の両方	4. その他()

問5. 新生児訪問の有無 1. あり 2. なし

ありの場合:(該当する番号に1つだけ○をつけてください)

新生児訪問の担当部署	1. 病棟	2. 外来	3. 病棟と外来の両方	4. その他()
新生児訪問の担当職種	1. 助産師	2. 看護師	3. 助産師と看護師の両方	4. その他()

問6. 外来での出産準備教育(集団)の有無 1. あり 2. なし

ありの場合の実施状況 (該当する番号にすべて○をつけてください)

- 助産師が講義等を担当
- 看護師が講義等を担当
- 助産師と看護師の両方が担当
- その他の職種()が担当
- DVDの視聴のみを実施(講義や指導なし)

問7. 下記にあげた行為の実施について、実施することの多い職種の順番に()に番号(1,2,3)をご記入ください。該当者がいない場合は、空欄のままにしてください。

記入例:	助産師(1)	看護師(2)	准看護師()	産科医(3)
妊婦へのケア(切迫流産など)	助産師()	看護師()	准看護師()	
日勤帯での入院に際して、電話での来院指示	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
夜勤帯での入院に際して、電話での来院指示	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
日勤帯での、陣痛発来時の入院判断	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
夜勤帯での、陣痛発来時の入院判断	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
分娩第1期におけるケア	助産師()	看護師()	准看護師()	
分娩第2期におけるケア(正常分娩に限る)	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
陣痛促進剤や誘発時の点滴管理	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
分娩監視装置の装着	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
分娩監視装置を外す判断	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
小児科医が不在の分娩時における、新生児に対する緊急蘇生	助産師()	看護師()	准看護師()	産科医()
褥婦へのケア(乳房マッサージ以外)	助産師()	看護師()	准看護師()	
褥婦への乳房マッサージ	助産師()	看護師()	准看護師()	
正常新生児のケア	助産師()	看護師()	准看護師()	

問8. 助産師による会陰裂傷縫合の実施状況 (該当する番号に1つだけ○をつけてください)

- 産科医のみが実施する(助産師は一切、実施しない)
- 状況によっては、産科医の立ち会いのもとで、助産師が実施することがある
- 状況によっては、産科医の立ち会いがなくても、助産師が実施することがある

問9. 助産師による会陰裂傷縫合の実施についてのご意見

(該当する番号に1つだけ○をつけてください)

- 産科医のみが実施した方がよいと思う(助産師は一切、実施しない方がよい)
- 状況によっては、産科医の立ち会いのもとで、助産師が実施してもよいと思う
- 状況によっては、産科医の立ち会いがなくても、助産師が実施してもよいと思う
- その他()

VI. 院内助産システムについてお伺いします

妊産婦にとって安心・安全で満足度の高い出産環境を実現するために、院内助産システムを推進しています。さらなる推進のため、各施設における院内助産システムの実施状況をお伺いします。

問1. 現時点での、勤務先での院内助産の実施有無

※院内助産は「分娩を目的に入院する産婦及び産後の母子に対して、助産師が主体的なケア提供を行う方法・体制である。殊に、ローリスクの分娩は助産師により行われる」と定義する。

- あり 院内助産 開始時期 平成 年 月
現時点までの、院内助産での通算分娩件数 件

2. なし 勤務先としての院内助産の導入希望

- 導入希望あり
 - 実施予定である(実施が決まっている)
 - 実施の準備中(実施はまだ確定していない)
 - 実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある

2. 導入希望なし

理由()

勤務先の状況に関係なく、あなたの希望

院内助産の導入希望 1. あり

2. なし 理由()

問2. 現時点での、勤務先での助産外来の実施有無

※助産外来は「助産師により妊婦・褥婦の健康診査並びに保健指導が行われる外来」と定義する。保健指導のみの場合はここでは助産外来には含まない。

- あり 助産外来 開始時期 平成 年 月
助産師による超音波検査の実施有無 1. あり 2. なし

2. なし 新人助産師の、就職後1年以内における妊婦健診への関与

- 先輩助産師の妊婦健診を見学
- 先輩の指導のもと、実施
- 見学も実施もしていない
- その他()

※「なし」の方は引き続きご回答ください。「あり」の場合は、「VII. 助産師の新卒・現任教育と学生実習」

<問2で2. なしを選んだ方にお伺いします>

勤務先としての助産外来の導入希望

- 導入希望あり
 - 実施予定である(実施が決まっている)
 - 実施の準備中(実施はまだ確定していない)
 - 実施の予定も準備もしていないが、導入希望はある

2. 導入希望なし

理由()

勤務先の状況に関係なく、あなたの希望

助産外来の導入希望 1. あり

2. なし 理由()

VII. 助産師の新卒・現任教育と学生実習についてお伺いします

助産師養成数は年々増加していますが、助産実習先の確保が難しいといわれております。また、限られた助産師のもとで、より良い助産ケアを提供するためには、助産師一人ひとりの助産実践能力の強化支援が不可欠です。助産師の養成数を増やしていくための助産実習の状況と、助産師の現任教育についてお伺いします。

問1. 看護師のクリニカルラダーとは別に、助産師に特化したクリニカルラダーの有無

- あり
- 現在作成中
- なし

問2. クリニカルラダーがある場合に、あなたのクリニカルラダーレベル レベル

※助産師に特化したクリニカルラダーがない場合は、看護師のクリニカルラダーでお答えください。

問3. 助産師に特化した教育目標の有無

- あり
- 現在作成中
- なし

問4. 産科関連病棟への教育担当者の配置有無 1. 配置あり 2. 配置なし

※教育担当者は、看護部門の看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される研修の企画、運営を中心となって行う者であり、実地指導者(プリセプターなど)への助言及び指導、また、新人看護職員へ指導、評価を行う者を指す。

問5. 助産師に対する新人研修の実施状況 (該当する番号すべてに○をつけてください)

- 院内で助産師に特化した新人研修がある
- 都道府県看護協会や他の病院などと、合同で新人助産師研修を実施している
- 今年度は助産師に特化した新人研修を実施していないが、次年度以降は実施予定である
- 助産師に特化した新人研修はない(看護職としての新人研修に参加している)
- 看護職としても、助産師としても、院内での新人研修はない
- プリセプターシップ、メンターシップ、エルダー制などがある

問6. 助産師の育成を目的とした、定期的な面接の実施有無 1. あり 2. なし

ありの場合：あなたは年に何回、面接を受けていますか。 回

あなた以外の出席者 (該当する番号すべてに○をつけてください)

- 看護師長
- 先輩助産師
- 同期・後輩の助産師
- その他()

ありの場合：面接内容（自由にご記入ください）

問7. 看護学生・助産学生の実習受け入れの有無

実習受け入れ 1. あり 母性看護学実習 年間（ ）校 1回の実習で（ ）人
助産実習 年間（ ）校 1回の実習で（ ）人
2. なし 理由（ ）

Ⅷ. 混合病棟の方にお伺いします

産科単科の方は「Ⅸ. 助産師出向」へおすすみください P14

近年、産科混合病棟が75%に及ぶといわれています。助産師と看護師の連携・協働による安全で安心な出産環境の整備のため、下記質問にご協力ください。

問1. 産科以外の、診療科名称（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 婦人科 2. 小児科 3. 内科（主）
4. 外科 5. 整形外科 6. 脳神経外科 7. 耳鼻咽喉科 8. 泌尿器科
9. 眼科 10. 歯科口腔外科 11. 皮膚科 12. その他（ ）

問2. 混合病棟で、助産師は産科と他科患者を同時に受け持ちますか。

（該当する番号すべてに○をつけてください）

1. 常に、他科診療科の患者は受け持たない
2. 同時に受け持つ ①常に ②ときどき ③ごくまれに
3. 分娩介助の時のみ、他科の患者は受け持たない
4. 分娩第1期の患者が入院した時点で、他科の患者は受け持たない
5. その他（ ）

問3. 上記1.以外を選択された方にお伺いします。直近の日勤勤務において、他科診療科として、どの診療科の患者様を何名受け持ちましたか。

診療科名称	受け持ち患者数	診療科名称	受け持ち患者数
科	人	科	人
科	人	科	人

※記入欄が足りない場合は、空いているスペースに診療科名称と受け持ち患者数をご記入ください。

問4. 産科患者の入院先病室の決定方法について（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 産科患者は基本的に個室へ入院
2. 産科患者のみの病室へ入院（他科患者とは別室）
3. 他科の患者と同室 ①常に ②ときどき ③ごくまれに

問5. 他科診療科の患者が混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準はありますが、ある場合は、該当する番号すべてに○をつけてください。

1. あり...
① 感染症い・感染患者は除外... ② 就学前の小児科は除外...
③ ターミナル期は除外... ④ 男性は除外...
⑤ 不穏・認知の症状がある患者は除外... ⑥ クリニカルパス適応者のみ入院可...
⑦ その他（ ）...
2. なし...

問6. 上記「1.あり」を選択された方にお伺いします。ルールや基準はどの程度守られていますか。

1. 完全に守っている...
2. ケースバイケースで入院患者を受け入れざるをえない...
3. ルールはあるが、緊急があれば入院を受け入れる...
4. ルールはあるが、ほとんど守られていない...
5. その他（ ）...

問7. 混合病棟で助産ケアを実施することに関して、不安なことがございましたらご記入ください。

Ⅸ. 助産師の出向についてお伺いします

分娩状況に応じた助産師の配置を促進するために「助産師の出向システム」について検討しております。

助産師の出向とは、現在の勤務先の身分を有しながら、他施設で助産師として働くもので、正常分娩の経験など、助産師としてのキャリアアップ等を目的とするものです。

出向期間はおよそ半年間から1年間です。

出向システムを活用して地域のお産を守っている実例があり、助産師の就業先偏在を少しでも解決するための方法として有効だと考えております。助産師出向に関する下記質問へのご協力をよろしくお願いいたします。

問1. あなたが勤務する施設での、出向に関する経験の有無

問1-1. 他施設への出向（勤務先が出向先に該当する）（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 現在、助産師が出向している... 2. 以前は、助産師が出向していた（現在は出向なし）...
3. 出向の経験はない... 4. 助産師の出向経験はないが、看護師の出向経験はある...

問1-2. 他施設からの出向受け入れ（勤務先が出向先に該当する）（該当する番号に1つだけ○をつけてください）

1. 現在、助産師の出向を受け入れている... 2. 以前は助産師の出向を受け入れていた（現在はなし）...
3. 出向を受け入れたことはない... 4. 助産師の受け入れ経験はないが、看護師はある...

◆ 助産師の出向もしくは出向受け入れの経験がある病院の方にお伺いします(問1-1, 1-2の回答が1もしくは2)。それ以外の方は問3におすすみください。

問2 出向元および出向先の設置主体

※該当する番号をすべてご記入ください。該当番号がない場合は「11.その他」を選び、具体的にご記入ください。

出向元施設

出向先施設

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| 1. グループ間での出向(例:日赤,済生会,国立病院機構など)... | 3. 公立病院(市町村)... |
| 2. 公立病院(都道府県)... | 5. 私立学校法人(私立大学附属病院など)... |
| 4. 国立大学法人(国立大学附属病院など)... | 8. 医療法人... |
| 6. 個人病院 | 11. その他()... |
| 7. 社会保険関係団体の病院 | |
| 9. 診療所 | |
| 10. 助産所 | |

問3 あなたは助産師として出向した経験がありますか。 1. あり 2. なし。
↳ ①現在の勤務先 ②以前の勤務先

◆ 1を選んだ方は問4へ、2を選んだ方は次ページの問5へおすすみください。

問4

問4-1 出向した時期 平成 年頃

問4-2 出向した時のあなたの助産師経験年数 年日
※最初に助産師として入職した年を「1年日」としてお客えください。

問4-3 出向した助産師の人数 あなたを含めて1年間でのべ 人出向

問4-4 1回の出向期間 カ月

問4-5 出向先
1. 病院 → 産科病棟()床
2. 診療所 → 産科病棟()床

問4-6 出向先病棟 ①=7

1. 産科単独病棟 2. 産科と婦人科の混合病棟 3. 産婦人科以外の診療科との混合病棟

混合病棟の場合:他診療科患者への看護ケア提供経験 1. あり 2. なし

問4-7 出向先施設の所在地 ①=7
1. 同じ都道府県内、 2. 別の都道府県、
→ 引越しの有無、 ① あり ② なし

問4-8 出向元と出向先での給与差 ②
1. 減額 2. 増額 3. 同額

問4-9 出向先での分娩介助件数 件 出向前の分娩介助件数 年間 件 ③~⑧

問4-10 出向してよかったこと ⑨

問4-11 困ったこと/戸惑ったこと ⑩

問4-12 機会があれば、また、他施設へ出向したいですか。 1. はい 2. いいえ

◆ 全員にお尋ねします。

問5 勤務先の看護管理者から、他施設への助産師出向を打診されたらと仮定した場合、どのような条件/前提であれば、あなたは他施設へ出向できますか。以下の各項目が示す内容について、あなたのお気持ちにもっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

あなたが、他施設へ出向するうえで必要になる条件/前提としては、

	全く無関係な内容	関係が薄い内容	関係がやや多い内容	関係がかなり多い内容	半分以上関係が深い内容
1. 出向先は、病院であること(診療所ではないこと)...	1	2	3	4	5
2. 出向先は、同じ都道府県内の施設であること...	1	2	3	4	5
3. 出向先は、通勤が可能な範囲であること(引越しは不要)...	1	2	3	4	5
4. 出向期間が、1年以内であること...	1	2	3	4	5
5. 出向期間が、半年以内であること...	1	2	3	4	5
6. 給与が、今よりも減額にならないこと...	1	2	3	4	5
7. 出向中の年月が、現在の勤務先での退職金の計算対象範囲に含まれること...	1	2	3	4	5
8. 出向先が寮を準備し、自分で2カ所の家賃を支払う必要がないこと...	1	2	3	4	5
9. 出向先の施設での教育体制が整っていること...	1	2	3	4	5
10. 出向先の施設に、常勤助産師が1人以上いること(看護士だけではないこと)...	1	2	3	4	5
11. 現在の勤務先から、同時に2人以上の助産師が出向できること(自分ひとりだけの出向ではないこと)...	1	2	3	4	5
12. 自分ひとりだけの出向でも、過去に同僚助産師が出向していた経験があること...	1	2	3	4	5
13. 出向先の施設で、正常分娩の直接助産が十分にできること...	1	2	3	4	5
14. 出向先の施設で、産科病棟だけではなく産科外来も含めて、妊娠期からの継続的なケアを実施できること...	1	2	3	4	5
15. 出向中の経験を、現在の勤務先に戻ってから評価する仕組み(例:クリニカルリーダーや人事考課)があること...	1	2	3	4	5
16. 出向することに、家族の理解と協力があること...	1	2	3	4	5

その他、出向が可能となる条件や助産師出向について、あなたのお考えをお聞かせください。

問6 助産師出向について、あなたのお気持ちにもっとも近い番号に1つだけ○をつけてください。

1. 一定の条件、例えば問5で挙げた条件などが整えば、他施設への出向を検討してもよい
2. どのような条件が整えられても、他施設へ出向することはできない。

→ 出向することが難しい理由について、ご記入ください。

X. あなたの所属する助産チームについてお伺いします

※「教育機関」にお勤めの方は「教育機関での立場」で、「助産教員チーム」についてご回答ください。

あなたが所属する病棟の助産チームの様子についてお伺いします。以下の項目が示す事柄について、あなたはどのように思いますか。各項目を読んで、あなたの実感にもっともあてはまる番号に1つだけ〇をつけてください。

「助産チーム」とは、産科病棟と一緒に働く助産師と看護師であり、医師や他の職種（栄養士や薬剤師など）は含みません。ご注意ください。

我々の助産チームでは

	全くその通りではない	あまりその通りではない	どちらでもない	その通り	非常にその通り
1. チームの目標を達成しようという意気込みがある。	1	2	3	4	5
2. 和やかな雰囲気がある。	1	2	3	4	5
3. 新しいことに積極的にとり組む姿勢がある。	1	2	3	4	5
4. 同僚のスタッフが失敗をすると、自分のことのようにゆううつに感じる。	1	2	3	4	5
5. 皆が互いの長所をみとめあっている。	1	2	3	4	5
6. 自分の担当以外のことについては、お互いに口を出さないようにしている。	1	2	3	4	5
7. 仕事を確実に行うために必要な知識・技能が受け継がれている。	1	2	3	4	5
8. 新人指導の際、業務の手順を教えるだけでなく、なぜそうするのか、その根拠まで教えている。	1	2	3	4	5
9. 同僚のスタッフの誰に対してでも、気持ちよく挨拶を交わしている。	1	2	3	4	5
10. やってみなければわからないことでも、前向きなことであれば支持される。	1	2	3	4	5
11. 実績やキャリアの違いにこだわらず、互いに切磋琢磨している。	1	2	3	4	5
12. 職場を抜けて研修に参加することは気が引ける。	1	2	3	4	5
13. 他の病院で起きた事故事例をもとに学習している。	1	2	3	4	5
14. 仕事の進め方や患者のケアについての意見がくい違ふことがある。	1	2	3	4	5
15. 自分の知識・技能を高めるための取り組みがなされている。	1	2	3	4	5
16. スタッフは頼まれた仕事を確実にやり遂げる。	1	2	3	4	5
17. 安全もさることながら、仕事の効率性を重視している。	1	2	3	4	5
18. 他者の経験から学ぶという姿勢に価値がおかれている。	1	2	3	4	5
19. 仕事の手順を守ることに厳格である。	1	2	3	4	5
20. チーム内で問題が起こっても、それを解決するだけの力がある。	1	2	3	4	5



あと、もう少しです！
最後まで、ご協力のほどよろしく
お願いいたします。

チームの行動についてお伺いします。以下の項目が示す事柄について、あなたはどのように思いますか。

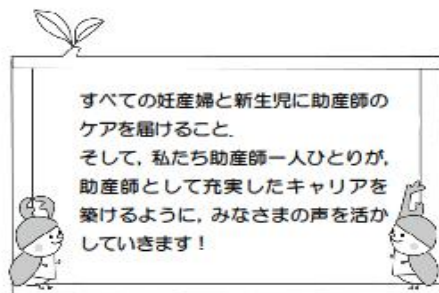
我々の助産チームでは

	全くその通りではない	あまりその通りではない	どちらでもない	その通り	非常にその通り
1. 仕事の仕方や仕事で困ったことについて、相談しあっている。	1	2	3	4	5
2. 仕事を一人でたくさん抱えているスタッフがいたら、援助している。	1	2	3	4	5
3. 状況に応じて、チームの目標とその計画を見直すことがある。	1	2	3	4	5
4. 自分の経験から得た教訓や入手した情報を、お互いに伝え合っている。	1	2	3	4	5
5. 仕事以外のことについて話をする機会が少ない。	1	2	3	4	5
6. 「例の件」とか「あのこと」と言うだけで話が通じる。	1	2	3	4	5
7. お互いの仕事上の役割を理解している。	1	2	3	4	5
8. 年間目標などのチームの長期的な活動計画を、スタッフ全員で話しあって定めている。	1	2	3	4	5
9. 仕事をうまく行うためのコツを伝え合っている。	1	2	3	4	5
10. 経験や職位などの立場が上のスタッフ（助産師）に対しても、率直に質問をしたり、他の考えを出したりする。	1	2	3	4	5
11. 仕事の仕方について迷っているスタッフがいたら、積極的に相談に乗っている。	1	2	3	4	5
12. お互いの都合や仕事の進み具合にあわせて、仕事の仕方を工夫して調整しあっている。	1	2	3	4	5
13.トラブルにうまく対応できたかどうかだけでなく、どのように対応したのかというプロセスも互いに重視している。	1	2	3	4	5
14. 前例や慣例に反する意見が出されることはまれである。	1	2	3	4	5
15. お互いに連絡をとらずに行動してしまい、失敗することがよくある。	1	2	3	4	5
16. 仕事の負担が特定のスタッフに偏りすぎないよう、お互いに気を配っている。	1	2	3	4	5
17. 皆が納得するまで話し合っている。	1	2	3	4	5
18. 自分たちの職務とその目的を確認しあっている。	1	2	3	4	5
19. 互いの苦手なことを補いあっている。	1	2	3	4	5
20. わからないことがあれば、同僚へ気軽に尋ねている。	1	2	3	4	5
21. 他のスタッフの仕事の進み具合について、注意を払っている。	1	2	3	4	5
22. 個人の知識や技術の向上のためにアドバイスしあっている。	1	2	3	4	5
23. ケアや処置を間違っって行っているスタッフがいたら、それを本人に教えている。	1	2	3	4	5
24. 仕事を改善するためのアイディアや工夫を出すことに積極的である。	1	2	3	4	5
25. 問題が起きたら、すぐに報告し、チーム内での共有を図っている。	1	2	3	4	5
26. お互いの意見がくいちがうときは、譲歩しあって仕事をすすめる。	1	2	3	4	5
27. お互いに建設的な意見を出して、仕事をしやすくする工夫をしている。	1	2	3	4	5
28. チーム内での決まりごとを守っていないスタッフがいたら、その場で率直に注意している。	1	2	3	4	5

あなたが仕事をしている時、どのように感じておられますか。あてはまる番号に○をつけてください。

我々の助産チームでは

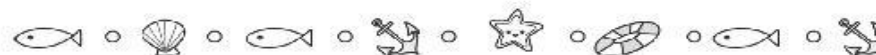
	全く 思わない	あまり 思わない	やや 思わない	やや 思う	非常に 思う
1. 複数の異質な仕事をしなければならないことがある	1	2	3	4	5
2. 自分の責任が何かわかっている	1	2	3	4	5
3. 互いに矛盾する方針の下で働いている	1	2	3	4	5
4. 十分な人手がないのに、仕事を割り当てられることがある	1	2	3	4	5
5. 時間の割り振りをうまくやってきたと思う	1	2	3	4	5
6. 複数の人から矛盾した要求を受けることがある	1	2	3	4	5
7. 曖昧な指示の下で働かなければならないことがある	1	2	3	4	5
8. 仕事をやり遂げるために、規則や方針にそむかなければならないことがある	1	2	3	4	5
9. 自分に何が期待されているのが正確にわかっている	1	2	3	4	5
10. 適当な設備がないのに、仕事を割り当てられることがある	1	2	3	4	5
11. 自分がどの程度の権限をもっているかはっきりわかっている	1	2	3	4	5
12. 意味がないと思われる仕事を割り当てられることがある	1	2	3	4	5
13. 医師と協調して働いている	1	2	3	4	5
14. 助産独自の仕事をしていると思う	1	2	3	4	5
15. 自分の仕事を活かして仕事をしている	1	2	3	4	5



最後に、あなたご自身のことについてお伺いします

- 問1. 年齢 歳
- 問2. 介護を必要とする同居家族はいますか。 1. いる ()人 2. いない
介護が必要な家族の主たる介護者はあなたですか。 1. はい 2. いいえ
- 問3. 配偶者の有無 1. 未婚 2. 既婚 3. 離死別
助産師免許取得後、何年目にご結婚されましたか。 年目
- 問4. 子どもの有無 1. いる ()人 2. いない
お子さんがいらっしゃる方にお伺いします。お子さんの年齢(学年)の内訳をご記入ください。
0~3歳のこども ()人 4歳~就学前のこども ()人
小学校1~3年生 ()人 小学校4~6年生 ()人
中学生 ()人 高校生 ()人
子育てをしながら、仕事を続けるうえで協力者となっている方はどなたですか。
(該当する番号すべてに○をつけてください)
1. 夫 2. 母(義母) 3. 父(義父) 4. 兄弟姉妹 5. その他 ()
6. いない

日本看護協会へのご意見・ご要望などがございましたら、ぜひお聞かせください。



以上で、調査票は終わりです。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒にて、切手を貼らずに8月31日(金)までにご返送ください。

本調査結果に関しては、平成25年4月以降に日本看護協会調査研究報告として報告書を刊行する他、関連学会での発表や論文投稿、協会公式ホームページ (<http://www.nurse.or.jp>) や協会ニュースにおいても概要をお知らせする予定です。

ありがとうございました。
あなたの声を活かします!



2012 年度 安全・安心な出産環境提供体制の推進に関する検討委員会

委員長	井本寛子	日本赤十字医療センター／看護副部長
委員	海野信也	北里大学医学部／産科主任教授
	岡井崇	昭和大学医学部産婦人科学教室／教授
	川島広江	川島助産院／院長
	木下千鶴	杏林大学医学部付属病院／師長
	熊澤美奈好	亀田医療技術専門学校／副校長
	渋川あゆみ	マザリー産科婦人科医院／副院長
	島田啓子	金沢大学大学院医療保健研究域保健学系／教授
	鈴木久美子	山梨大学医学部付属病院／副院長・看護部長
	福島恭子	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院／師長

2012 年度 出産の場や助産師の養成及び育成に関する実態把握ワーキンググループ

委員長	井本寛子	日本赤十字医療センター／看護副部長
委員	阿部正子	長野県看護大学発達看護学講座（母性・助産看護学）／准教授
	片桐麻州美	杏林大学保健学部看護学科母子看護学・助産学／教授
	福島恭子	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院／師長
	松永佳子	東邦大学看護学部看護学科 家族・生殖看護学研究室／准教授

（以上の所属は2012年4月現在）

担当役員	福井トシ子	公益社団法人	日本看護協会／常任理事
担当部署	村中峯子	公益社団法人	日本看護協会 健康政策部／部長
	岩澤由子	公益社団法人	日本看護協会 看護開発部／課長
	小林正代	公益社団法人	日本看護協会 健康政策部 助産師課
	山西雅子	公益社団法人	日本看護協会 健康政策部 助産師課
	市川香織	公益社団法人	日本看護協会 健康政策部 助産師課
	鶴見薫	公益社団法人	日本看護協会 健康政策部 助産師課

調査協力 秋山ゆかり 株式会社 Leonessa 代表取締役

平成 24 年「助産師の出向システムと助産実習の受け入れ可能性等に関する調査」 「助産師の出向システムと助産師就業継続意思に関する調査」報告書

平成 26 年 3 月	発行
発行者	公益社団法人 日本看護協会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 TEL : 03-5778-8831 (代表) FAX : 03-5778-5601 (代表) ホームページ http://www.nurse.or.jp/
問合せ先	公益社団法人 日本看護協会 健康政策部 助産師課 TEL : 03-5778-8843

本書の無断複写・転載は禁じる